
香美市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
在宅介護実態調査
結果報告書

令和8年7月

目次

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 調査概要	1
2. 総評	3
3. 調査結果（詳細）	5
(1) ご家族や生活状況について.....	5
(2) からだを動かすことについて.....	12
(3) 食べることについて.....	19
(4) 毎日の生活について.....	24
(5) 地域での活動について.....	30
(6) たすけあいについて.....	45
(7) 健康について.....	52
(8) 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	58
(9) 認知症について.....	60
(10) これからの暮らしについて.....	64
(11) かかりつけ医や耳の聞こえについて.....	71
(12) その他.....	77
4. リスク判定	86
(1) リスク判定（総論）	86
(2) 運動器の機能低下リスク.....	87
(3) 転倒リスク.....	89
(4) 閉じこもりのリスク.....	90
(5) 栄養改善のリスク.....	91
(6) 低栄養のリスク.....	92
(7) 口腔機能の低下リスク.....	94
(8) 認知機能の低下リスク.....	95
(9) 手段的自立度（IADL）	97
(10) うつのリスク.....	99

■参考：在宅介護実態調査

1. 調査概要	103
2. 基本調査項目（A票）	104
(1) 世帯類型.....	104
(2) 家族等による介護の頻度.....	104
(3) 主な介護者の本人との関係.....	105
(4) 主な介護者の性別.....	105
(5) 主な介護者の年齢.....	106
(6) 主な介護者が行っている介護.....	106
(7) 介護のための離職の有無.....	107
(8) 保険外の支援・サービスの利用状況.....	107
(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス.....	108
(10) 施設等検討の状況.....	108
(11) 本人が抱えている傷病.....	109
(12) 訪問診療の利用の有無.....	110
(13) 介護保険サービスの利用の有無.....	110
(14) 介護保険サービス未利用の理由.....	111
3. 主な介護者様用の調査項目（B票）	112
(1) 主な介護者の勤務形態.....	112
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況.....	112
(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援.....	113
(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識.....	113
(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護.....	114

■参考資料

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票	117
2. 在宅介護実態調査票	133

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、令和9年度から令和11年度までの「香美市第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、今後の高齢者福祉サービスや健康づくりの方策を検討するために、日頃の生活や介護の状況、サービスの利用意向などの実態を把握することを目的として実施した。

(2) 調査の実施について

	前回調査（令和4年度）	今回調査（令和7年度）
対象者	令和4年10月1日現在、香美市に在住の65歳以上の方 （要介護認定者を除く）	令和7年10月15日現在、香美市に在住の65歳以上の方 （要介護認定者を除く）
実施期間	令和4年12月5日（月）～ 令和4年12月30日（金）	令和7年11月20日（木）～ 令和7年12月10日（水）
実施方法	郵送配布、郵送回収	郵送配布、郵送回収

(3) 有効回答件数及び回答率

	前回調査（令和4年度）	今回調査（令和7年度）
配布数	8,298 件	5,000 件
回収数	5,096 件	3,236 件
有効回答数	4,994 件	3,208 件
有効回答率	60.2%	64.2%

(4) 回答者の属性

●性別・年齢別

上段：件数 下段：％		全体	性別	
			男性	女性
全体		3,208 100.0	1,374 42.8	1,834 57.2
年齢 ①	65-69 歳	567 100.0	278 49.0	289 51.0
	70-74 歳	693 100.0	305 44.0	388 56.0
	75-79 歳	853 100.0	385 45.1	468 54.9
	80-84 歳	589 100.0	232 39.4	357 60.6
	85 歳以上	506 100.0	174 34.4	332 65.6
年齢 ②	前期高齢者	1,260 100.0	583 46.3	677 53.7
	後期高齢者	1,948 100.0	791 40.6	1,157 59.4

●地区別

上段：件数 下段：％		全体	性・年齢			
			男性		女性	
			前期高齢者	後期高齢者	前期高齢者	後期高齢者
全体		3,208 100.0	583 18.2	791 24.7	677 21.1	1,157 36.1
地区	土佐山田	2,142 100.0	401 18.7	511 23.9	480 22.4	750 35.0
	香北	645 100.0	113 17.5	166 25.7	136 21.1	230 35.7
	物部	421 100.0	69 16.4	114 27.1	61 14.5	177 42.0

(5) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer =いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで) と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。

2. 総評

(1) 高齢者の生活状況

リスク判定の結果では、手段的自立度（IADL）が低い高齢者や、うつのリスクがある高齢者が一定割合みられ、生活機能や心理面での不安を抱える人が存在することが確認されました。高齢者のみ世帯や生活不安を抱える高齢者が孤立することのないよう、地域での見守りや生活支援、相談体制の充実を図っていくことが重要です。

また、歯磨きを毎日行っている人は 87.9%を占めるなど、口腔衛生に関する意識は比較的高い状況がみられます。一方で、「年に何度かある」「ほとんどない」を合わせた孤食傾向の人が 21.7%となっており、特に 1 人暮らしではその割合が高くなっています。「物忘れが多いと感じる」と回答した人が 45.0%となるなど、加齢に伴う生活機能の低下への不安もみられます。口腔機能や栄養状態の維持・改善に向けた取組を進めるとともに、地域での交流機会の充実を図り、健康づくりと孤立防止の取組を推進していくことが重要です。

(2) 外出状況と移動手段

外出頻度については「週 5 回以上」が 38.8%、「週 2～4 回」が 37.7%となっており、多くの高齢者が日常的に外出している状況がみられます。一方で、外出回数が昨年より減っている人が 26.7%となっており、「足腰などの痛み」や「交通手段がない」ことなどが外出を控える理由として挙げられています。また、移動手段では「自動車（自分で運転）」が 66.2%と最も多く、自家用車への依存度が高い状況もみられます。高齢者の外出機会の維持・促進に向けて、介護予防活動や通いの場の充実を図るとともに、移動支援など外出しやすい環境づくりを進めていくことが必要です。

(3) 地域活動・社会参加

地域活動への参加状況では、多くの活動において「参加していない」と回答した人が 6 割前後となっており、地域活動への参加は必ずしも活発とは言えない状況がみられます。一方で、地域づくり活動への参加意向については、「参加してもよい」「是非参加したい」を合わせて 48.0%となっており、潜在的な参加意欲は一定程度あることがうかがえます。誰もが参加しやすい活動の場づくりや情報提供の充実を図り、高齢者の社会参加や生きがいづくりにつながる取組を進めていくことが重要です。

心配事や愚痴を聞いてくれる相手としては「配偶者」「友人」「別居の子ども」が多く、家族や友人を中心としたつながりがみられます。一方で、家族や友人以外の相談相手については「そのような人はいない」が 40.1%となっており、専門機関への相談につながっていない人も少なくない状況がみられます。地域包括支援センターなどの相談窓口の周知を進めるとともに、地域の見守りや支え合いの取組を通じて、安心して相談できる環境づくりを進めていくことが重要です。

(4) 健康状態と疾病の状況

主観的健康感については「まあよい」が 66.7%と最も多く、健康状態は比較的良好であると感じている人が多い状況がみられます。一方で、現在治療中または後遺症のある病気としては「高血圧」が 50.5%で最も多く、生活習慣病や運動器疾患などの慢性的な疾病が多くみられます。生活習慣病の予防や重症化防止に向けた健康づくりの取組を推進するとともに、医療・介護・地域が連携した健康支援体制の充実を図ることが求められます。

(5) 認知症に関する理解と関心

認知症について「関心がある」と回答した人が 79.1%となっており、多くの高齢者が認知症に対して関心を持っていることが確認されました。また、「薬や対応の仕方で行進を遅らせることができる」「早期発見・早期受診が大切である」といった理解も多くみられ、認知症に関する基本的な認識は一定程度広がっている状況がうかがえます。一方で、「新しい認知症観」を「知らない」と回答した人が 61.7%となるなど、認知症に関する新しい考え方や理解については十分に浸透しているとは言えない状況もみられます。認知症に関する正しい理解の普及や「新しい認知症観」の周知を図るとともに、認知症への理解を深めるための普及啓発や学習機会の充実を進めていくことが重要です。

(6) 今後の暮らしに対する意識

今後の暮らしについては、介護が必要な状態になった場合に現在の住まいでの生活が難しいと考える人が多く、住み慣れた地域で生活を継続することに対する不安がみられます。また、自宅で生活を続けるために必要な支援として「見守りや簡単な家事援助などの日常生活支援」や「短期間入所できるサービス」、「緊急時に助けを呼べるサービス」などが多く挙げられており、在宅生活を支える支援へのニーズが高い状況が確認されました。見守りや生活支援サービスの充実を図るとともに、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して生活を継続できる在宅生活支援体制の強化を進めていくことが求められます。

(7) 高齢者施策や取組の認知状況

認知症相談窓口については「知っている」と回答した人が 30.0%にとどまり、相談体制の認知は十分とは言えない状況がみられます。また、「香美はつらつ体操」など一部の取組を除き、市の各種取組について「知らない」と回答した人が多く、市の施策や支援制度が市民に十分に周知されていない状況もうかがえます。認知症相談窓口や市の各種施策について、広報や地域活動などを通じた情報発信を強化し、市民が必要な支援につながりやすい環境づくりを進めていくことが重要です。

(8) 高齢者にとっての地域の住みやすさ

香美市が高齢者にとって住みよいまちであるかについては「わからない」が 58.2%と最も多く、地域の支援体制や市の取組に対する認知や理解が十分に広がっていない可能性がみられます。また、認知症になっても自分らしく暮らし続けられるところであるかについても「わからない」が多く、認知症に関する地域の支援体制について市民の理解が十分に進んでいない状況がうかがえます。市の取組や地域の支援体制についてわかりやすく情報発信を行うとともに、地域全体で高齢者を支える環境づくりを進め、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進していくことが重要です。

3. 調査結果（詳細）

(1) ご家族や生活状況について

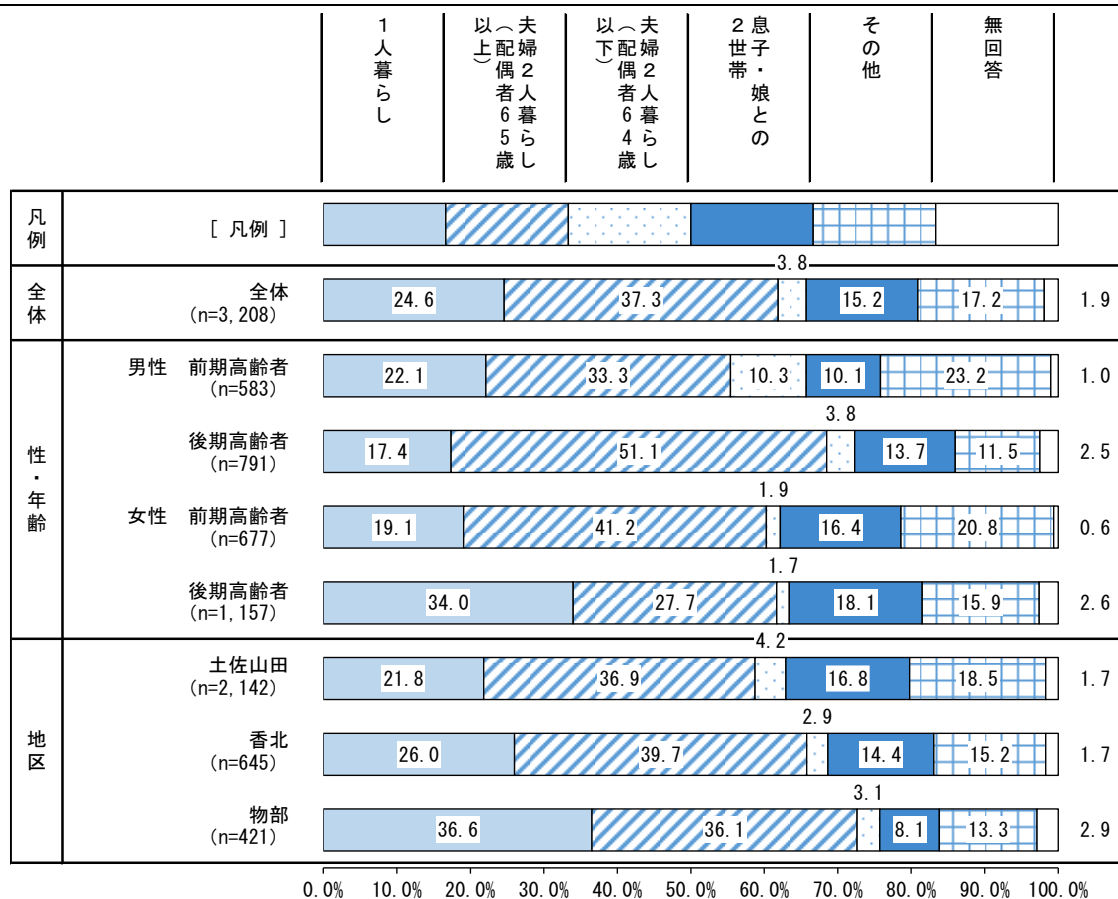
●問1.1 家族構成をお教えてください。（1つだけ）

【全体】

- 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が37.3%で最も多く、次いで「1人暮らし」が24.6%、「その他」が17.2%となっています。

【地区】

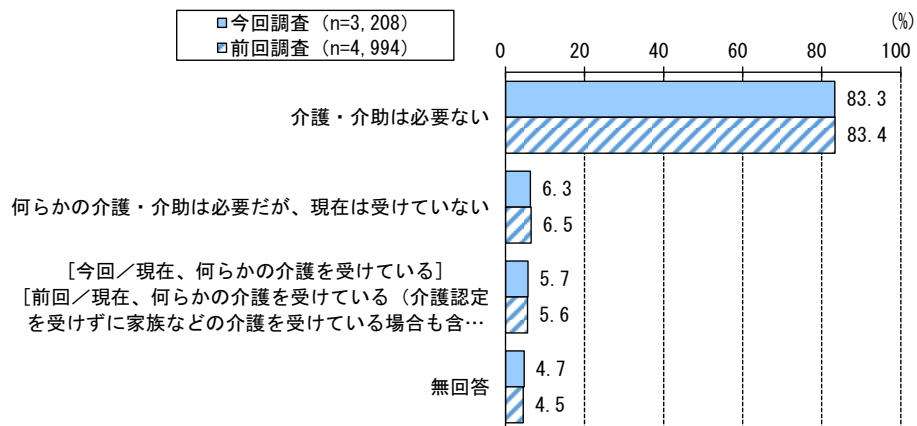
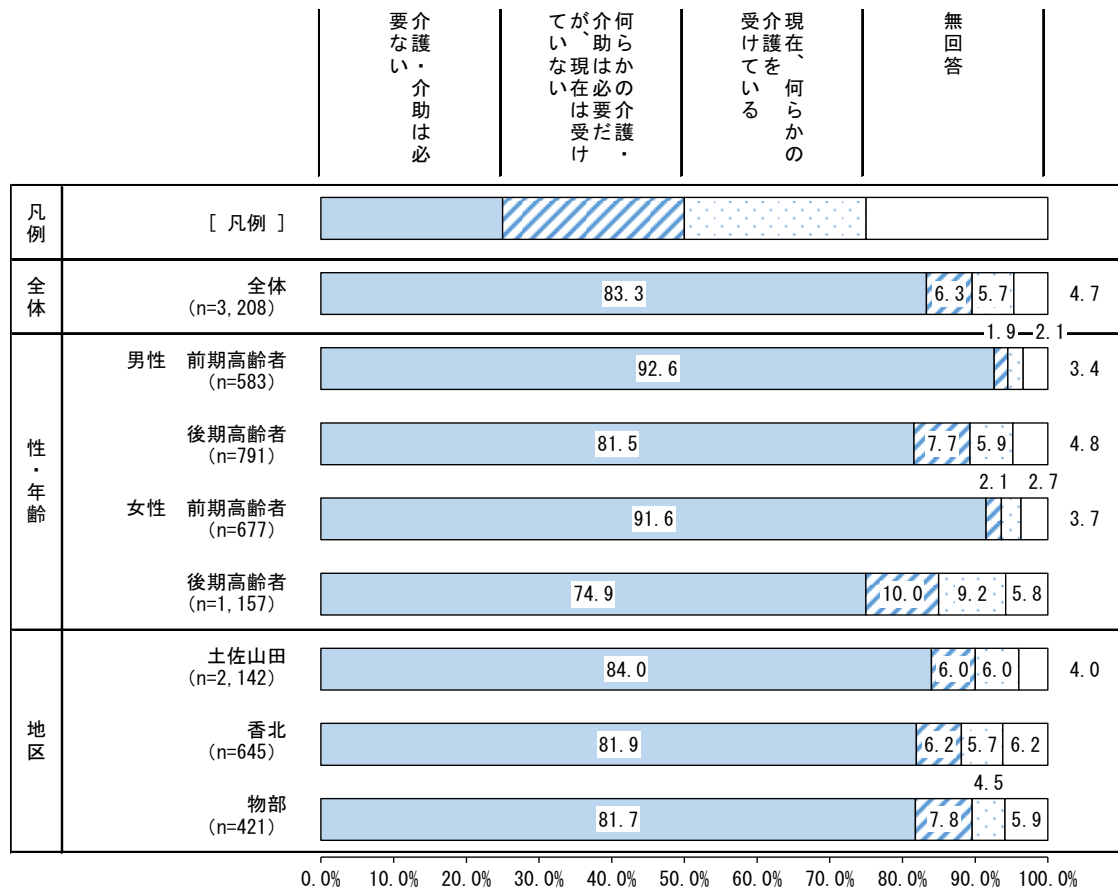
- 「1人暮らし」は物部が36.6%と他の区分に比べて多くなっています。



●問1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（１つだけ）

【全体】

- 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が 83.3%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 6.3%、「現在、何らかの介護を受けている」が 5.7%となっています。



●問1.2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

【全体】

- 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が36.5%で最も多く、次いで「関節の病気（リウマチ等）」が16.6%、「骨折・転倒」が15.3%となっています。

【性・年齢】

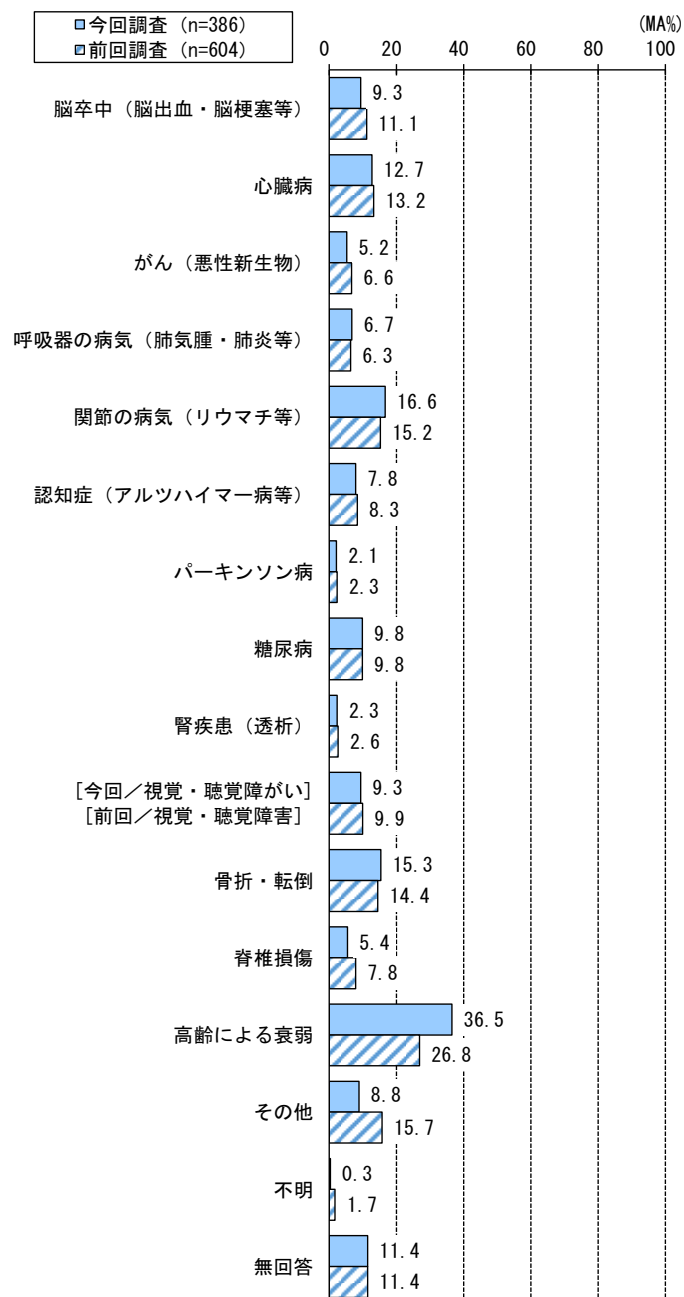
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「関節の病気（リウマチ等）」が多くなっています。
- 「糖尿病」は男性の前期高齢者が21.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「骨折・転倒」女性の後期高齢者が19.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「認知症（アルツハイマー病等）」は一般高齢者が10.9%と要支援1・2の0.8%に比べて多くなっています。

【前回比較】

- 「高齢による衰弱」は増加しています。



単位：％

		母数	介護・介助が必要になった主な原因(MA)								単位：%
			等) (脳 出 血・ 脳 梗 塞)	心 臓 病	物) が ん (悪 性 新 生	等) (呼 吸 器 の 病 気 腫・ 肺 気 炎	等) (関 節 の 病 気 等) (リ ウ マ チ 等)	病) 認 知 症 (ア ル ツ ハ イ マ ー	パ ー キ ン ソ ン 病	糖 尿 病	
全体 (n=386)		386	9.3	12.7	5.2	6.7	16.6	7.8	2.1	9.8	
性・ 年 齢	男性 前期高齢者 (n=23)	23	△ 21.7	8.7	-	4.3	13.0	13.0	4.3	△ 21.7	
	後期高齢者 (n=108)	108	13.9	18.5	11.1	10.2	12.0	5.6	1.9	8.3	
	女性 前期高齢者 (n=32)	32	9.4	3.1	-	9.4	△ 37.5	9.4	6.3	3.1	
	後期高齢者 (n=223)	223	5.8	11.7	3.6	4.9	16.1	8.1	1.3	10.3	
地 区	土佐山田 (n=257)	257	7.4	11.3	5.1	6.2	17.9	6.6	2.7	10.1	
	香北 (n=77)	77	13.0	13.0	6.5	6.5	14.3	10.4	1.3	9.1	
	物部 (n=52)	52	13.5	19.2	3.8	9.6	13.5	9.6	-	9.6	
状該認 況当定	一般高齢者 (n=266)	266	8.3	12.8	4.5	7.5	17.3	10.9	1.5	10.2	
	要支援 1・2 (n=120)	120	11.7	12.5	6.7	5.0	15.0	0.8	3.3	9.2	

単位：％

		母数	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							
			腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体 (n=386)		386	2.3	9.3	15.3	5.4	36.5	8.8	0.3	11.4
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=23)	23	-	17.4	▼ 4.3	-	▼ 21.7	13.0	-	4.3
	後期高齢者 (n=108)	108	4.6	8.3	11.1	7.4	33.3	7.4	0.9	13.9
	女性 前期高齢者 (n=32)	32	-	3.1	9.4	6.3	▼ 25.0	12.5	-	9.4
	後期高齢者 (n=223)	223	1.8	9.9	19.3	4.9	41.3	8.5	-	11.2
地区	土佐山田 (n=257)	257	1.2	9.3	14.8	5.4	36.6	8.6	-	11.7
	香北 (n=77)	77	2.6	6.5	19.5	5.2	42.9	9.1	1.3	7.8
	物部 (n=52)	52	7.7	13.5	11.5	5.8	26.9	9.6	-	15.4
当該認定状況	一般高齢者 (n=266)	266	2.6	7.9	13.5	3.4	38.0	8.3	0.4	10.5
	要支援 1・2 (n=120)	120	1.7	12.5	19.2	10.0	33.3	10.0	-	13.3

※表内において、**上位 1 位**、**上位 2 位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

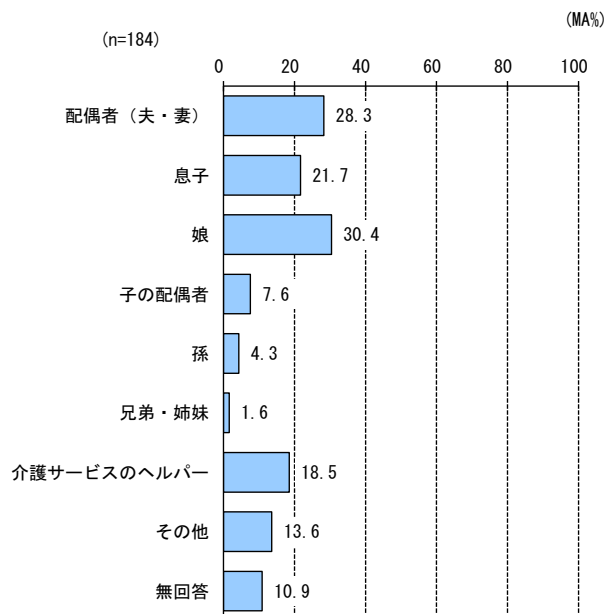
●問1.2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも)

【全体】

- 主な介護者について、「娘」が30.4%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が28.3%、「息子」が21.7%となっています。

【家族構成】

- 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では、「配偶者（夫・妻）」が73.1%で最も多く、いわゆる老々介護の傾向がうかがえます。



単位：%

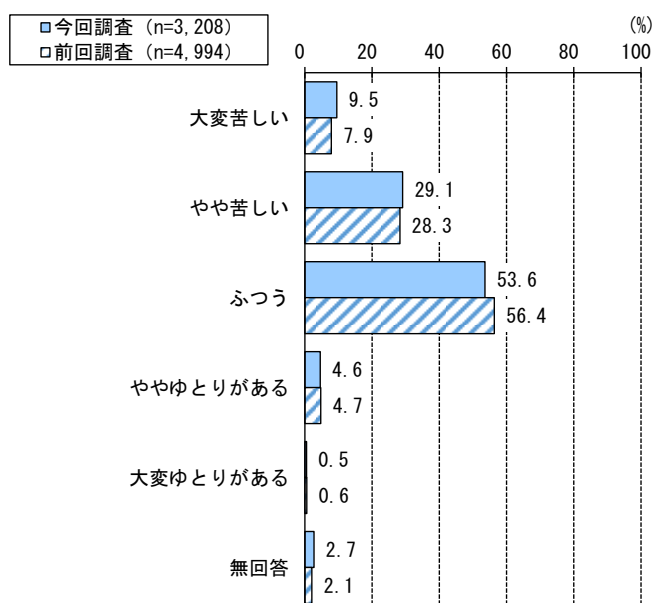
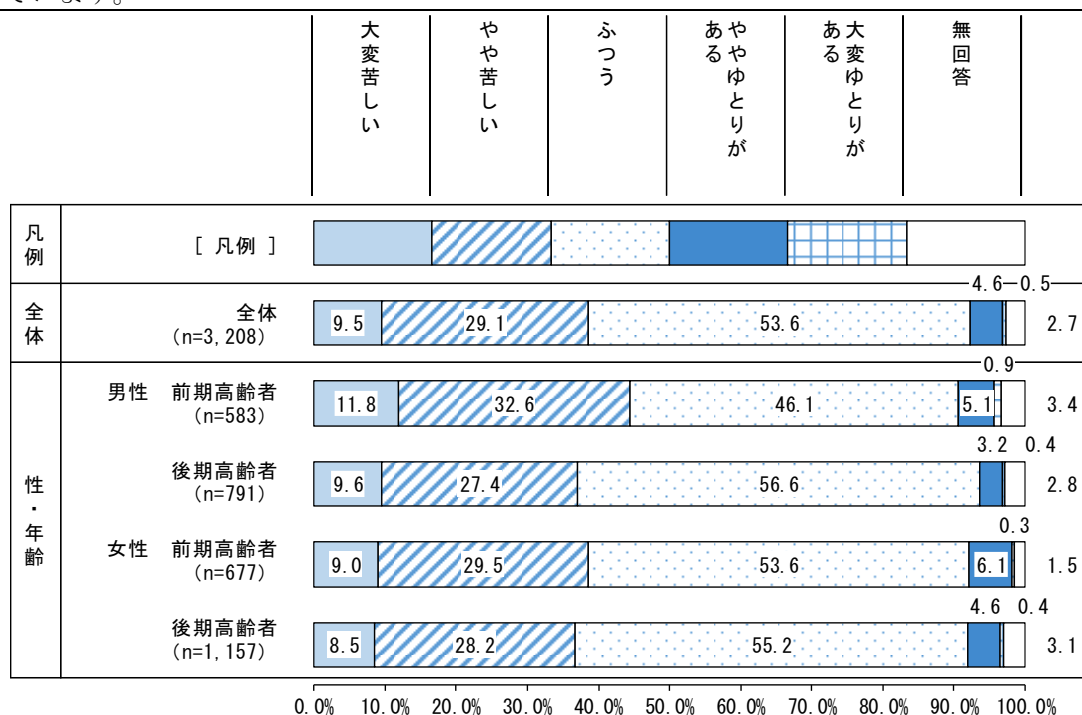
		母数	主な介護者(MA)									単位: %
			配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護 サービスの ヘルパー	その他	無 回答	
全体 (n=184)		184	28.3	21.7	30.4	7.6	4.3	1.6	18.5	13.6	10.9	
性・ 年齢	男性 前期高齢者 (n=12)	12	25.0	16.7	-	-	-	-	25.0	△ 25.0	25.0	
	後期高齢者 (n=47)	47	△ 57.4	19.1	27.7	6.4	2.1	-	14.9	10.6	2.1	
	女性 前期高齢者 (n=18)	18	33.3	16.7	27.8	11.1	-	-	-	△ 27.8	11.1	
	後期高齢者 (n=107)	107	▼ 15.0	24.3	35.5	8.4	6.5	2.8	22.4	11.2	13.1	
家族 構成	1人暮らし (n=59)	59	-	18.6	32.2	6.8	5.1	1.7	△ 42.4	13.6	16.9	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=52)	52	△ 73.1	19.2	▼ 17.3	5.8	1.9	1.9	9.6	7.7	7.7	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=2)	2	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	息子・娘との2世帯 (n=31)	31	22.6	22.6	△ 48.4	9.7	9.7	-	▼ 6.5	12.9	9.7	
	その他 (n=33)	33	▼ 12.1	30.3	30.3	12.1	3.0	-	▼ 3.0	21.2	9.1	

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

●問1.3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)

【全体】

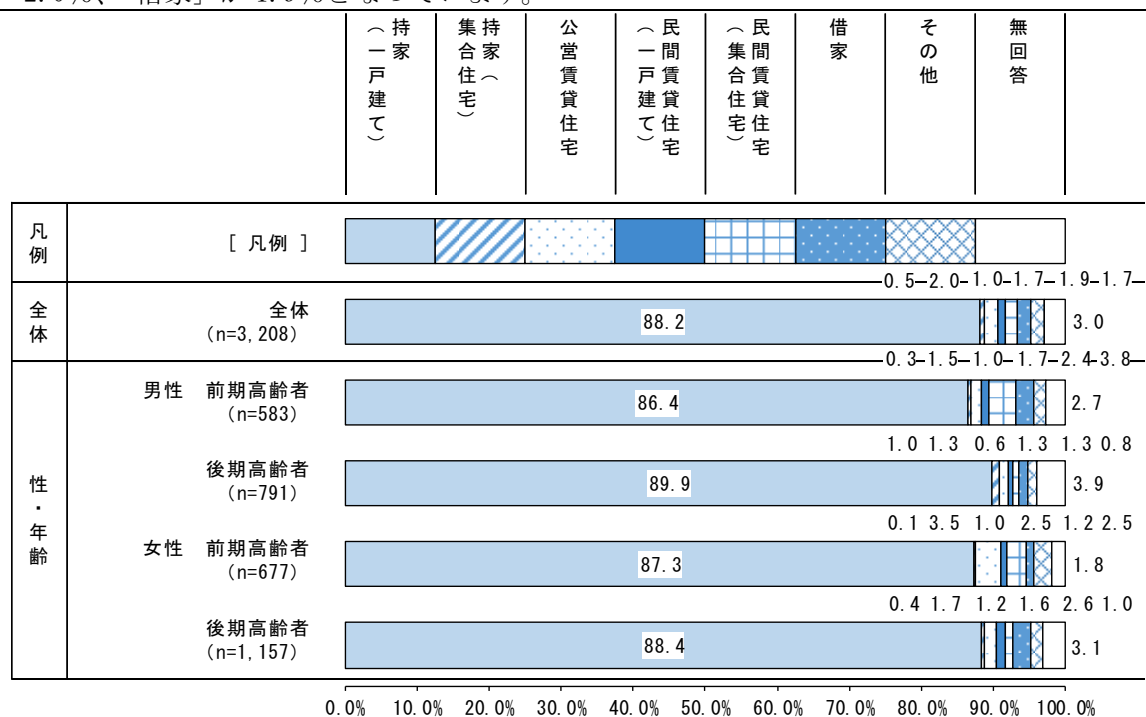
○ 経済状況について、「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は 38.6%となっています。



●問1.4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)

【全体】

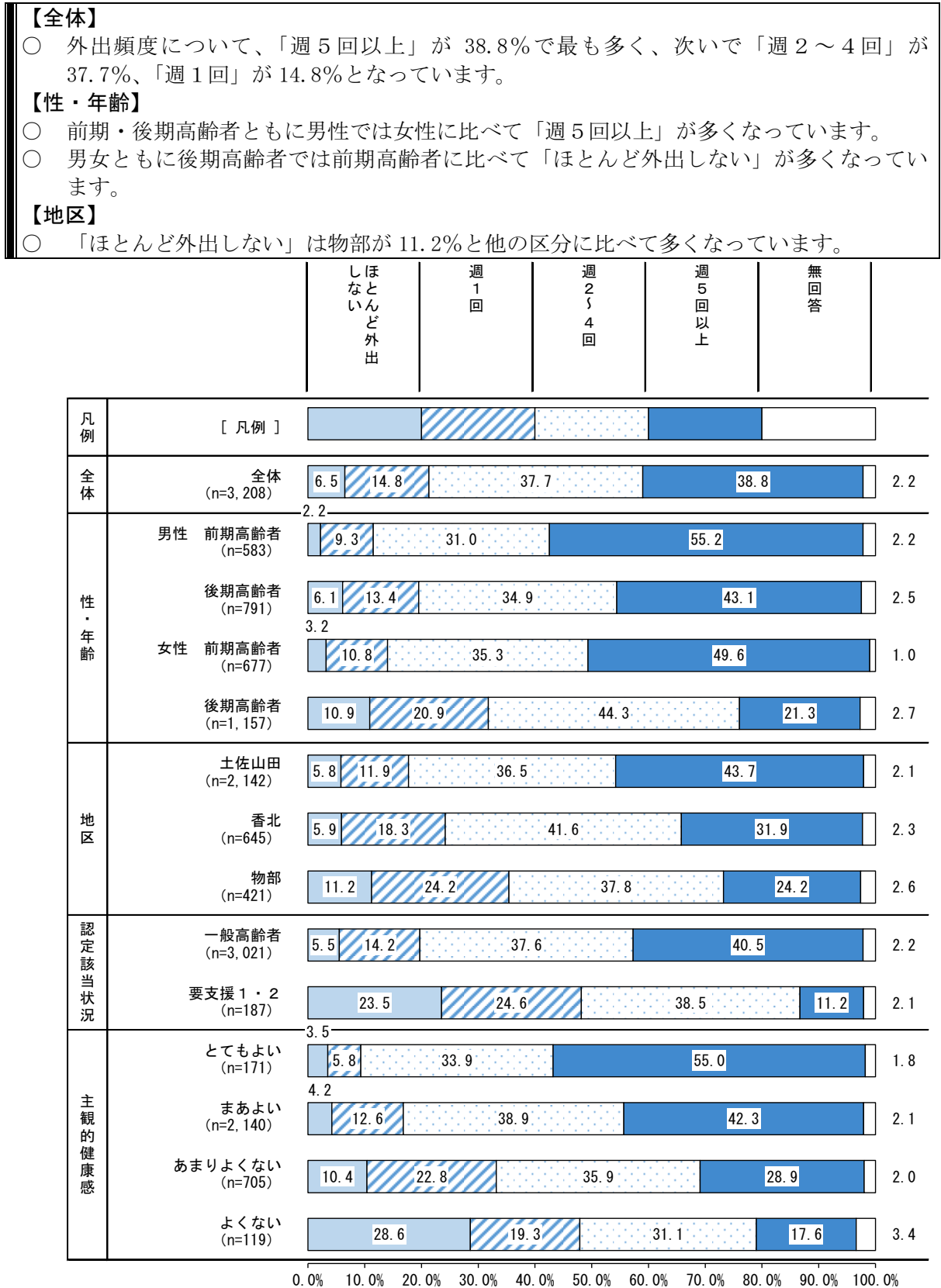
○ 住まいについて、「持家（一戸建て）」が 88.2%で最も多く、次いで「公営賃貸住宅」が 2.0%、「借家」が 1.9%となっています。

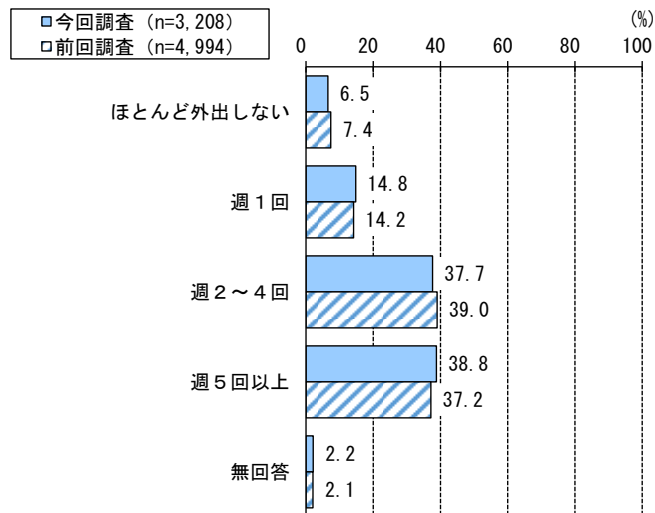


(2) からだを動かすことについて

※リスク判定に関わる設問項目は、「4. リスク判定」に掲載しています。

●問2.6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)

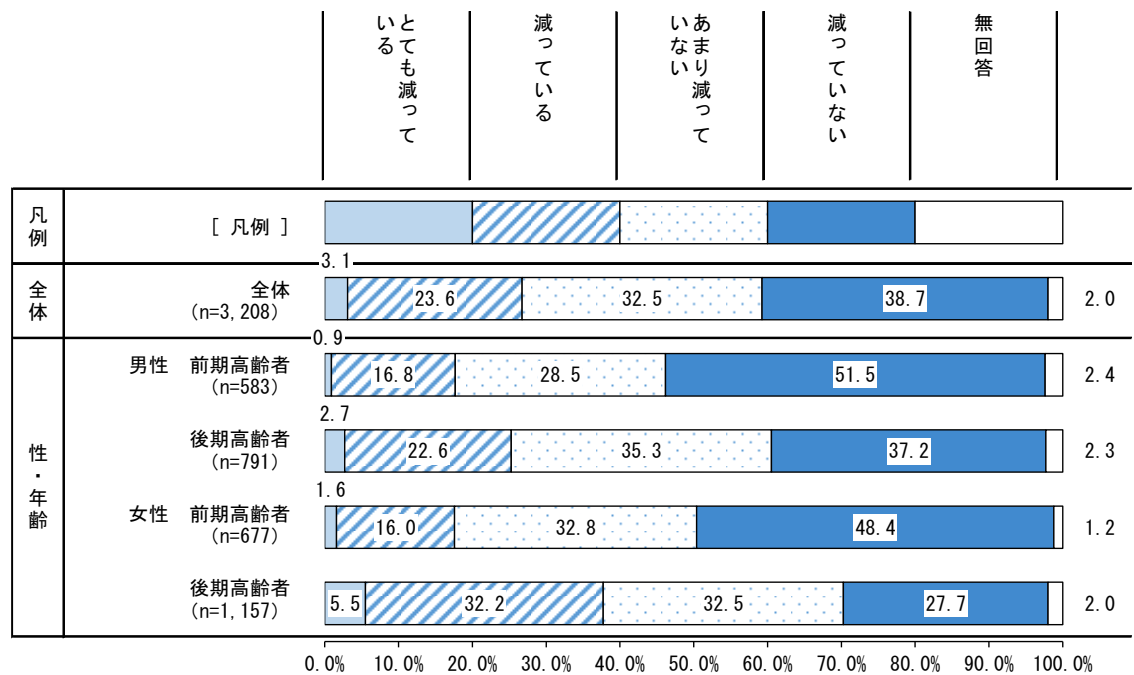




●問2.7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ)

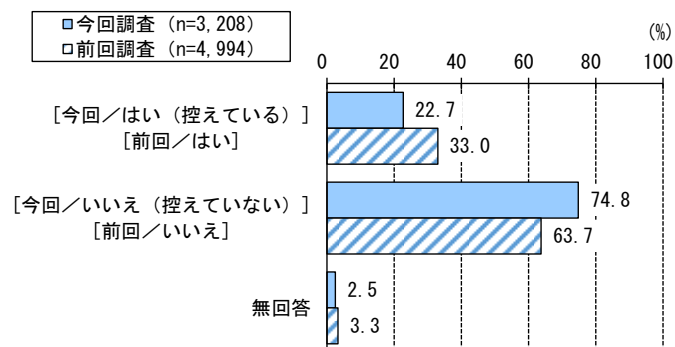
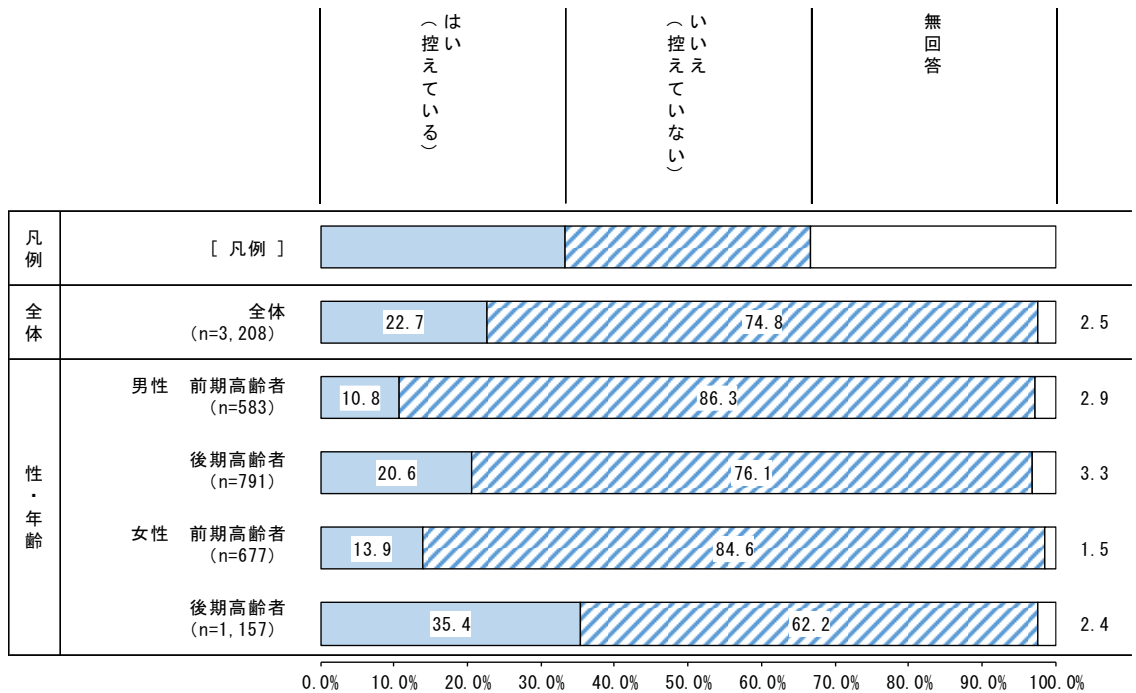
【全体】

○ 昨年と比べて外出の回数について、「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている方”は26.7%となっています。



●問2.8 外出を控えていますか。(1つだけ)

【全体】	
○	外出を控えているかについて、「はい（控えている）」が 22.7%、「いいえ（控えていない）」が 74.8%となっています。
【前回比較】	
○	「はい（控えている）」は減少しています。



●問2.8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

【全体】

- 外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が49.8%で最も多く、次いで「交通手段がない」が23.3%、「トイレの心配（失禁など）」が20.4%となっています。

【性・年齢】

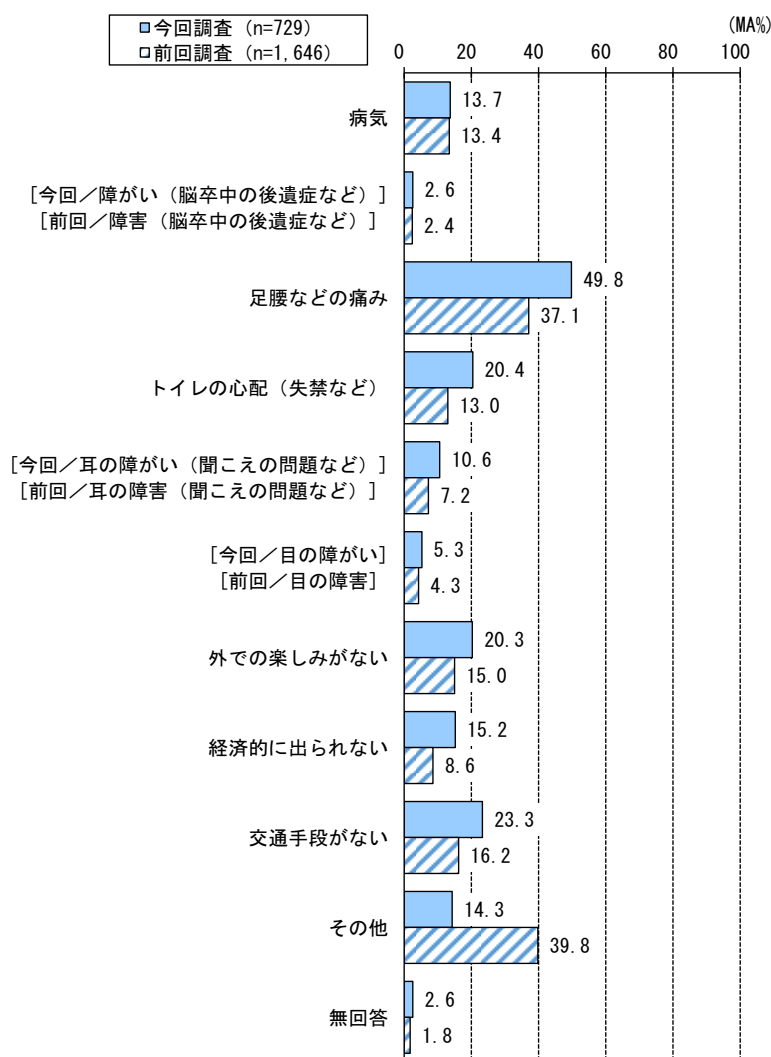
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「足腰などの痛み」が多くなっています。
○ 「外での楽しみがない」は男性 後期高齢者が31.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「足腰などの痛み」は要支援1・2が64.9%と一般高齢者の47.1%に比べて多くなっています。

【前回比較】

- 「足腰などの痛み」「トイレの心配」「経済的に出られない」「交通手段がない」などが増加しています。



単位：％

		母数	外出を控えている理由 (MA)					
			病 気	な ど (脳 卒 中 の 後 遺 症)	障 が い 足 腰 な ど の 痛 み	(ト イ レ の 心 配 (失 禁 な ど))	ど (耳 の 障 が い の 問 題 な い)	目 の 障 が い
全体 (n=729)		729	13.7	2.6	49.8	20.4	10.6	5.3
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=63)	63	14.3	4.8	▼ 31.7	23.8	6.3	6.3
	後期高齢者 (n=163)	163	19.0	4.3	45.4	20.2	14.1	7.4
	女性 前期高齢者 (n=94)	94	14.9	-	▼ 36.2	10.6	4.3	2.1
	後期高齢者 (n=409)	409	11.2	2.2	57.5	22.2	11.2	5.1
地区	土佐山田 (n=461)	461	15.2	2.2	51.8	19.1	10.6	5.9
	香北 (n=150)	150	10.0	3.3	49.3	23.3	11.3	3.3
	物部 (n=118)	118	12.7	3.4	42.4	22.0	9.3	5.9
当該状況	一般高齢者 (n=618)	618	13.8	2.3	47.1	18.6	9.9	5.0
	要支援 1・2 (n=111)	111	13.5	4.5	△ 64.9	△ 30.6	14.4	7.2

単位：％

		母数	外出を控えている理由 (MA)				
			い外 での 楽 し み が な い	い経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
全体 (n=729)		729	20.3	15.2	23.3	14.3	2.6
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=63)	63	17.5	△ 30.2	▼ 7.9	20.6	1.6
	後期高齢者 (n=163)	163	△ 31.3	16.6	19.0	7.4	2.5
	女性 前期高齢者 (n=94)	94	23.4	17.0	14.9	△ 28.7	1.1
	後期高齢者 (n=409)	409	15.6	12.0	29.3	12.7	3.2
地区	土佐山田 (n=461)	461	20.8	14.1	23.2	14.1	2.2
	香北 (n=150)	150	21.3	16.0	22.7	11.3	4.7
	物部 (n=118)	118	16.9	18.6	24.6	18.6	1.7
当該状況	一般高齢者 (n=618)	618	20.2	15.7	21.7	15.2	2.4
	要支援 1・2 (n=111)	111	20.7	12.6	32.4	9.0	3.6

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

●問2.9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

【全体】

- 外出する際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が 66.2%で最も多く、次いで「徒歩」が 40.2%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 26.0%となっています。

【性・年齢】

- 「自動車（人に乗せてもらう）」は女性の後期高齢者が 41.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「自動車（自分で運転）」が多くなっています。

【地区】

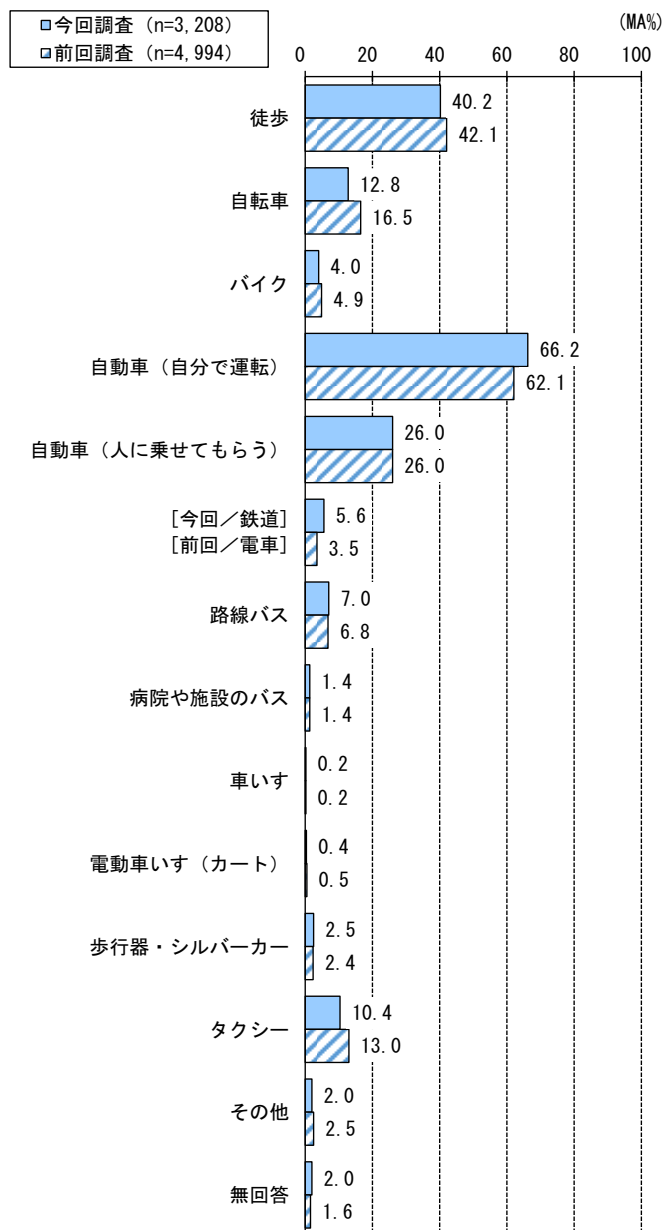
- 「路線バス」は物部が 18.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「自動車（人に乗せてもらう）」は要支援 1・2 が 49.2%と一般高齢者の 24.5%に比べて多くなっています。

【前回比較】

- 「自動車（自分で運転）」は増加している一方、「自転車」「タクシー」などは減少しています。



単位：％

		母数	外出する際の移動手段(MA)						
			徒歩	自転車	バイク	(自動車 で運転)	う(自動車 に乗せてもら	鉄道	路線バス
全体 (n=3,208)		3,208	40.2	12.8	4.0	66.2	26.0	5.6	7.0
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=583)	583	38.8	17.7	9.9	△ 88.0	▼ 7.0	3.9	2.4
	後期高齢者 (n=791)	791	41.3	14.5	3.7	△ 78.1	16.8	3.5	4.0
	女性 前期高齢者 (n=677)	677	39.9	15.2	2.5	△ 77.0	26.6	6.9	4.6
	後期高齢者 (n=1,157)	1,157	40.3	7.8	2.1	▼ 40.9	△ 41.4	7.1	12.9
地区	土佐山田 (n=2,142)	2,142	41.8	16.4	4.2	66.2	26.7	7.1	4.2
	香北 (n=645)	645	37.2	7.3	3.7	69.0	24.7	2.6	9.0
	物部 (n=421)	421	36.3	3.1	3.6	62.0	24.2	2.6	△ 18.5
当該状況	一般高齢者 (n=3,021)	3,021	40.8	13.4	4.2	69.1	24.5	5.9	7.1
	要支援 1・2 (n=187)	187	▼ 29.4	3.2	0.5	▼ 20.3	△ 49.2	1.6	6.4

単位：％

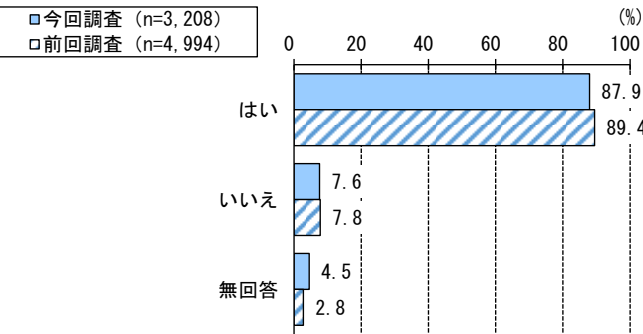
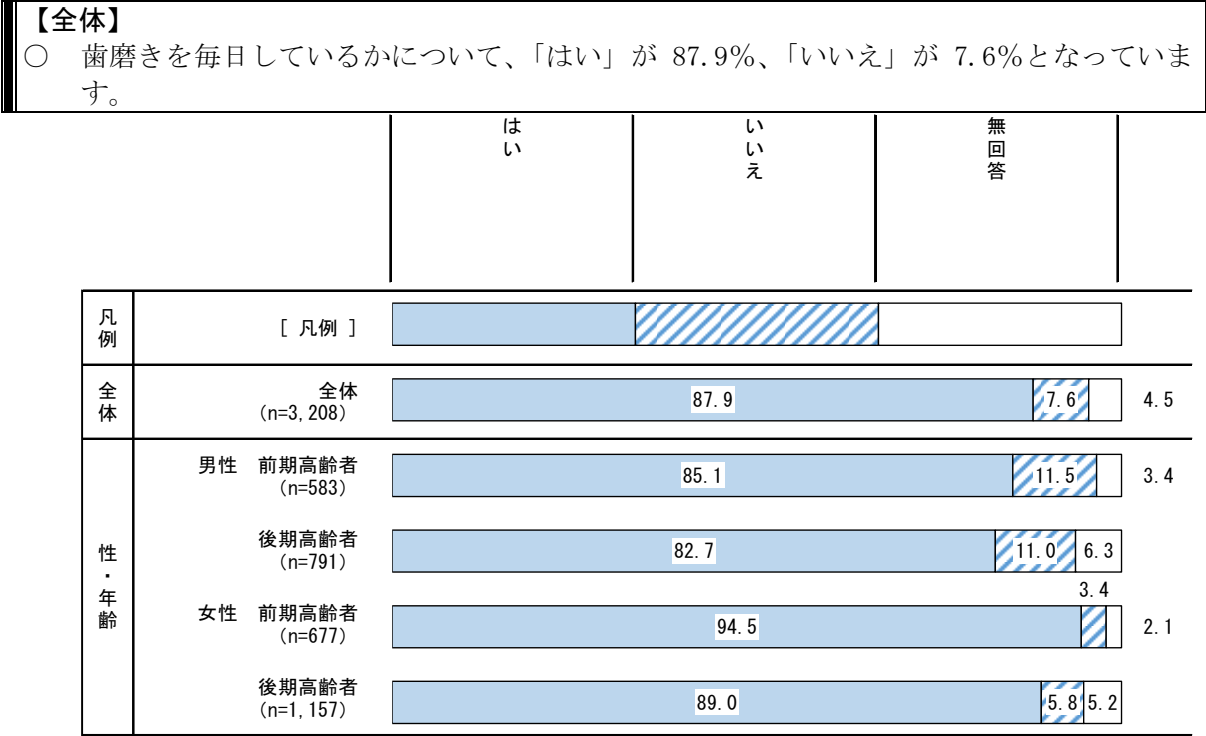
		母数	外出する際の移動手段(MA)						
			病院や施設のバス	車いす	(電動カート)	カ歩 行 器 ・ シルバ	タクシ	その他	無回答
全体 (n=3,208)		3,208	1.4	0.2	0.4	2.5	10.4	2.0	2.0
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=583)	583	0.3	-	0.2	0.3	1.9	0.7	2.2
	後期高齢者 (n=791)	791	0.9	-	0.6	1.3	5.7	1.1	2.4
	女性 前期高齢者 (n=677)	677	0.3	0.3	-	0.4	4.9	1.3	0.7
	後期高齢者 (n=1,157)	1,157	2.9	0.3	0.7	5.5	△ 21.3	3.7	2.2
地区	土佐山田 (n=2,142)	2,142	0.2	0.2	0.5	2.5	10.2	1.9	1.7
	香北 (n=645)	645	3.6	0.2	0.3	2.6	9.3	2.2	3.1
	物部 (n=421)	421	3.8	-	0.2	1.9	13.3	2.6	1.7
当該状況	一般高齢者 (n=3,021)	3,021	0.9	0.2	0.3	1.5	9.0	1.7	2.0
	要支援 1・2 (n=187)	187	8.6	0.5	2.1	△ 18.2	△ 33.2	8.0	1.6

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

(3) 食べることについて

※リスク判定に関わる設問項目は、「4. リスク判定」に掲載しています。

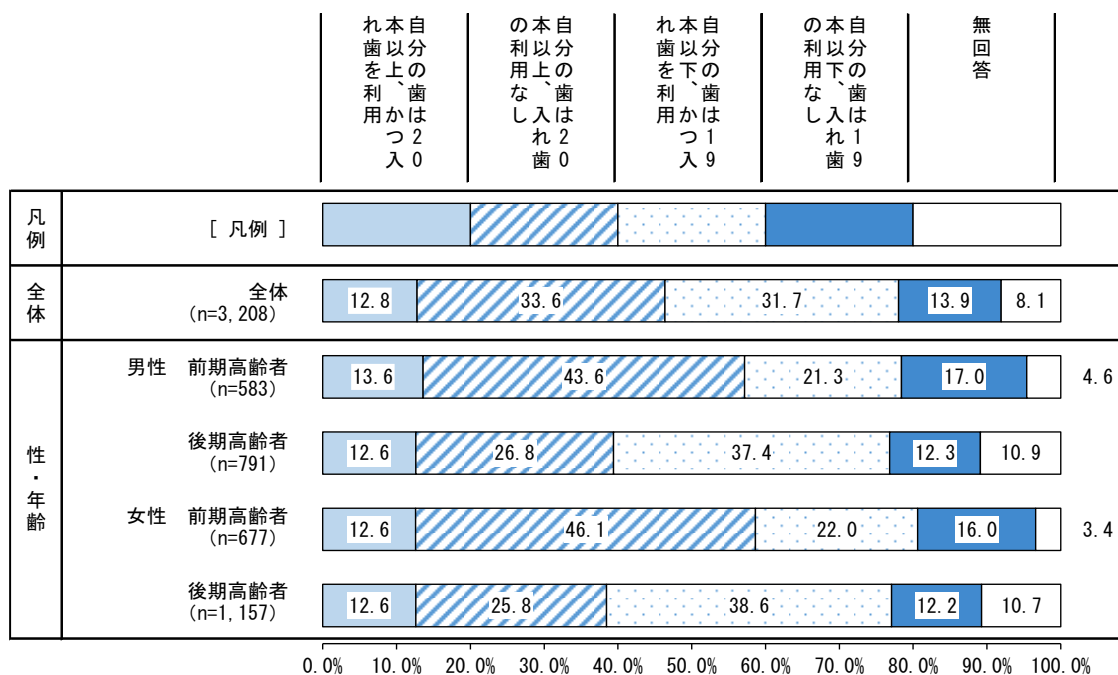
●問3.5 歯磨きを毎日していますか。(1つだけ)



●問3.6 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つだけ)

【全体】

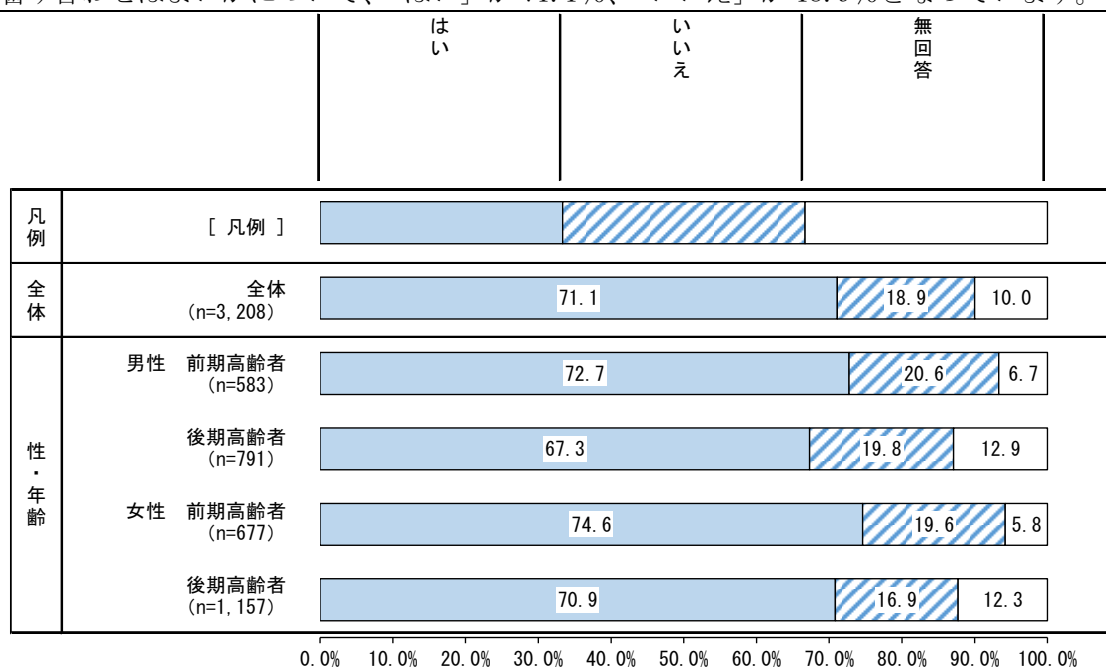
- 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 33.6%で最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 31.7%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 13.9%となっています。



●問3.6-1 噛み合わせはよいですか。(1つだけ)

【全体】

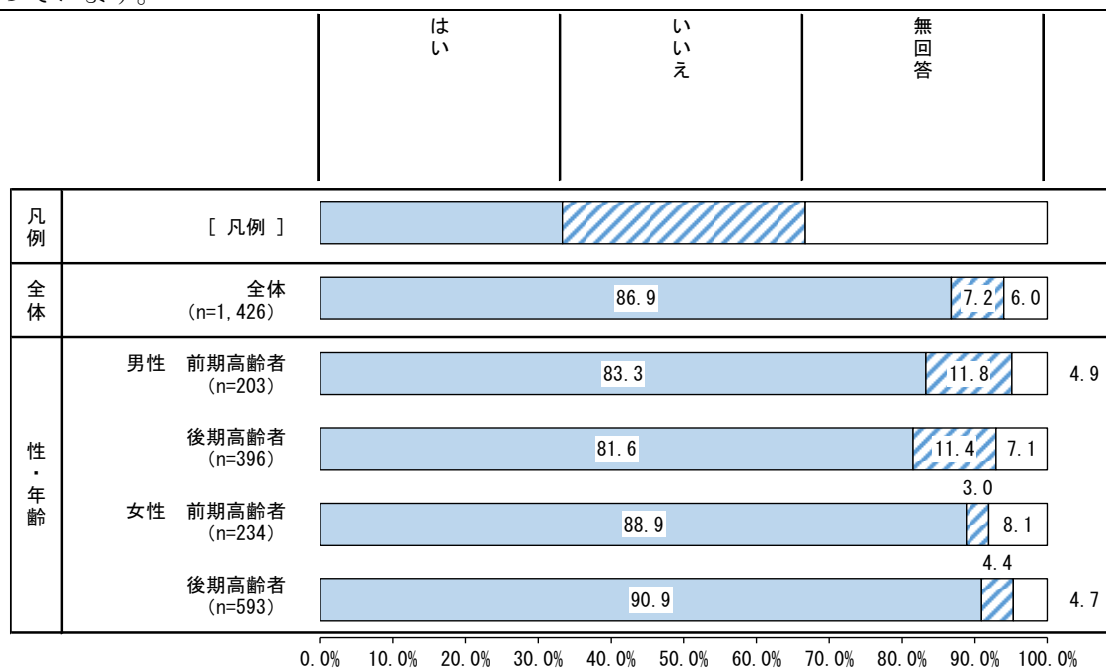
- 噛み合わせはよいかについて、「はい」が 71.1%、「いいえ」が 18.9%となっています。



●問3.6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ)

【全体】

○ 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が 86.9%、「いいえ」が 7.2%となっています。



●問3.8 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つだけ)

【全体】

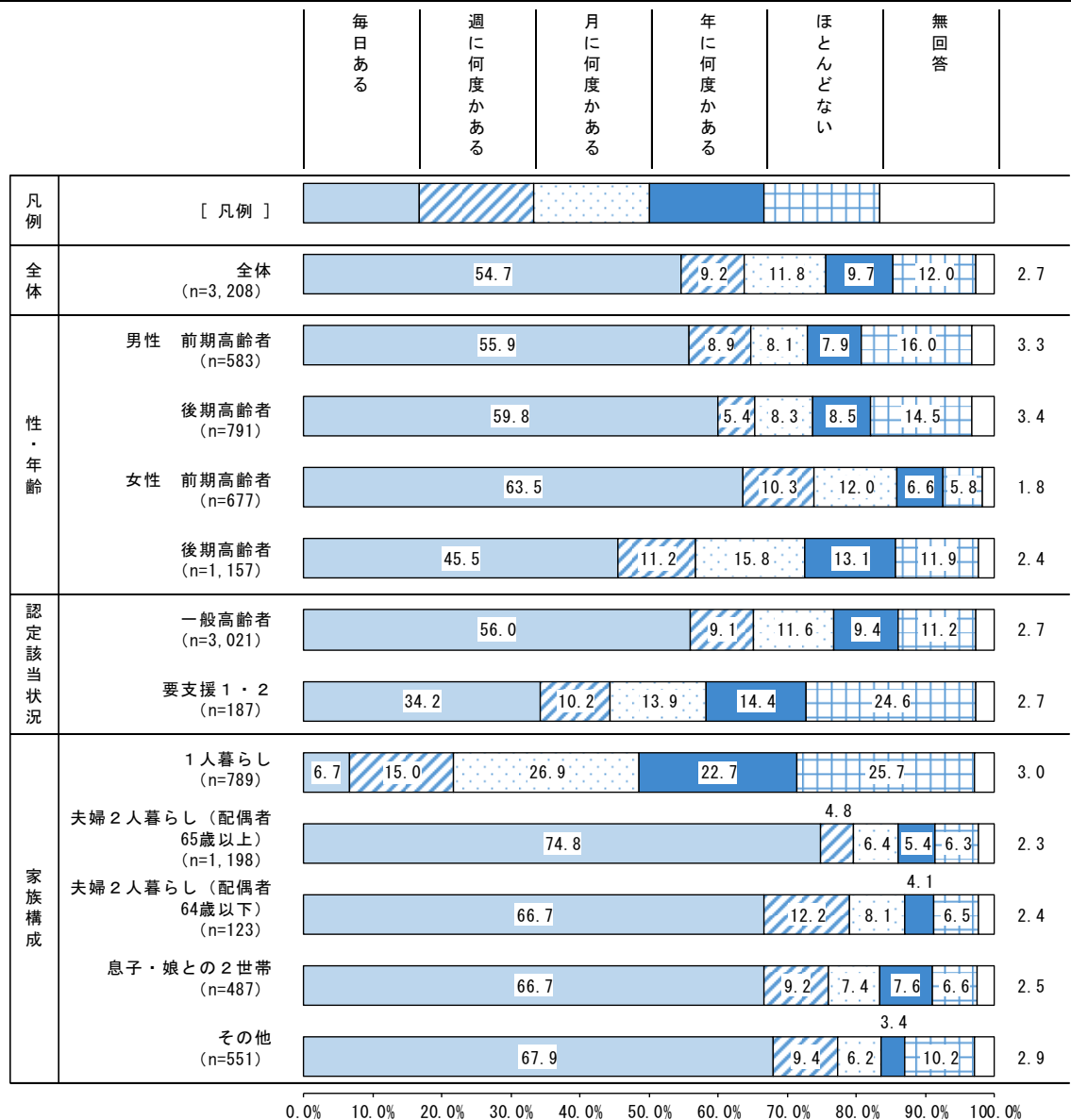
○ 共食の有無について、「年に何度かある」「ほとんどない」を合わせた“孤食傾向の方”は21.7%となっています。

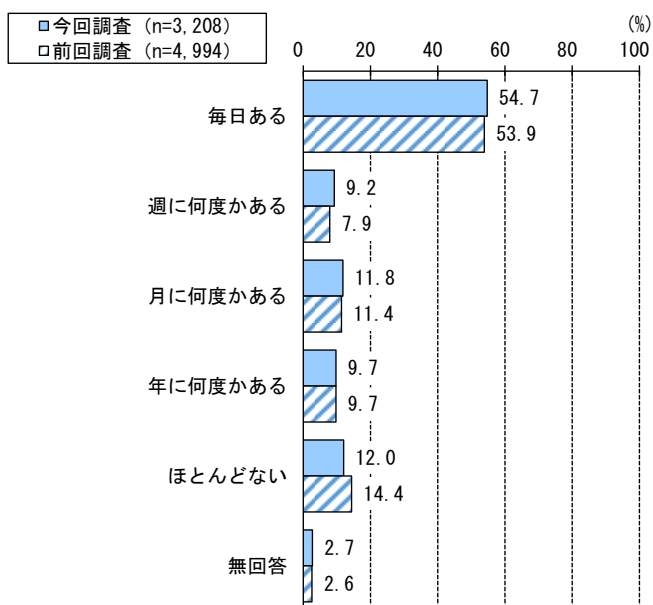
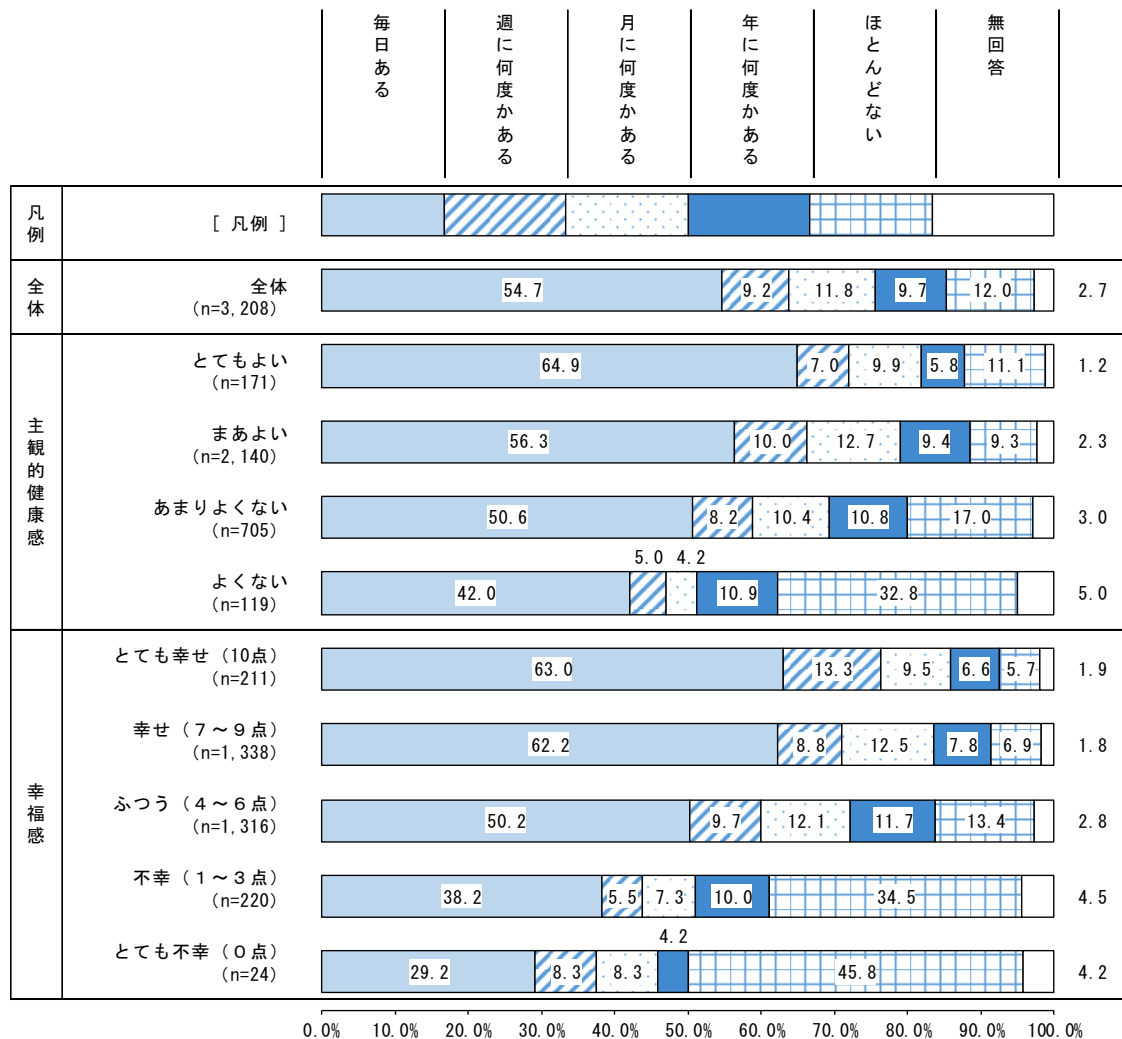
【認定該当状況】

○ 「毎日ある」は一般高齢者が56.0%と要支援1・2の34.2%に比べて多くなっています。

【家族構成】

○ “孤食傾向の方”は1人暮らしが48.4%と他の区分に比べて多くなっています。

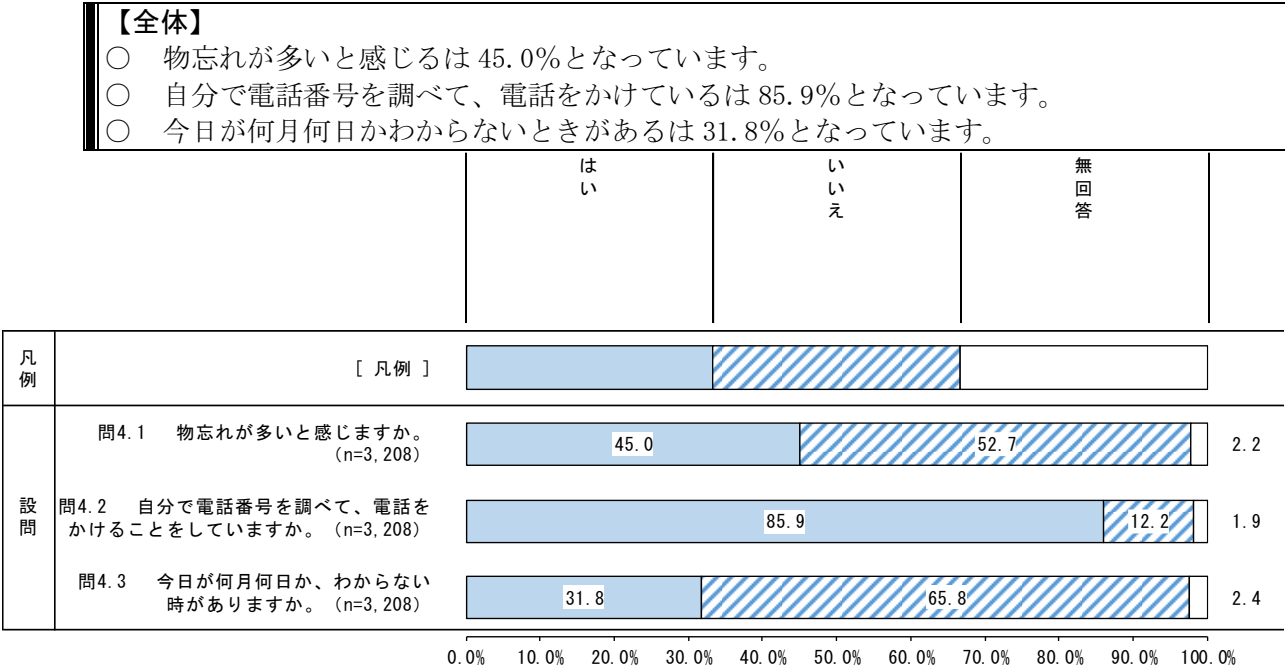




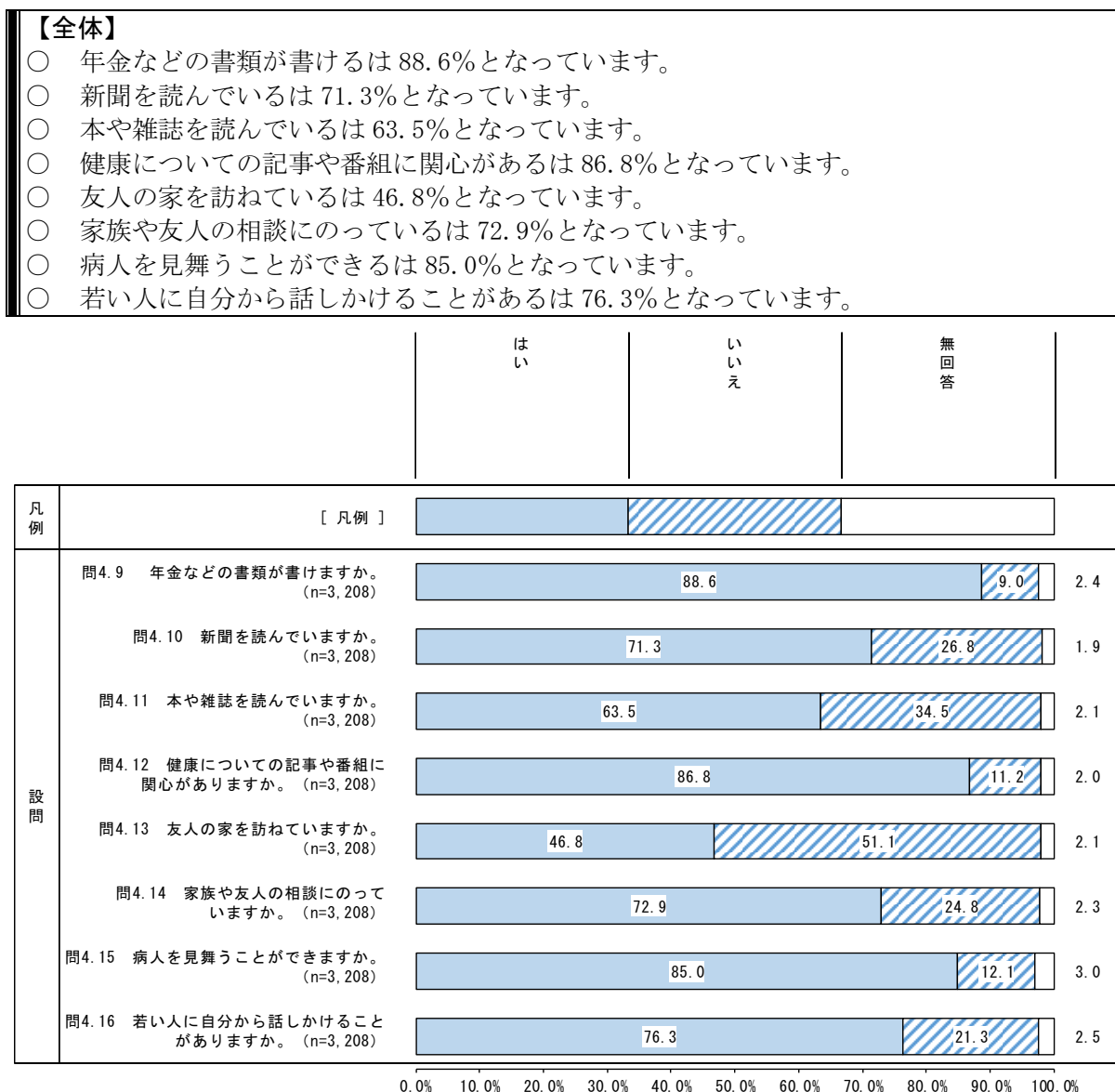
(4) 毎日の生活について

※リスク判定に関わる設問項目は、「4. リスク判定」に掲載しています。

- 問4.1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ)
- 問4.2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ)
- 問4.3 今日が何月何日か、わからない時がありますか。(1つだけ)

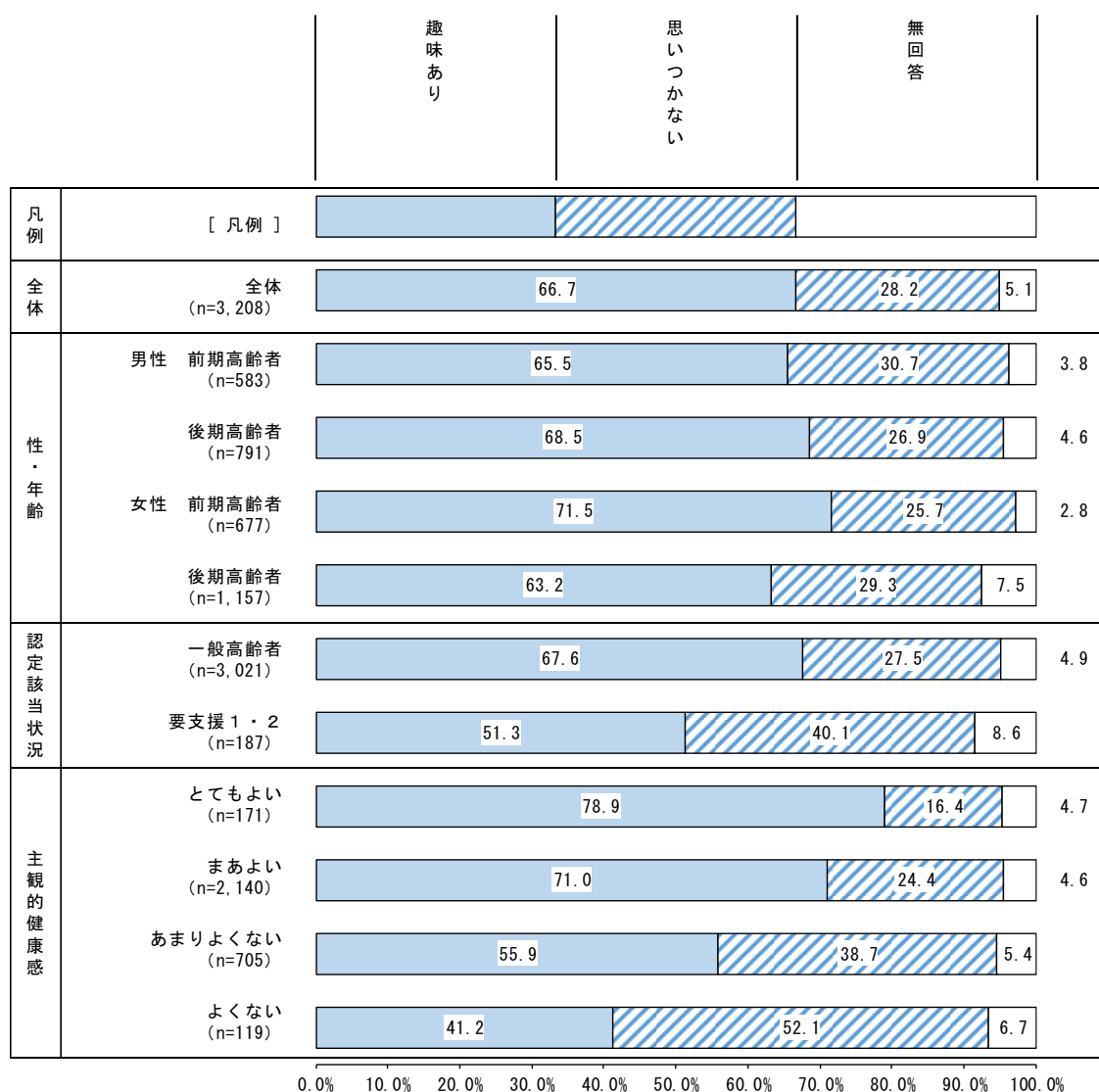


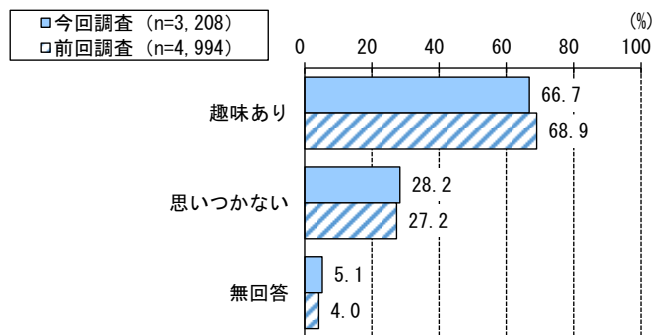
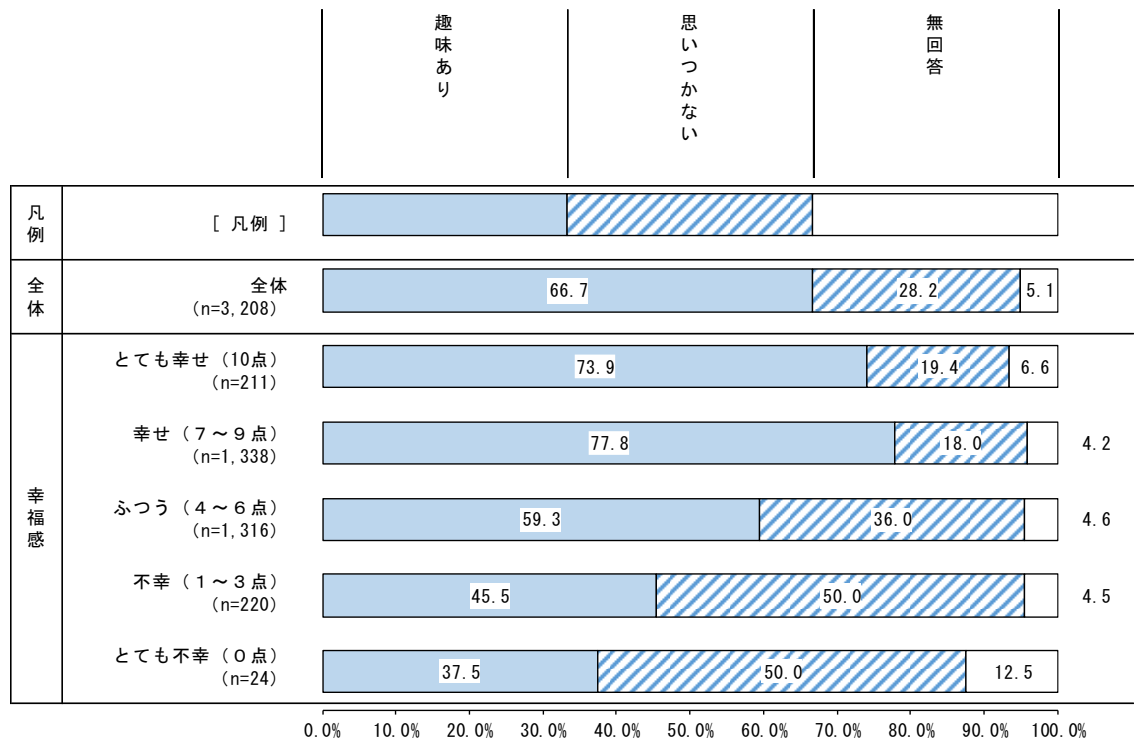
- 問4.9 年金などの書類が書けますか。(1つだけ)
- 問4.10 新聞を読んでいますか。(1つだけ)
- 問4.11 本や雑誌を読んでいますか。(1つだけ)
- 問4.12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つだけ)
- 問4.13 友人の家を訪ねていますか。(1つだけ)
- 問4.14 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ)
- 問4.15 病人を見舞うことができますか。(1つだけ)
- 問4.16 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけ)



●問4.17 趣味はありますか。(1つだけ)

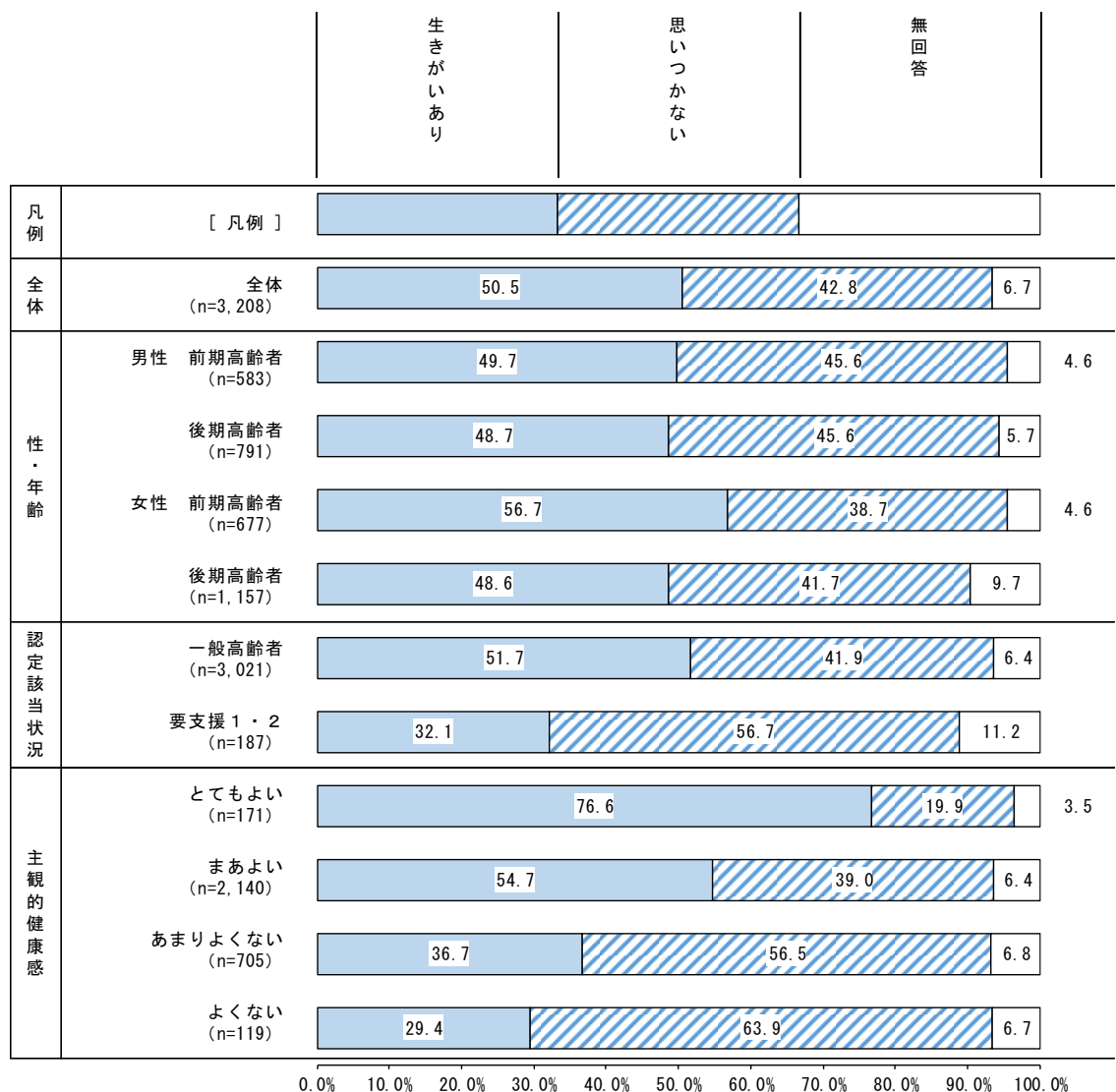
- 【全体】
- 趣味の有無について、「趣味あり」が 66.7%、「思いつかない」が 28.2%となっています。
- 【性・年齢】
- 「趣味あり」は女性の後期高齢者が 63.2%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【認定該当状況】
- 「趣味あり」は一般高齢者が 67.6%と要支援1・2の 51.3%に比べて多くなっています。
- 【主観的健康感】
- 健康感がよくないほど「趣味あり」が少なくなる傾向がみられます。
- 【幸福感】
- 「趣味あり」はとても幸せ(10点)が 73.9%、幸せ(7～9点)が 77.8%と他の区分に比べて多くなっています。

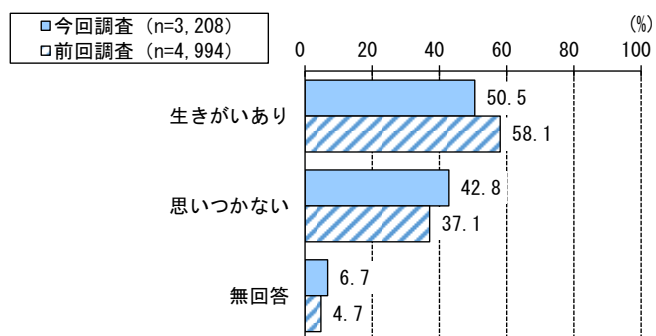
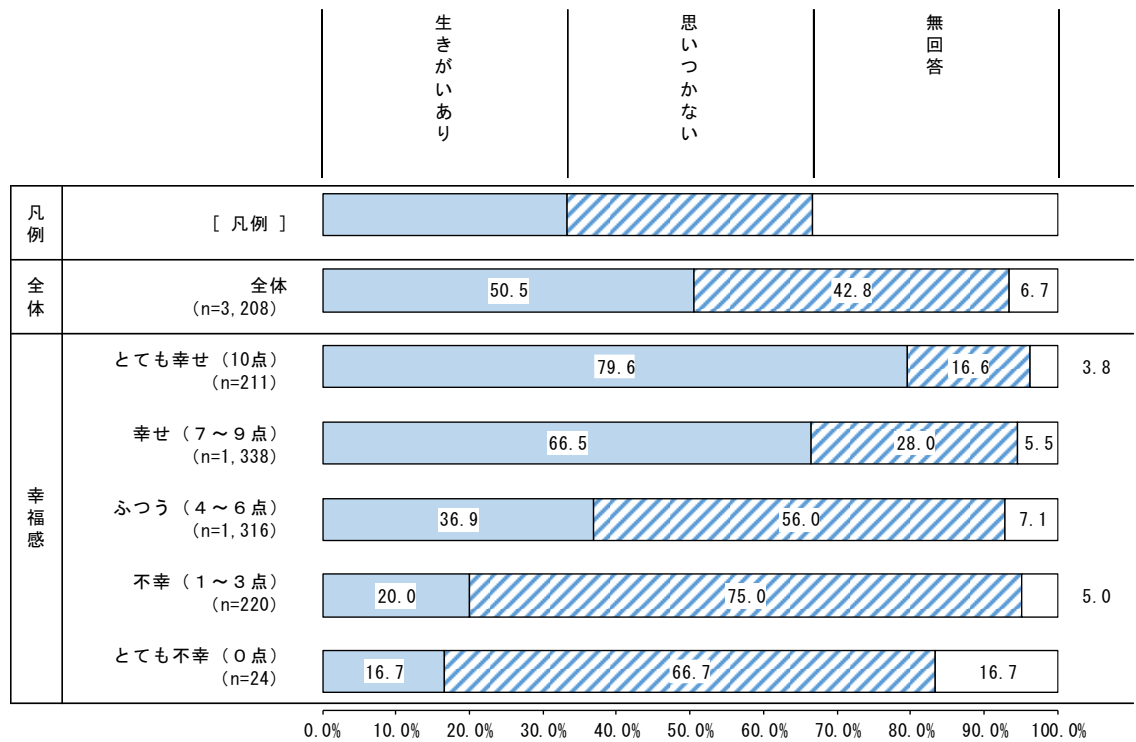




●問4. 18 生きがいがありますか。(1つだけ)

【全体】	
○	生きがいの有無について、「生きがいあり」が 50.5%、「思いつかない」が 42.8%となっています。
【性・年齢】	
○	「生きがいあり」は女性 前期高齢者が 56.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「生きがいあり」は一般高齢者が 51.7%と要支援1・2の 32.1%に比べて多くなっています。
【主観的健康感】	
○	健康感がよくないほど「生きがいあり」が少なくなる傾向がみられます。
【幸福感】	
○	「思いつかない」はとても幸せ(10点)が 16.6%、幸せ(7～9点)が 28.0%と他の区分に比べて少なくなっています。
【前回比較】	
○	「生きがいあり」は減少しています。



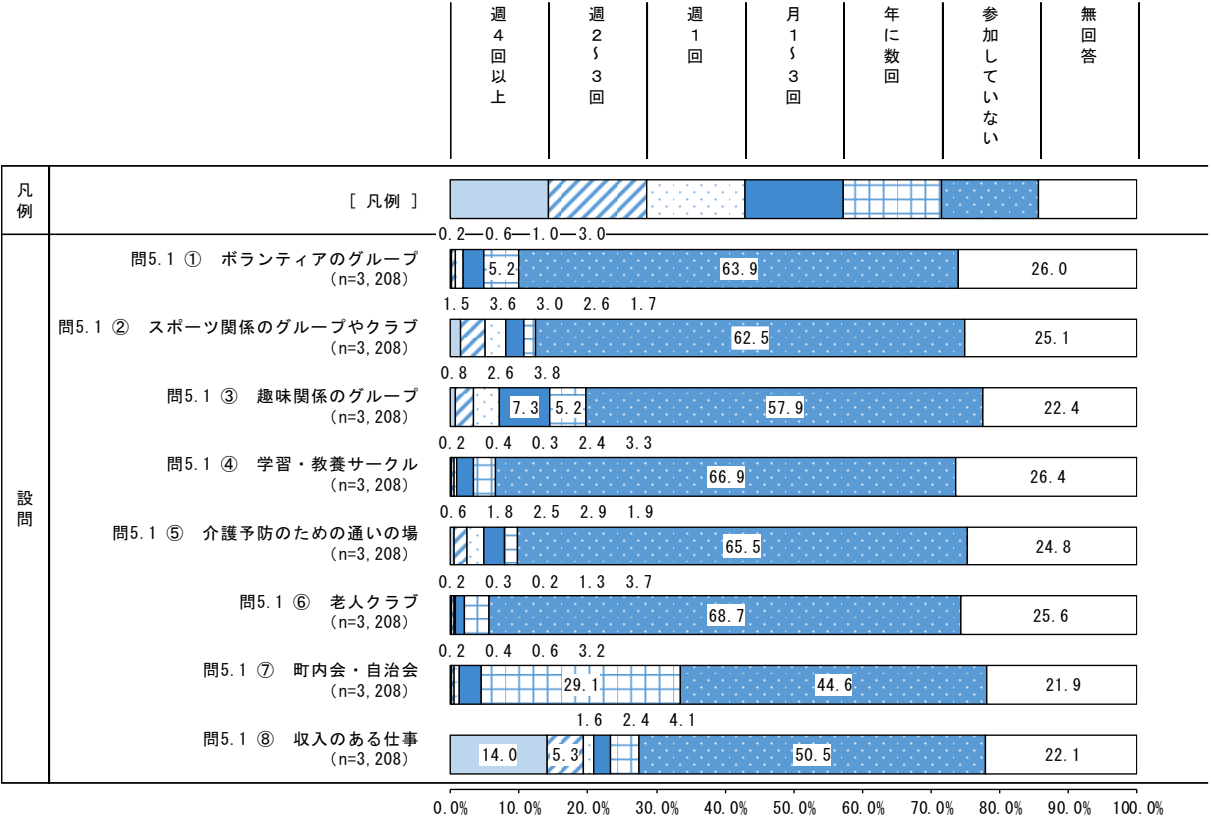


(5) 地域での活動について

●問5.1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑧それぞれ1つ)

【全体】
○ 会・グループ等への参加頻度について、「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は⑧収入のある仕事が20.9%で最も多く、次いで②スポーツ関係のグループやクラブが8.1%、③趣味関係のグループが7.2%、⑤介護予防のための通いの場が4.9%、①ボランティアのグループが1.8%、⑦町内会・自治会が1.2%、④学習・教養サークルが0.9%、⑥老人クラブが0.7%となっています。



①ボランティアのグループ

【全体】

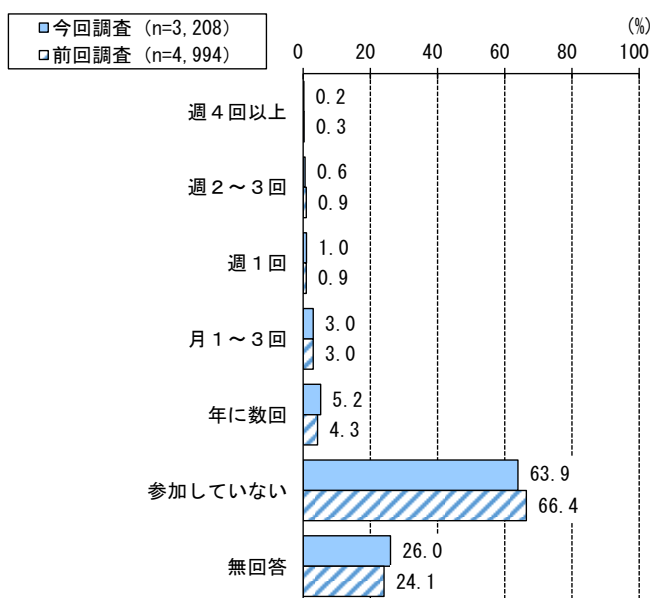
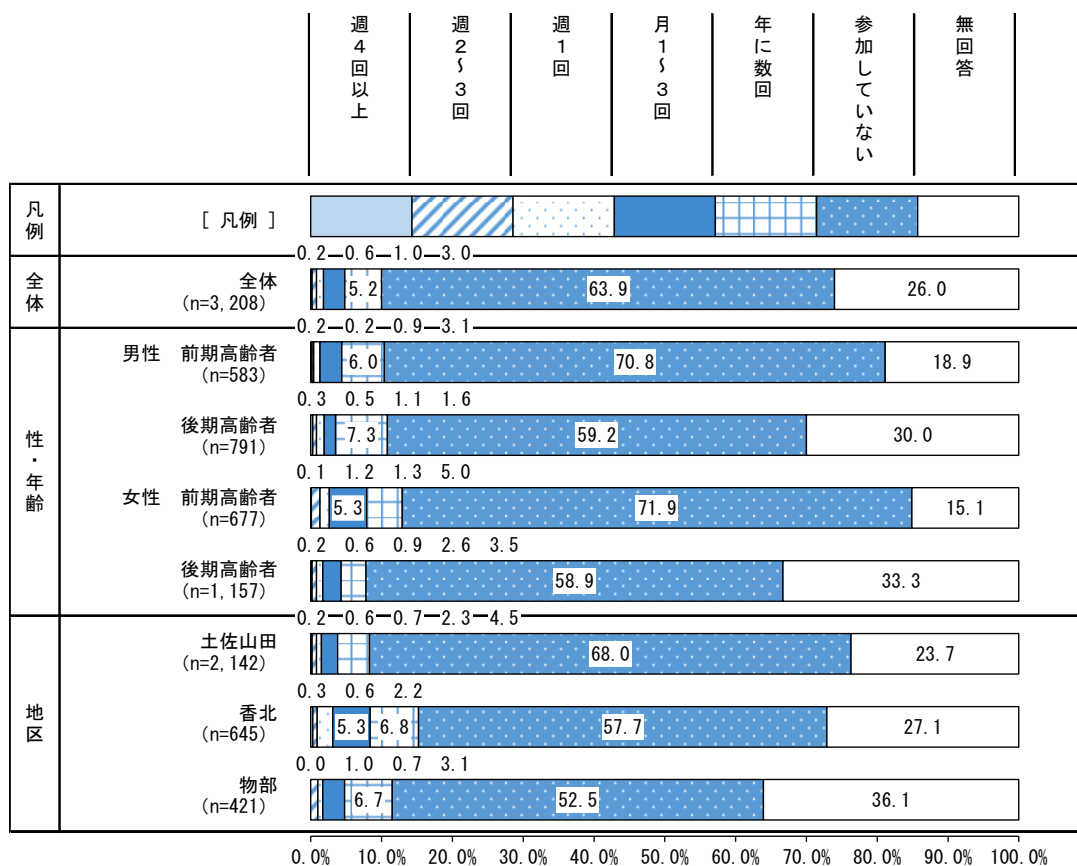
- ボランティアのグループへの参加頻度について、「参加していない」が 63.9%で最も多く、次いで「年に数回」が 5.2%、「月 1～3 回」が 3.0%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「参加していない」が多くなっています。

【地区】

- 「参加していない」は土佐山田が 68.0%と他の区分に比べて多くなっています。



②スポーツ関係のグループやクラブ

【全体】

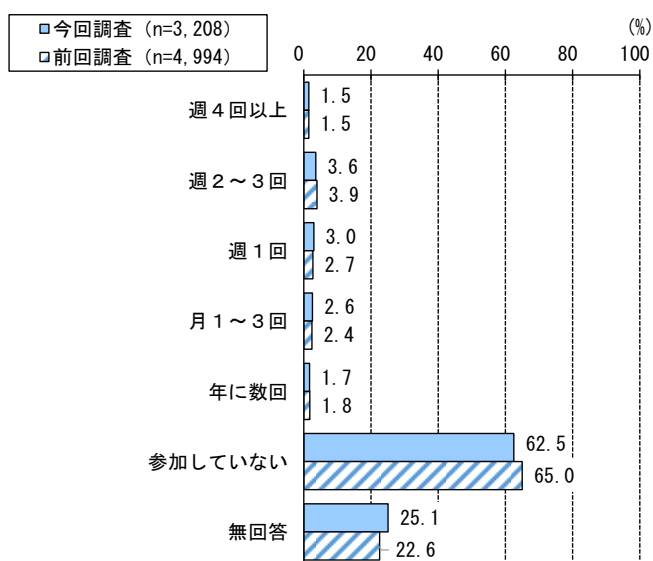
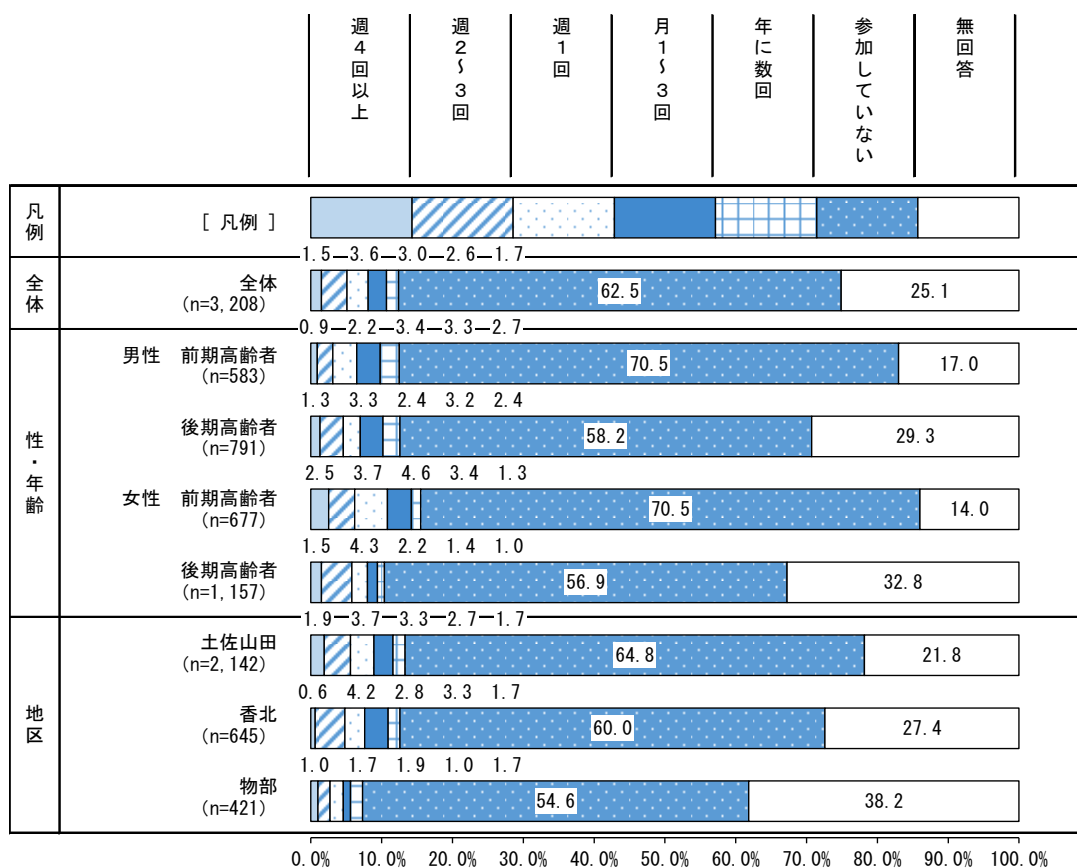
- スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度について、「参加していない」が62.5%で最も多く、次いで「週2～3回」が3.6%、「週1回」が3.0%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「参加していない」が多くなっています。

【地区】

- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は土佐山田が8.9%と他の区分と比較して多くなっています。



③趣味関係のグループ

【全体】

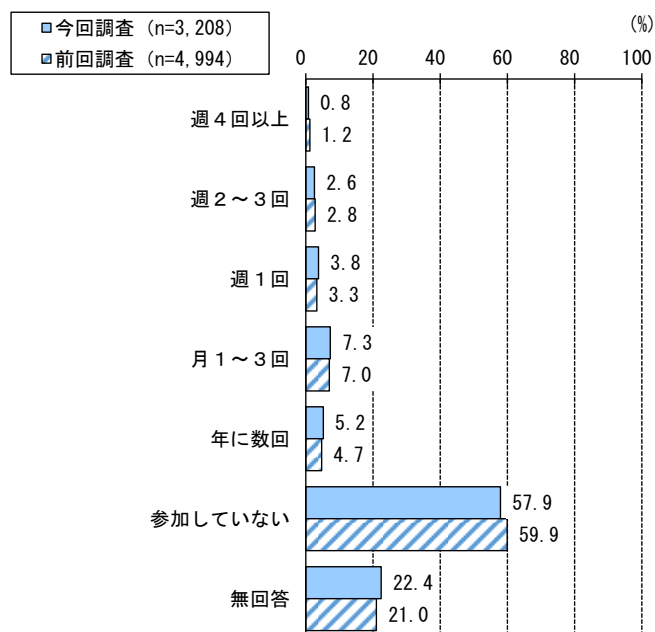
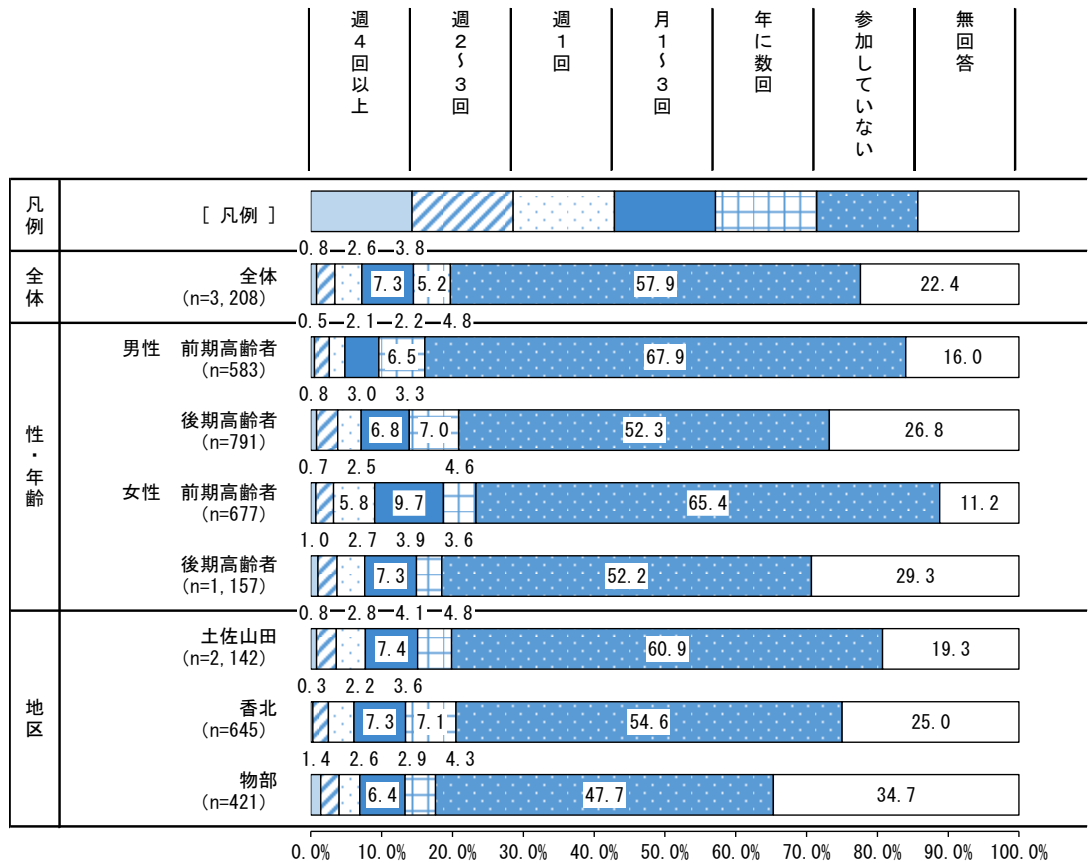
- 趣味関係のグループへの参加頻度について、「参加していない」が57.9%で最も多く、次いで「月1～3回」が7.3%、「年に数回」が5.2%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「参加していない」が多くなっています。

【地区】

- 「参加していない」は物部が47.7%と他の区分に比べて少なくなっています。



④学習・教養サークル

【全体】

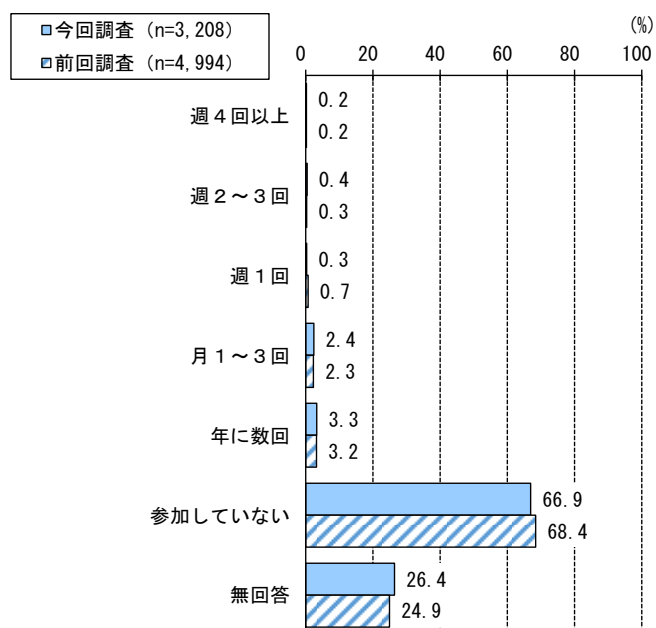
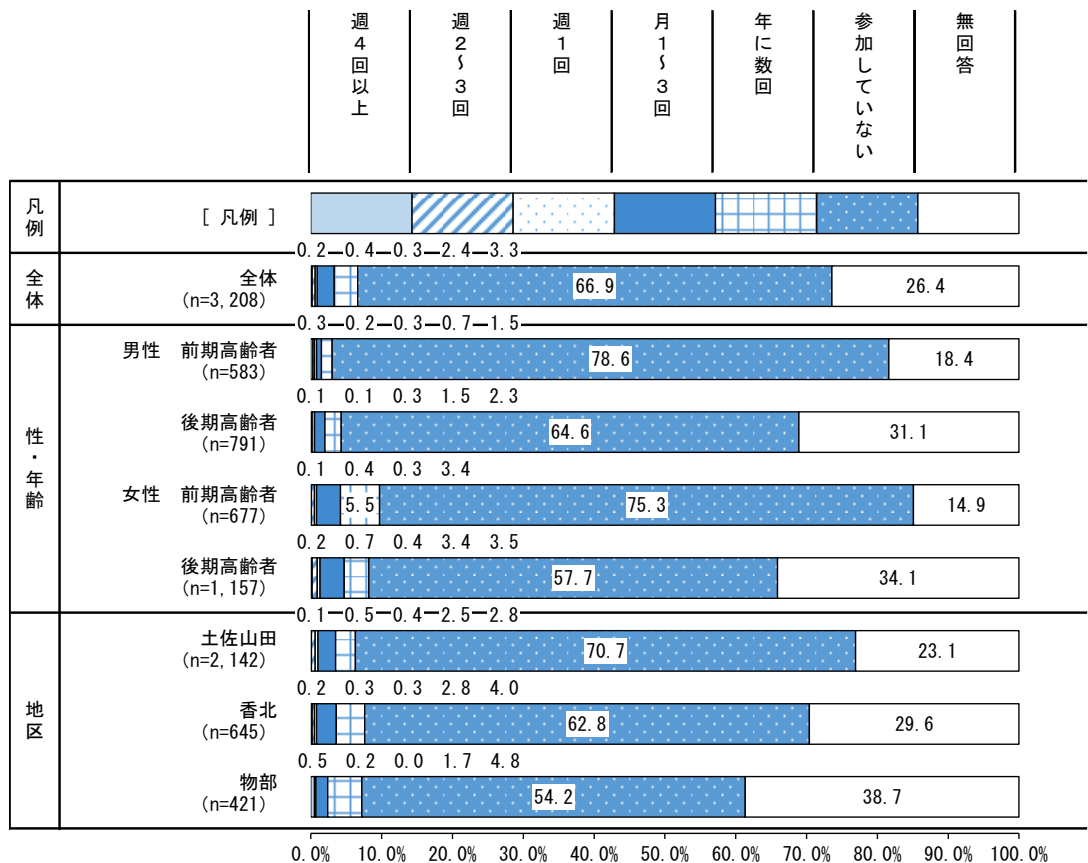
- 学習・教養サークルへの参加頻度について、「参加していない」が 66.9%で最も多く、次いで「年に数回」が 3.3%、「月 1～3 回」が 2.4%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「参加していない」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「参加していない」が多くなっています。

【地区】

- 「参加していない」は物部が 54.2%と他の区分に比べて少なくなっています。



⑤介護予防のための通いの場

【全体】

- 介護予防のための通いの場への参加頻度について、「参加していない」が65.5%で最も多く、次いで「月1～3回」が2.9%、「週1回」が2.5%となっています。

【性・年齢】

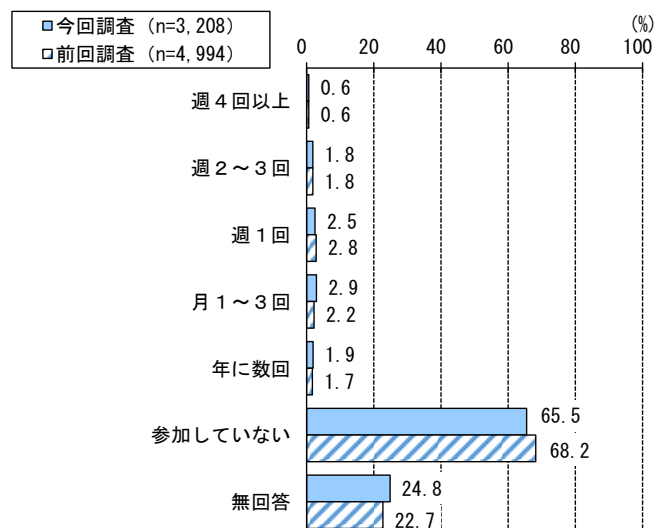
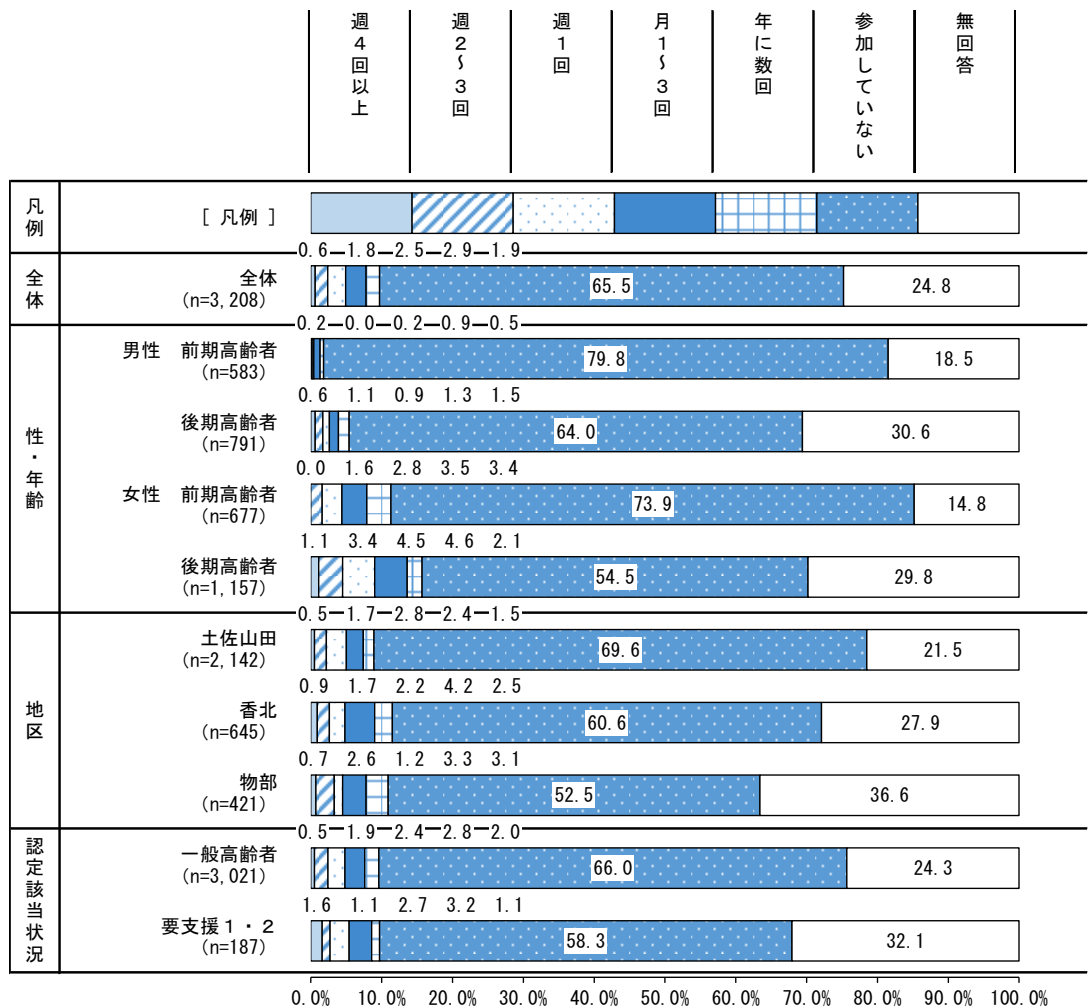
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「参加していない」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「参加していない」が多くなっています。

【地区】

- 「参加していない」は土佐山田が69.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「参加していない」は一般高齢者が66.0%と要支援1・2の58.3%に比べて多くなっています。



⑥老人クラブ

【全体】

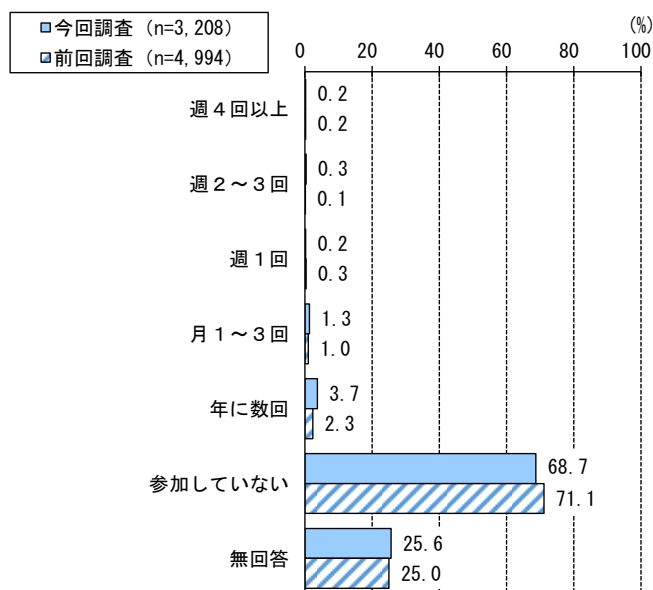
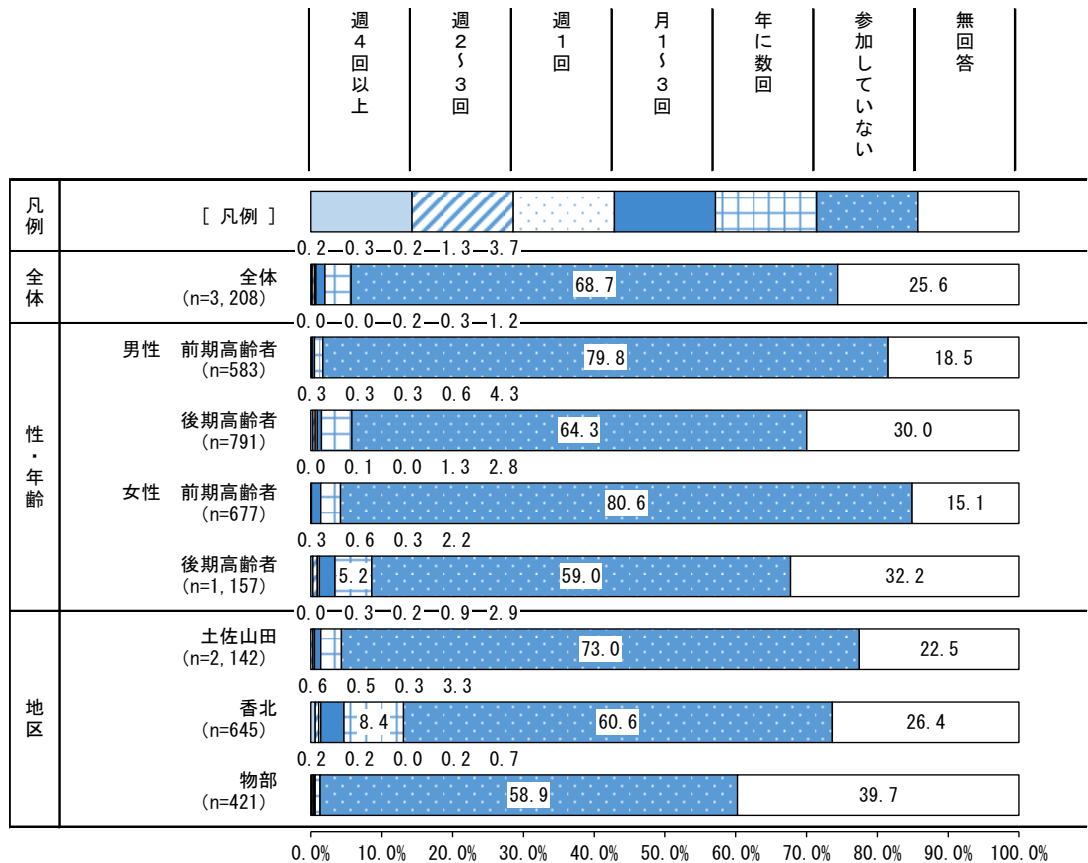
- 老人クラブへの参加頻度について、「参加していない」が68.7%で最も多く、次いで「年に数回」が3.7%、「月1～3回」が1.3%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「参加していない」が多くなっています。

【地区】

- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“年に数回以上参加している人”は香北が13.1%と他の区分に比べて多くなっています。



⑦町内会・自治会

【全体】

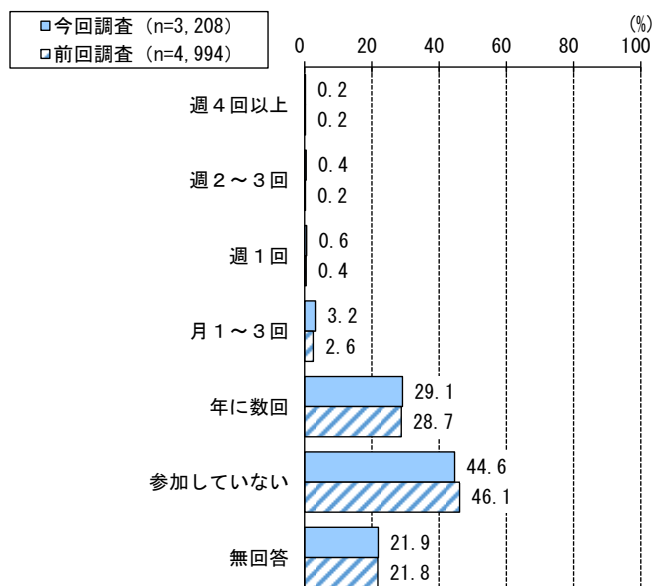
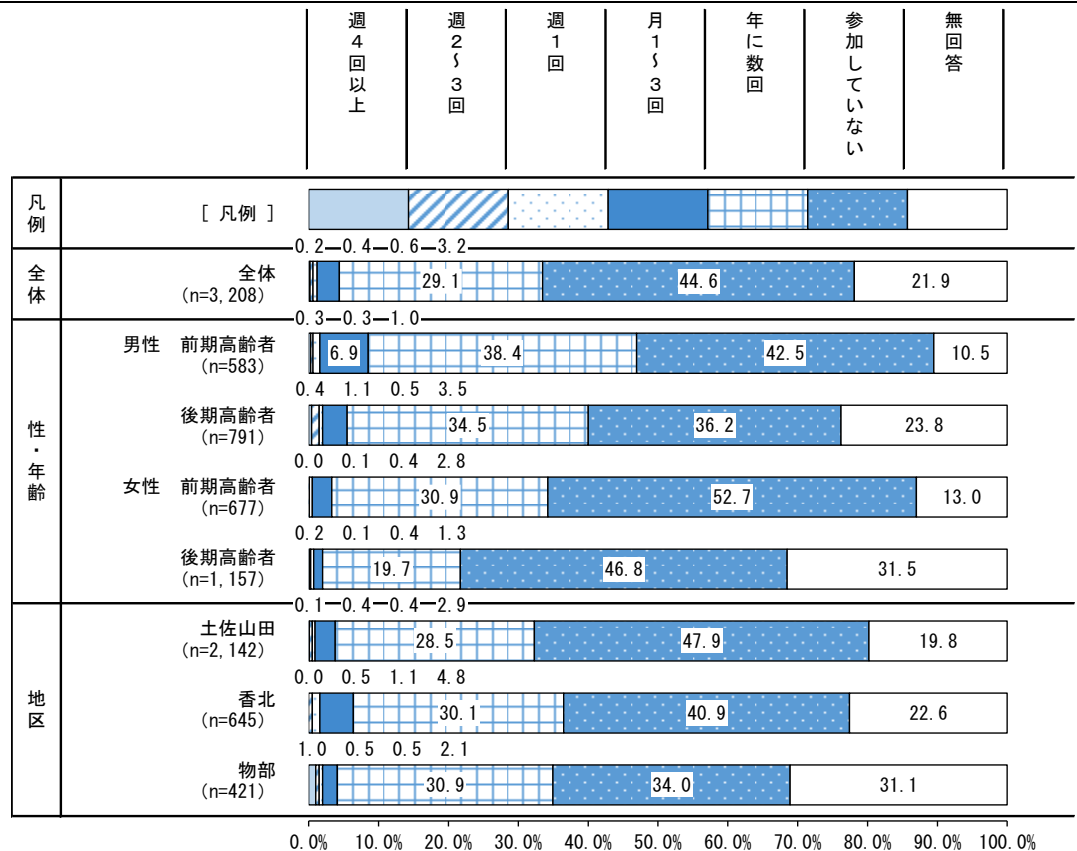
- 町内会・自治会への参加頻度について、「参加していない」が44.6%で最も多く、次いで「年に数回」が29.1%、「月1～3回」が3.2%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“年に数回以上参加している人”が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“年に数回以上参加している人”が多くなっています。

【地区】

- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“年に数回以上参加している人”は香北が36.5%と他の区分に比べて多くなっています。



⑧収入のある仕事

【全体】

- 収入のある仕事への参加頻度について、「参加していない」が50.5%で最も多く、次いで「週4回以上」が14.0%、「週2～3回」が5.3%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「週4回以上」が多くなっています。
- 「週2～3回」は女性の前期高齢者が9.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【地区】

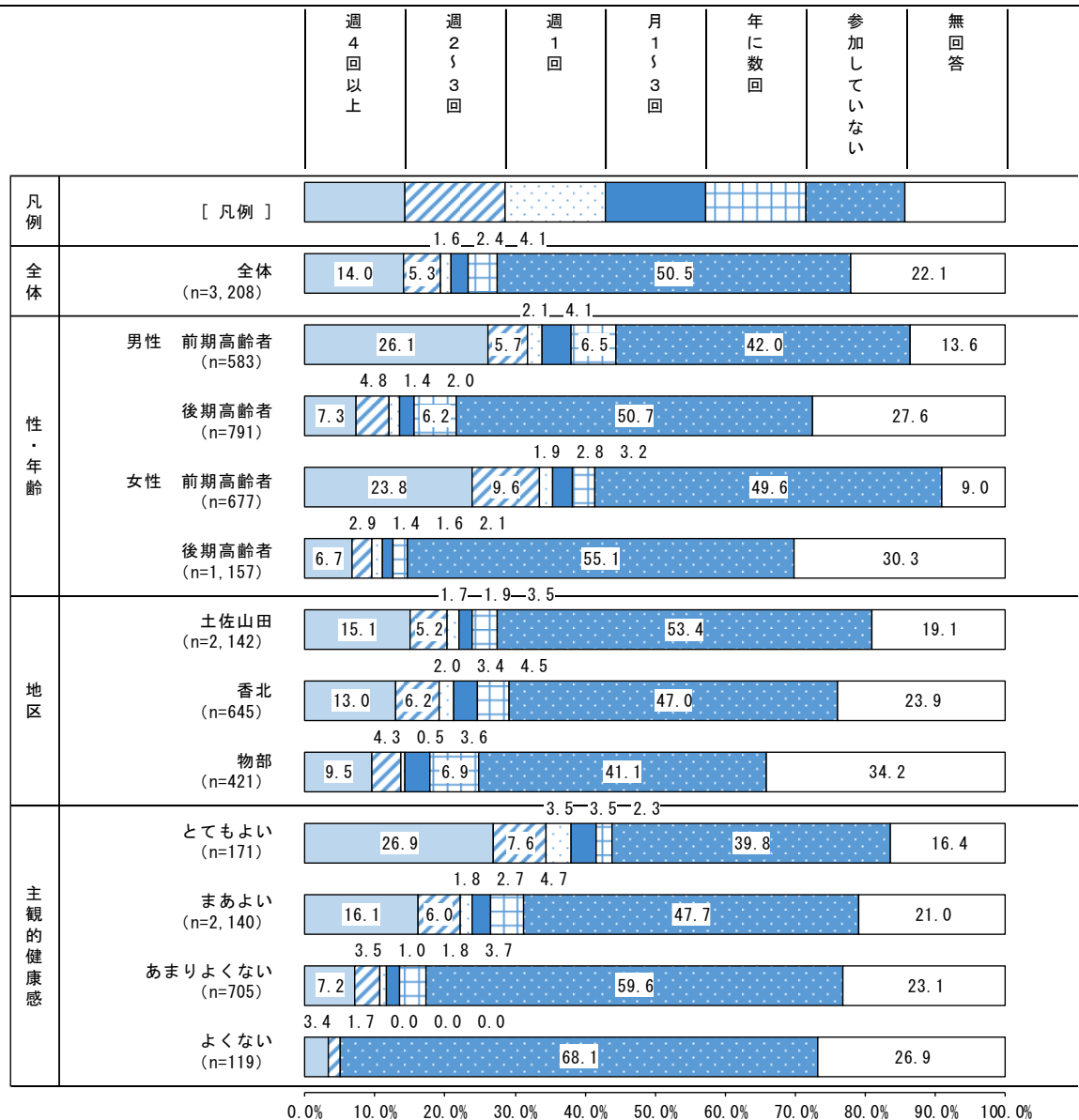
- 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は、土佐山田が22.0%と他の区分と比較して多くなっています。

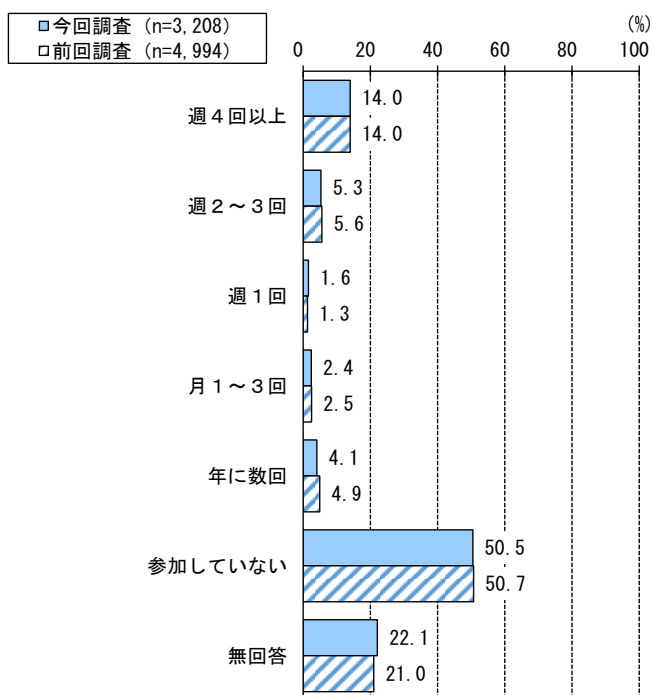
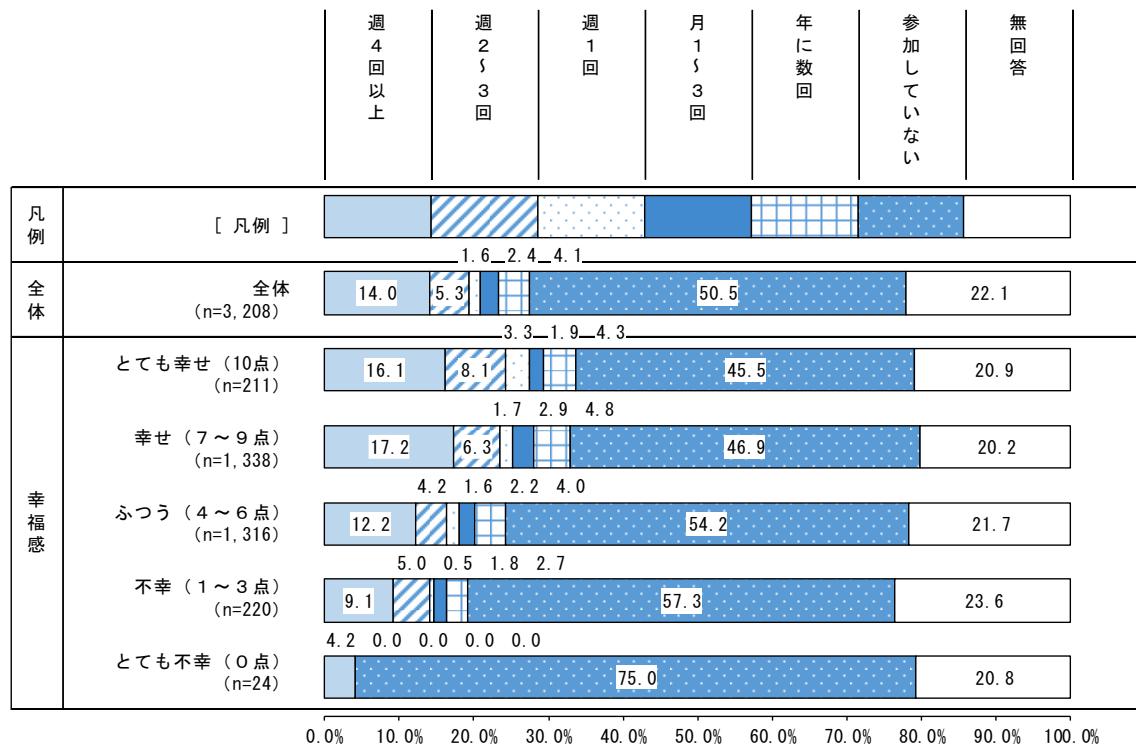
【主観的健康感】

- 健康感がよくないほど「週4回以上」が少なくなる傾向がみられます。

【幸福感】

- 幸福感が低いほど「参加していない」が多くなる傾向がみられます。

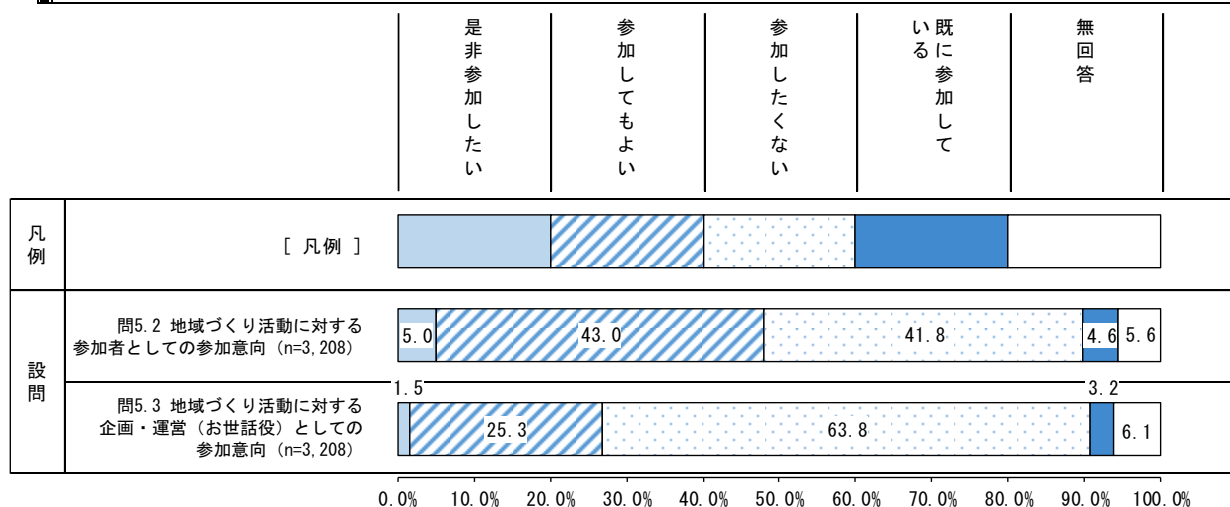




- 問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)
- 問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

【全体】

- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が43.0%で最も多く、次いで「参加したくない」が41.8%、「是非参加したい」が5.0%となっています。
- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が63.8%で最も多く、次いで「参加してもよい」が25.3%、「既に参加している」が3.2%となっています。



●問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

【全体】

- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は48.0%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「既に参加している」が多くなっています。

【地区】

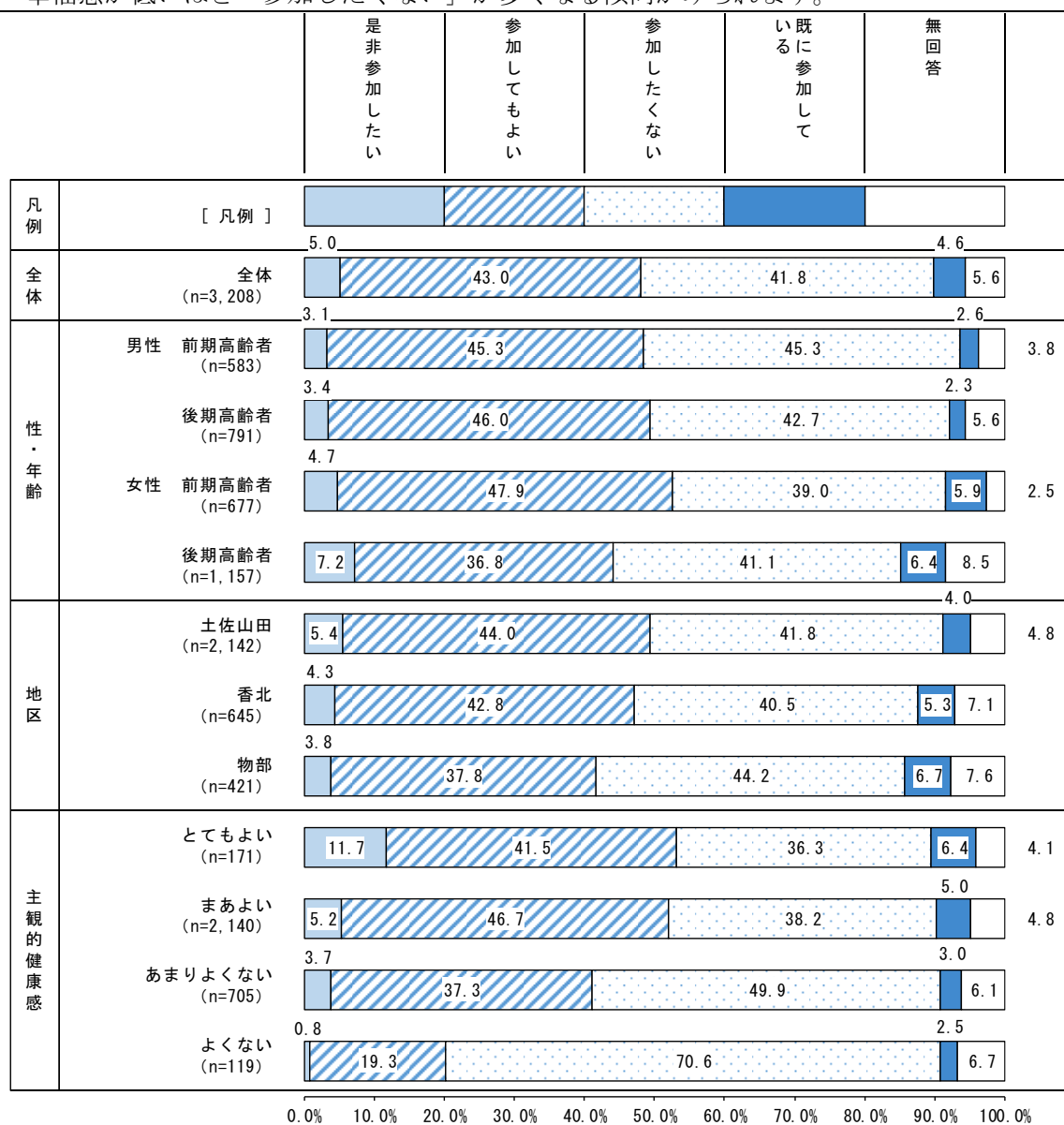
- “参加意向がある方”は物部が41.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

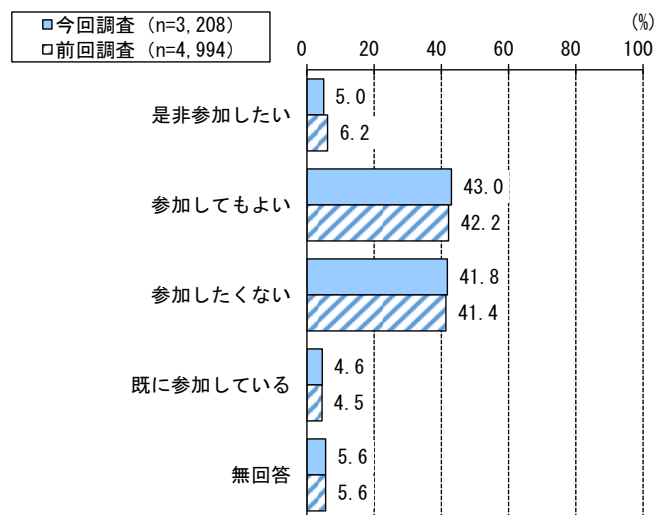
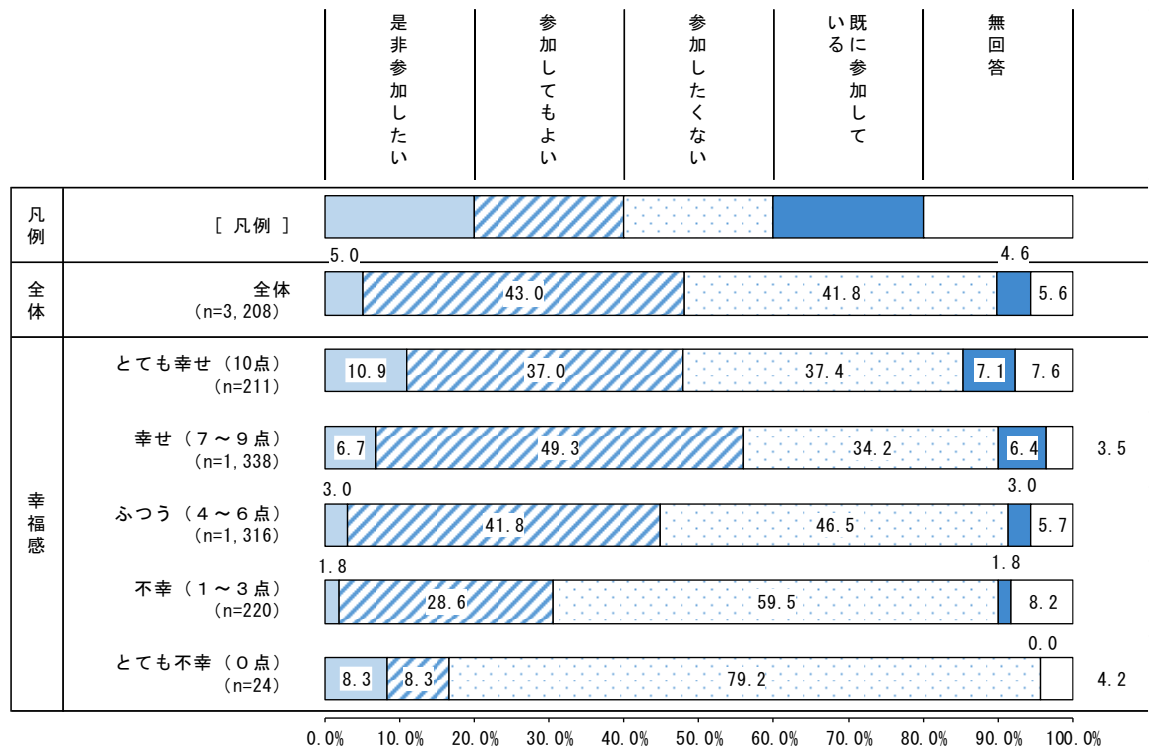
【主観的健康感】

- 健康感がよくないほど「参加したくない」が多くなる傾向がみられます。

【幸福感】

- 幸福感が低いほど「参加したくない」が多くなる傾向がみられます。





●問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

【全体】

- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は26.8%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“参加意向がある方”が多くなっています。

【地区】

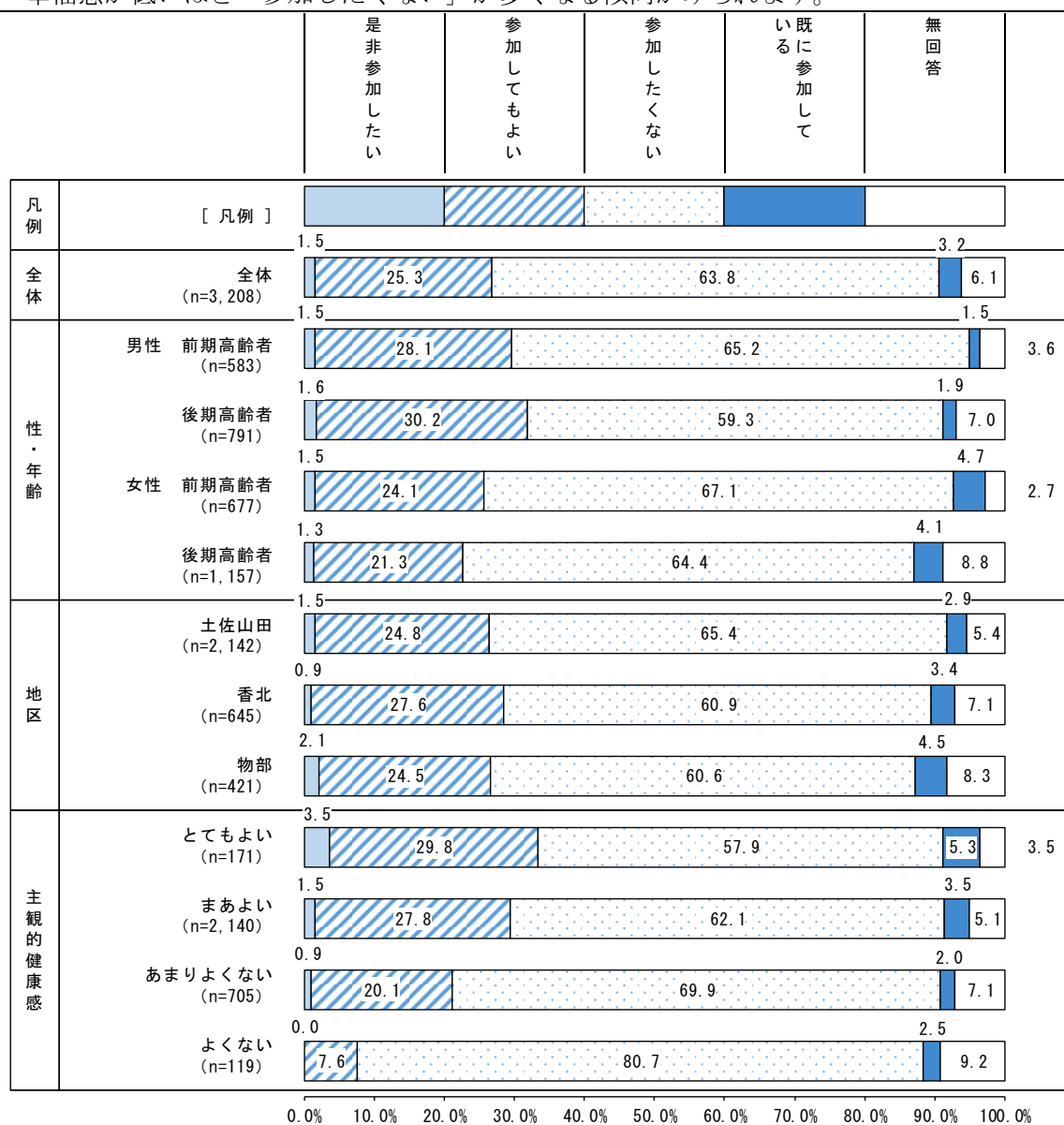
- “参加意向がある方”は香北が28.5%と他の区分に比べて多くなっています。

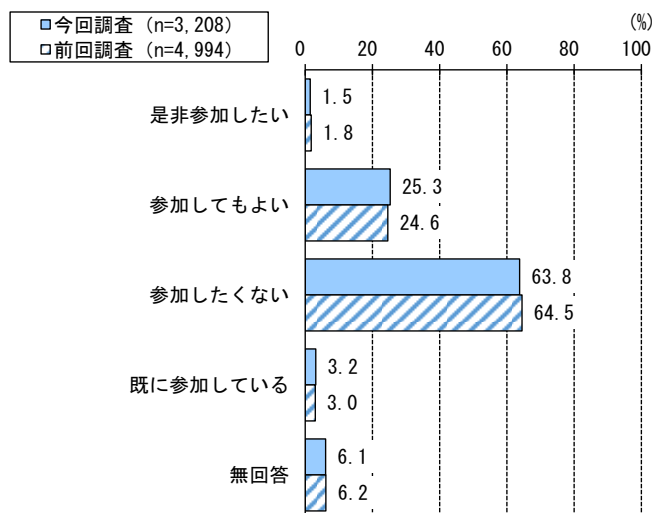
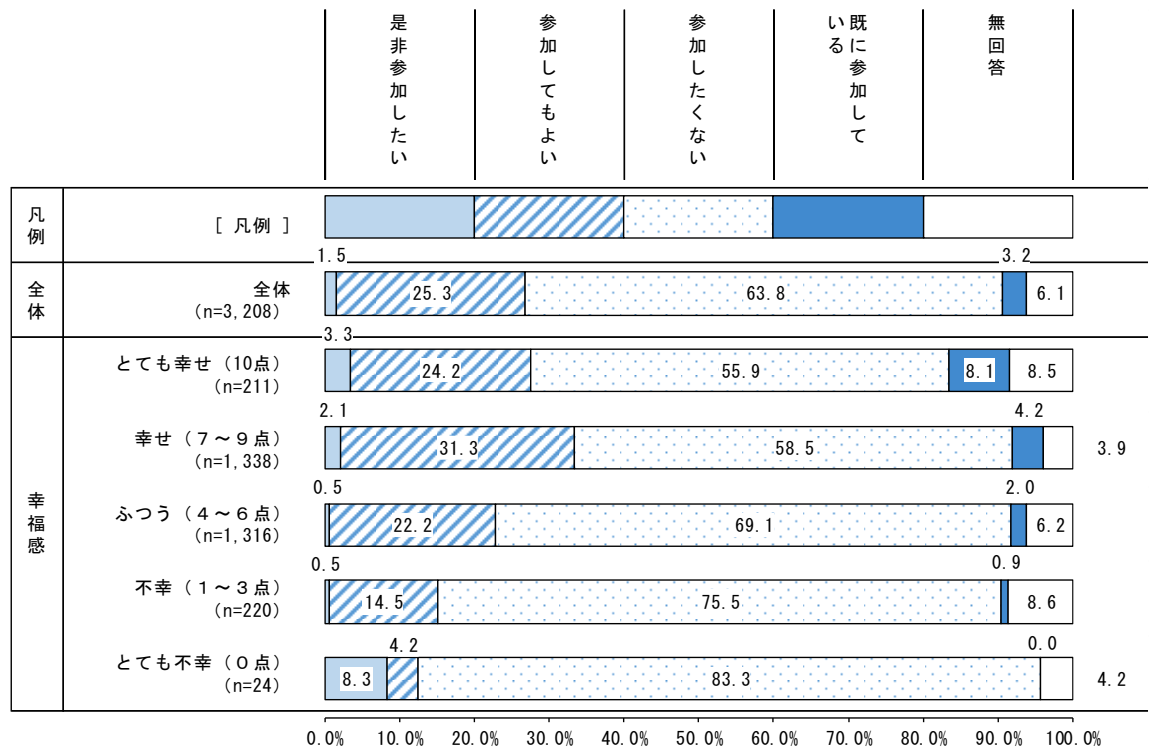
【主観的健康感】

- 健康感がよくないほど「参加したくない」が多くなる傾向がみられます。

【幸福感】

- 幸福感が低いほど「参加したくない」が多くなる傾向がみられます。



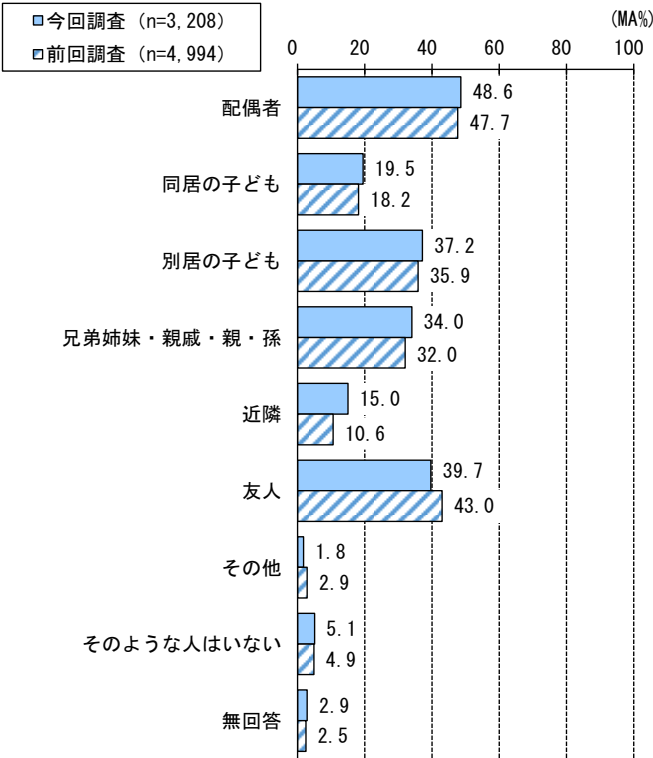


(6) たすけあいについて

※あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

●問6.1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(いくつでも)

【全体】	
○	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が48.6%で最も多く、次いで「友人」が39.7%、「別居の子ども」が37.2%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「友人」が多くなっています。
○	前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「友人」が多くなっています。
【家族構成】	
○	1人暮らしでは、「友人」が46.1%で最も多く、次いで「別居の子ども」が43.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が39.7%となっています。
【前回比較】	
○	「近隣」は増加しています。



			母数	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (MA)								単位: %
				配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	その ような 人は い	無 回 答
全体 (n=3,208)			3,208	48.6	19.5	37.2	34.0	15.0	39.7	1.8	5.1	2.9
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=583)	583	△ 62.4	12.2	▼ 20.9	▼ 24.0	9.3	30.7	1.7	10.8	2.9
		後期高齢者 (n=791)	791	△ 63.5	15.0	29.0	▼ 22.0	9.5	▼ 23.9	1.5	7.7	4.0
	女性	前期高齢者 (n=677)	677	△ 49.3	21.6	45.2	△ 44.9	16.1	△ 57.2	3.5	2.5	1.3
		後期高齢者 (n=1,157)	1,157	▼ 31.1	25.0	46.3	41.0	20.9	44.9	1.1	2.1	3.0
家族構成	1人暮らし (n=789)		789	▼ 2.5	▼ 1.3	43.6	39.7	20.0	46.1	2.4	11.5	4.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=1,198)		1,198	△ 81.3	▼ 2.7	44.7	31.1	13.0	37.0	0.9	2.3	2.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=123)		123	△ 86.2	▼ 7.3	34.1	27.6	13.8	33.3	0.8	1.6	1.6
	息子・娘との2世帯 (n=487)		487	44.8	△ 66.5	▼ 24.4	31.4	17.9	40.9	1.2	3.1	2.9
	その他 (n=551)		551	40.3	△ 41.9	▼ 24.3	36.3	10.3	38.5	3.8	4.4	2.7

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

●問6.2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(いくつでも)

【全体】

- あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が47.1%で最も多く、次いで「友人」が40.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が34.0%となっています。

【性・年齢】

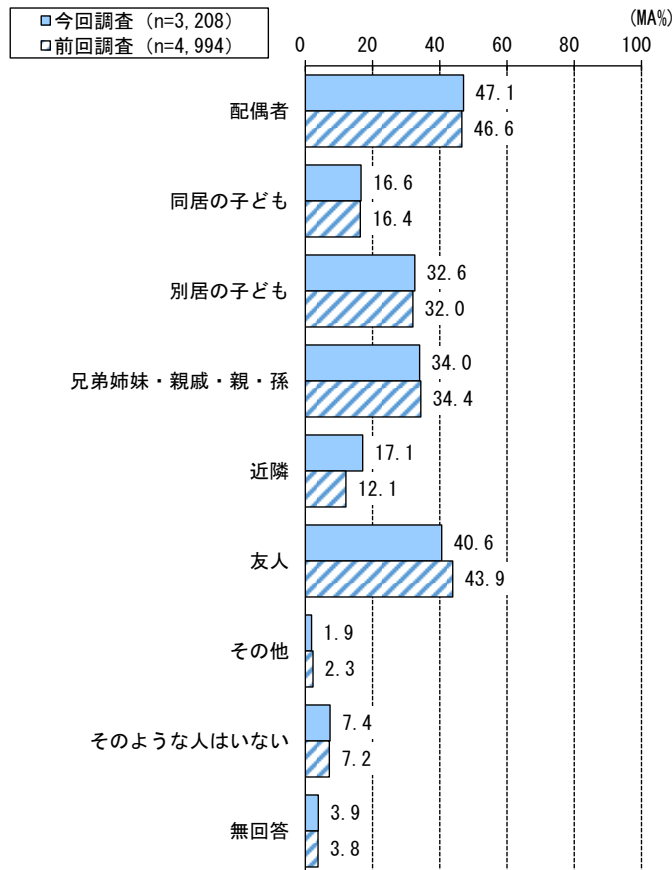
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「友人」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「友人」が多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「友人」が47.1%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が36.0%、「別居の子ども」が33.8%となっています。

【前回比較】

- 「近隣」は増加しています。



単位：%

			母数	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (MA)									単位: %
				配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ないような人はい	無回答	
全体 (n=3, 208)			3, 208	47.1	16.6	32.6	34.0	17.1	40.6	1.9	7.4	3.9	
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=583)	583	△ 61.9	12.7	▼ 21.8	25.9	12.3	▼ 30.2	1.7	10.5	3.1	
		後期高齢者 (n=791)	791	△ 63.0	13.0	27.2	▼ 23.4	12.6	▼ 25.9	1.3	9.5	5.2	
	女性	前期高齢者 (n=677)	677	△ 47.7	19.1	△ 44.6	△ 47.0	17.1	△ 56.9	4.1	2.5	1.8	
		後期高齢者 (n=1, 157)	1, 157	▼ 28.4	19.5	34.8	37.8	22.4	46.3	1.0	7.3	4.7	
家族構成	1人暮らし (n=789)		789	▼ 3.3	▼ 1.1	33.8	36.0	22.7	47.1	2.3	15.3	6.6	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=1, 198)		1, 198	△ 78.3	▼ 3.1	40.2	34.0	15.0	38.1	1.1	3.6	2.4	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=123)		123	△ 80.5	▼ 6.5	30.9	25.2	13.0	34.1	-	0.8	5.7	
	息子・娘との2世帯 (n=487)		487	42.9	△ 55.2	23.0	32.0	18.5	39.2	1.4	5.5	3.5	
	その他 (n=551)		551	39.7	△ 35.6	24.0	35.9	13.4	41.0	4.0	6.0	3.1	

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

●問6.3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。

(いくつでも)

【全体】

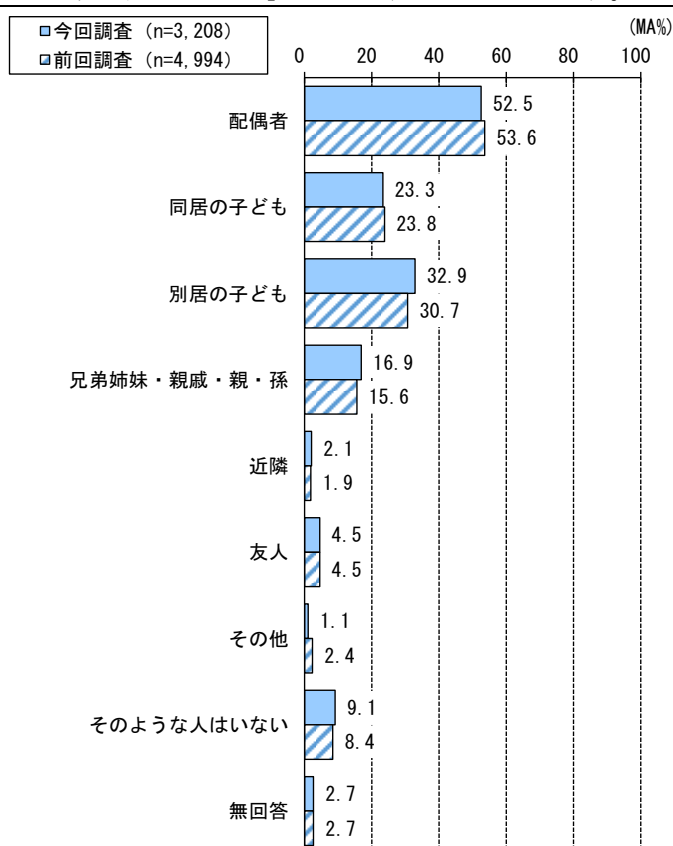
- あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 52.5%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 32.9%、「同居の子ども」が 23.3%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「同居の子ども」、「別居の子ども」が多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「別居の子ども」が 46.0%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 27.0%、「そのような人はいない」が 26.4%となっています。



単位：%

		母数	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)									単位：%
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・孫	近隣	友人	その他	いそのような人は	無回答	
全体 (n=3, 208)		3, 208	52. 5	23. 3	32. 9	16. 9	2. 1	4. 5	1. 1	9. 1	2. 7	
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=583)	583	△ 66. 9	15. 4	▼ 16. 1	16. 8	0. 5	2. 2	0. 5	12. 2	2. 4	
	後期高齢者 (n=791)	791	△ 68. 6	19. 0	27. 8	11. 1	1. 1	1. 3	1. 3	8. 2	3. 4	
	女性 前期高齢者 (n=677)	677	56. 6	25. 3	36. 5	18. 8	1. 2	7. 8	1. 2	7. 2	1. 8	
	後期高齢者 (n=1, 157)	1, 157	▼ 31. 8	29. 2	42. 7	19. 8	4. 1	5. 8	1. 3	9. 2	3. 0	
家族構成	1人暮らし (n=789)	789	▼ 2. 3	▼ 1. 6	△ 46. 0	△ 27. 0	5. 2	10. 8	1. 3	△ 26. 4	4. 3	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=1, 198)	1, 198	△ 87. 7	▼ 3. 0	34. 8	10. 1	1. 2	2. 2	0. 4	3. 0	2. 0	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=123)	123	△ 91. 1	▼ 10. 6	26. 0	13. 0	0. 8	1. 6	-	1. 6	2. 4	
	息子・娘との2世帯 (n=487)	487	48. 3	△ 79. 5	▼ 20. 3	12. 9	1. 2	1. 8	0. 4	1. 4	2. 5	
	その他 (n=551)	551	44. 5	△ 50. 6	▼ 22. 9	21. 6	0. 9	3. 8	3. 3	5. 8	2. 0	

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

●問6.4 反対に、看病や世話をしてあげる人。(いくつでも)

【全体】

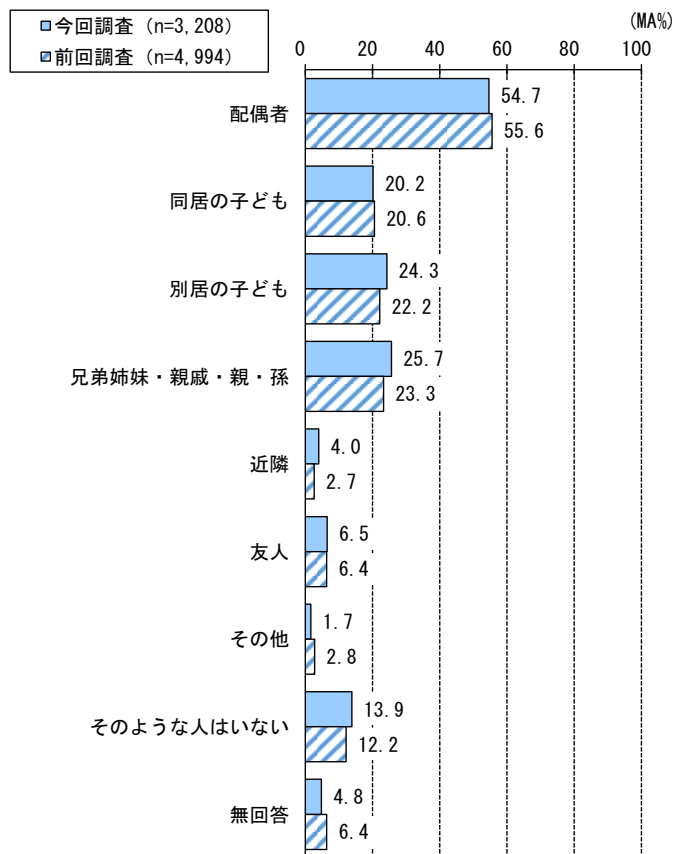
- 看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が54.7%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.7%、「別居の子ども」が24.3%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「同居の子ども」、「別居の子ども」が多くなっています。

【家族構成】

- 1人暮らしでは、「そのような人はいない」が38.1%で最も多く、次いで「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.2%、「友人」が12.0%となっています。



単位：%

		母数	看病や世話をし ^て あげる人(MA)									単位: %
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親・孫	近隣	友人	その他	い ^な い ^よ う ^な 人 ^は	無回答	
全体 (n=3,208)		3,208	54.7	20.2	24.3	25.7	4.0	6.5	1.7	13.9	4.8	
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=583)	583	64.3	14.2	14.4	26.8	1.4	2.7	0.2	15.4	3.3	
	後期高齢者 (n=791)	791	△ 67.9	15.4	18.7	▼ 13.7	2.7	3.5	1.4	15.3	5.1	
	女性 前期高齢者 (n=677)	677	60.4	25.7	△ 38.6	△ 41.1	4.4	10.0	1.2	7.4	1.8	
	後期高齢者 (n=1,157)	1,157	▼ 37.4	23.2	24.9	24.3	6.1	8.4	2.9	16.1	7.1	
家族構成	1人暮らし (n=789)	789	▼ 2.7	▼ 1.4	27.2	27.2	5.7	12.0	2.8	△ 38.1	9.1	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=1,198)	1,198	△ 91.1	▼ 3.2	30.1	21.0	3.9	4.3	0.7	4.0	2.3	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=123)	123	△ 91.1	▼ 8.9	23.6	19.5	2.4	4.9	0.8	▼ 2.4	3.3	
	息子・娘との2世帯 (n=487)	487	50.7	△ 65.1	15.8	24.8	2.7	3.9	1.2	7.8	4.9	
	その他 (n=551)	551	47.2	△ 46.3	16.7	△ 36.7	3.4	6.4	2.7	7.8	3.1	

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

●問6.5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

【全体】

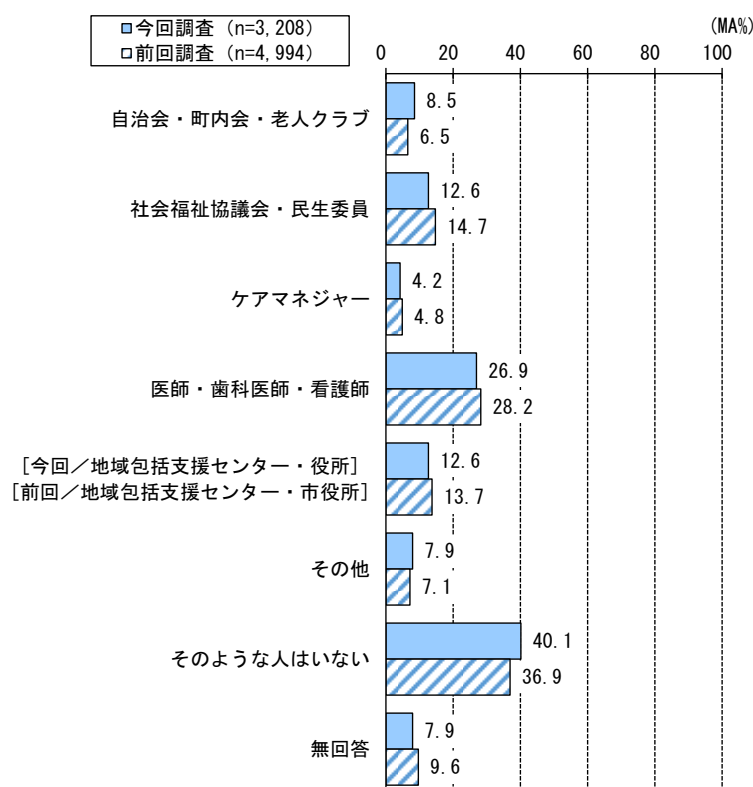
- 何かあった時の相談相手について、「そのような人はいない」が40.1%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が26.9%、「社会福祉協議会・民生委員」「地域包括支援センター・役所」が12.6%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「社会福祉協議会・民生委員」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。

【地区】

- 「社会福祉協議会・民生委員」は物部が24.5%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：%

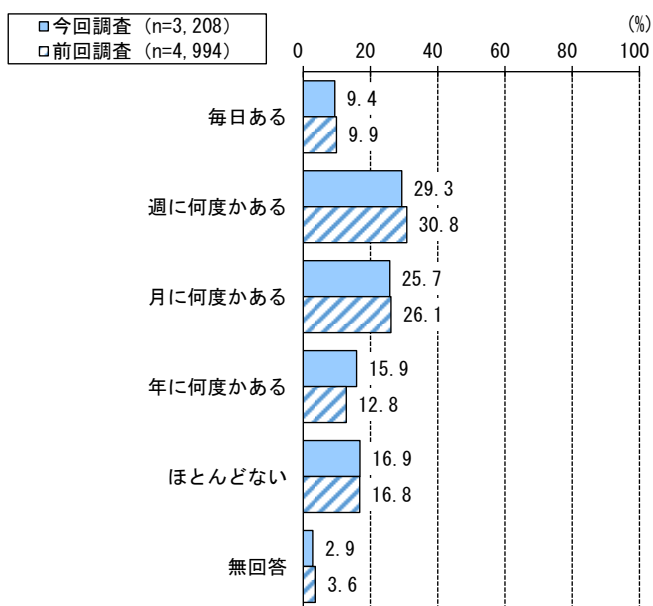
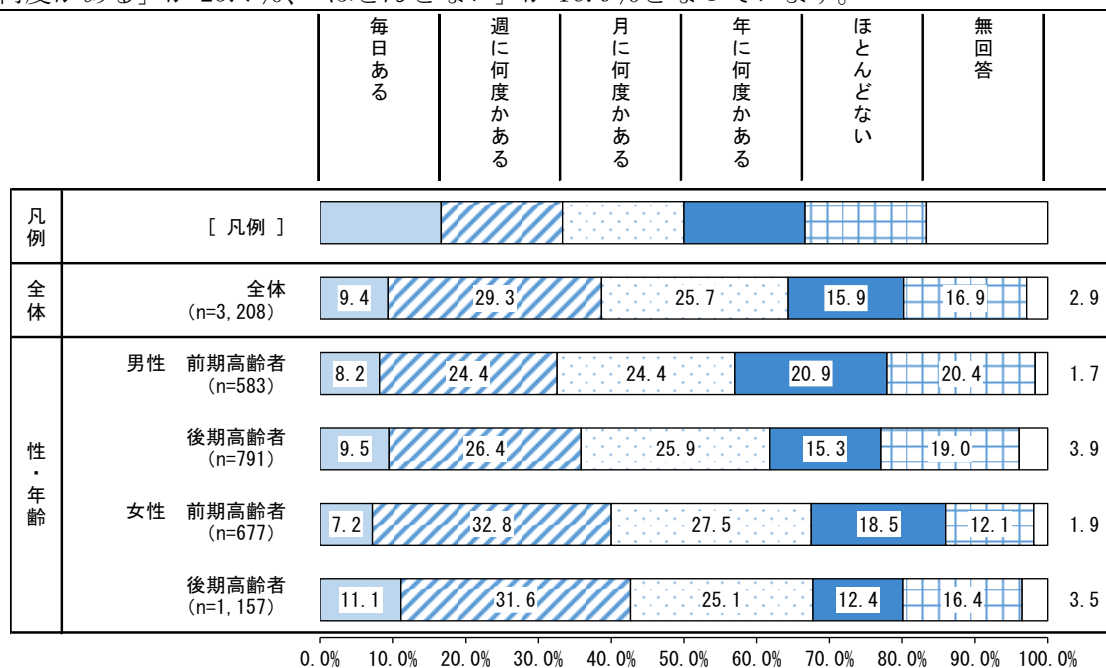
		母数	何かあった時の相談相手(MA)								単位：%
			老人自治会・町内会・クラブ	民生委員 社会福祉協議会・	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	無回答	
全体 (n=3, 208)		3, 208	8. 5	12. 6	4. 2	26. 9	12. 6	7. 9	40. 1	7. 9	
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=583)	583	11. 1	7. 7	3. 4	22. 1	9. 3	12. 2	49. 7	2. 7	
	後期高齢者 (n=791)	791	11. 6	13. 8	3. 7	27. 8	10. 9	8. 2	38. 8	8. 0	
	女性 前期高齢者 (n=677)	677	5. 9	9. 3	3. 8	28. 2	15. 7	8. 0	40. 9	7. 5	
	後期高齢者 (n=1, 157)	1, 157	6. 7	16. 2	5. 3	27. 9	13. 7	5. 6	35. 6	10. 5	
地区	土佐山田 (n=2, 142)	2, 142	8. 6	9. 2	4. 6	26. 7	12. 2	8. 1	42. 5	6. 9	
	香北 (n=645)	645	8. 2	16. 3	3. 4	29. 8	14. 1	7. 8	37. 7	7. 9	
	物部 (n=421)	421	8. 8	△ 24. 5	3. 8	23. 5	12. 4	7. 6	31. 6	12. 8	

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

●問6.6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ)

【全体】

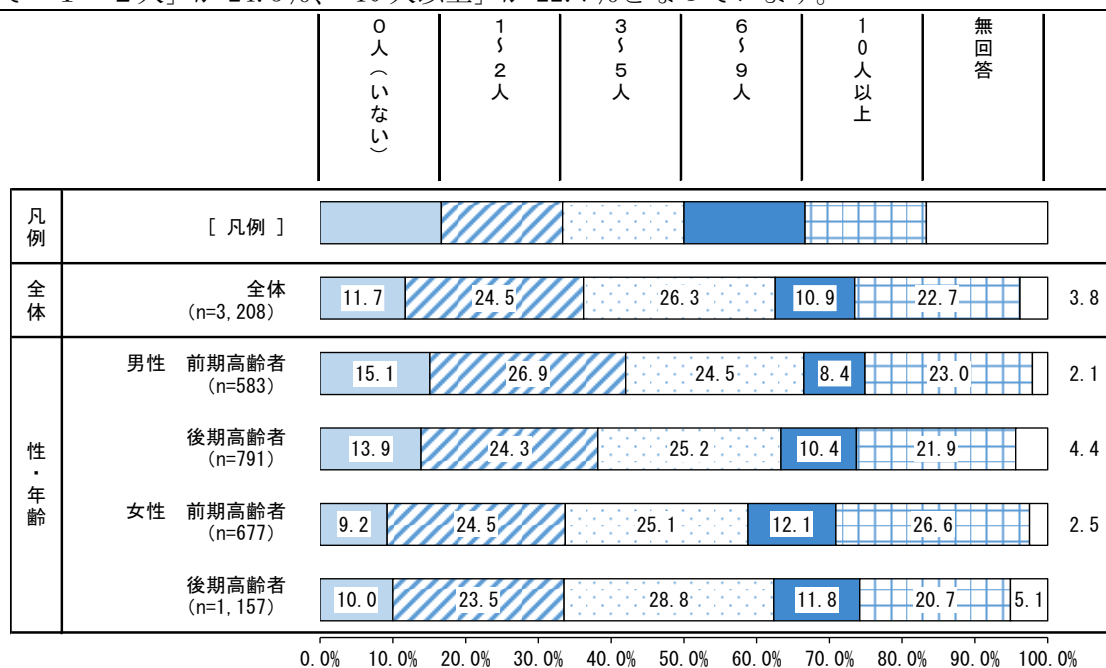
○ 友人・知人と会う頻度について、「週に何度かある」が29.3%で最も多く、次いで「月に何度かある」が25.7%、「ほとんどない」が16.9%となっています。



●問6.7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(1つだけ)

【全体】

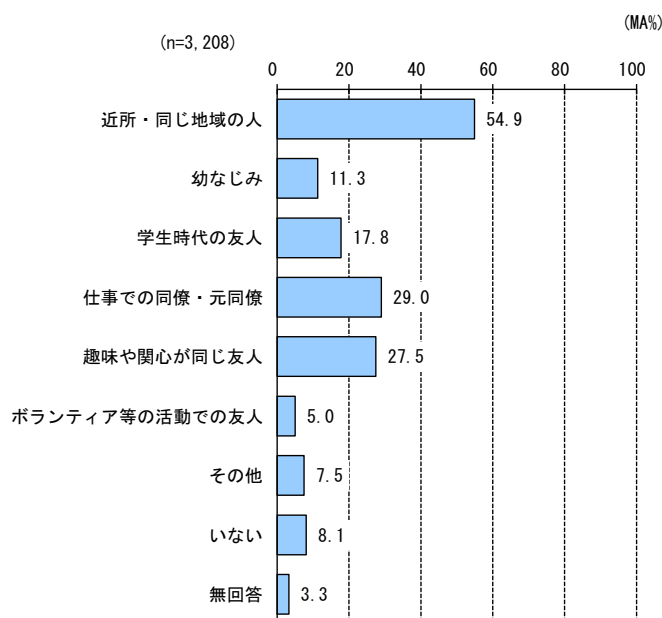
○ この1か月間で会った友人・知人の数について、「3～5人」が26.3%で最も多く、次いで「1～2人」が24.5%、「10人以上」が22.7%となっています。



●問6.8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

【全体】

○ よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が54.9%で最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が29.0%、「趣味や関心が同じ友人」が27.5%となっています。



単位：％

		母数	よく会う友人・知人との関係(MA)								単位：%
			人近所・同じ地域の	幼なじみ	学生時代の友人	同僚仕事での同僚・元	友人趣味や関心が同じ	活動での友人等	その他	いない	無回答
全体 (n=3,208)		3,208	54.9	11.3	17.8	29.0	27.5	5.0	7.5	8.1	3.3
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=583)	583	▼ 44.6	16.8	21.4	37.4	24.2	3.4	7.4	11.1	1.9
	後期高齢者 (n=791)	791	53.1	11.4	15.2	25.4	28.6	4.3	7.1	9.9	3.9
	女性 前期高齢者 (n=677)	677	48.7	10.6	24.8	△ 43.1	32.3	7.4	8.4	5.8	2.5
	後期高齢者 (n=1,157)	1,157	△ 65.0	8.7	13.7	▼ 18.9	25.6	4.8	7.3	6.8	4.0

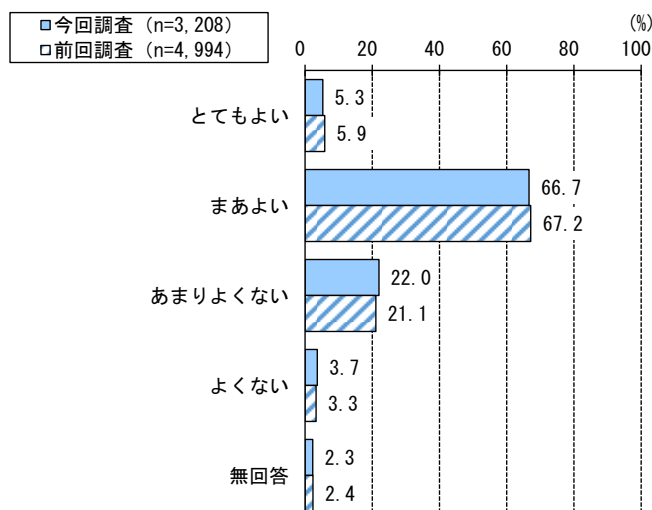
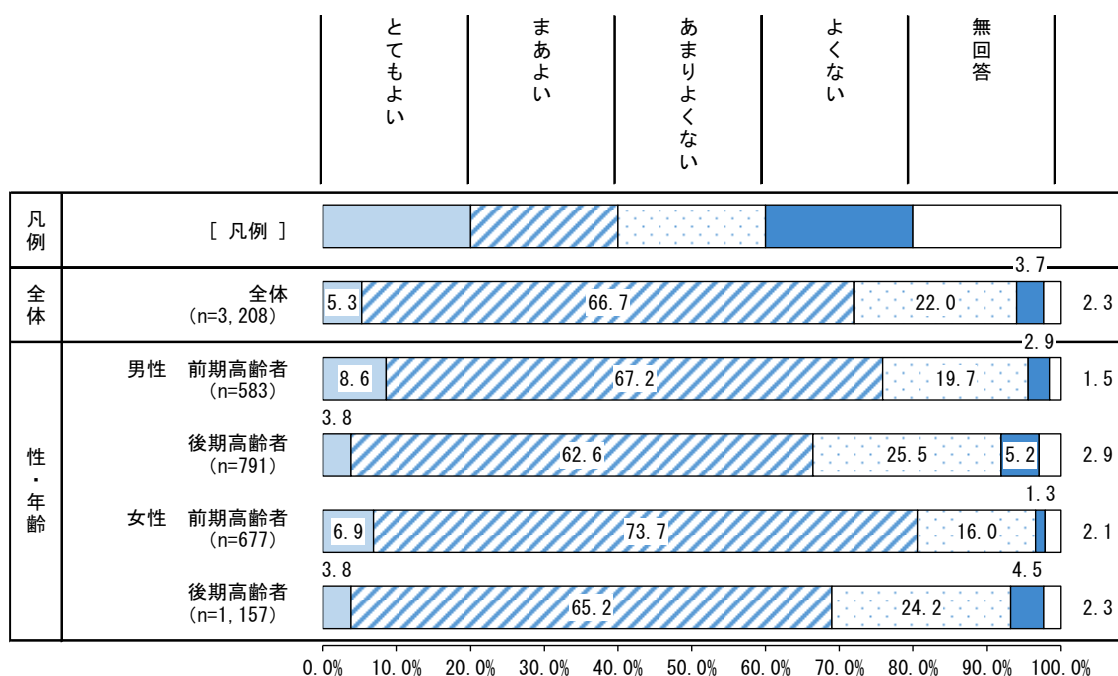
※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

(7) 健康について

●問7.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)

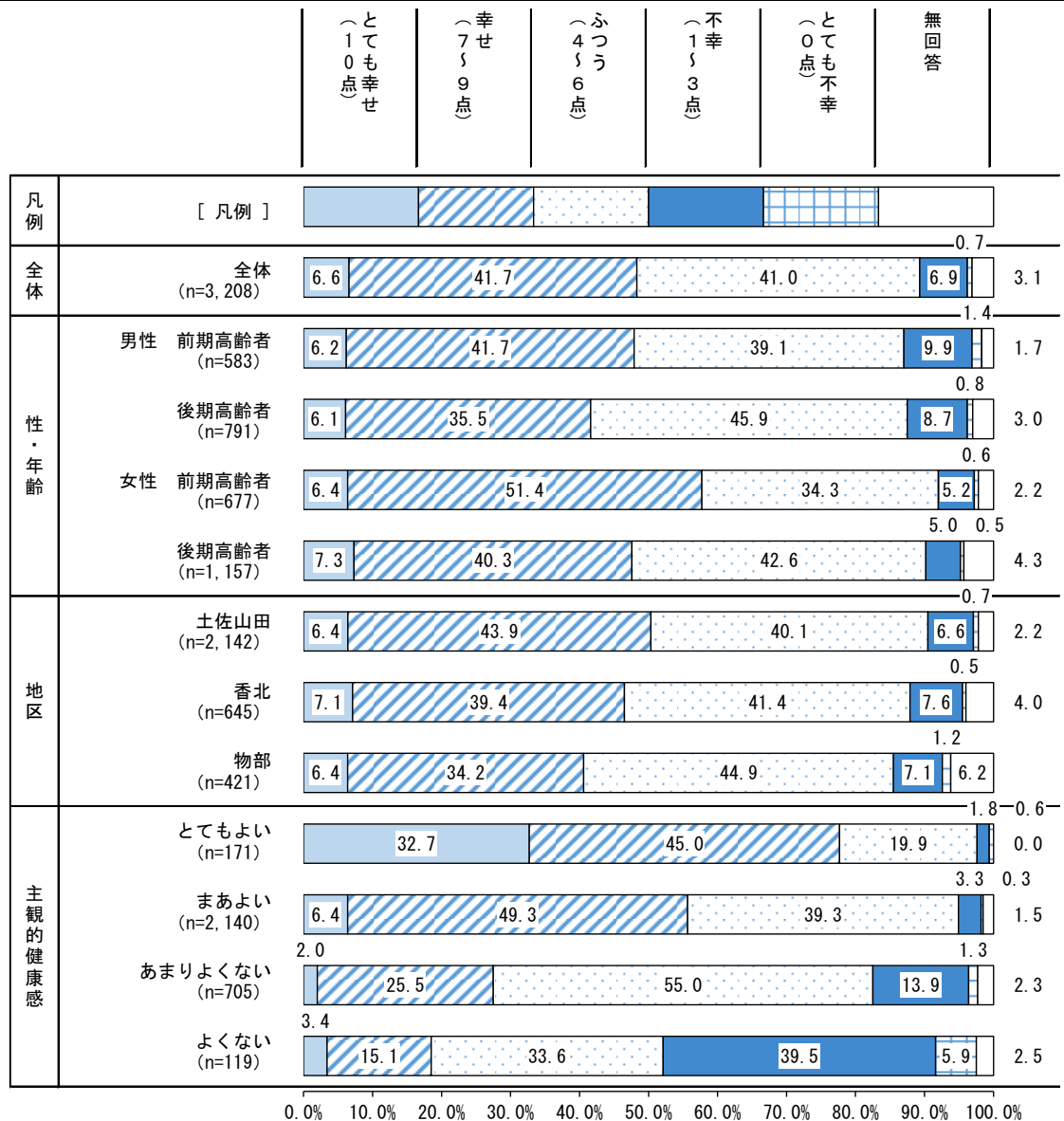
【全体】

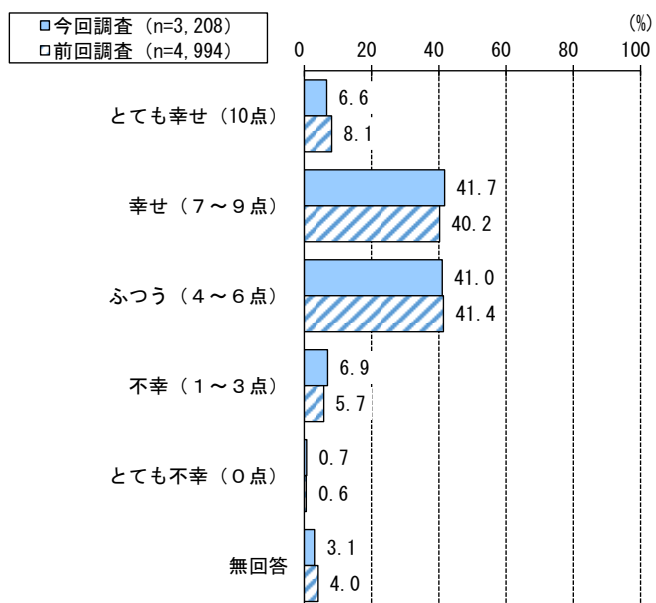
○ 主観的健康感について、「まあよい」が66.7%で最も多く、次いで「あまりよくない」が22.0%、「とてもよい」が5.3%となっています。



●問7.2 あなたは、現在どの程度幸せですか。（１つだけ）

【全体】	
○	幸福感について、「幸せ（７～９点）」が 41.7%で最も多く、次いで「ふつう（４～６点）」が 41.0%、「不幸（１～３点）」が 6.9%となっています。
【性・年齢】	
○	「とても幸せ（10点）」、「幸せ（７～９点）」をあわせると女性の後期高齢者が他の区分に比べて多くなっています。
【地区】	
○	「とても幸せ（10点）」、「幸せ（７～９点）」をあわせると土佐山田、香北、物部の順で多くなっています。
【主観的健康感】	
○	健康感がよくないほど「不幸（１～３点）」が多くなる傾向がみられます。





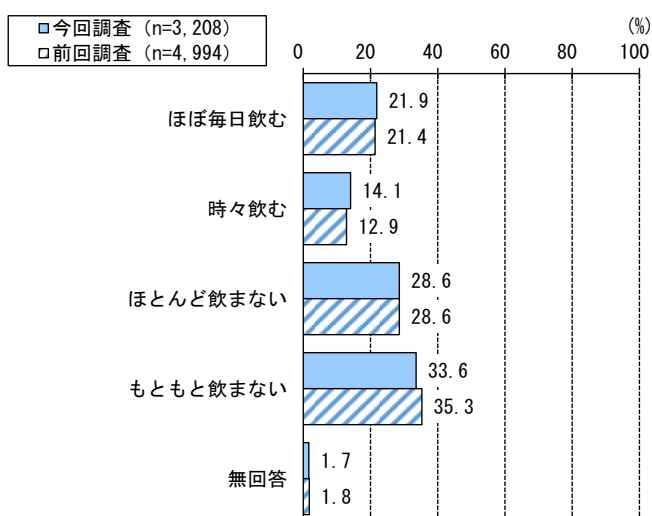
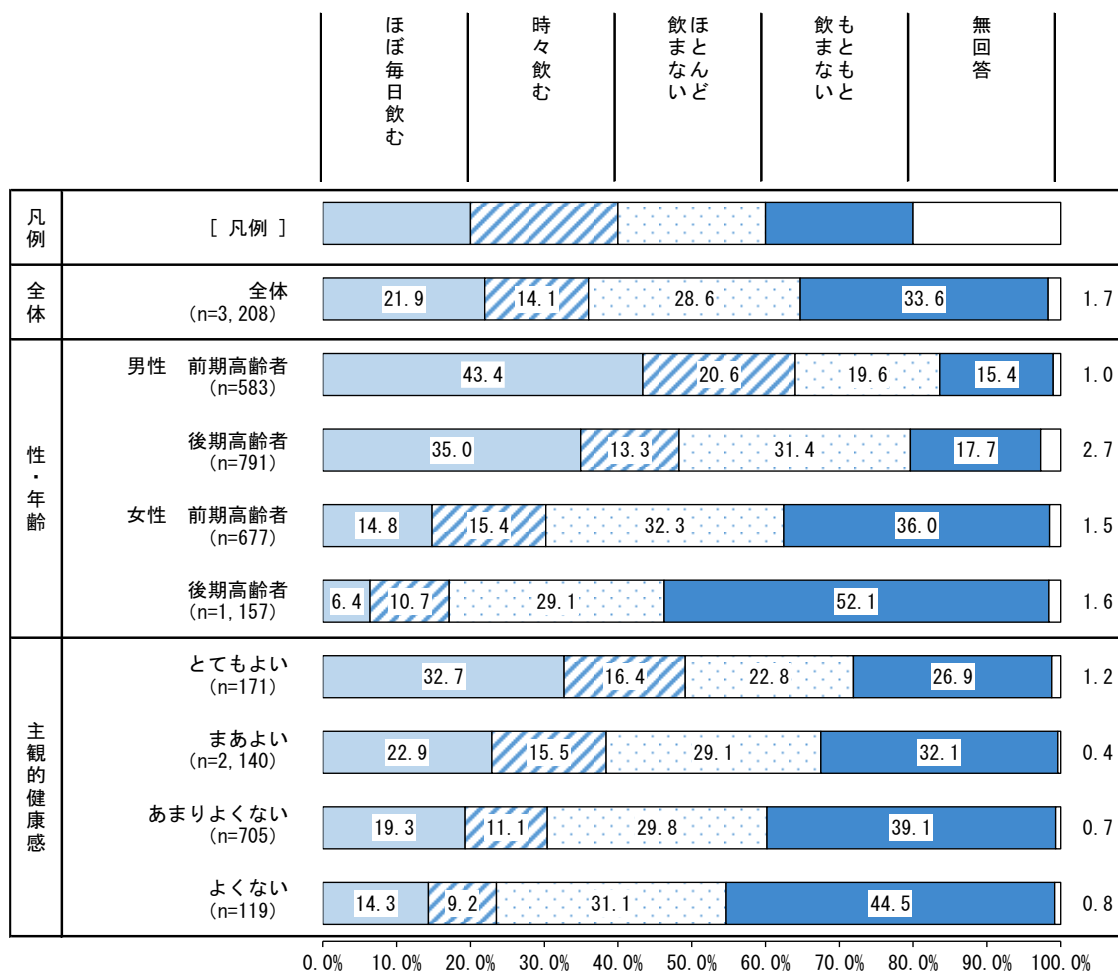
●問7.5 お酒は飲みますか。(1つだけ)

【全体】

- 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が33.6%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が28.6%、「ほぼ毎日飲む」が21.9%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「ほぼ毎日飲む」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ほぼ毎日飲む」が多くなっています。



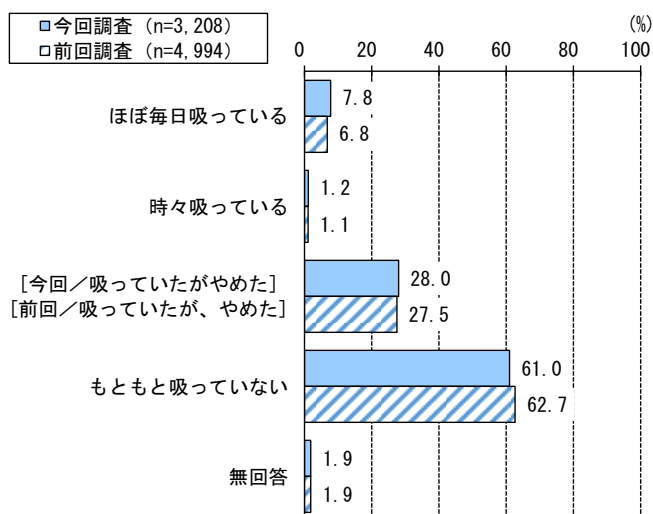
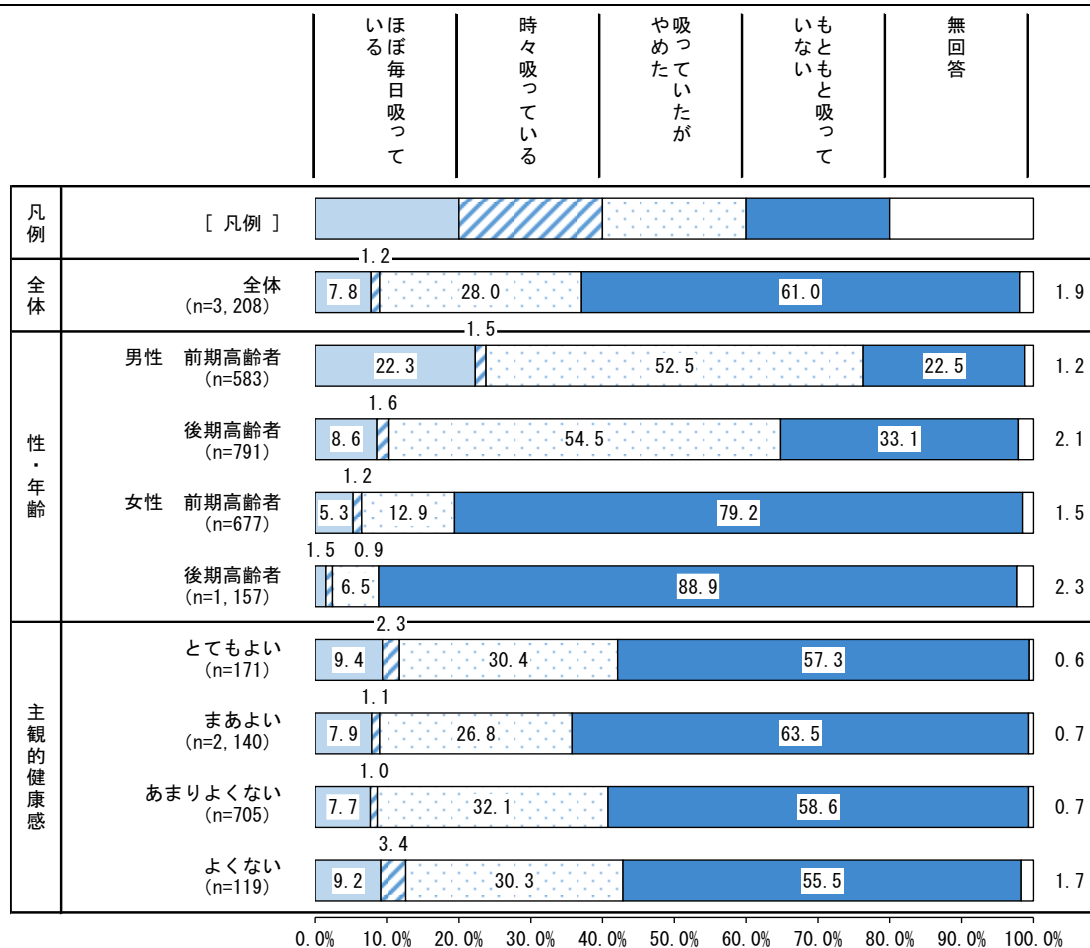
●問7.6 タバコは吸っていますか。(1つだけ)

【全体】

- 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が61.0%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が28.0%、「ほぼ毎日吸っている」が7.8%となっています。

【性・年齢】

- 「ほぼ毎日吸っている」は男性の前期高齢者が22.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「もともと吸っていない」が多くなっています。



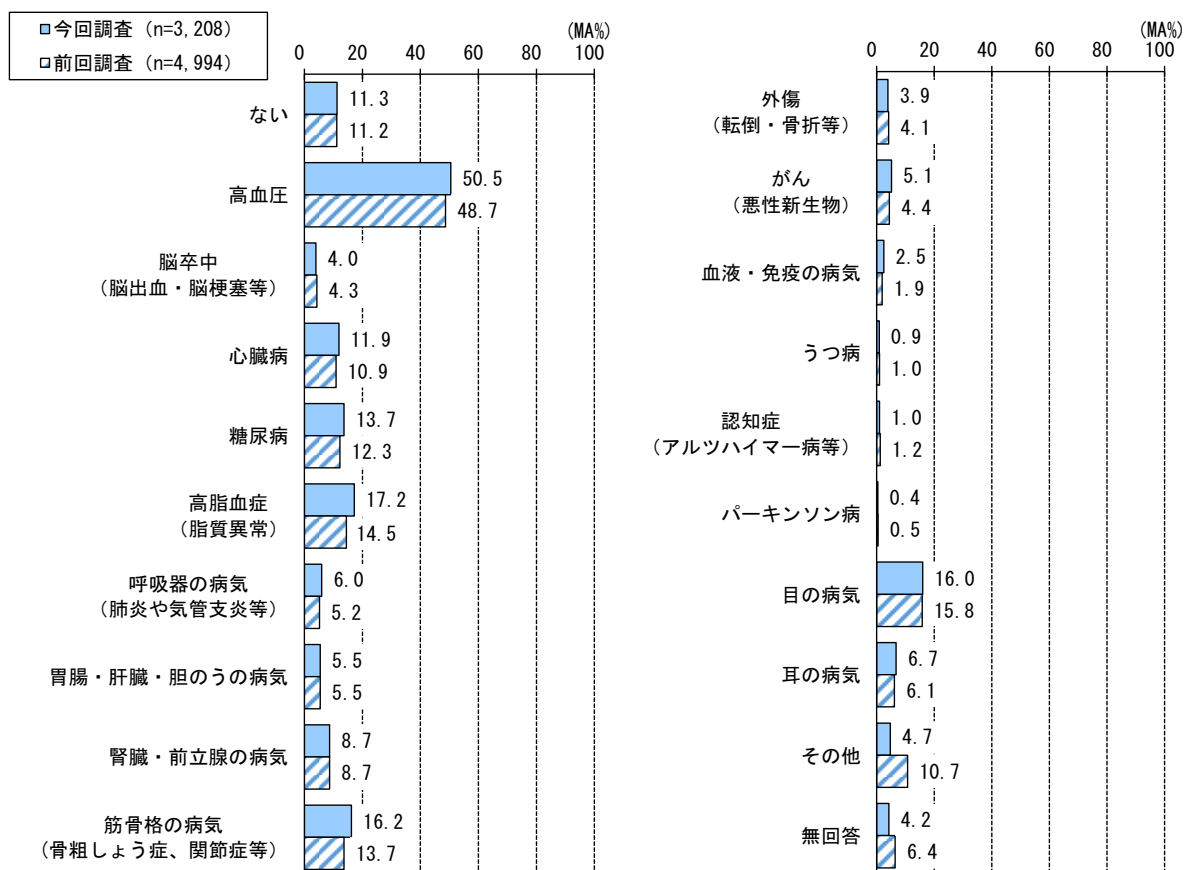
●問7.7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

【全体】

- 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 50.5%で最も多く、次いで「高脂血症（脂質異常）」が 17.2%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が 16.2%となっています。

【前回比較】

- 「高血圧」「糖尿病」「高脂血症（脂質異常）」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」はやや増加しています。



単位：%

			母数	現在治療中、または後遺症のある病気 (MA)										単位: %
				ない	高血圧	(等) 脳卒中・脳出血・脳梗塞	心臓病	糖尿病	(等) 高脂血症 (脂質異常)	(等) 呼吸器の病気 肺炎や気管支炎	胆のう・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病	筋骨格の病気、 (骨粗しょう症、関節症等)	
全体 (n=3, 208)			3, 208	11. 3	50. 5	4. 0	11. 9	13. 7	17. 2	6. 0	5. 5	8. 7	16. 2	
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=583)	583	15. 3	47. 9	4. 3	10. 3	18. 0	16. 6	3. 9	7. 4	12. 3	8. 9	
		後期高齢者 (n=791)	791	8. 0	54. 5	7. 1	19. 3	15. 5	9. 4	7. 7	5. 8	△ 19. 0	8. 6	
	女性	前期高齢者 (n=677)	677	16. 0	▼ 36. 6	1. 8	6. 4	11. 1	26. 0	5. 3	3. 8	1. 9	18. 6	
		後期高齢者 (n=1, 157)	1, 157	8. 8	57. 3	3. 0	10. 9	11. 9	17. 6	6. 1	5. 4	3. 8	23. 7	

単位：%

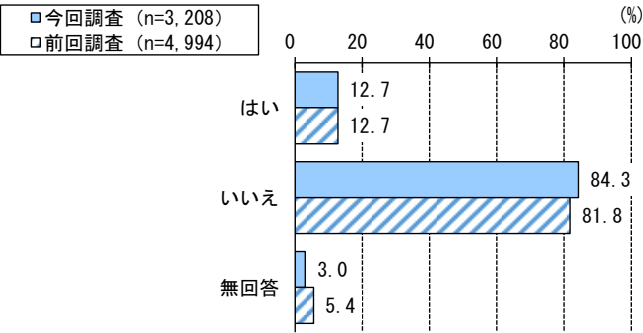
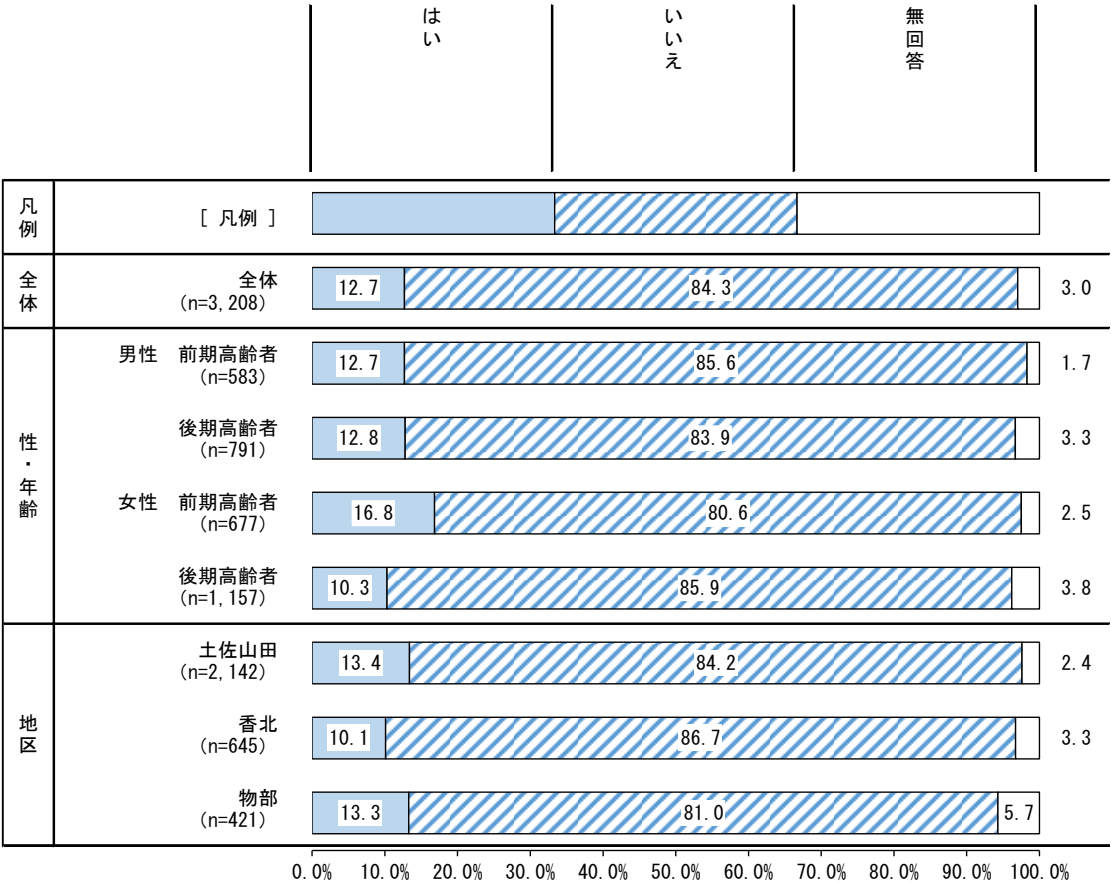
			現在治療中、または後遺症のある病気(MA)											単位: %
			母数	等外傷 (転倒・骨折)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	
全体 (n=3,208)			3,208	3.9	5.1	2.5	0.9	1.0	0.4	16.0	6.7	4.7	4.2	
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=583)	583	2.9	3.4	1.4	1.2	0.7	0.2	10.5	3.4	7.0	4.5	
		後期高齢者 (n=791)	791	3.3	8.0	2.1	0.5	1.4	0.6	17.1	9.0	2.9	4.9	
	女性	前期高齢者 (n=677)	677	2.2	4.4	3.4	1.0	0.3	0.3	14.6	4.9	6.1	5.8	
		後期高齢者 (n=1,157)	1,157	5.9	4.3	2.9	1.0	1.3	0.5	18.8	7.8	4.1	2.7	

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

(8) 認知症にかかる相談窓口の把握について

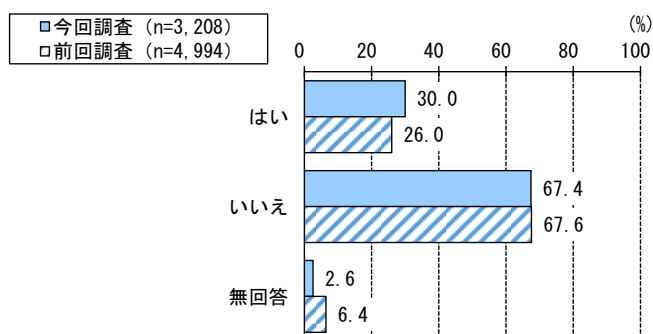
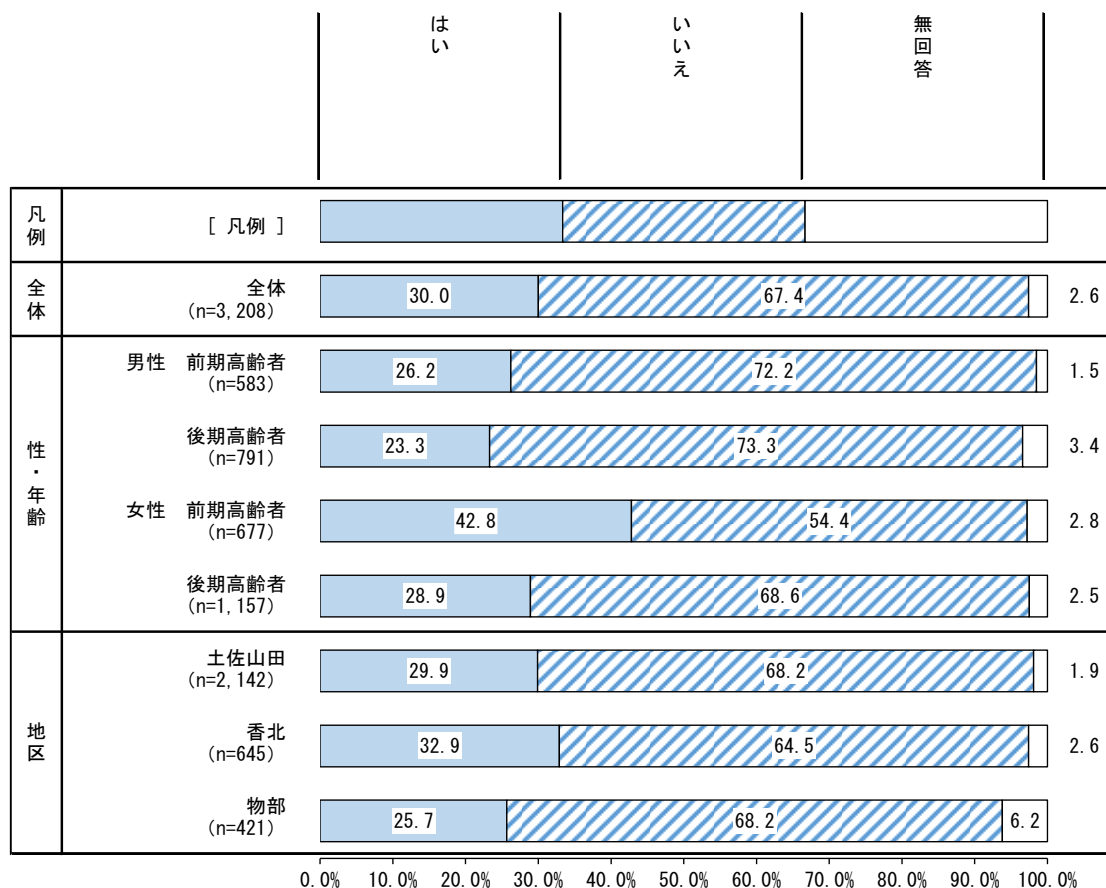
●問8.1 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)

【全体】
○ 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状があるかについて、「はい」が12.7%、「いいえ」が84.3%となっています。



●問8.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

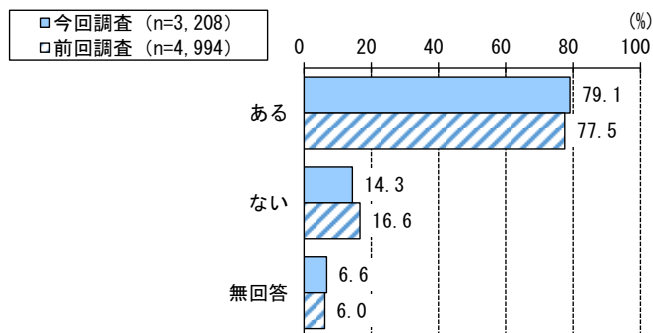
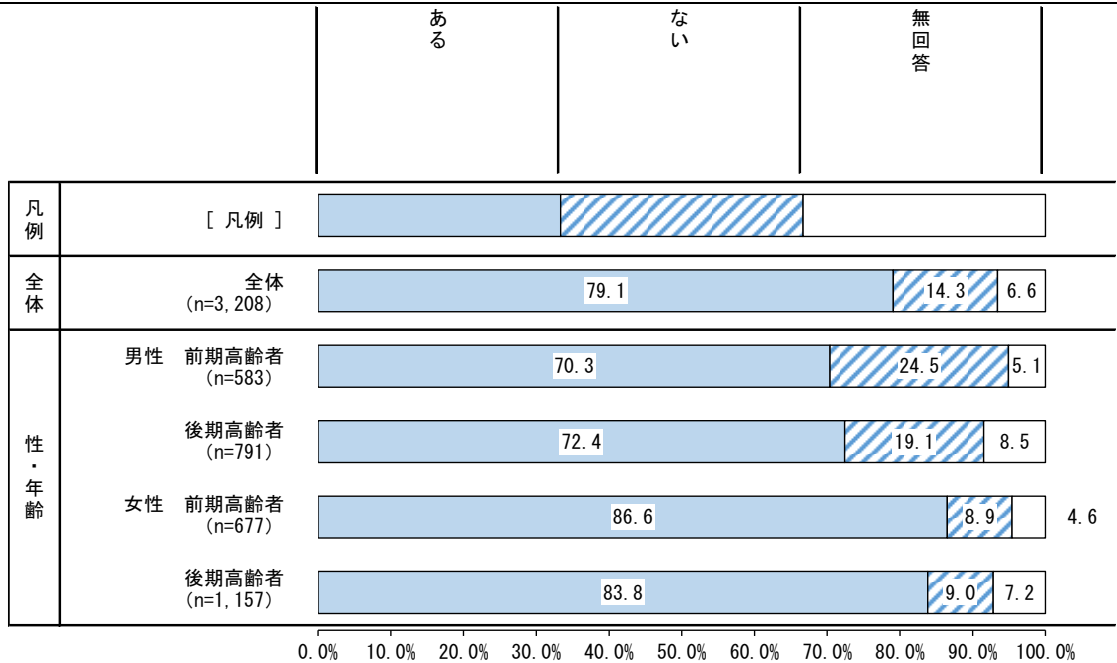
【全体】
○ 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が 30.0%、「いいえ」が 67.4%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。
【地区】
○ 「はい」は物部が 25.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
【前回比較】
○ 「はい」は増加しています。



(9) 認知症について

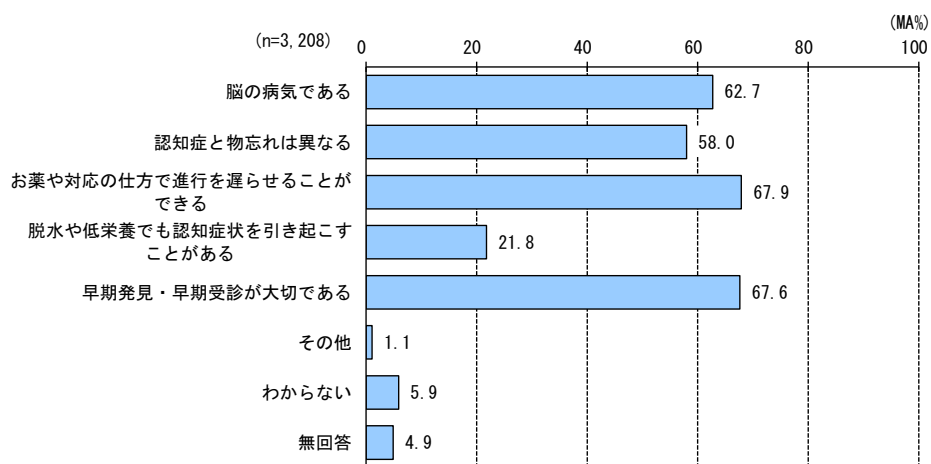
●問9.1 認知症について関心がありますか。(1つだけ)

【全体】	
○	認知症についての関心の有無について、「ある」が79.1%、「ない」が14.3%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ない」が多くなっています。



●問9.2 認知症について、どのように理解していますか。(いくつでも)

【全体】	
○	認知症についての理解について、「お薬や対応の仕方で行進を遅らせることができる」が67.9%で最も多く、次いで「早期発見・早期受診が大切である」が67.6%、「脳の病気である」が62.7%となっています。



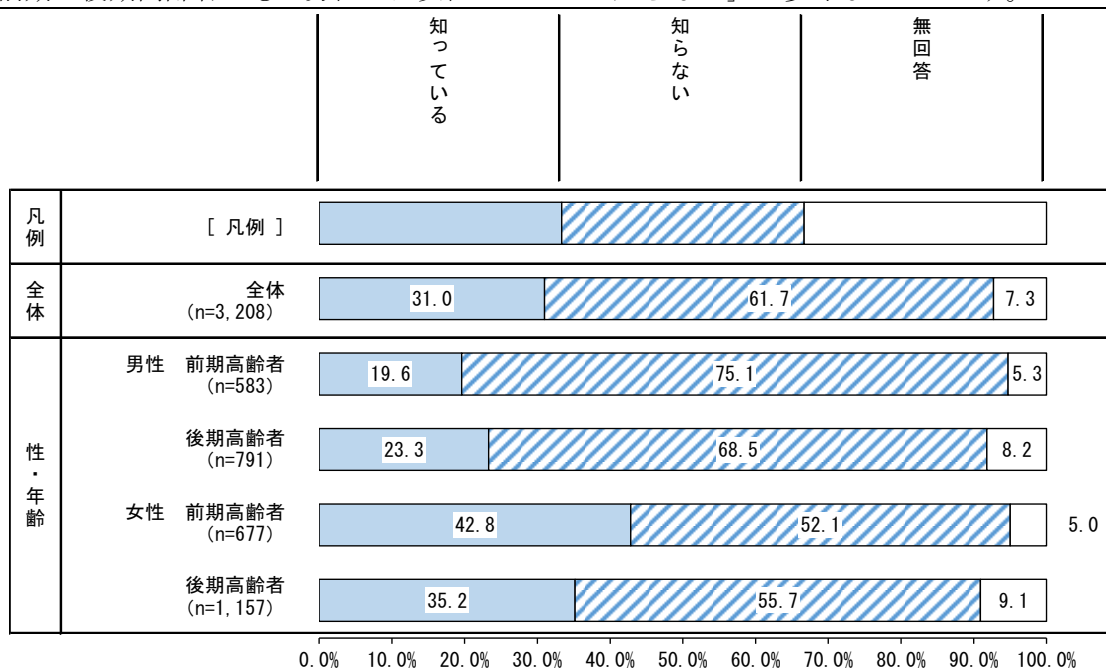
単位：％

		母数	認知症についての理解(MA)							
			脳の 病気で ある	認知症と 物忘れは 異なる	お薬や 対応の仕 方です進 行を遅ら せること ができる	脱水や 低栄養で も認知症 状がある ことが起 る	早期発見・ 早期受診が 大切である	その他	わからない	無回答
全体 (n=3,208)		3,208	62.7	58.0	67.9	21.8	67.6	1.1	5.9	4.9
性・ 年齢	男性 前期高齢者 (n=583)	583	63.5	52.3	62.1	15.6	62.8	1.0	7.4	5.1
	後期高齢者 (n=791)	791	57.1	50.4	▼ 57.5	14.0	59.3	0.8	8.8	6.2
	女性 前期高齢者 (n=677)	677	△ 75.5	66.6	△ 85.5	△ 32.2	△ 78.9	1.9	1.9	3.2
	後期高齢者 (n=1,157)	1,157	58.7	60.9	67.7	24.2	69.1	0.9	5.4	4.9

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

●問9.3 「新しい認知症観」を知っていますか。(1つだけ)

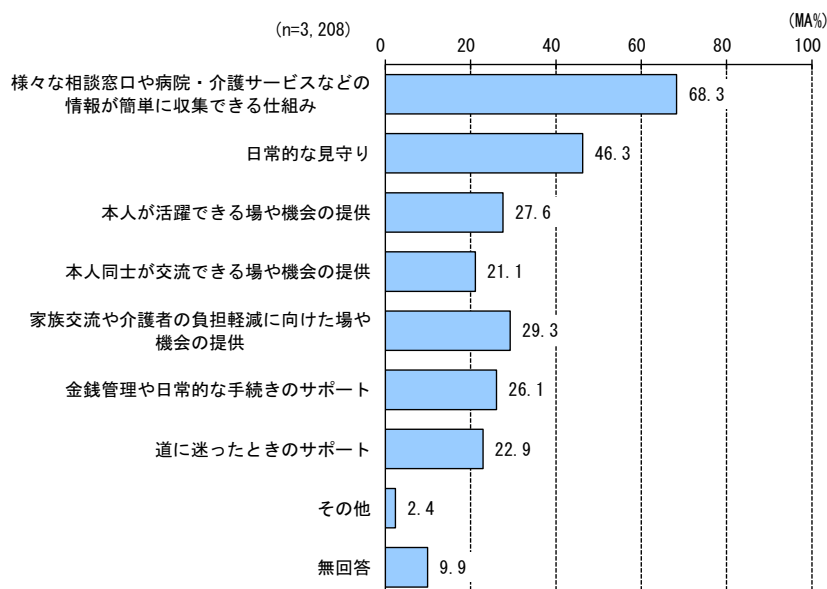
【全体】	
○ 「新しい認知症観」の認知状況について、「知っている」が 31.0%、「知らない」が 61.7%となっています。	
【性・年齢】	
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「知らない」が多くなっています。	



●問9.4 認知症になっても、自分らしく暮らし続けるためには、どのような支援があればよいと思いますか。(いくつでも)

【全体】

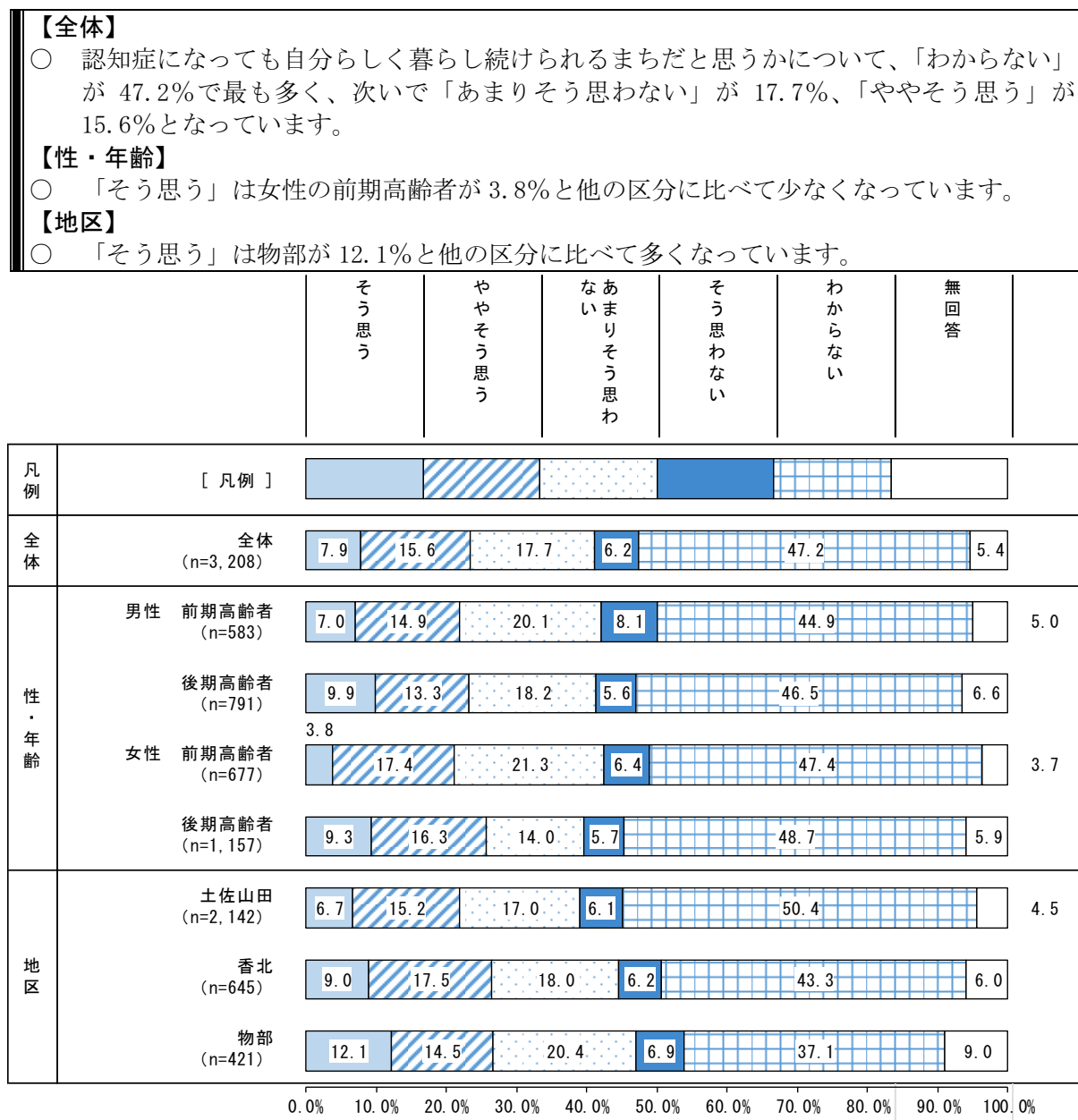
- 「様々な相談窓口や病院・介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が68.3%で最も多く、次いで「日常的な見守り」が46.3%、「家族交流や介護者の負担軽減に向けた場や機会の提供」が29.3%となっています。



		母数	認知症になっても、自分らしく暮らし続けるために必要な支援 (MA)								
			収集できる仕組み	様々な相談窓口や病院・介護サービスなどの情報が簡単に	日常的な見守り	本人が活躍できる場や機会の提供	本人同士が交流できる場や機会の提供	家族交流や介護者の負担軽減に向けた場や機会の提供	金銭管理や日常的な手続きのサポート	道に迷ったときのサポート	その他
全体 (n=3,208)		3,208	68.3	46.3	27.6	21.1	29.3	26.1	22.9	2.4	9.9
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=583)	583	69.1	42.0	24.7	16.1	26.1	27.1	15.4	3.9	7.2
	後期高齢者 (n=791)	791	63.6	39.3	23.0	17.1	23.0	21.7	18.2	2.5	12.9
	女性 前期高齢者 (n=677)	677	76.8	56.1	35.0	28.1	△ 39.9	34.7	29.1	1.6	5.0
	後期高齢者 (n=1,157)	1,157	66.1	47.4	28.0	22.3	29.0	23.5	26.3	1.9	12.0

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

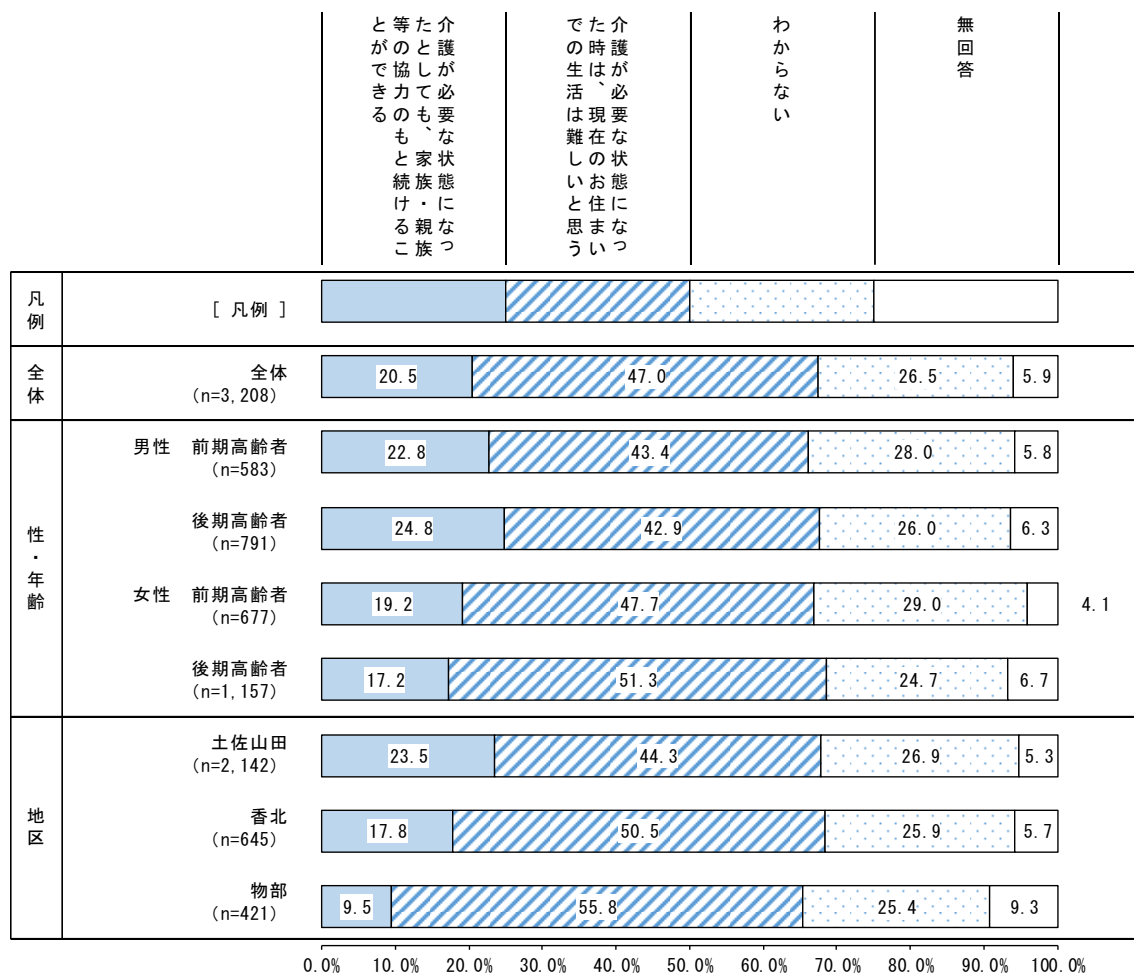
●問9.5 香美市は、認知症になっても自分らしく暮らし続けられるところだと思いますか。(1つだけ)

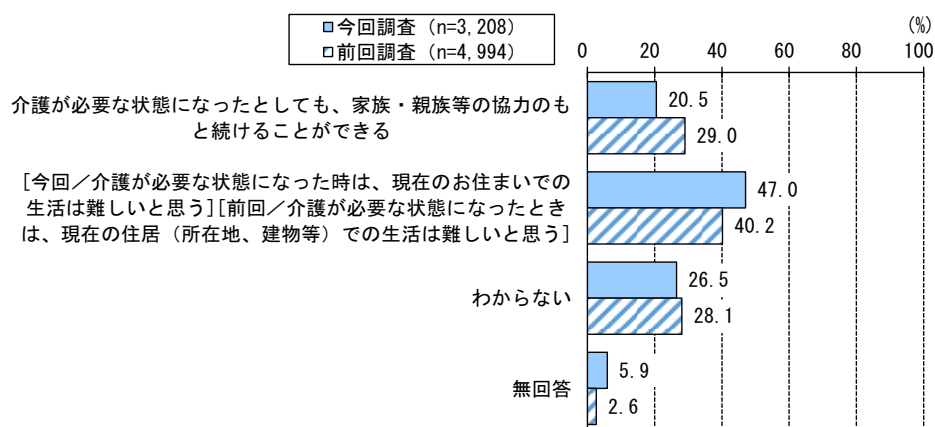
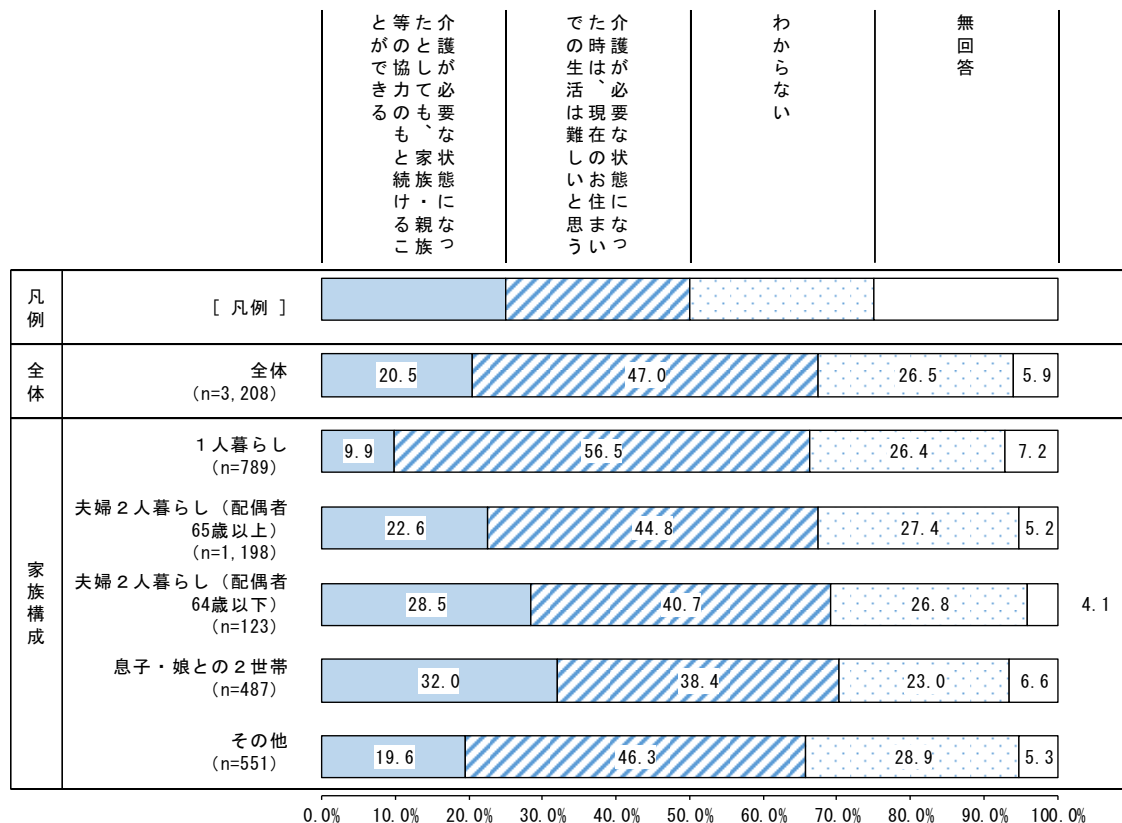


(10) これからの暮らしについて

- 問10.1 仮に加齢等に伴い介護が必要な状態になったとしても、現在のお住まいでの生活は、続けることができると思いますか。(1つだけ)

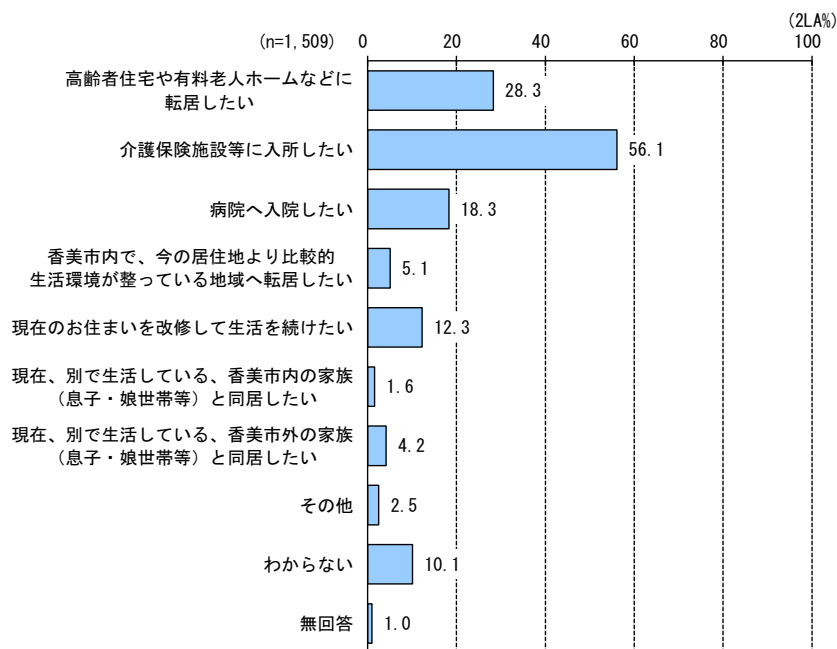
【全体】	
○	介護が必要な状態になっても、現在のお住まいでの生活は、続けることができると思うかについて、「介護が必要な状態になった時は、現在のお住まいでの生活は難しいと思う」が 47.0%で最も多く、次いで「わからない」が 26.5%、「介護が必要な状態になったとしても、家族・親族等の協力のもと続けることができる」が 20.5%となっています。
【性・年齢】	
○	前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「介護が必要な状態になったとしても、家族・親族等の協力のもと続けることができる」が多くなっています。
【地区】	
○	「介護が必要な状態になった時は、現在のお住まいでの生活は難しいと思う」は物部が 55.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【家族構成】	
○	「介護が必要な状態になった時は、現在のお住まいでの生活は難しいと思う」は1人暮らしが 56.5%と他の区分に比べて多くなっています。
【前回比較】	
○	「介護が必要な状態になった時は、現在のお住まいでの生活は難しいと思う」は増加している一方、「介護が必要な状態になったとしても、家族・親族等の協力のもと続けることができる」および「わからない」は減少しています。





●問10.1-1 仮に今のお住まいでの生活が困難になったとしたら、お住まいについて
どのようにしたいと思いますか。(2つまで)

【全体】	
○	お住まいでの生活が困難になった場合、お住まいについてどのようにしたいかについて、「介護保険施設等に入所したい」が56.1%で最も多く、次いで「高齢者住宅や有料老人ホームなどに転居したい」が28.3%、「病院へ入院したい」が18.3%となっています。
【地区】	
○	「香美市内で、今の居住地より比較的生活環境が整っている地域へ転居したい」は物部が11.5%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】	
○	「病院へ入院したい」は要支援1・2が35.5%と一般高齢者の17.0%に比べて多くなっています。



		母数	お住まいでの生活が困難になった場合、お住まいについてどのようにしたいか(2LA)										単位: %
			高齢者住宅や有料老人ホームなどに転居したい	介護保険施設等に入所したい	病院へ入院したい	香美市内で、今の居住地より比較的生活環境が整っている地域へ転居したい	現在のお住まいを改修して生活を続けたい	香美市内、別で生活している(息子・娘世帯等)と同居したい	香美市外、別で生活している(息子・娘世帯等)と同居したい	その他	わからない	無回答	
全体 (n=1,509)		1,509	28.3	56.1	18.3	5.1	12.3	1.6	4.2	2.5	10.1	1.0	
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=253)	253	31.2	54.9	13.4	7.9	13.8	1.6	4.3	3.2	11.5	1.2	
	後期高齢者 (n=339)	339	28.9	53.4	21.8	2.4	10.3	2.1	2.9	2.1	11.5	1.5	
	女性 前期高齢者 (n=323)	323	32.8	53.9	12.4	5.0	18.3	0.6	5.0	3.1	9.9	0.6	
	後期高齢者 (n=594)	594	24.2	59.4	21.5	5.6	9.6	1.9	4.4	2.2	8.8	0.8	
地区	土佐山田 (n=948)	948	30.7	57.3	17.2	3.6	13.0	0.9	4.0	2.0	9.6	0.9	
	香北 (n=326)	326	26.7	56.7	19.9	4.9	11.7	2.5	5.5	3.7	9.8	1.2	
	物部 (n=235)	235	20.9	50.6	20.4	11.5	10.6	3.0	3.0	3.0	12.3	0.9	
状態認定	一般高齢者 (n=1,402)	1,402	28.8	55.7	17.0	5.3	12.8	1.6	4.2	2.6	10.2	1.1	
	要支援1・2 (n=107)	107	21.5	61.7	△ 35.5	1.9	6.5	0.9	3.7	1.9	8.4	-	
	1人暮らし (n=446)	446	27.4	54.9	19.5	5.6	7.0	2.0	6.7	2.7	12.6	0.4	
家族構成	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (n=537)	537	30.2	56.8	15.6	4.1	16.9	1.3	3.9	2.4	7.6	1.1	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (n=50)	50	26.0	▼ 46.0	12.0	8.0	12.0	2.0	-	4.0	12.0	4.0	
	息子・娘との2世帯 (n=187)	187	26.7	61.5	22.5	4.8	12.8	2.1	-	0.5	8.0	1.1	
	その他 (n=255)	255	28.6	55.3	18.0	6.3	12.9	0.4	4.3	3.1	12.5	0.4	

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

●問10.2 あなたは、食材・日用品等の買物を主にどうしていますか。(1つだけ)

【全体】

- 食材・日用品等の買物をどうしているかについて、「市内のお店で主に購入」が53.5%で最も多く、次いで「近隣市町のお店で主に購入」が21.4%、「家族、親族、友人に頼んでいる」が7.2%となっています。

【地区】

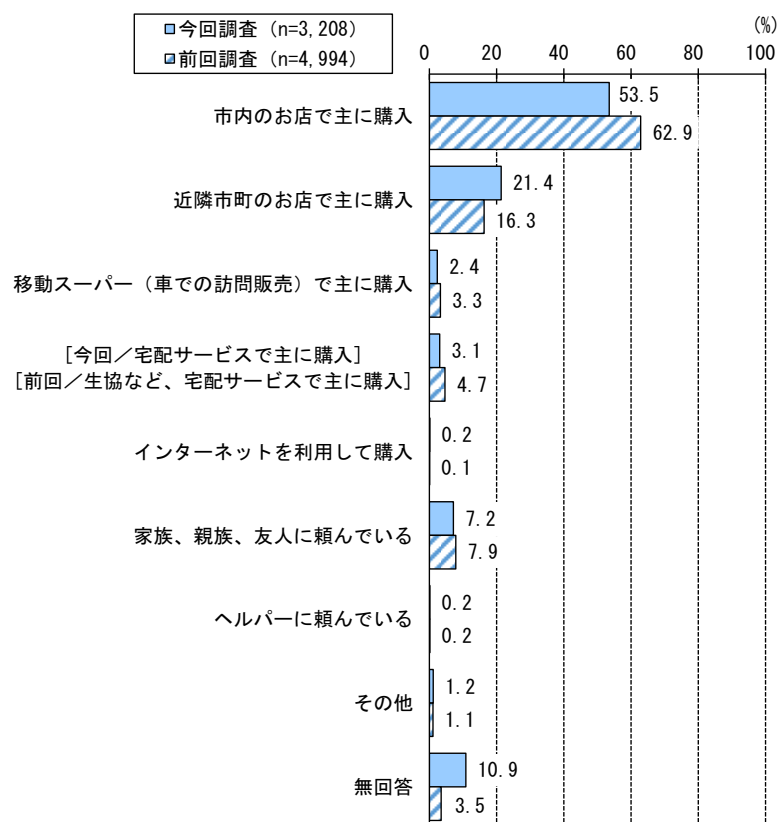
- 「移動スーパー（車での訪問販売）で主に購入」は物部が10.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「市内のお店で主に購入」は一般高齢者が54.6%と要支援1・2の35.3%に比べて多くなっています。

【前回比較】

- 「近隣市町のお店で主に購入」は増加している一方、「市内のお店で主に購入」は減少しています。



単位：％

		母数	食材・日用品等の買物をどうしているか								
			市内のお店で主に購入	近隣市町のお店で主に購入	移動スーパー（車で訪問販売）で主に購入	宅配サービスで主に購入	インターネットを利用して購入	家族、親族、友人に頼んでいる	ヘルパーに頼んでいる	その他	無回答
全体（n=3,208）		3,208	53.5	21.4	2.4	3.1	0.2	7.2	0.2	1.2	10.9
性・年齢	男性 前期高齢者（n=583）	583	58.8	24.7	0.5	0.3	0.3	5.5	－	0.7	9.1
	後期高齢者（n=791）	791	59.3	15.8	1.5	2.0	0.3	8.6	0.1	0.6	11.8
	女性 前期高齢者（n=677）	677	55.4	28.7	0.6	2.8	0.1	2.1	－	0.7	9.6
	後期高齢者（n=1,157）	1,157	45.6	19.4	4.9	5.3	0.2	10.1	0.4	2.0	12.1
地区	土佐山田（n=2,142）	2,142	58.3	20.5	0.5	2.8	0.1	7.1	0.2	1.0	9.5
	香北（n=645）	645	47.9	23.1	3.4	4.0	0.2	7.3	0.2	2.0	11.9
	物部（n=421）	421	▼ 37.5	23.5	10.5	2.9	1.0	7.4	－	0.7	16.6
状況認定	一般高齢者（n=3,021）	3,021	54.6	22.1	2.1	2.7	0.2	6.6	－	1.0	10.7
	要支援1・2（n=187）	187	▼ 35.3	▼ 10.2	7.5	8.0	0.5	17.1	3.2	3.2	15.0

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

●問10.3 自宅で生活をするためには、どのような支援が必要だと思いますか。

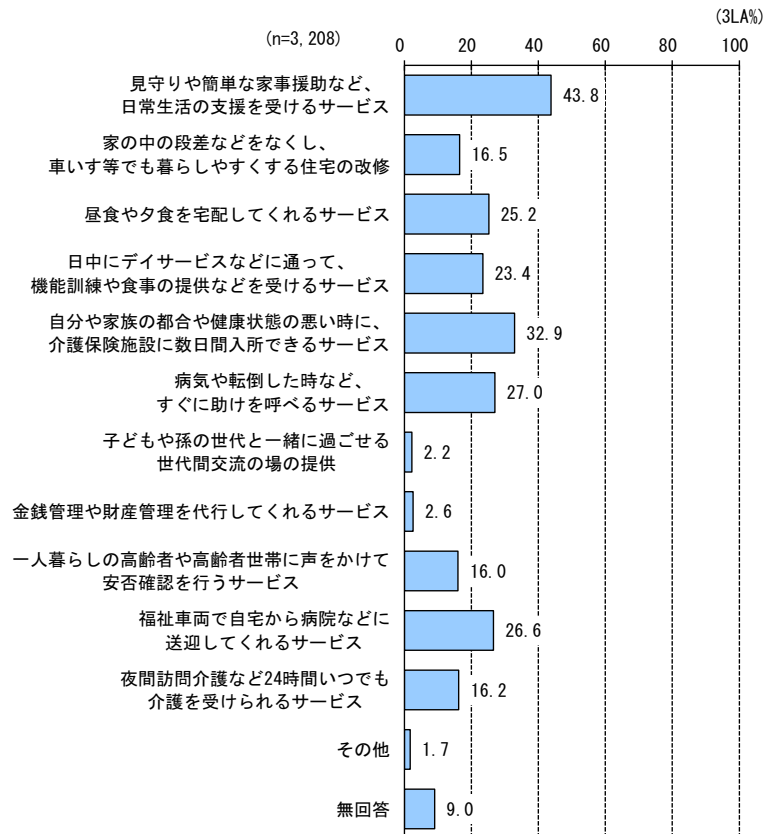
(3つまで)

【全体】

- 自宅で生活をするために必要な支援について、「見守りや簡単な家事援助など、日常生活の支援を受けるサービス」が 43.8%で最も多く、次いで「自分や家族の都合や健康状態の悪い時に、介護保険施設に数日間入所できるサービス」が 32.9%、「病気や転倒した時など、すぐに助けを呼べるサービス」が 27.0%となっています。

【地区】

- 「福祉車両で自宅から病院などに送迎してくれるサービス」は物部が 30.9%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：%

			自宅で生活するために必要な支援 (3LA)								単位: %		
			母数	サービス 見守りや 日常生活の 支援を受け る	車いす等 住宅の改修	家の段差 などをなく し、暮らす	昼食や夕 食を宅配 してくれる	通つて、 機械を使 えるサー ビスなど の提供	日中にデ イサービス などによ り、生活 の困り事 を解消す る	数日間の 入所によ り、生活 の困り事 を解消す る	自分や家 族の都合 や健康状 態に合わ ない時に 介護保険 施設など に入所す る	病気や転 倒した時 など、す ぐらに支 援を受け る	子どもや 孫の世代 間の交流 の場の提 供
全体 (n=3, 208)			3, 208	43. 8	16. 5	25. 2	23. 4	32. 9	27. 0	2. 2			
性・ 年 齢	男性	前期高齢者 (n=583)	583	49. 9	17. 8	29. 7	21. 3	27. 1	27. 3	2. 4			
		後期高齢者 (n=791)	791	44. 0	16. 8	25. 9	19. 5	30. 1	23. 1	2. 9			
	女性	前期高齢者 (n=677)	677	50. 7	19. 6	24. 2	30. 9	36. 0	28. 8	1. 8			
		後期高齢者 (n=1, 157)	1, 157	36. 6	13. 7	23. 2	22. 8	35. 8	28. 5	1. 7			
地 区	土佐山田 (n=2, 142)		2, 142	44. 4	16. 8	26. 0	25. 4	33. 0	27. 5	1. 9			
	香北 (n=645)		645	45. 9	17. 2	26. 8	20. 8	34. 0	28. 4	2. 5			
	物部 (n=421)		421	37. 3	14. 0	19. 0	17. 3	30. 6	22. 8	2. 9			

単位：％

単位：%

		母数	自宅で生活を続けるために必要な支援(3LA)					
			金銭管理や財産管理を代行してくれるサービス	一人暮らしの高齢者や高齢者の世帯に声をかけて安全確認を行うサービス	福祉車両で自宅から病院などに送迎してくれるサービス	夜間訪問介護など24時間いつでも訪問介護を受けられるサービス	その他	無回答
全体 (n=3,208)		3,208	2.6	16.0	26.6	16.2	1.7	9.0
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=583)	583	5.0	14.8	22.3	16.6	2.6	7.4
	後期高齢者 (n=791)	791	2.3	15.4	24.8	15.9	1.9	11.8
	女性 前期高齢者 (n=677)	677	2.8	15.4	29.4	17.6	1.2	4.9
	後期高齢者 (n=1,157)	1,157	1.5	17.5	28.3	15.5	1.6	10.4
地区	土佐山田 (n=2,142)	2,142	2.9	16.1	25.5	17.1	1.6	8.4
	香北 (n=645)	645	2.0	15.2	27.4	14.9	2.0	8.1
	物部 (n=421)	421	1.9	17.1	30.9	14.0	2.1	13.8

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

●問10.4 あなたは終末期に備えて何か行っていることがありますか。(いくつでも)

【全体】

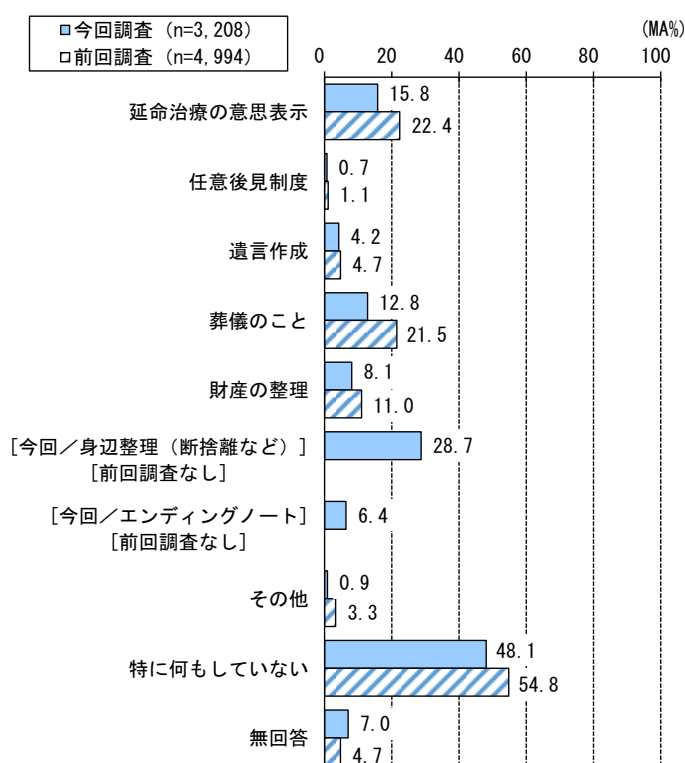
- 終末期に備えて行っていることについて、「特に何もしていない」が48.1%で最も多く、次いで「身辺整理（断捨離など）」が28.7%、「延命治療の意思表示」が15.8%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「延命治療の意思表示」が多くなっています。

【前回比較】

- 「延命治療の意思表示」「葬儀のこと」「財産の整理」「特に何もしていない」は減少しています。

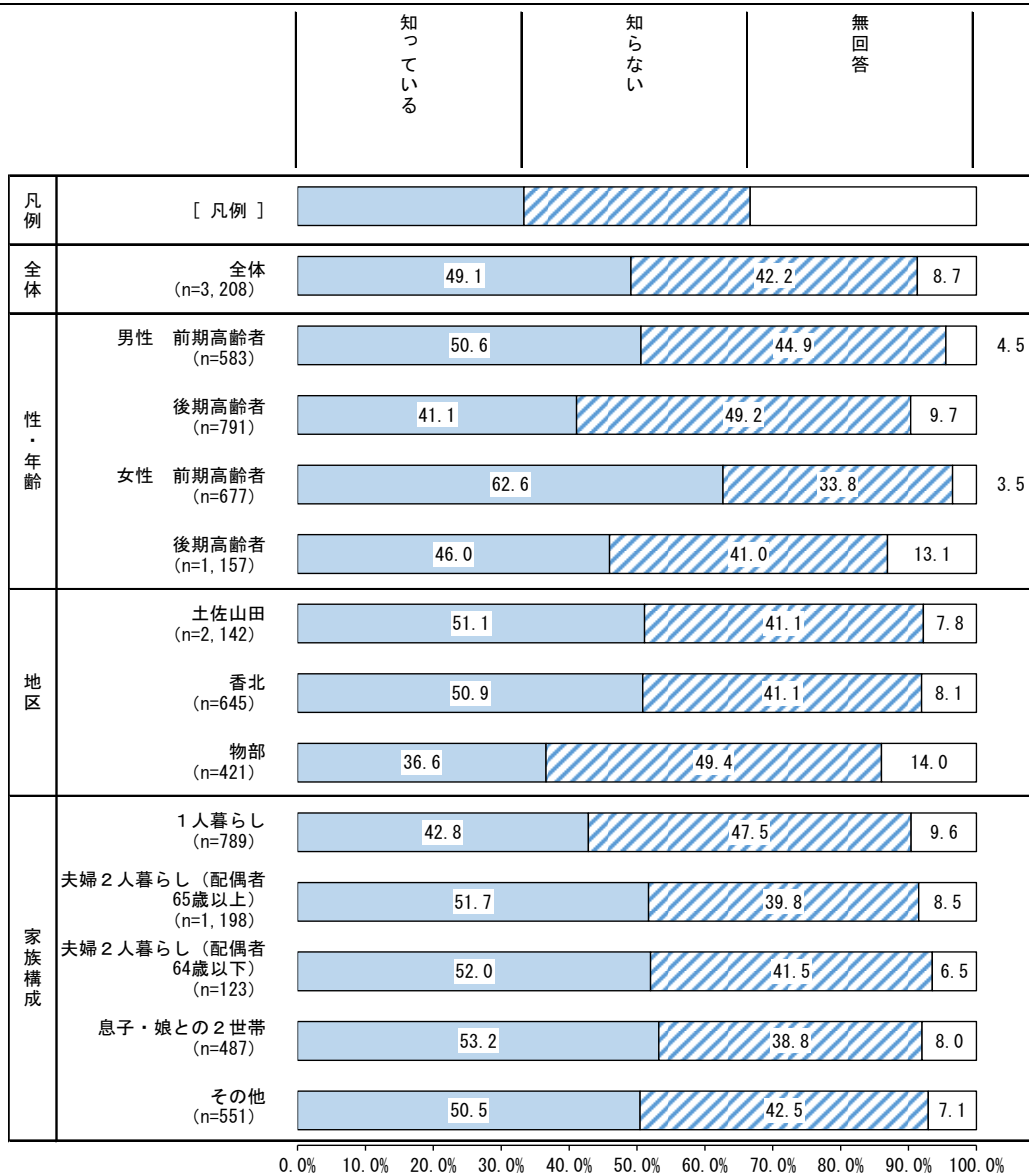


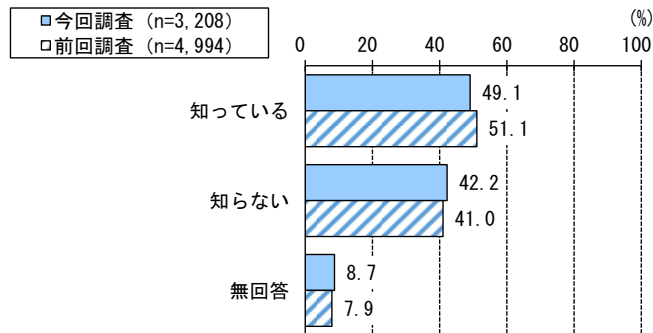
単位：％													
			母数	終末期に備えていること(MA)									
				延命治療の 意思表示	任意後見制度	遺言作成	葬儀のこと	財産の整理	身辺整理 (断捨離など)	エンディングノート	その他	特に何もしていない	無回答
全体 (n=3,208)			3,208	15.8	0.7	4.2	12.8	8.1	28.7	6.4	0.9	48.1	7.0
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=583)	583	6.9	0.7	2.4	5.3	7.7	19.0	2.4	0.9	△ 66.7	4.5
		後期高齢者 (n=791)	791	13.0	0.8	6.2	13.3	9.7	▼ 18.6	5.3	1.0	53.0	8.3
	女性	前期高齢者 (n=677)	677	20.7	0.4	2.2	13.3	7.5	△ 39.7	9.3	0.3	42.7	3.8
		後期高齢者 (n=1,157)	1,157	19.4	0.8	4.8	16.0	7.6	34.1	7.5	1.3	38.5	9.3

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

●問10.5 成年後見制度を知っていますか。(1つだけ)

【全体】		○ 成年後見制度の認知状況について、「知っている」が49.1%、「知らない」が42.2%となっています。
【性・年齢】		○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「知っている」が多くなっています。
		○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。
【前回比較】		○ 「知っている」はやや減少しています。



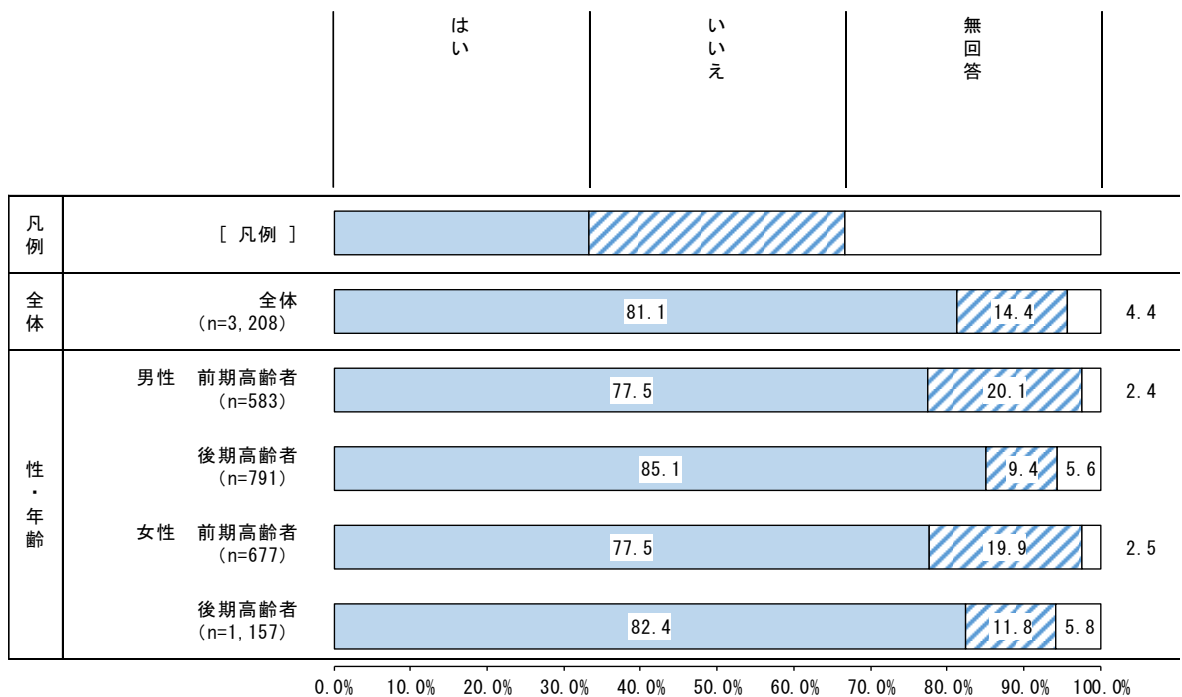


(11) かかりつけ医や耳の聞こえについて

●問11.1 現在、病院・医院に通院していますか。(1つだけ)

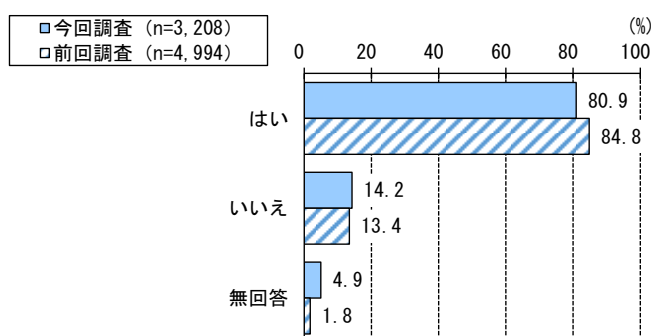
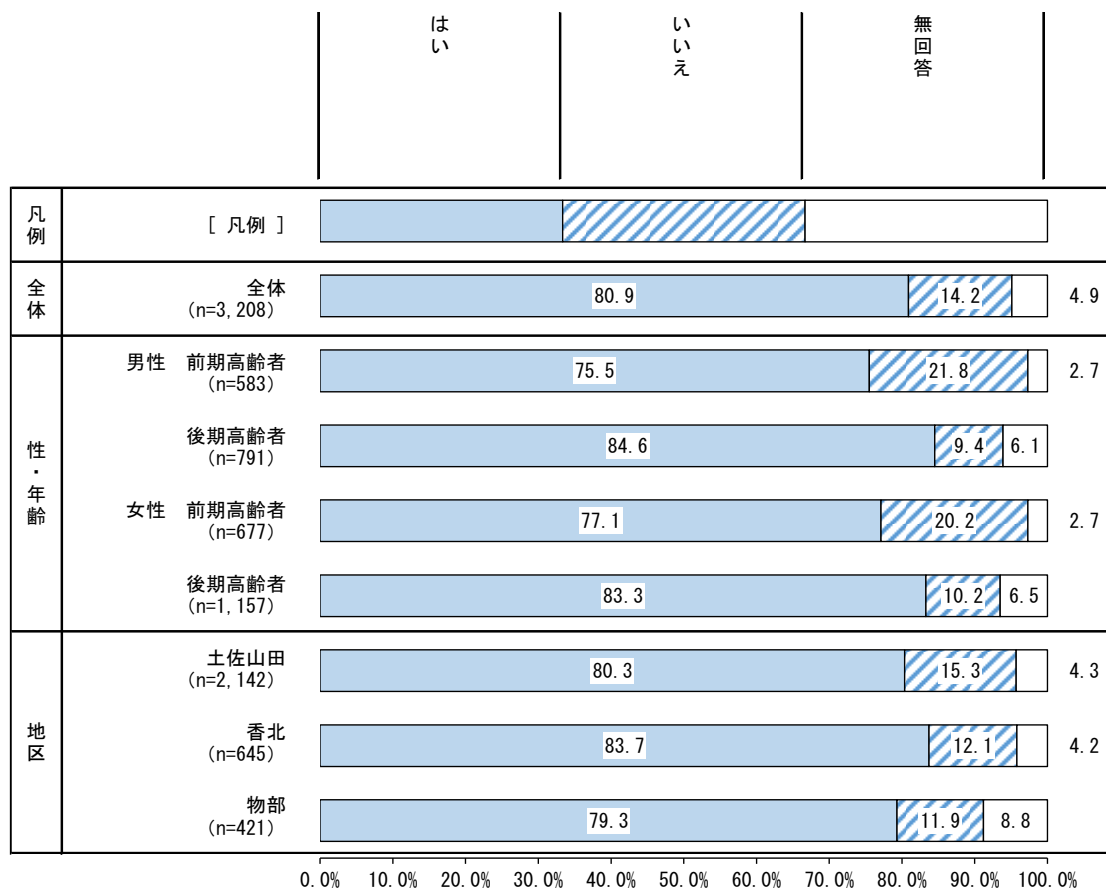
【全体】

○ 病院・医院への通院状況について、「はい」が 81.1%、「いいえ」が 14.4%となっています。



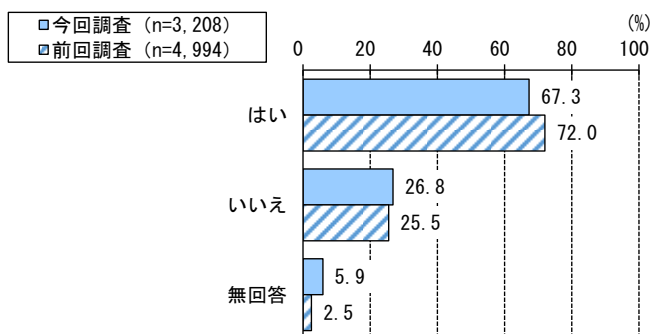
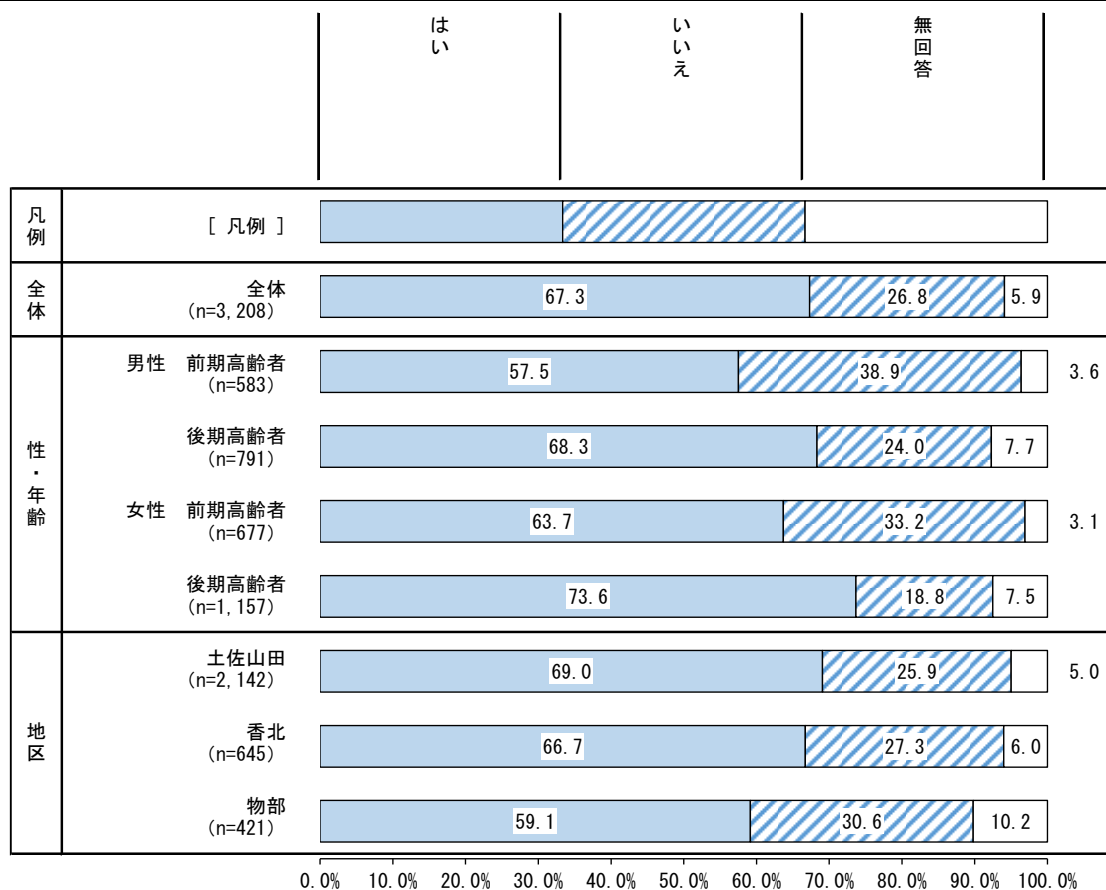
●問11.2 あなたは、かかりつけ医を持っていますか。(1つだけ)

【全体】
○ かかりつけ医の状況について、「はい」が80.9%、「いいえ」が14.2%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
【地区】
○ 「はい」は香北が83.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【前回比較】
○ 「はい」は減少しています。



●問11.3 あなたは、かかりつけ薬局を持っていますか。(1つだけ)

【全体】	
○	かかりつけ薬局の状況について、「はい」が 67.3%、「いいえ」が 26.8%となっています。
【性・年齢】	
○	男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。
○	前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。
【地区】	
○	「はい」は物部が 59.1%と他の区分に比べて少なくなっています。
【前回比較】	
○	「はい」は減少しています。



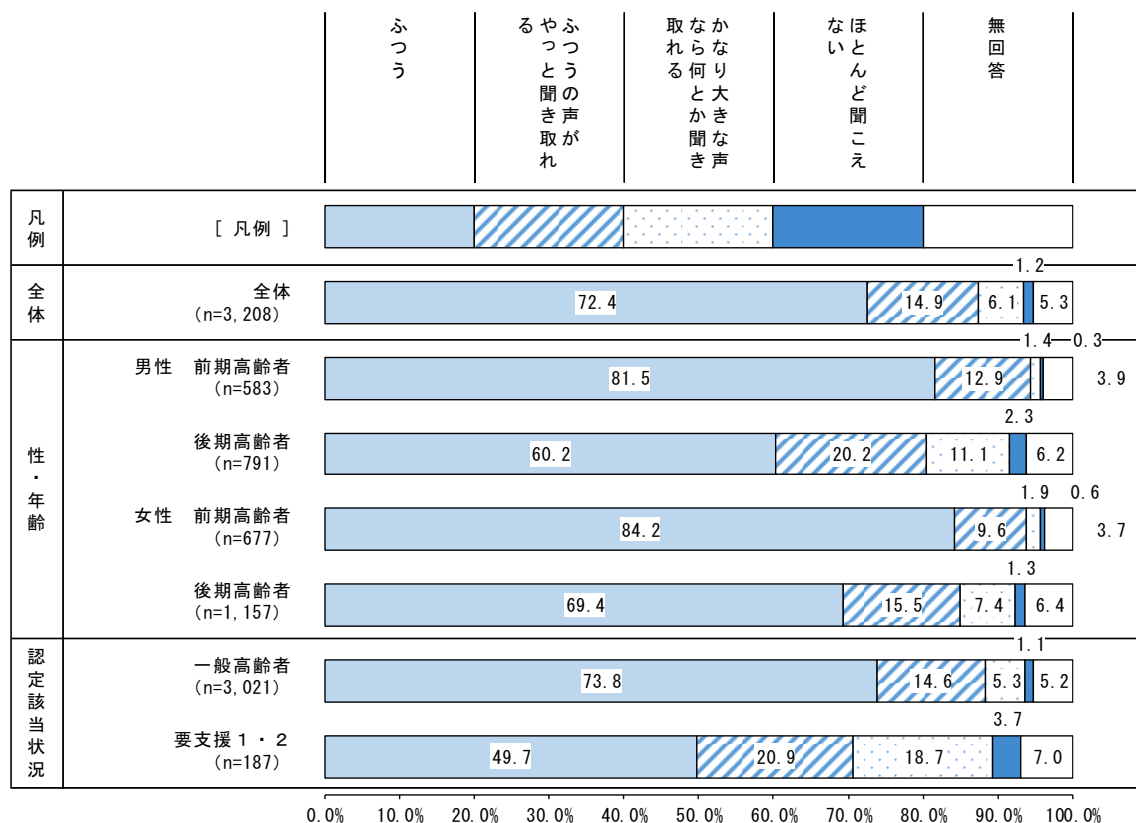
●問11.4 現在のあなたの耳の聞こえの状態はいかがですか。（1つだけ）

【全体】

- 現在の耳の聞こえの状態について、「ふつう」が72.4%で最も多く、次いで「ふつうの声がやっと聞き取れる」が14.9%、「かなり大きな声なら何とか聞き取れる」が6.1%となっています。

【認定該当状況】

- 「ふつう」は一般高齢者が73.8%と要支援1・2の49.7%に比べて多くなっています。

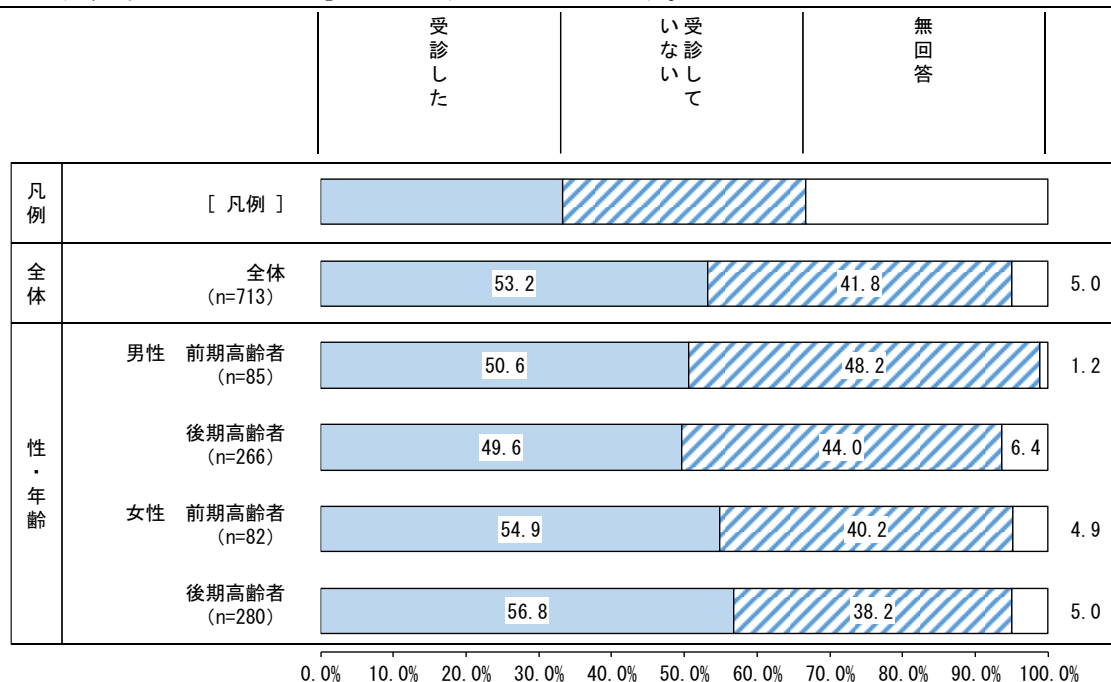


●問11.4-1 聞こえの状態について専門医（耳鼻科）を受診したことがありますか。

（1つだけ）

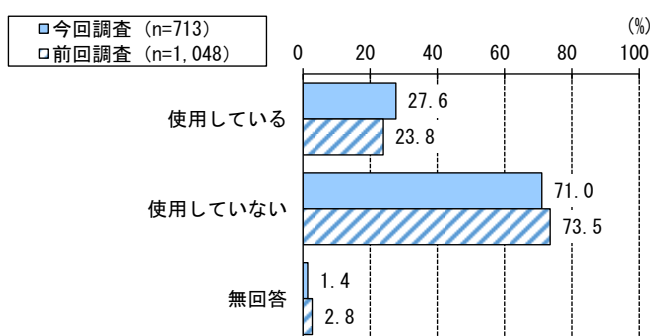
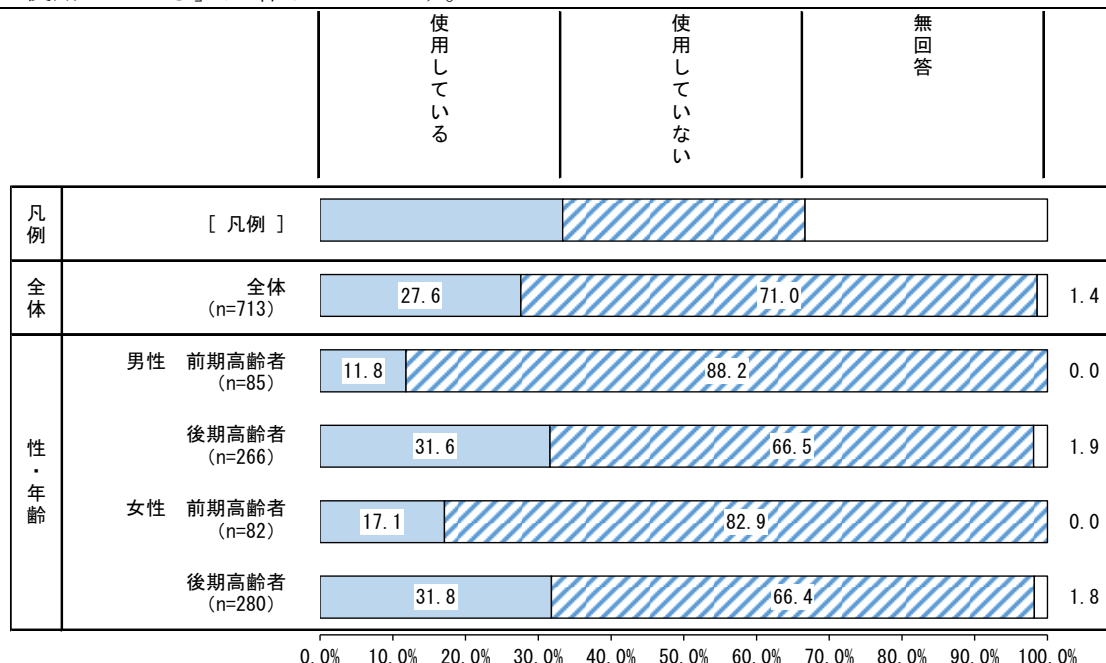
【全体】

- 聞こえの状態について専門医（耳鼻科）への受診の有無について、「受診した」が53.2%、「受診していない」が41.8%となっています。



●問11.4-2 補聴器を使用していますか。(1つだけ)

【全体】
○ 補聴器の使用状況について、「使用している」が27.6%、「使用していない」が71.0%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「使用している」が多くなっています。
【前回比較】
○ 「使用している」は増加しています。



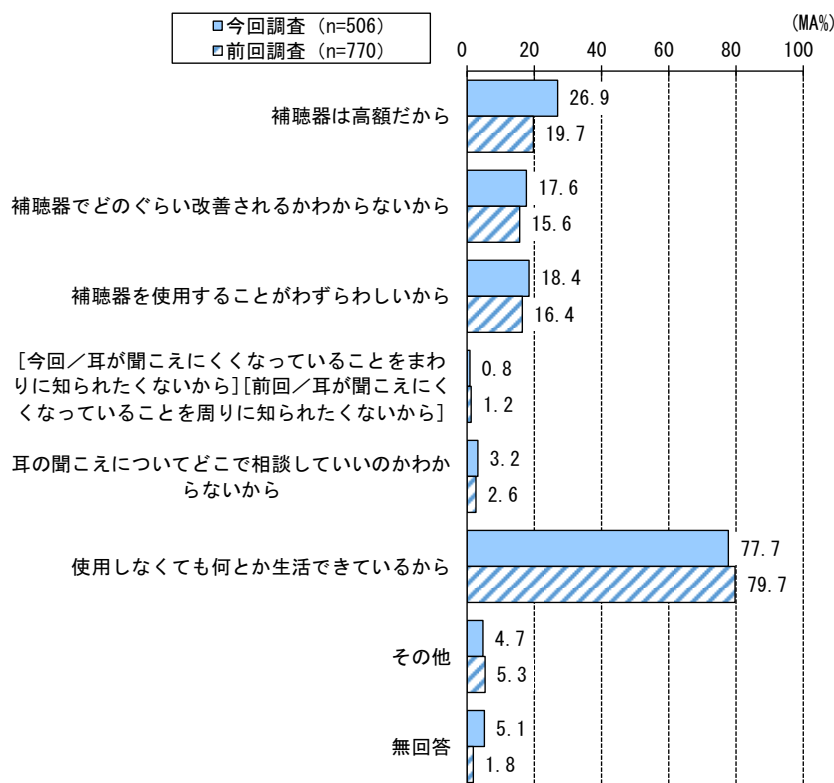
●問11.4-3 使用していない理由は何ですか。(いくつでも)

【全体】

- 補聴器を使用していない理由について、「使用しなくても何とか生活できているから」が77.7%で最も多く、次いで「補聴器は高額だから」が26.9%、「補聴器を使用することがわずらわしいから」が18.4%となっています。

【前回比較】

- 「補聴器は高額だから」は増加しています。



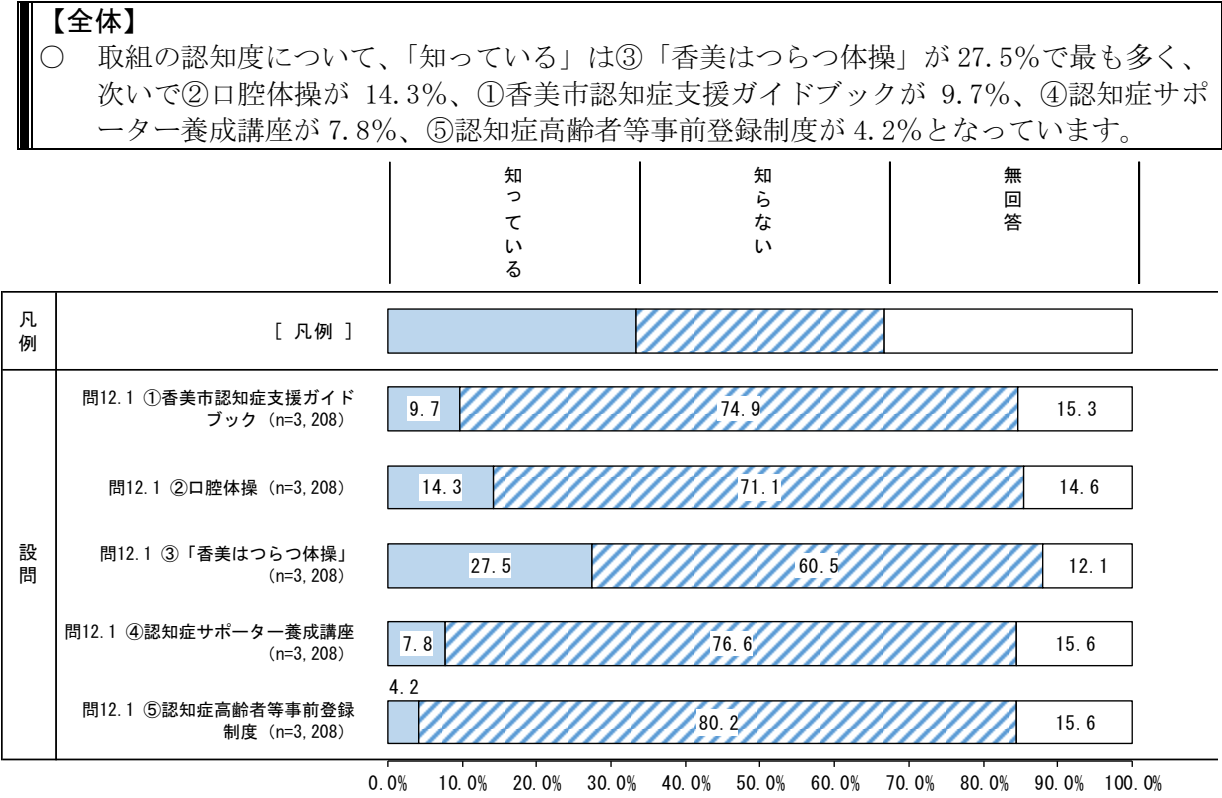
単位：%

		母数	補聴器を使用していない理由 (MA)							
			補聴器は高額だから	補聴器でどのくらい改善されるかわからないから	補聴器を使用することが	耳が聞こえにくくなっていることをまわりに知られたくないから	耳の聞こえについてどこで相談していいのかわからないから	使用しなくても何とか生活できているから	その他	無回答
全体 (n=506)		506	26.9	17.6	18.4	0.8	3.2	77.7	4.7	5.1
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=75)	75	20.0	14.7	12.0	—	5.3	80.0	1.3	9.3
	後期高齢者 (n=177)	177	31.1	15.3	26.0	1.7	1.7	74.6	4.0	4.5
	女性 前期高齢者 (n=68)	68	22.1	16.2	8.8	—	2.9	79.4	7.4	5.9
	後期高齢者 (n=186)	186	27.4	21.5	17.2	0.5	3.8	79.0	5.9	3.8

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

(12) その他

●問12.1 以下のような取組を知っていますか。(①～⑤にそれぞれ1つ)



①香美市認知症支援ガイドブック

【全体】

- 香美市認知症支援ガイドブックの認知状況について、「知っている」が 9.7%、「知らない」が 74.9%となっています。

【性・年齢】

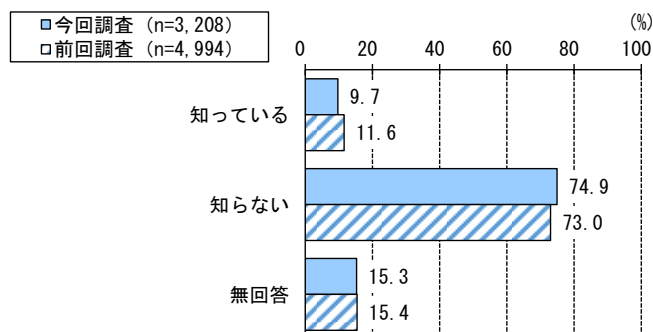
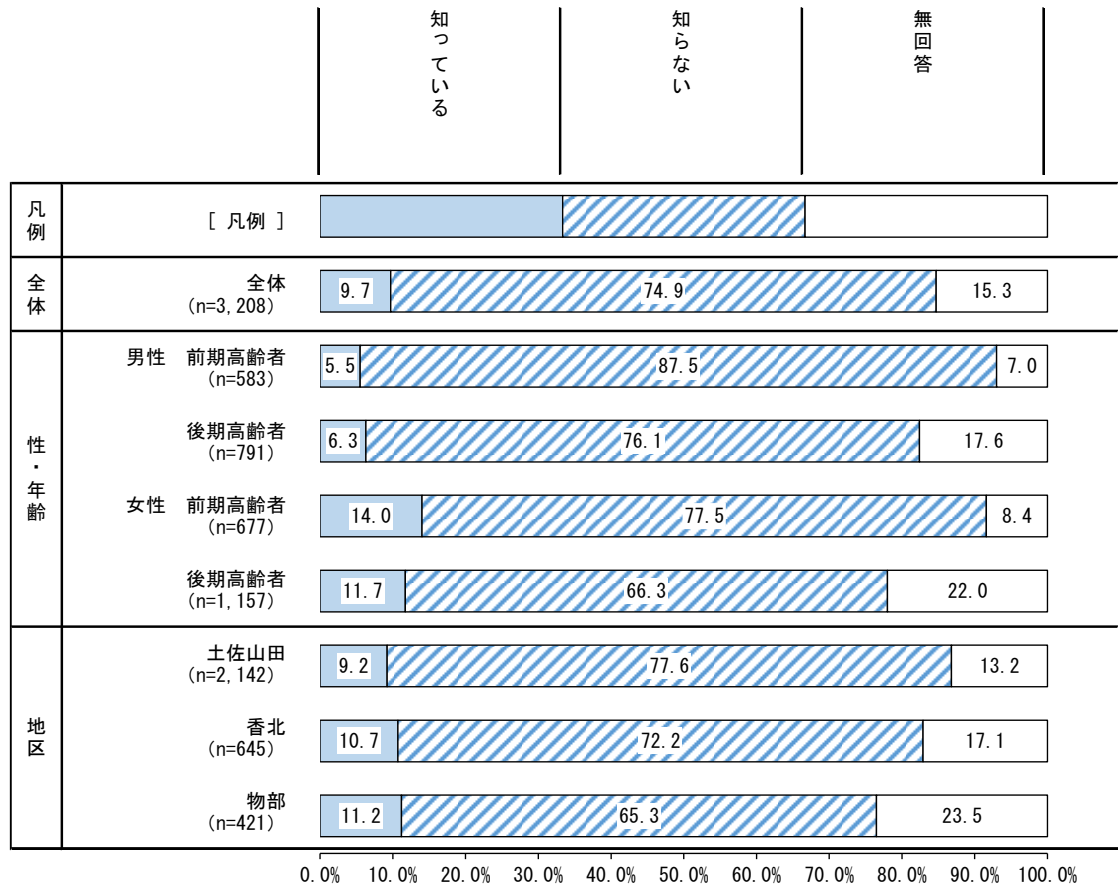
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。

【地区】

- 「知らない」は土佐山田が 77.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【前回比較】

- 大きな差はみられません。



②口腔体操

【全体】

- 口腔体操の認知状況について、「知っている」が14.3%、「知らない」が71.1%となっています。

【性・年齢】

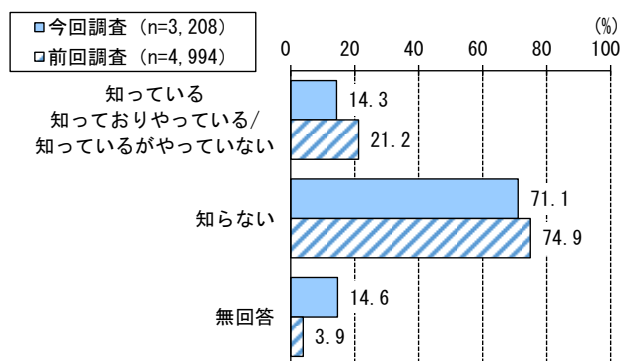
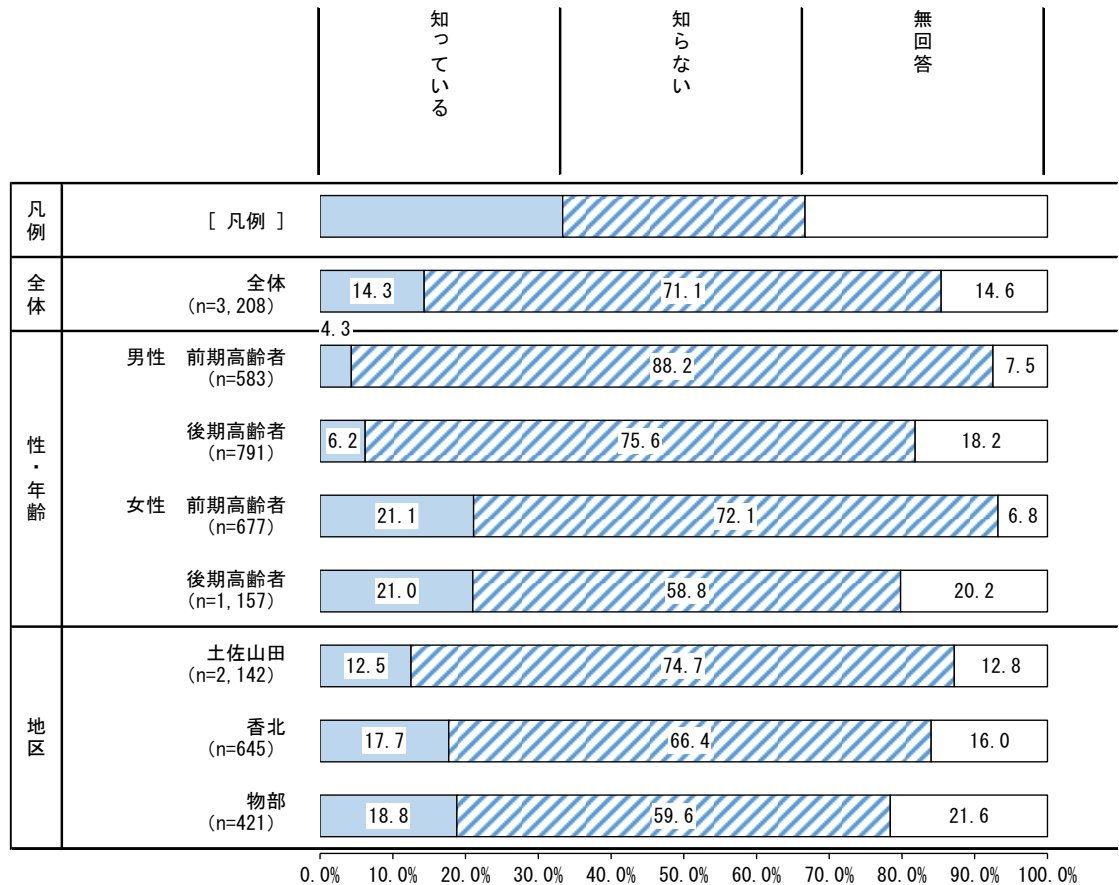
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。

【地区】

- 「知っている」は土佐山田が12.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【前回比較】

- 「知っている」は減少しています。



③「香美はっらっ体操」

【全体】

- 「香美はっらっ体操」の認知状況について、「知っている」が 27.5%、「知らない」が 60.5%となっています。

【性・年齢】

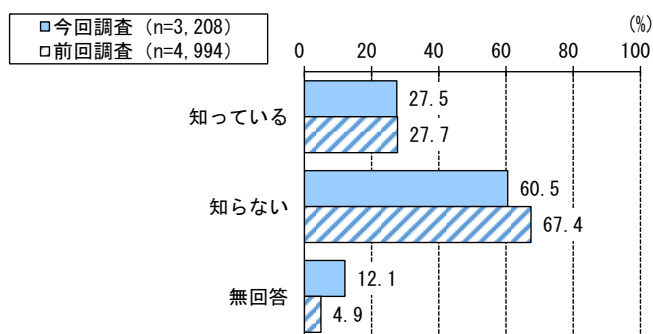
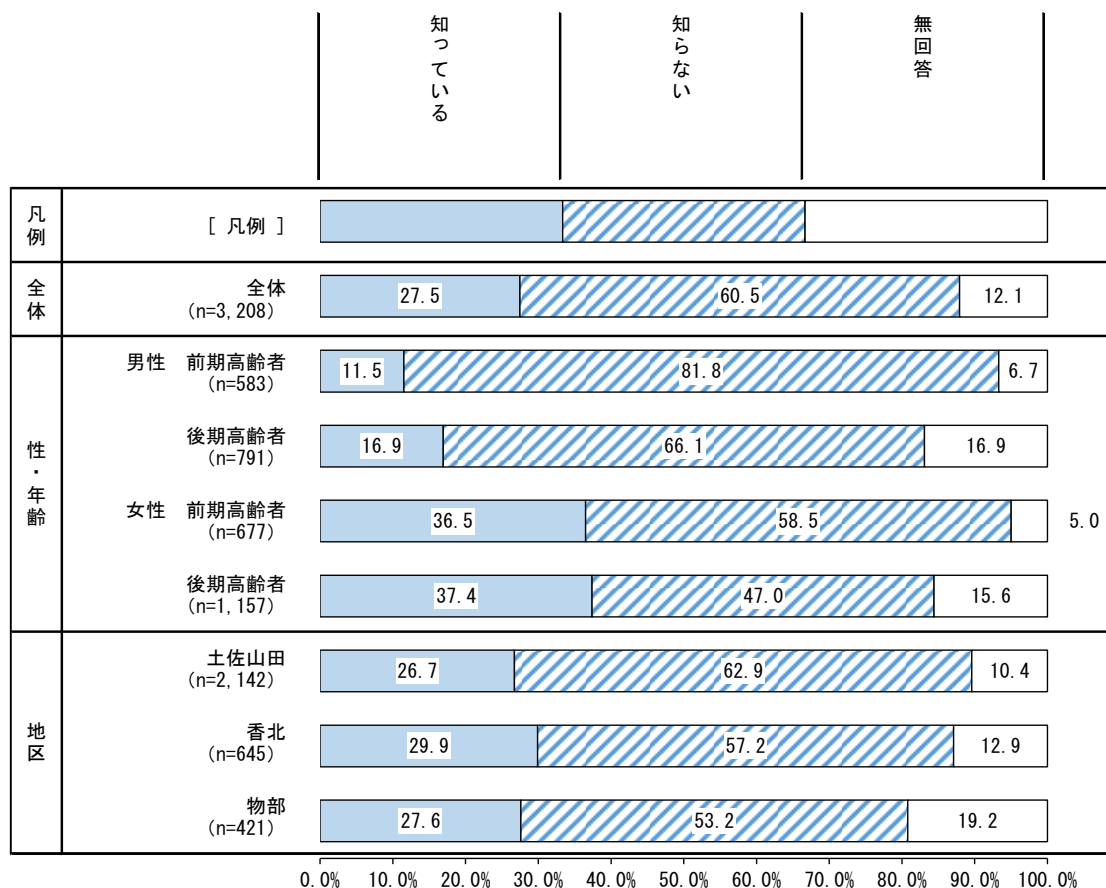
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。

【地区】

- 「知らない」は土佐山田が 62.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【前回比較】

- 「知らない」は減少しています。



④認知症サポーター養成講座

【全体】

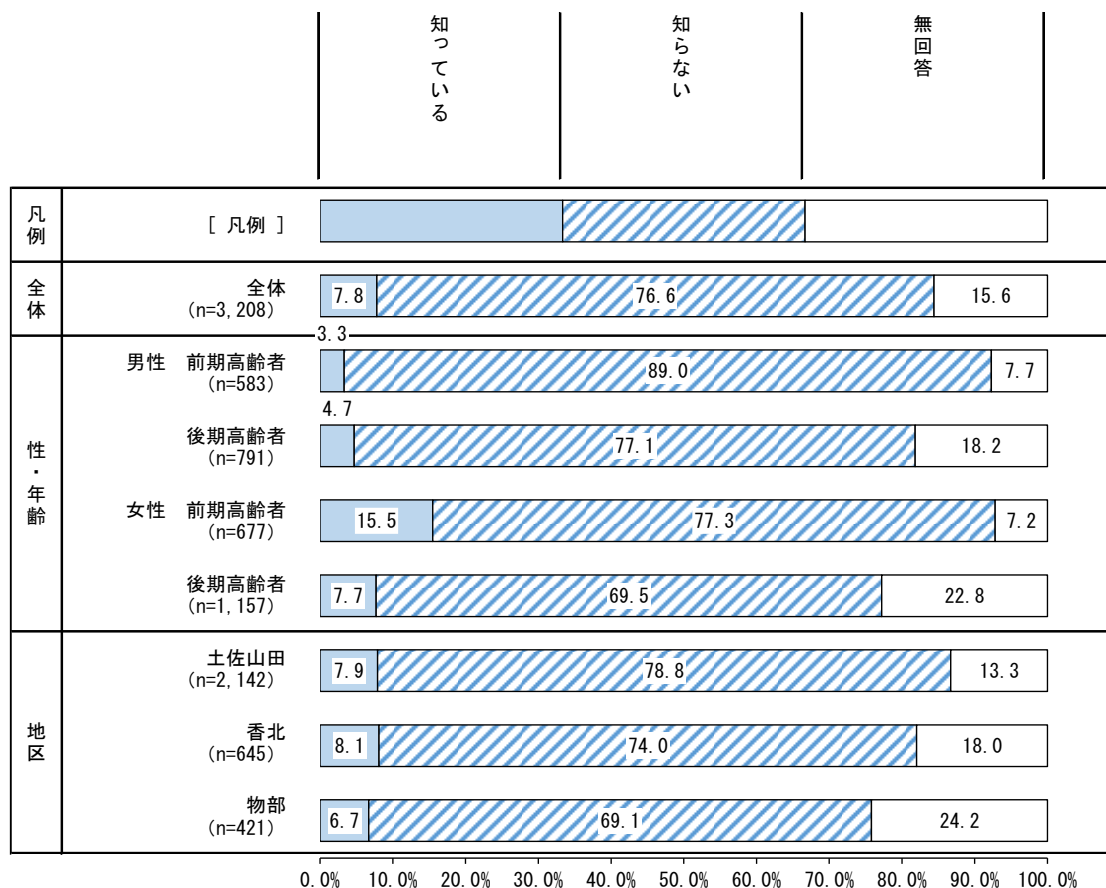
- 認知症サポーター養成講座の認知状況について、「知っている」が 7.8%、「知らない」が 76.6%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。
- 「知っている」は女性の前期高齢者が 15.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【地区】

- 「知らない」は物部が 69.1%と他の区分に比べて少なくなっています。



⑤認知症高齢者等事前登録制度

【全体】

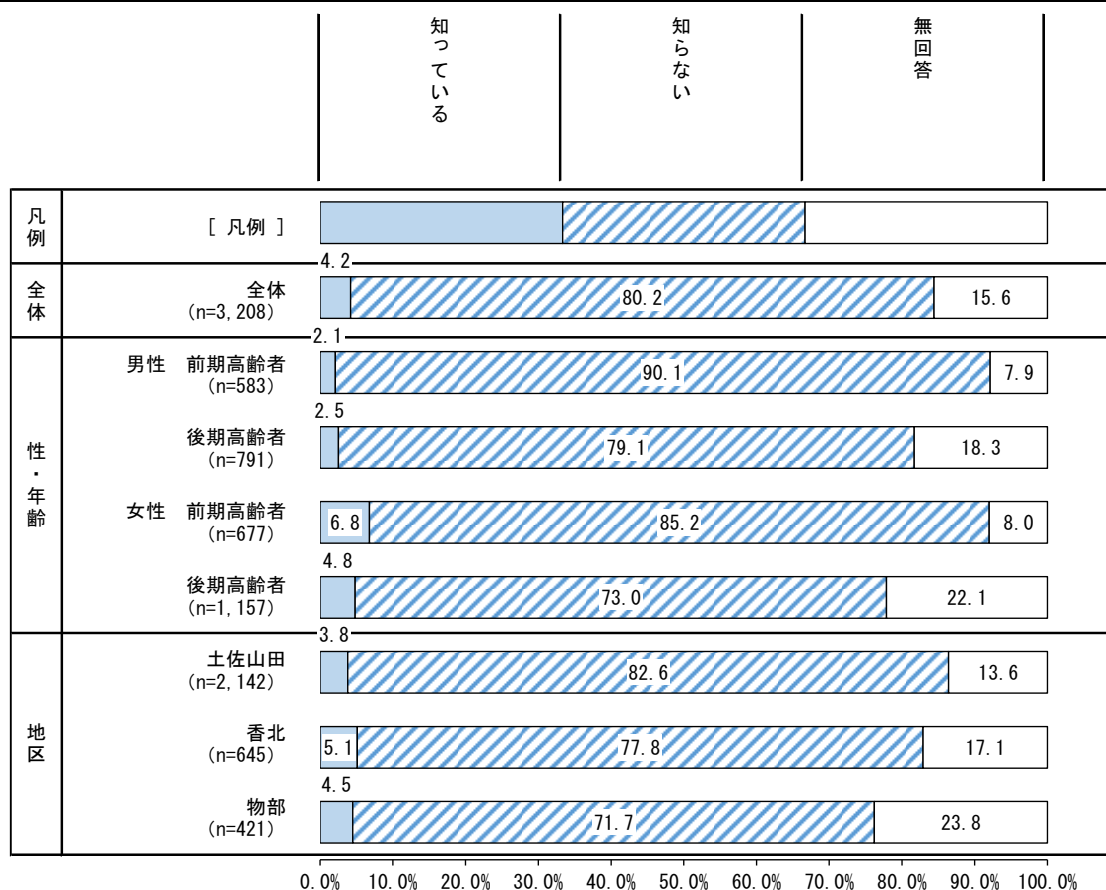
- 認知症高齢者等事前登録制度の認知状況について、「知っている」が4.2%、「知らない」が80.2%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。

【地区】

- 「知らない」は土佐山田が82.6%と他の区分に比べて多くなっています。



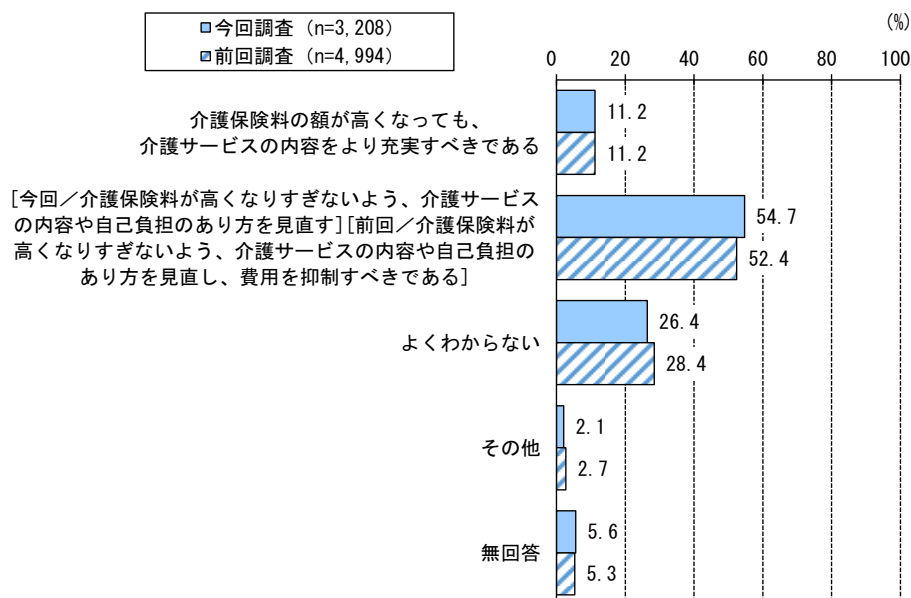
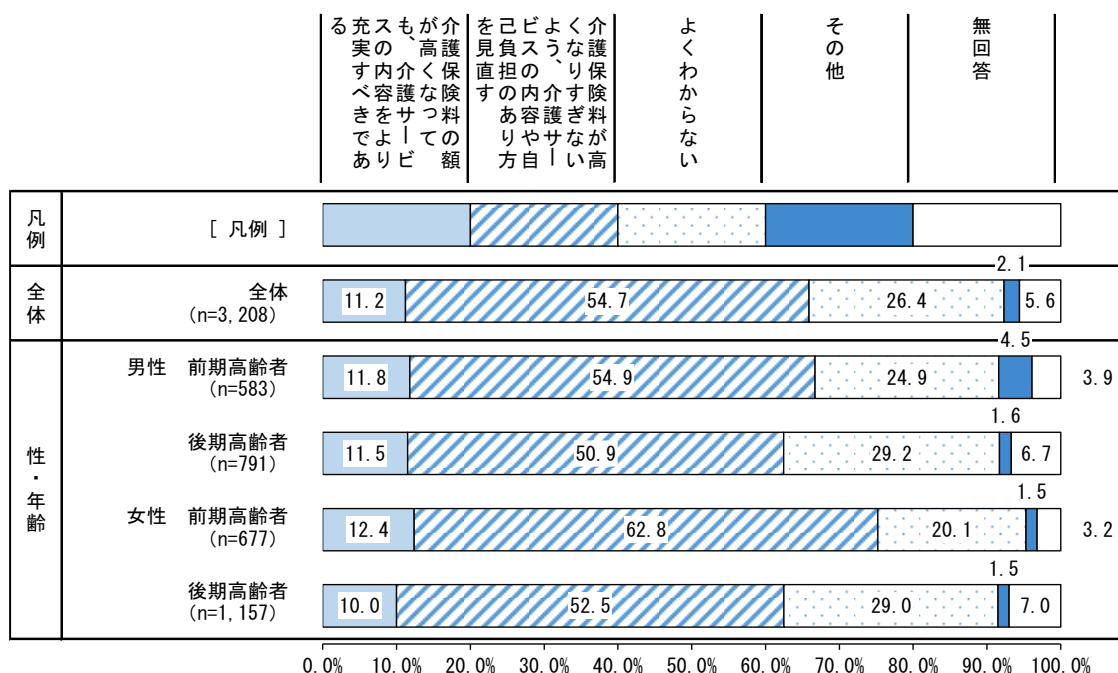
●問12.2 介護保険のあり方について、あなたの考え方に最も近いものをお答えください。（1つだけ）

【全体】

- 介護保険のあり方について、あなたの考え方に最も近いものについて、「介護保険料が高くなりすぎないように、介護サービスの内容や自己負担のあり方を見直す」が 54.7%で最も多く、次いで「よくわからない」が 26.4%、「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」が 11.2%となっています。

【前回比較】

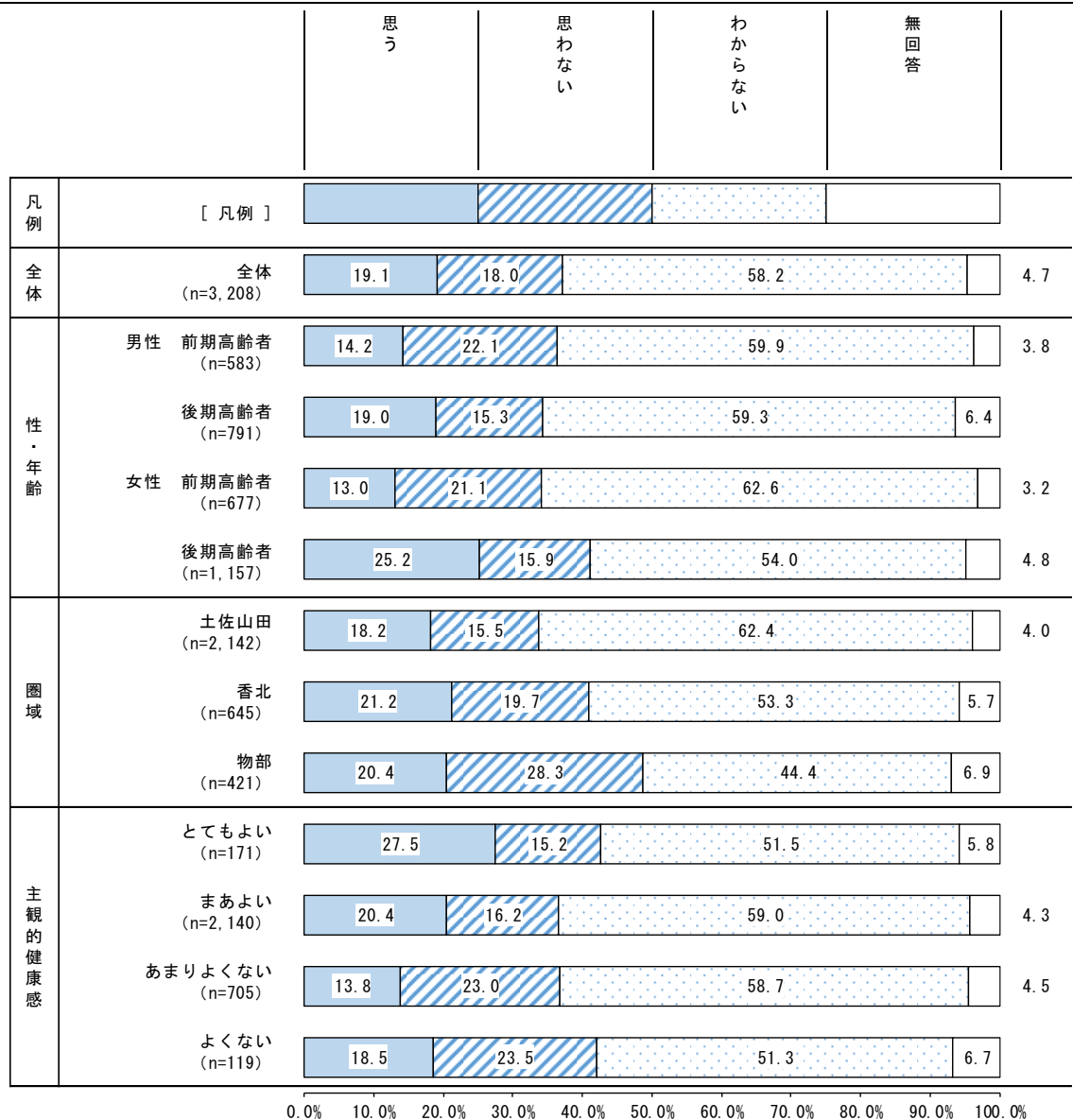
- 「介護保険料が高くなりすぎないように、介護サービスの内容や自己負担のあり方を見直す」はやや増加しています。

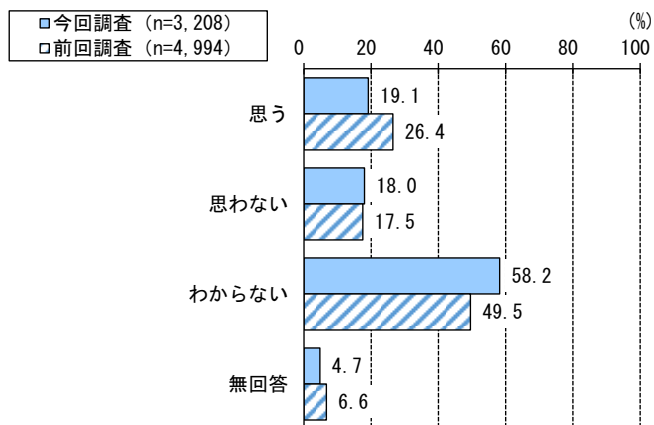
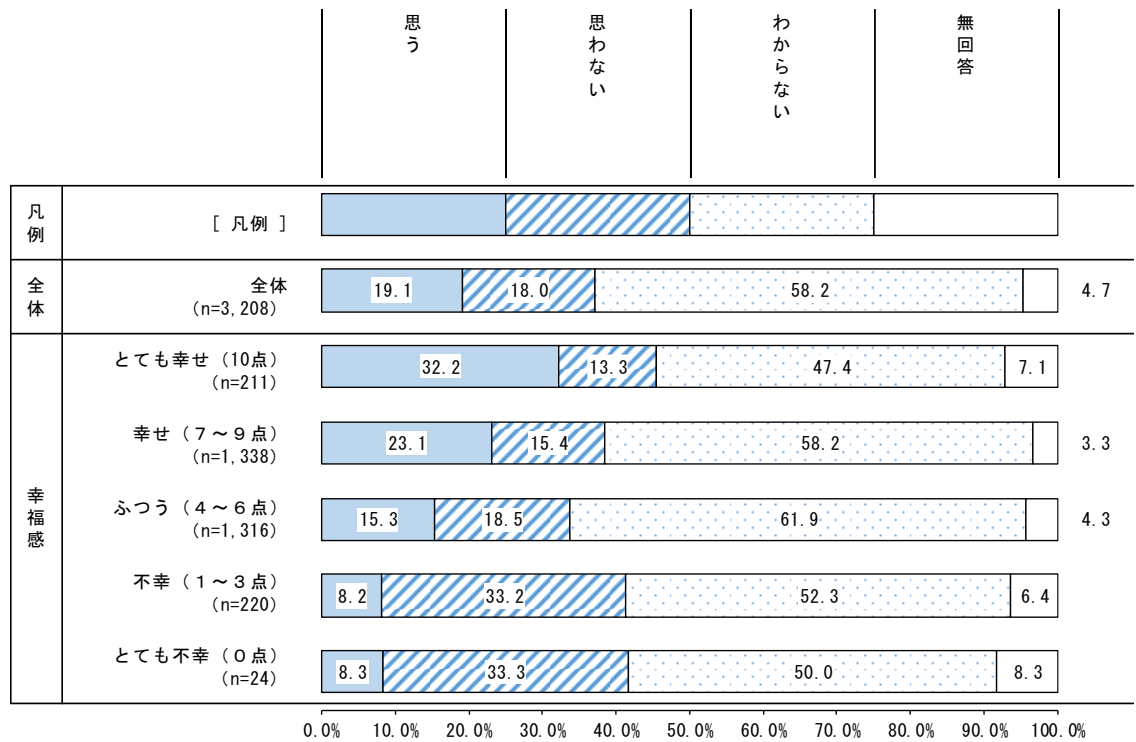


●問12.3 あなたは、香美市が高齢者にとって住みよいまちだと思われますか。

(1つだけ)

【全体】				
○ 香美市が高齢者にとって住みよいまちかについて、「わからない」が58.2%で最も多く、次いで「思う」が19.1%、「思わない」が18.0%となっています。				
【性・年齢】				
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「思う」が多くなっています。				
【地区】				
○ 「思わない」は物部が28.3%と他の区分に比べて多くなっています。				
【主観的健康感】				
○ 健康感がよくないほど「思わない」が多くなる傾向がみられます。				
【幸福感】				
○ 「思う」はとても幸せ（10点）が32.2%と他の区分に比べて多くなっています。				
【前回比較】				
○ 「わからない」は増加している一方、「思う」は減少しています。				





4. リスク判定

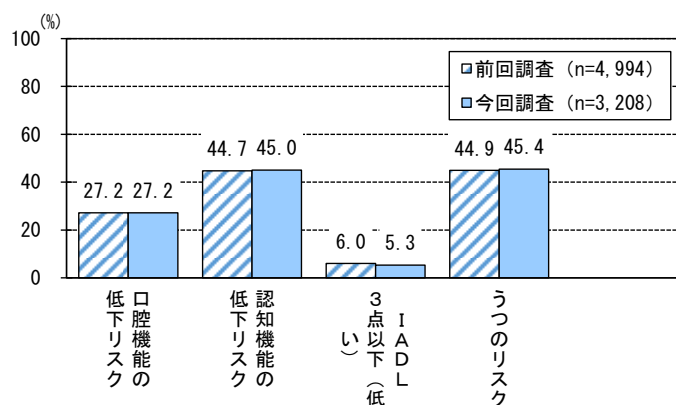
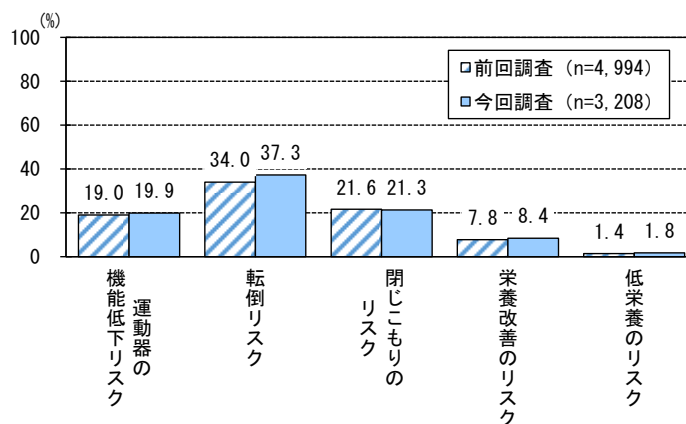
(1) リスク判定（総論）

【全体】

- 各リスクの状況について、「うつリスク」が45.4%で最も高く、次いで「認知機能の低下リスク」が45.0%、「転倒リスク」が37.3%、「口腔機能の低下リスク」が27.2%、「閉じこもりのリスク」が21.3%、「運動器の機能低下リスク」が19.9%、「栄養改善のリスク」が8.4%、「IADL 3点以下（低い）」が5.3%、「低栄養のリスク」が1.8%の順となっています。

【前回比較】

- 「転倒リスク」は増加していますが、他の区分はほぼ横ばいとなっています。



(2) 運動器の機能低下リスク

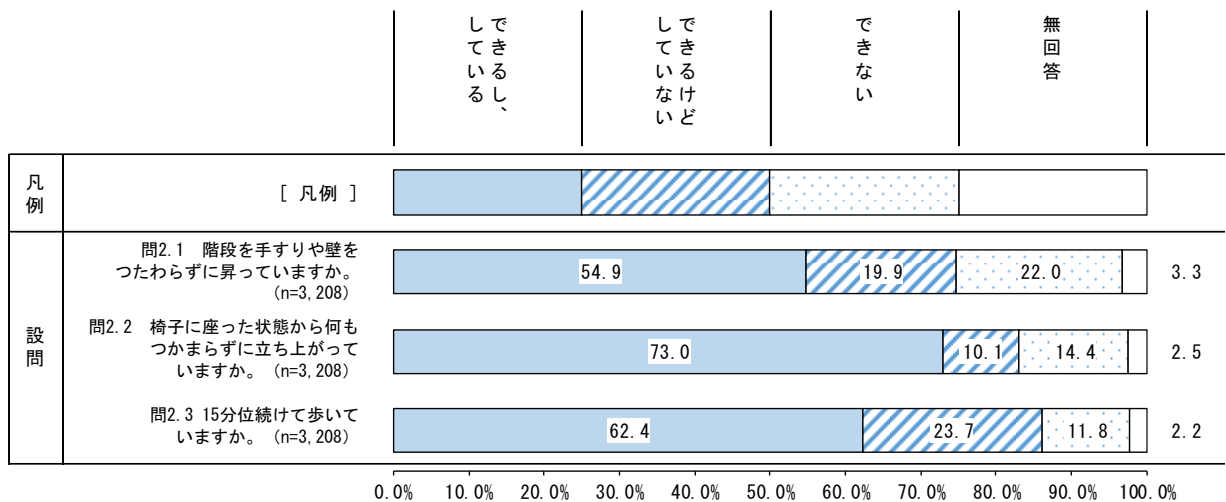
①判定方法

以下の設問に対して 5 問中 3 問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

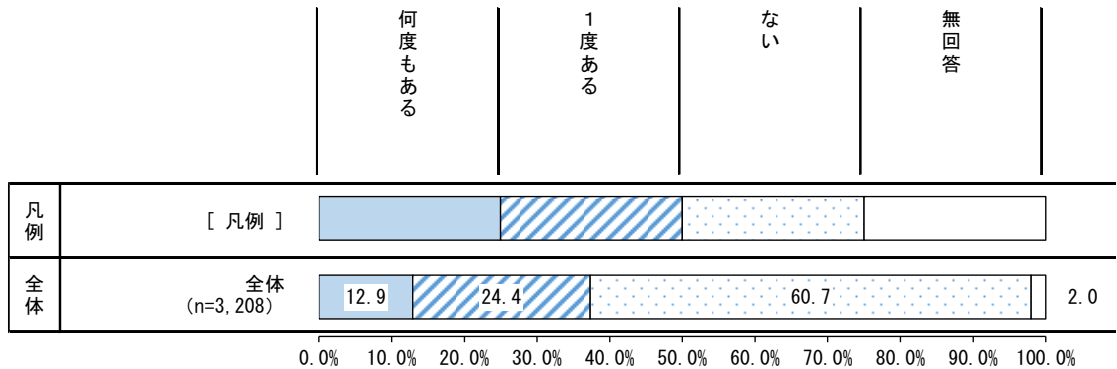
設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15 分位続けて歩いていますか	できない
過去 1 年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1 度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である／やや不安である

②調査結果

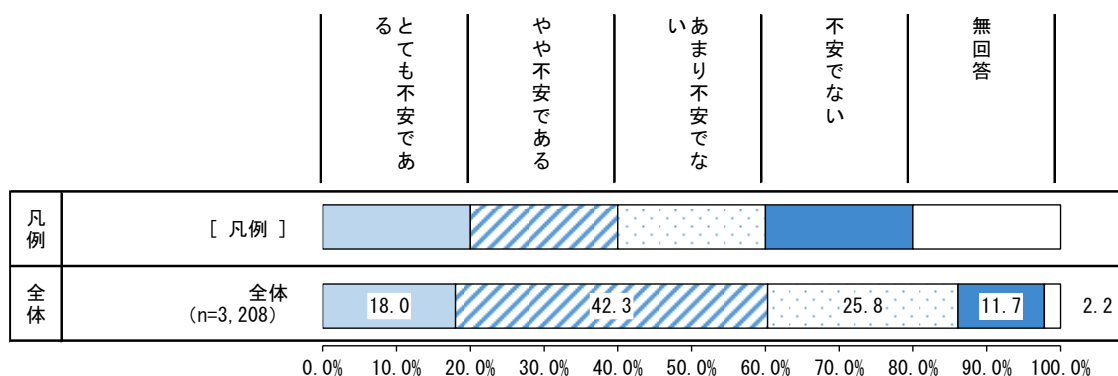
- 問2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1 つだけ)
- 問2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1 つだけ)
- 問2.3 15分位続けて歩いていますか。(1 つだけ)



- 問2.4 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。(1 つだけ)

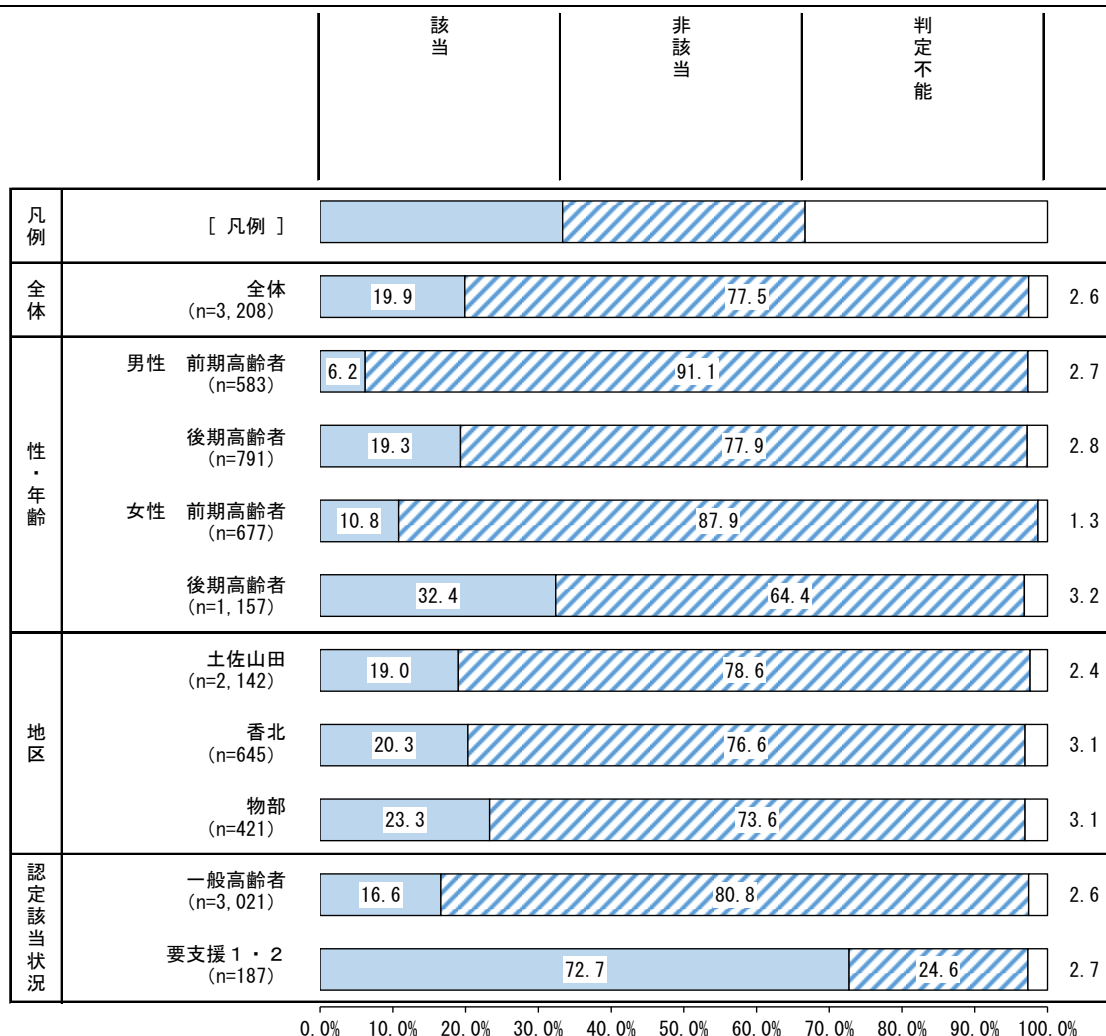


●問2.5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)



③判定結果

- 【全体】
- 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が 19.9%、「非該当」が 77.5%となっています。
- 【性・年齢】
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
 - 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。
- 【地区】
- 「該当」は物部が 23.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】
- 「該当」は要支援1・2が 72.7%と一般高齢者の 16.6%に比べて多くなっています。



(3) 転倒リスク

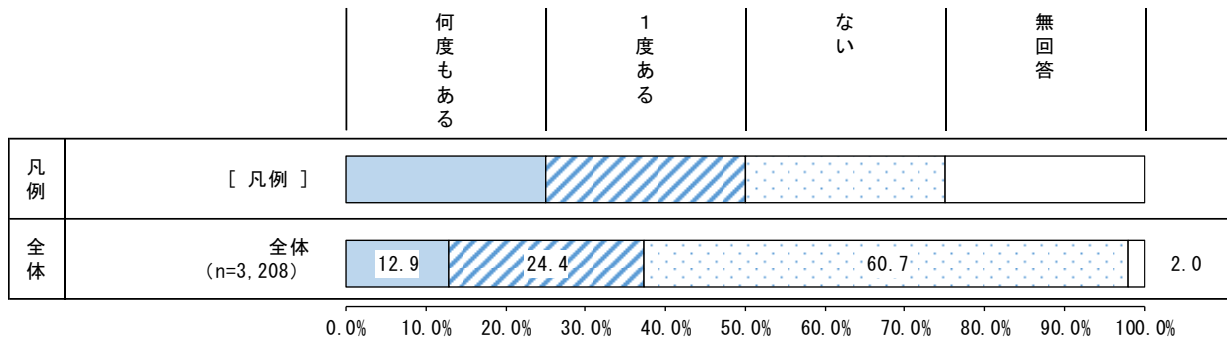
①判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある

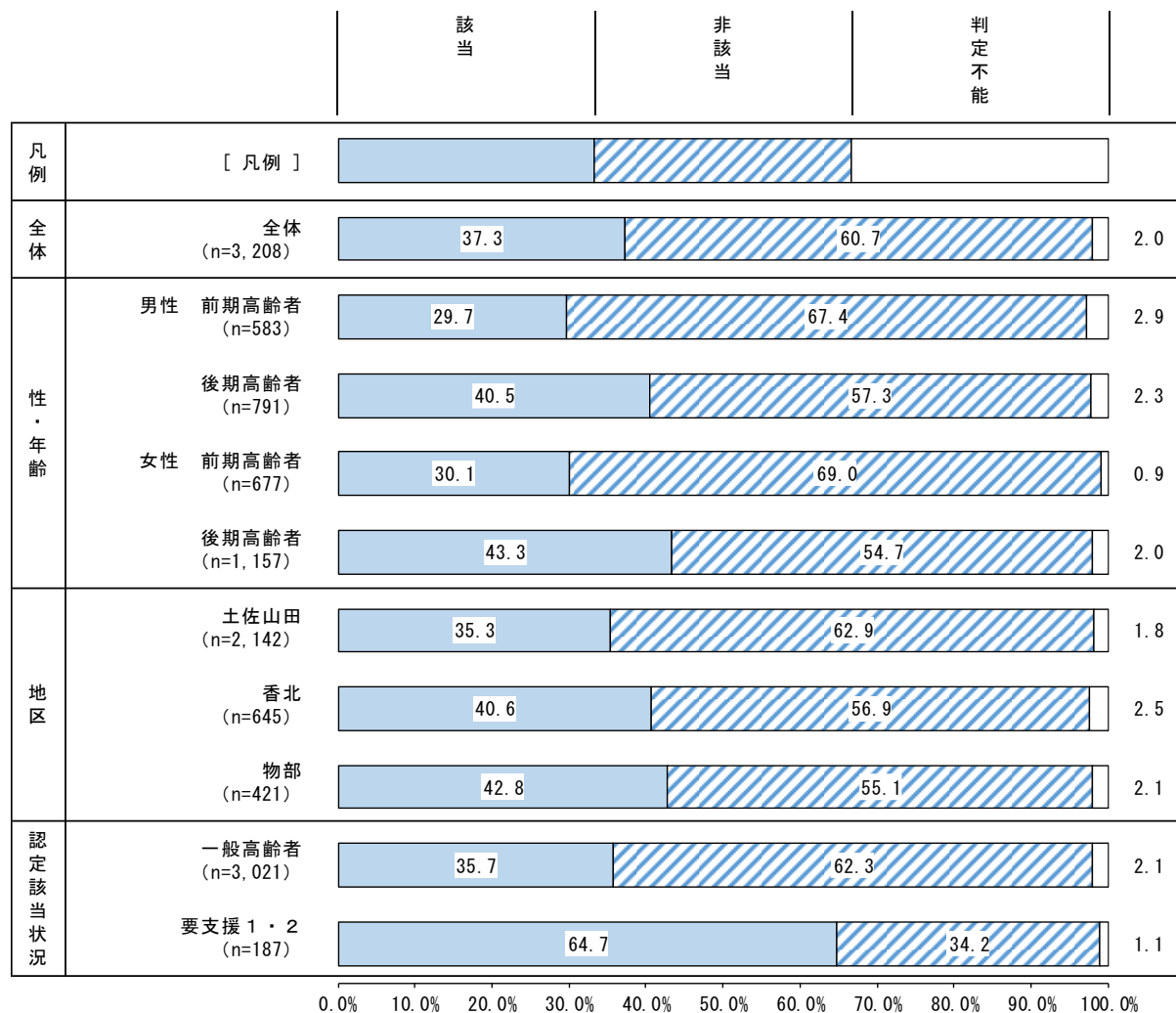
②調査結果

●問2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)



③判定結果

【全体】
○ 転倒リスクについて、「該当」が37.3%、「非該当」が60.7%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
【地区】
○ 「該当」は土佐山田が35.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 「該当」は要支援1・2が64.7%と一般高齢者の35.7%に比べて多くなっています。



(4) 閉じこもりのリスク

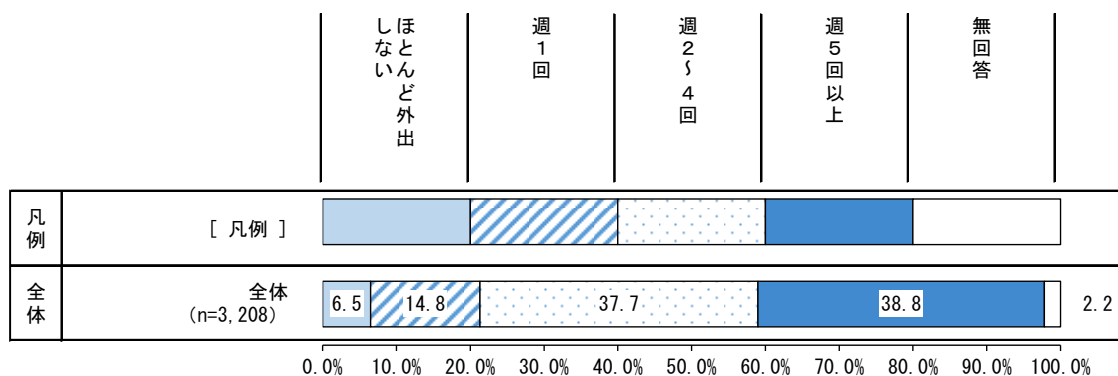
①判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもり傾向のある高齢者となります。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない／週1回

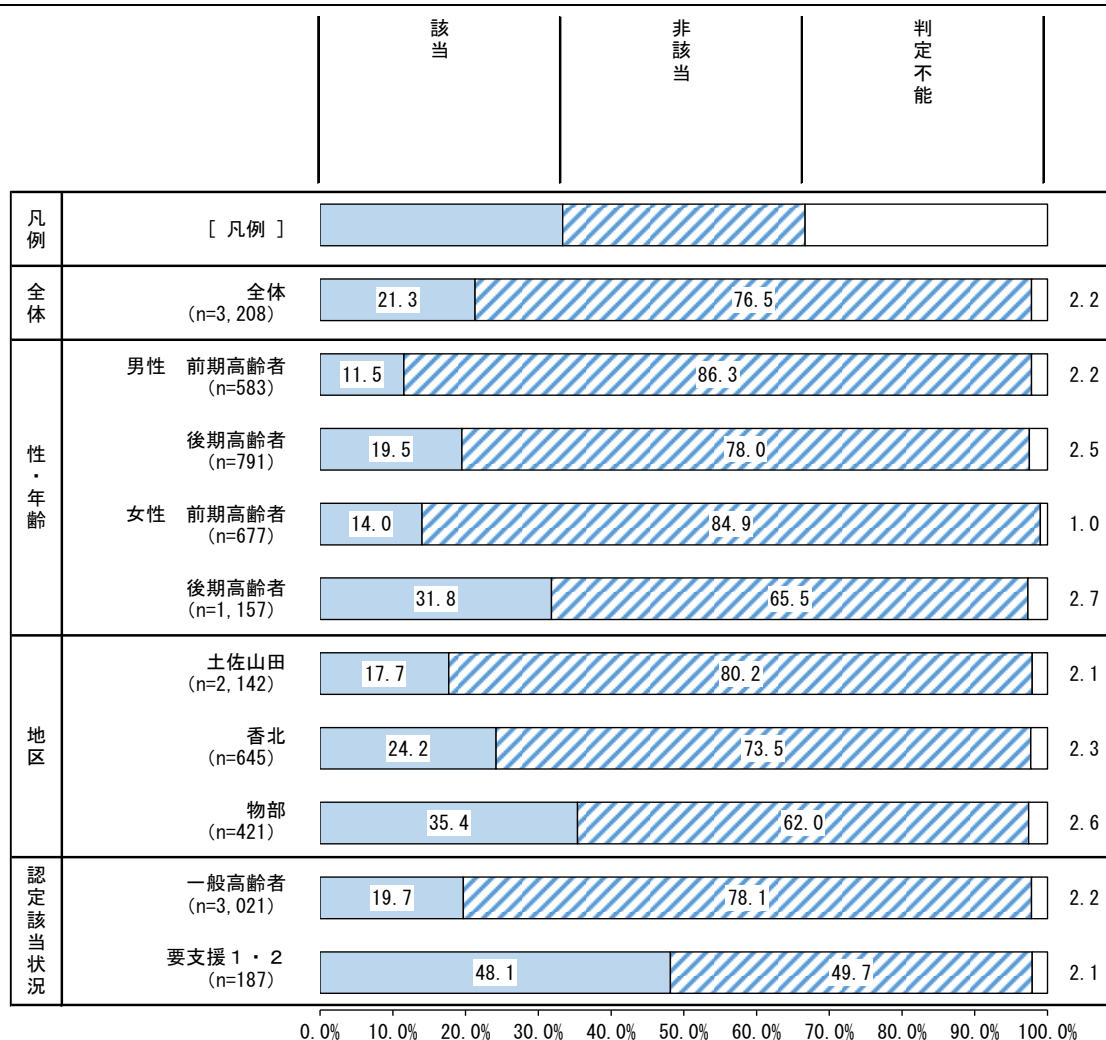
②調査結果

●問2.6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)



③判定結果

【全体】
○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が21.3%、「非該当」が76.5%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
【地区】
○ 「該当」は物部が35.4%と他の区分に比べて多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「該当」は要支援1・2が48.1%と一般高齢者の19.7%に比べて多くなっています。



(5) 栄養改善のリスク

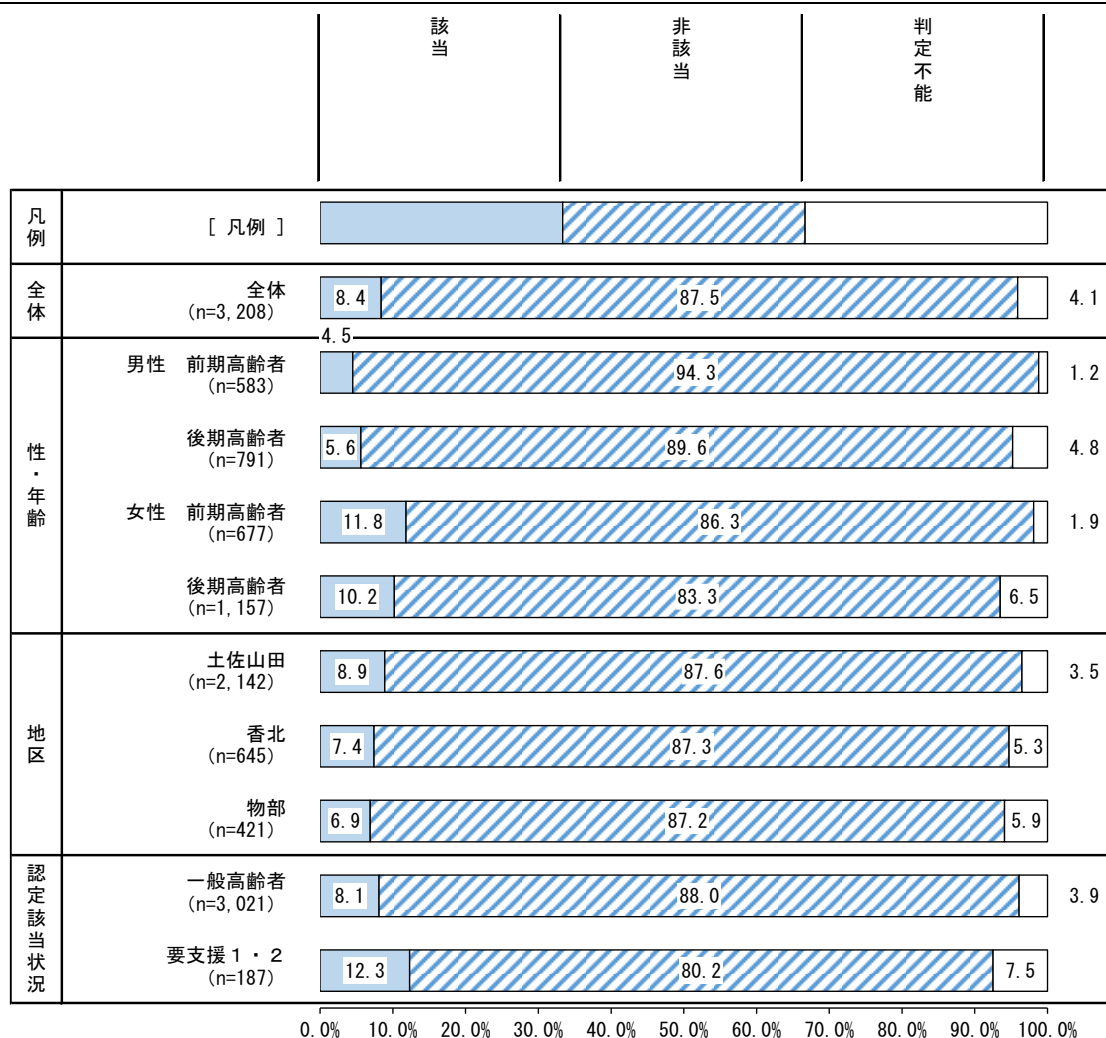
①判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、栄養改善リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5 以下

②判定結果

【全体】
○ 栄養改善のリスクについて、「該当」が8.4%、「非該当」が87.5%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。
【地区】
○ 大きな差はみられません。
【認定該当状況】
○ 「該当」は要支援1・2が12.3%と一般高齢者の8.1%に比べて多くなっています。



(6) 低栄養のリスク

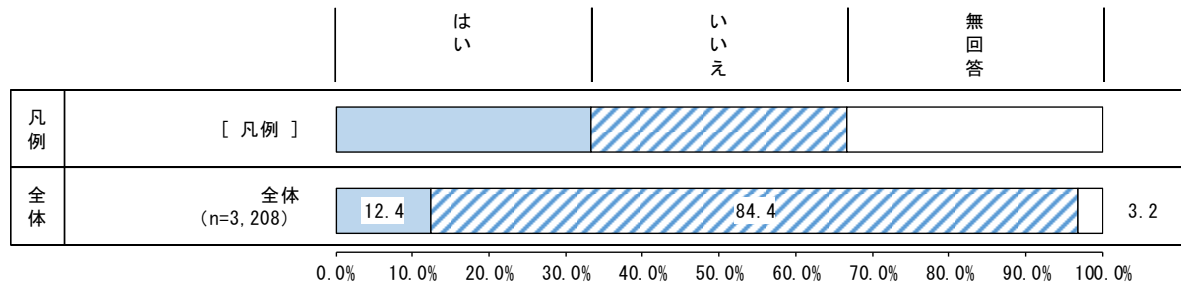
①判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、低栄養状態にある高齢者となります。

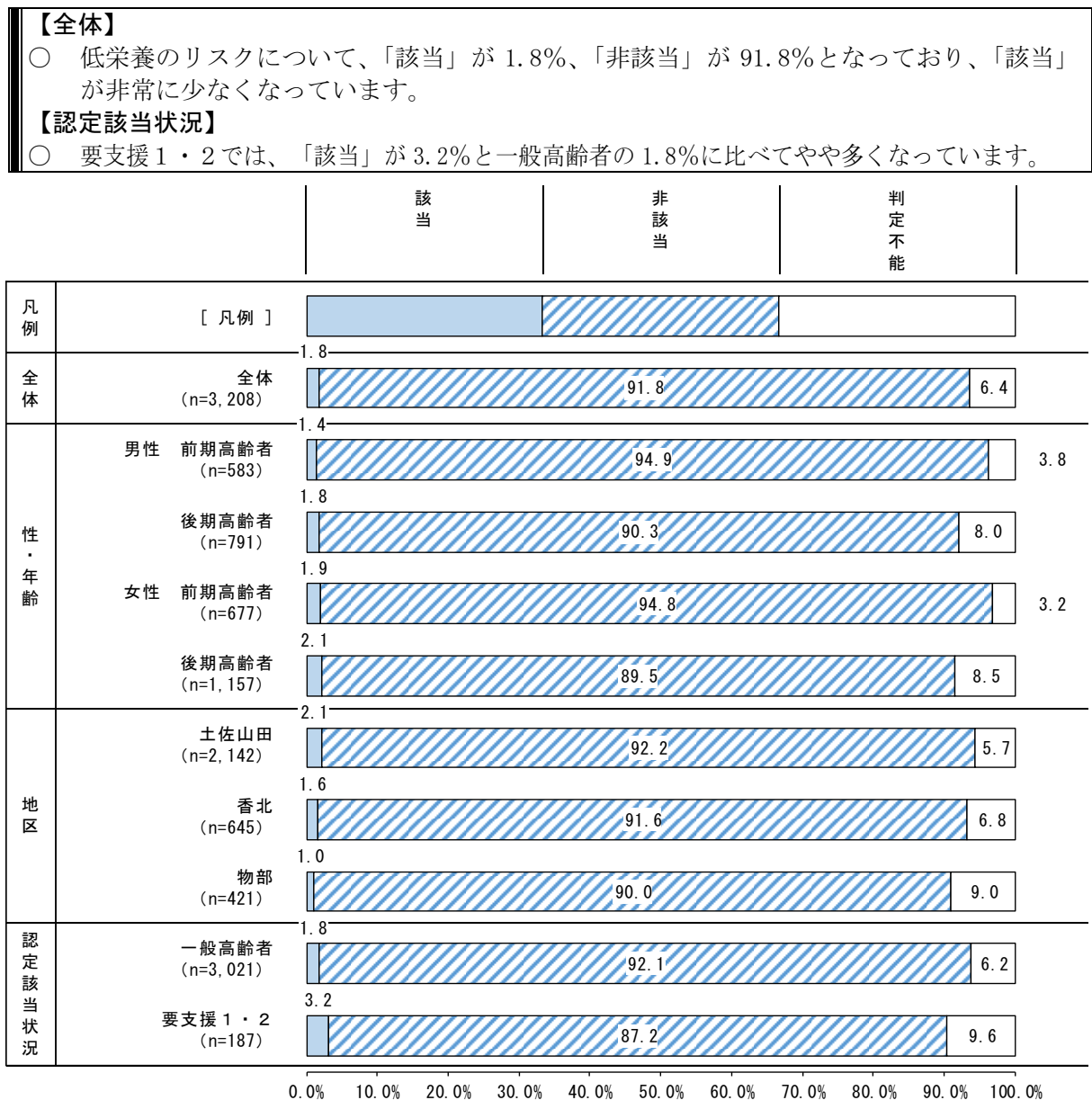
設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5 以下
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい

②調査結果

●問3.7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ)



③判定結果



(7) 口腔機能の低下リスク

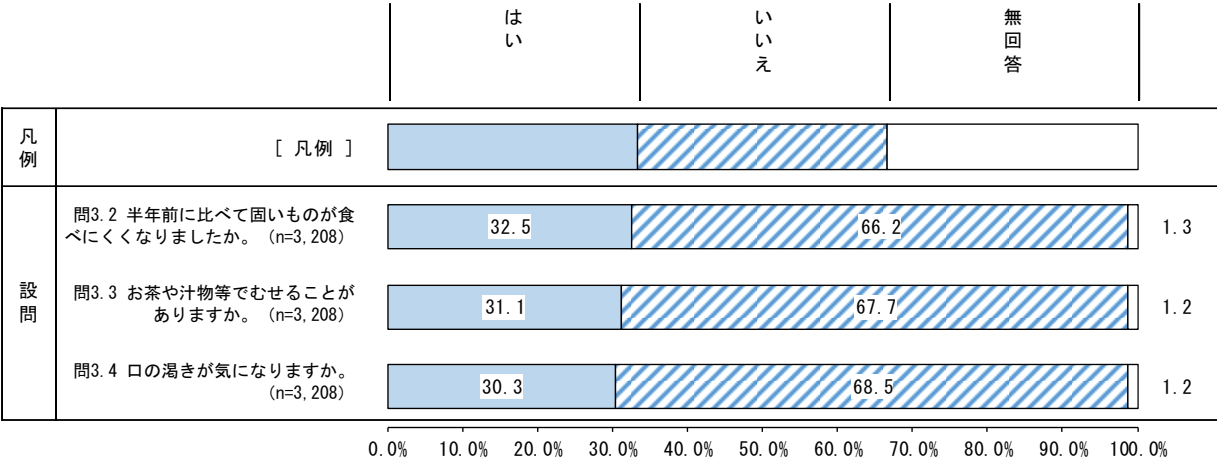
①判定方法

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

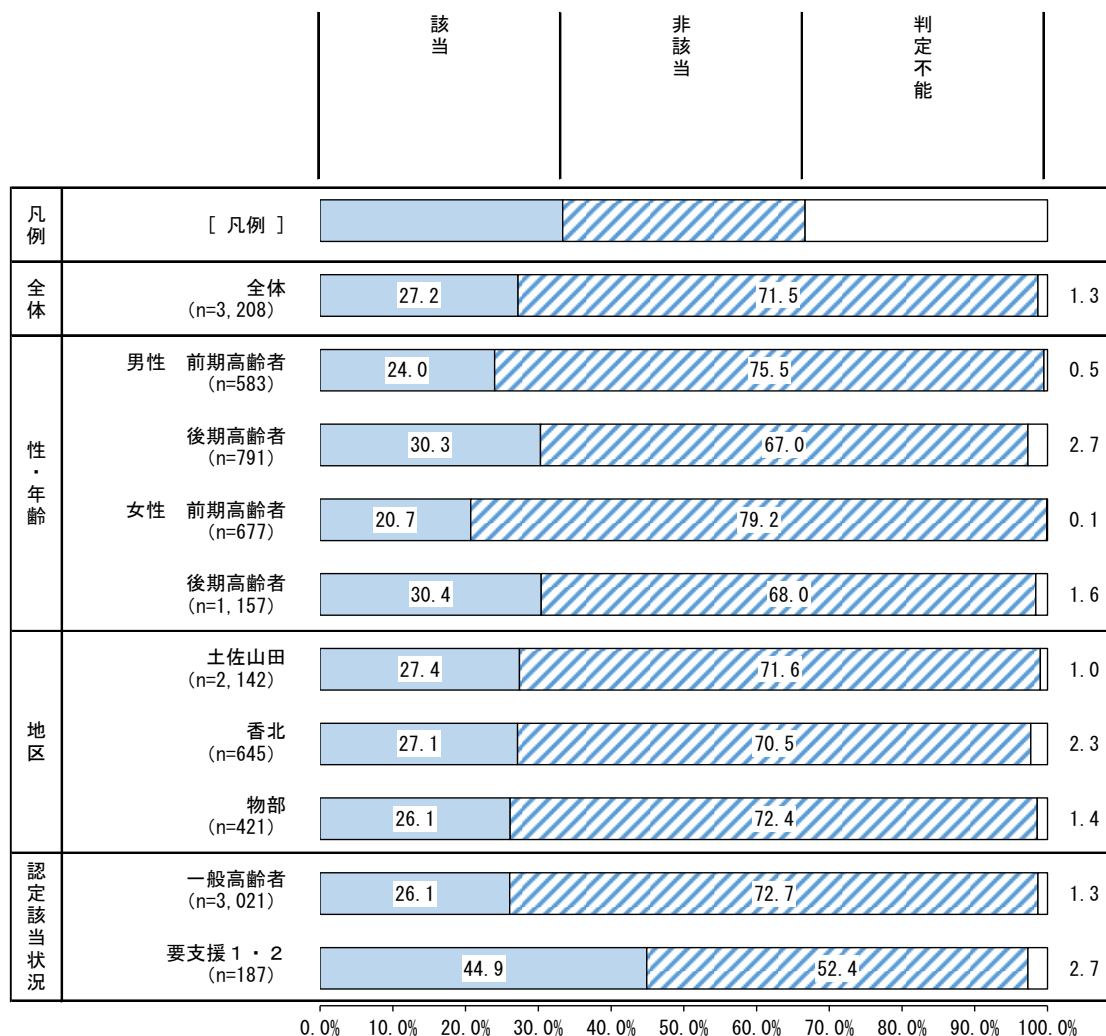
②調査結果

- 問3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ)
- 問3.3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ)
- 問3.4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ)



③判定結果

【全体】
○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が 27.2%、「非該当」が 71.5%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
【地区】
○ 大きな差はみられません。
【認定該当状況】
○ 「該当」は要支援1・2が44.9%と一般高齢者の26.1%に比べて多くなっています。



(8) 認知機能の低下リスク

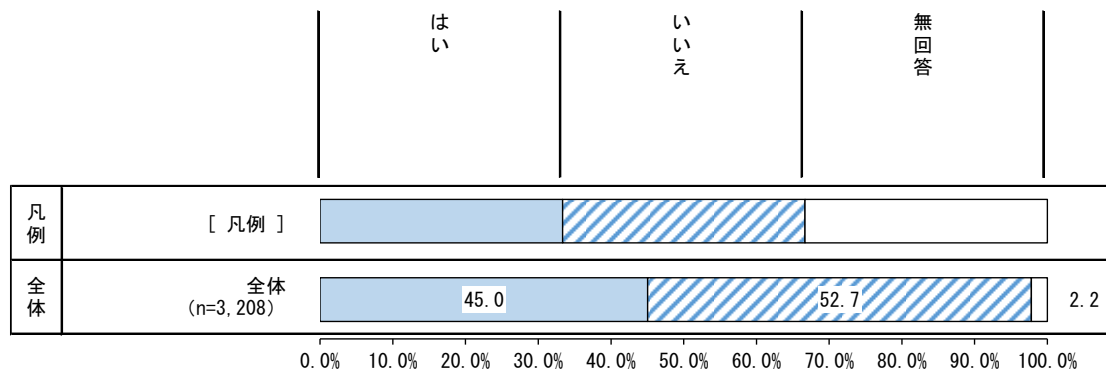
①判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

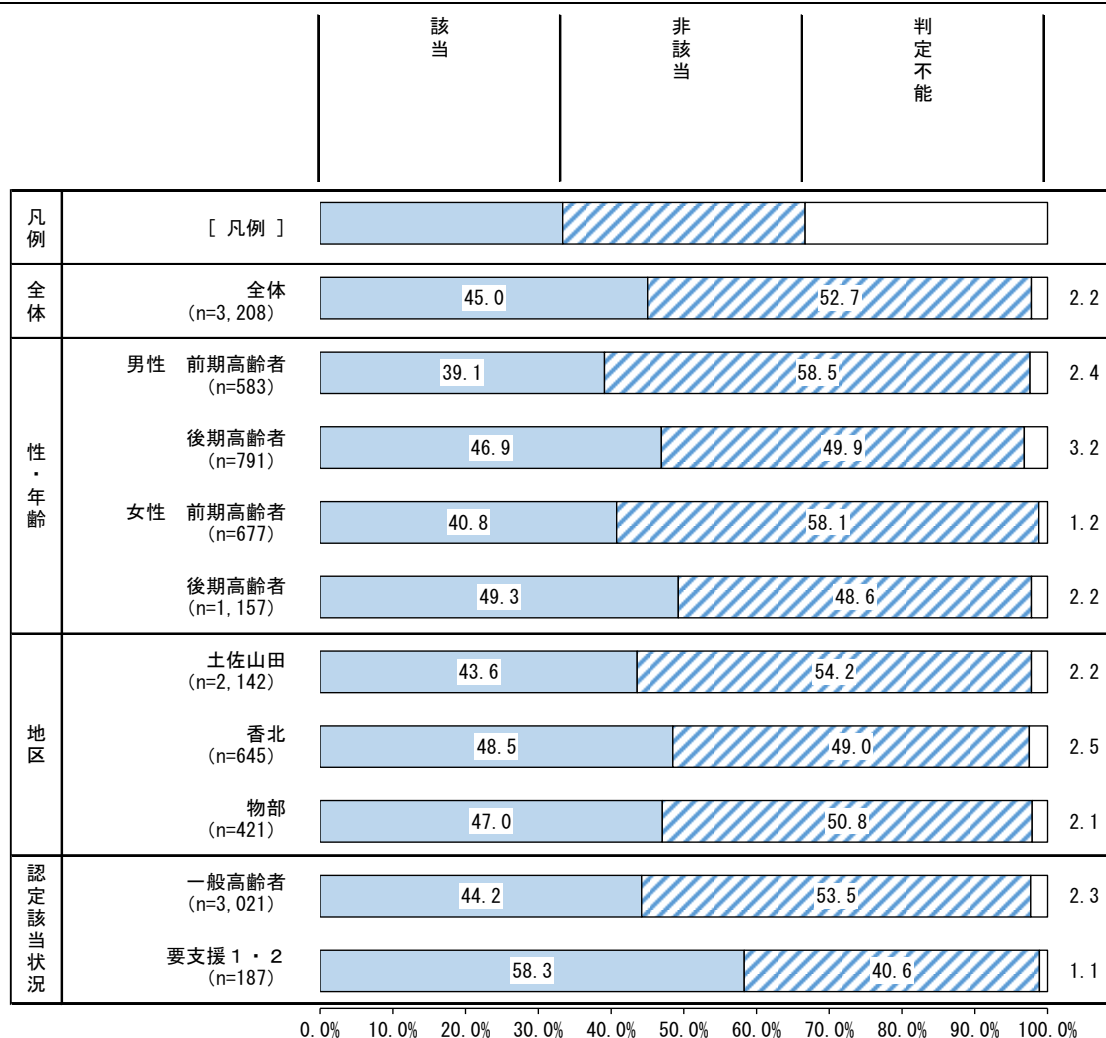
②調査結果

●問4.1 物忘れが多いと感じますか。



③判定結果

【全体】
○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が 45.0%、「非該当」が 52.7%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
【地区】
○ 「該当」は土佐山田が 43.6%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 「該当」は要支援 1・2 が 58.3%と一般高齢者の 44.2%に比べて多くなっています。



(9) 手段的自立度 (IADL)

①判定方法

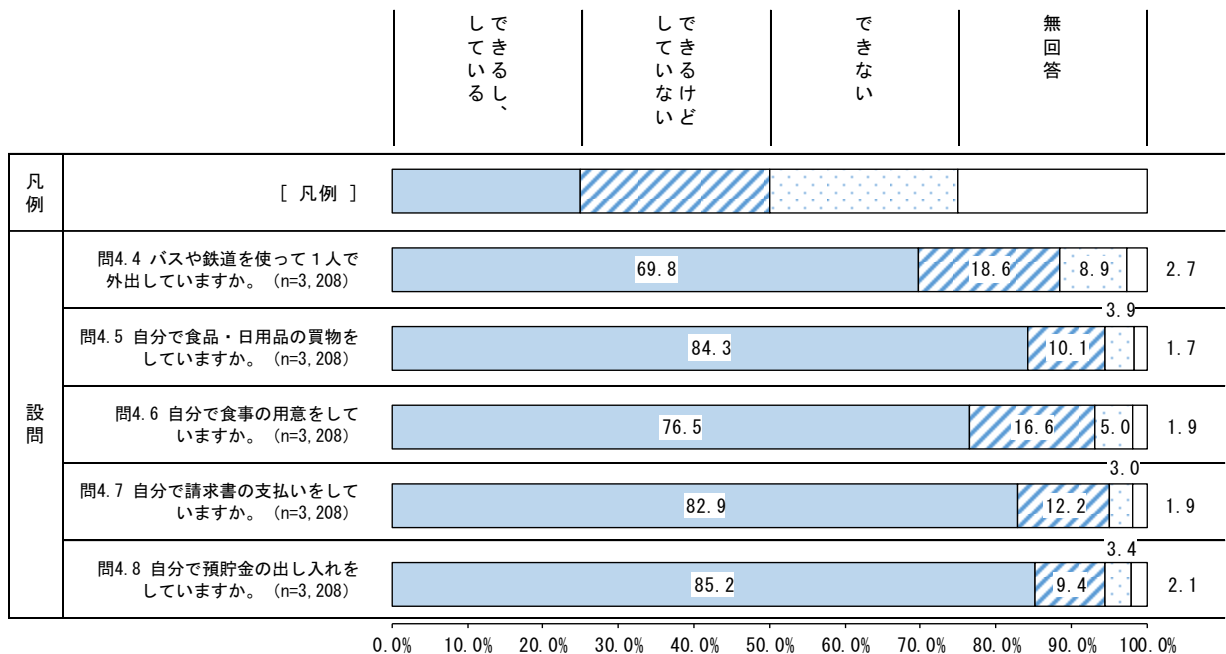
以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢	配点
バスや鉄道を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食事の用意をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点

※手段的自立度 (IADL) とは、「手段的日常生活動作」と訳され、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどを指します。

②調査結果

- 問4.4 バスや鉄道を使って1人で外出していますか。(1つだけ)
- 問4.5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ)
- 問4.6 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ)
- 問4.7 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ)
- 問4.8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ)



③判定結果

【全体】

- 手段的自立度（IADL）について、「5点（高い）」が83.5%で最も多く、次いで「4点（やや低い）」が7.4%、「3点以下（低い）」が5.3%となっています。

【性・年齢】

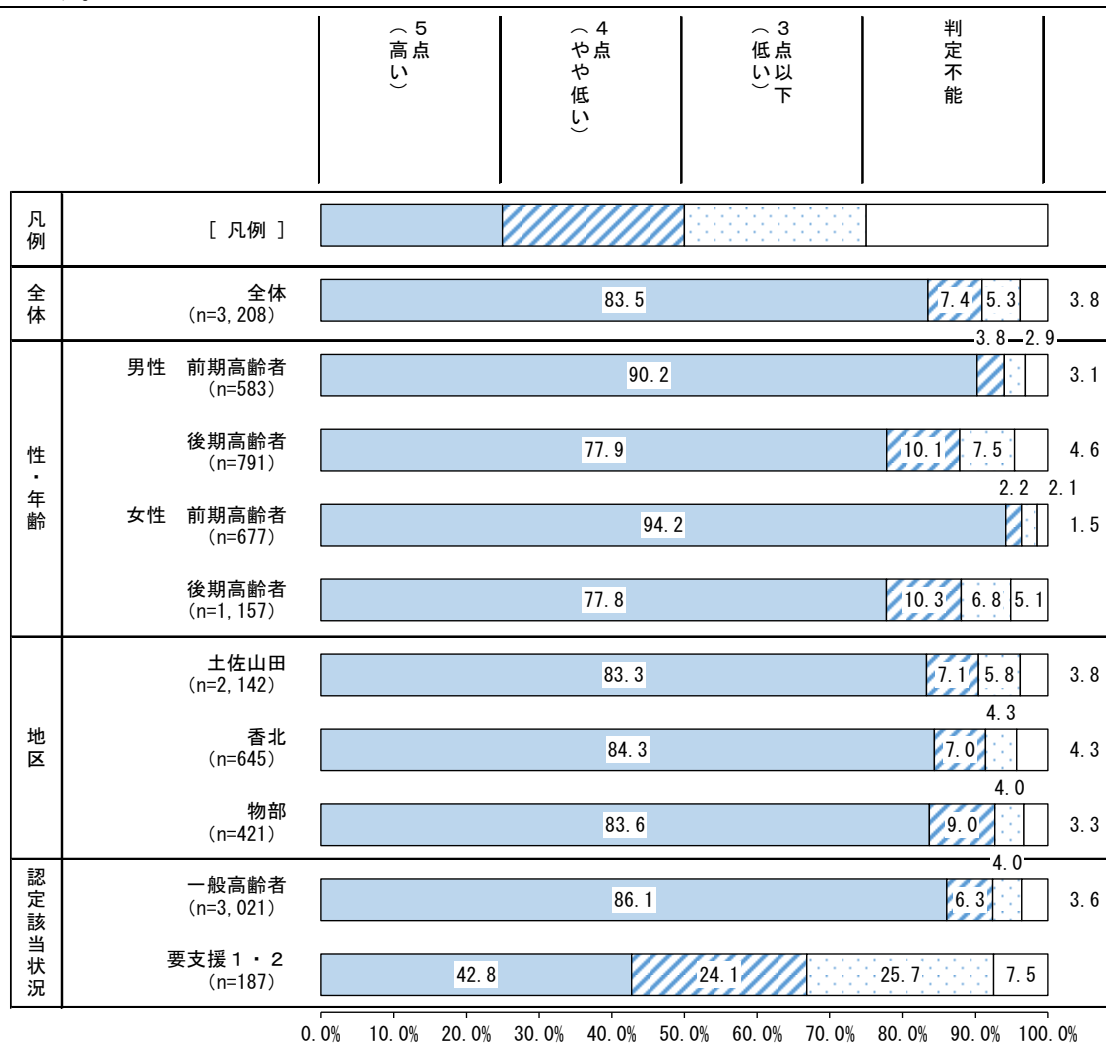
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「5点（高い）」が多くなっています。

【地区】

- 大きな差はみられません。

【認定該当状況】

- 「3点以下（低い）」は要支援1・2が25.7%と一般高齢者の4.0%に比べて多くなっています。



(10) うつのリスク

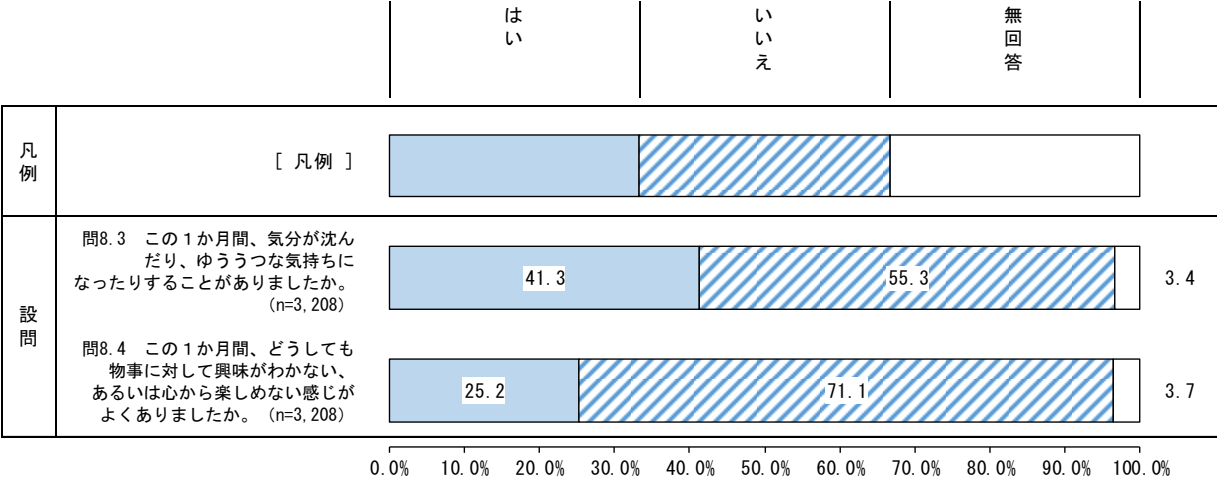
①判定方法

以下の設問に対して 2 問中 1 問以上該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

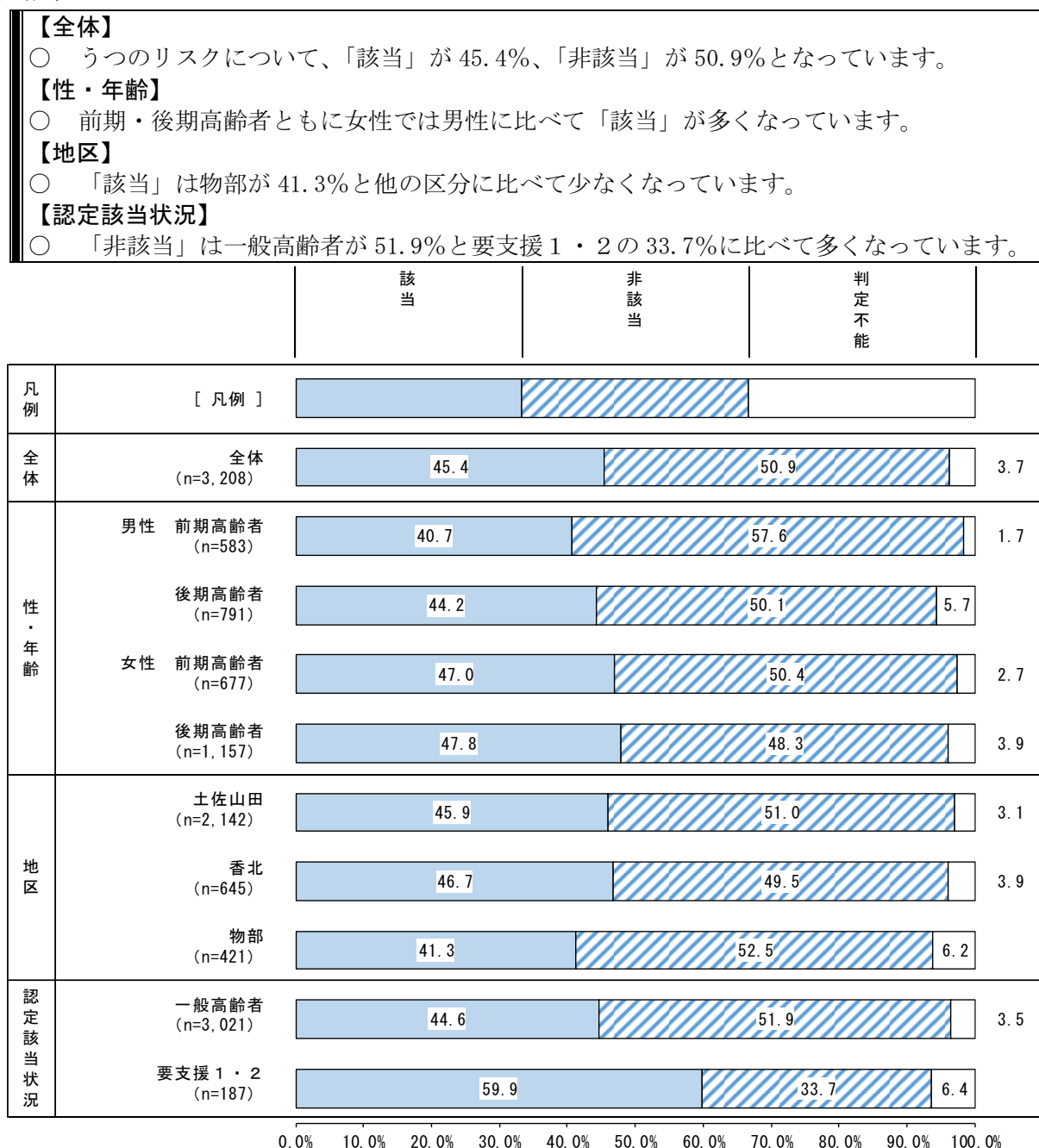
設問	選択肢
この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

②調査結果

- 問8.3 この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1 つだけ)
- 問8.4 この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1 つだけ)



③判定結果



在宅介護実態調査

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、国が示した調査票案で、令和6年度からの第9期介護保険事業計画策定に向け、現状を把握し、基礎資料にするとともに「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」を検討するうえでの基礎資料とするため実施しました。

(2) 調査の実施について

	前回調査（令和4年度）	今回調査（令和7年度）
対象者	要介護1～5認定者	要介護1～5認定者
実施期間	令和4年10月14日（金）～ 令和5年1月12日（水）	令和7年12月16日（火）～ 令和8年4月30日（木）
実施方法	認定調査員による聞き取り	認定調査員による聞き取り

(3) 有効回答件数及び回答率

	前回調査（令和4年度）	今回調査（令和7年度）
配布数	197 件	162 件
回収数	197 件	162 件
有効回答数	197 件	162 件
有効回答率	100.0%	100.0%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 「在宅介護実態調査_自動集計分析ソフト」から出力したグラフを用いているため、実際の調査項目と表現が異なる部分がある。

2. 基本調査項目（A票）

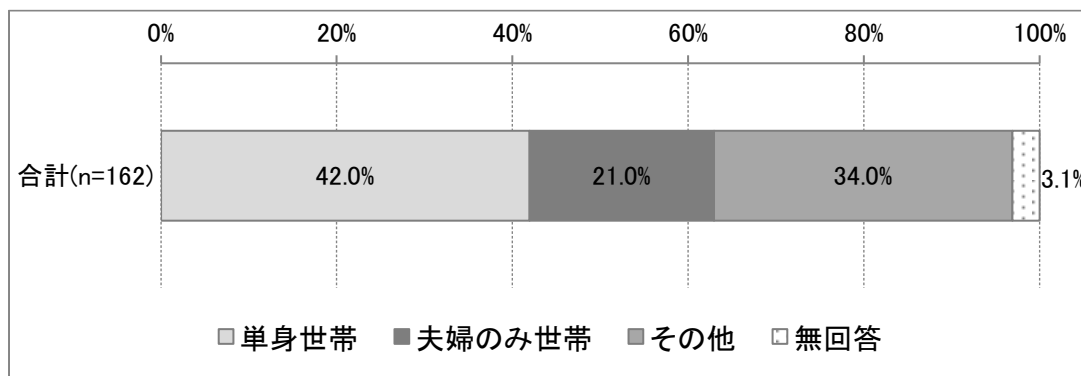
(1) 世帯類型

●問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

【全体】

○ 「単身世帯」の割合が最も高く 42.0%となっている。次いで、「その他（34.0%）」、「夫婦のみ世帯（21.0%）」となっている。

図表 1-1 世帯類型（単数回答）



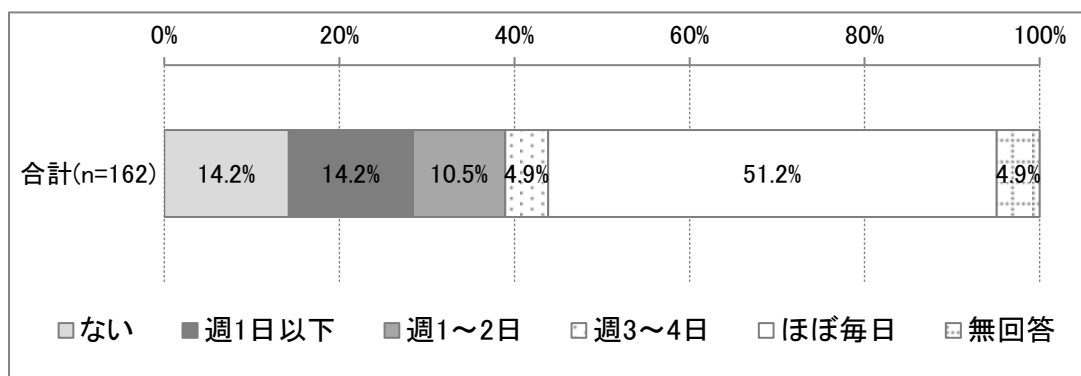
(2) 家族等による介護の頻度

●問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

【全体】

○ 「ほぼ毎日」の割合が最も高く 51.2%となっている。次いで、「ない（14.2%）」、「週1日以下（14.2%）」、「週1～2日（10.5%）」となっている。

図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



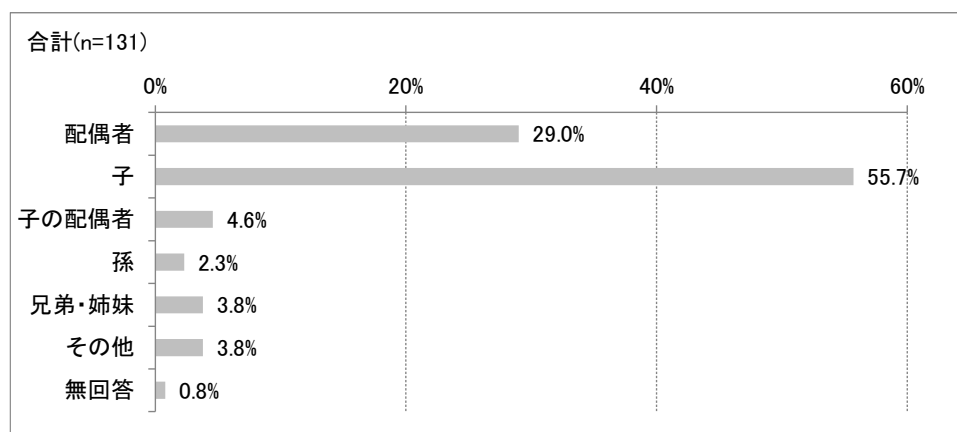
(3) 主な介護者の本人との関係

●問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

【全体】

○ 「子」の割合が最も高く 55.7%となっている。次いで、「配偶者（29.0%）」、「子の配偶者（4.6%）」となっている。

図表 1-3 ★主な介護者の本人との関係（単数回答）



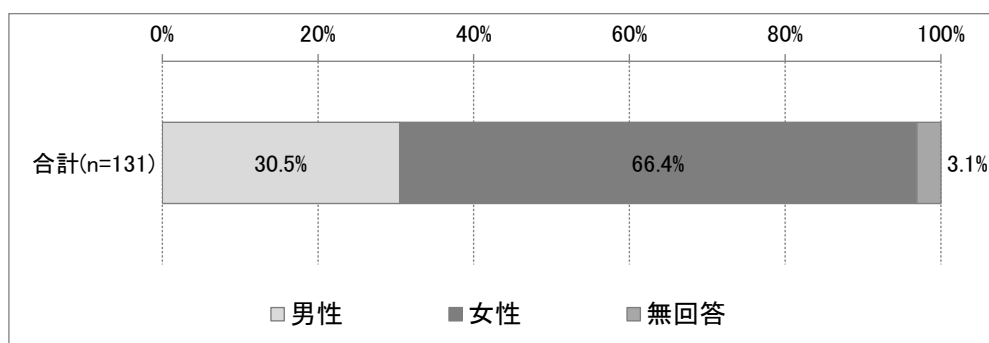
(4) 主な介護者の性別

●問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

【全体】

○ 「女性」の割合が最も高く 66.4%となっている。次いで、「男性（30.5%）」となっている。

図表 1-4 ★主な介護者の性別（単数回答）



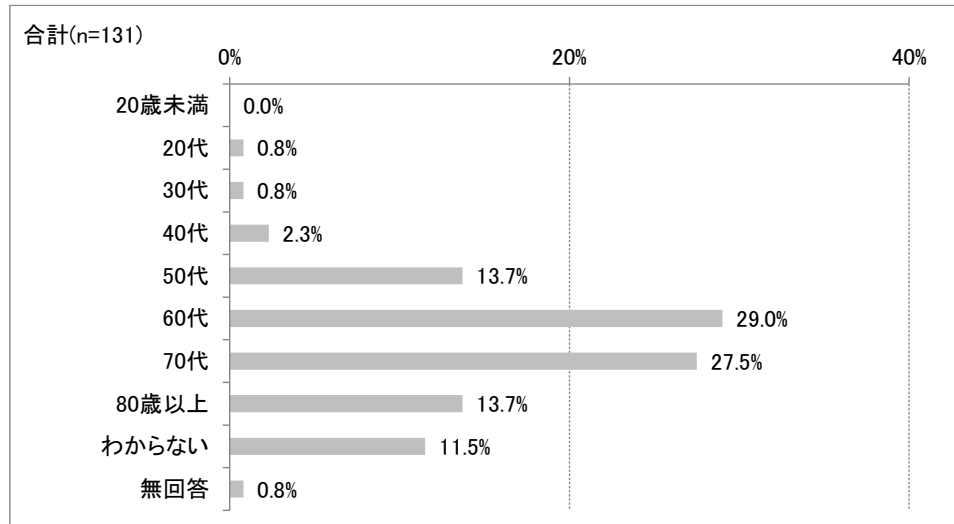
(5) 主な介護者の年齢

●問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

【全体】

- 「60代」の割合が最も高く 29.0%となっている。次いで、「70代（27.5%）」、「50代（13.7%）」、「80歳以上（13.7%）」となっている。

図表 1-5 主な介護者の年齢（単数回答）



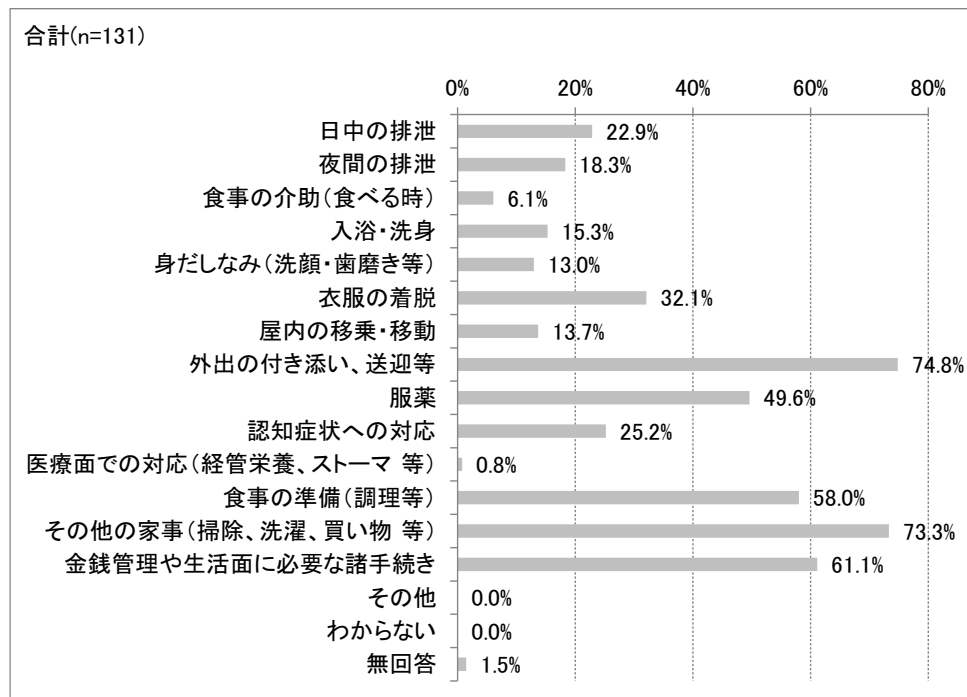
(6) 主な介護者が行っている介護

●問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

【全体】

- 「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く 74.8%となっている。次いで、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）（73.3%）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（61.1%）」となっている。

図表 1-6 ★主な介護者が行っている介護（複数回答）



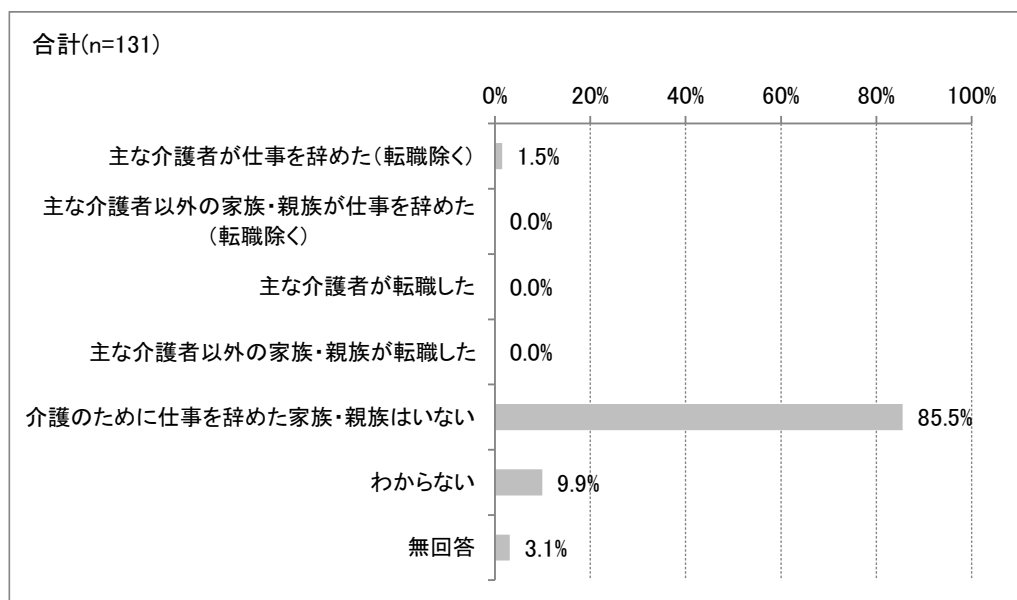
(7) 介護のための離職の有無

- 問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（複数選択可）

【全体】

- 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 85.5%となっている。次いで、「わからない（9.9%）」、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（1.5%）」となっている。

図表 1-7 介護のための離職の有無（複数回答）



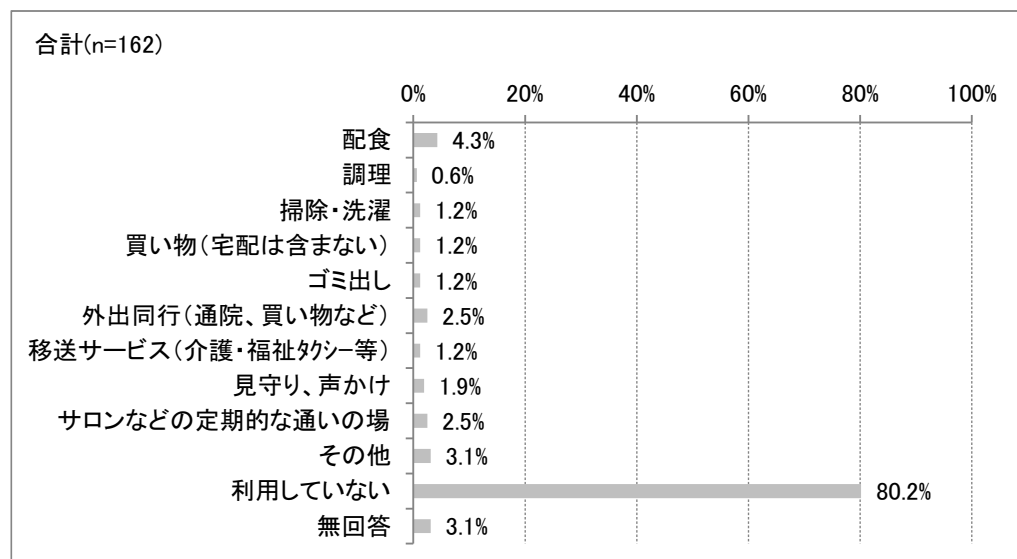
(8) 保険外の支援・サービスの利用状況

- 問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

【全体】

- 「利用していない」の割合が最も高く 80.2%となっている。次いで、「配食（4.3%）」、「その他（3.1%）」となっている。

図表 1-8 ★保険外の支援・サービスの利用状況（複数回答）



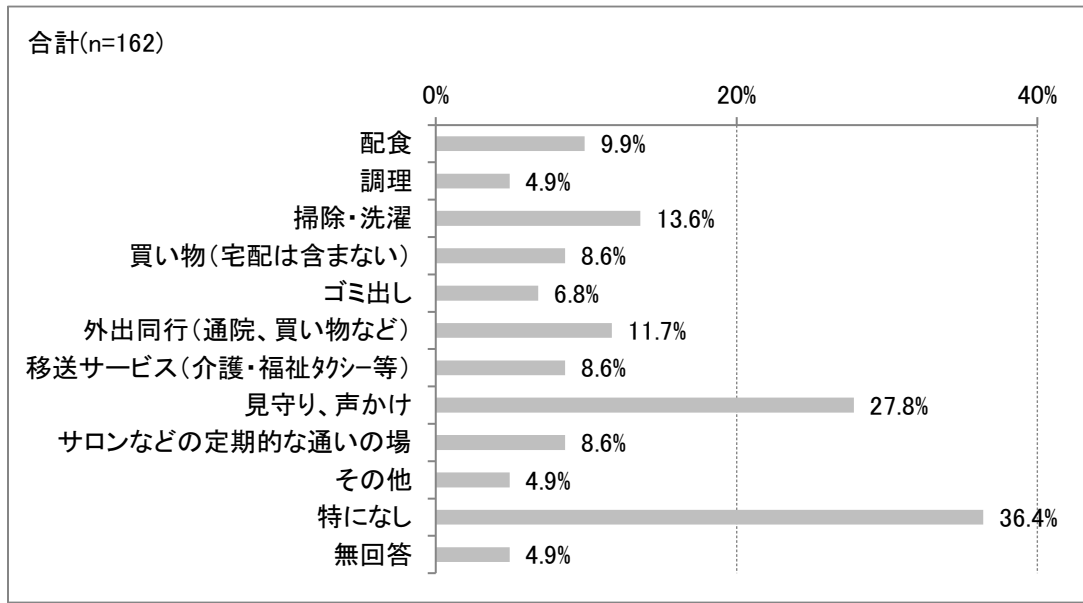
(9) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

- 問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

【全体】

- 「特になし」の割合が最も高く 36.4%となっている。次いで、「見守り、声かけ（27.8%）」、「掃除・洗濯（13.6%）」となっている。

図表 1-9 ★在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス（複数回答）



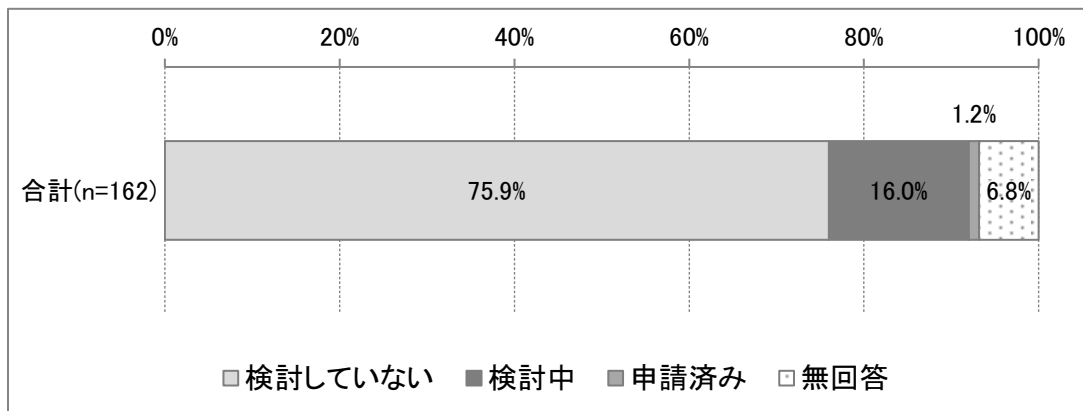
(10) 施設等検討の状況

- 問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

【全体】

- 「検討していない」の割合が最も高く 75.9%となっている。次いで、「検討中（16.0%）」、「申請済み（1.2%）」となっている。

図表 1-10 施設等検討の状況（単数回答）



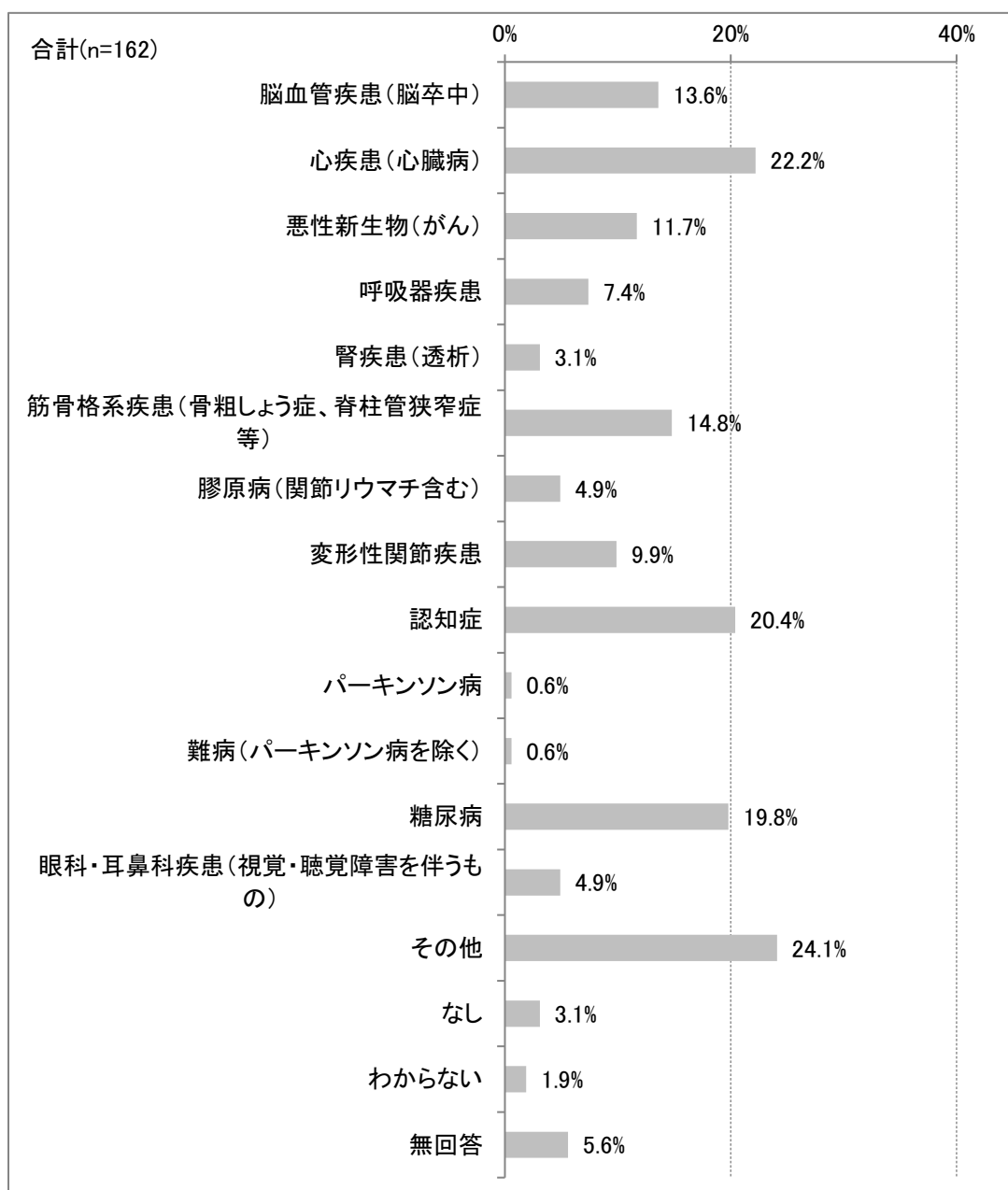
(11) 本人が抱えている傷病

- 問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（複数選択可）

【全体】

○ 「その他」の割合が最も高く 24.1%となっている。次いで、「心疾患（心臓病）（22.2%）」、「認知症（20.4%）」となっている。

図表 1-11 ★本人が抱えている傷病（複数回答）



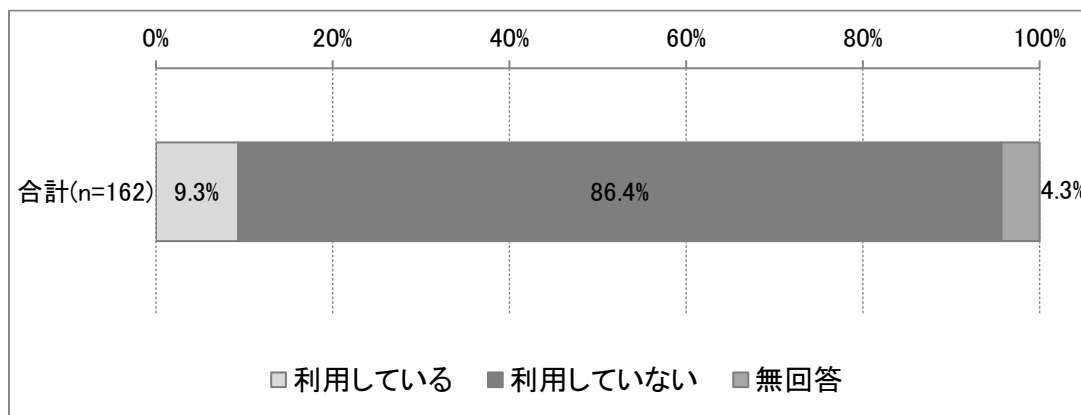
(12) 訪問診療の利用の有無

●問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

【全体】

○ 「利用していない」の割合が最も高く 86.4%となっている。次いで、「利用している（9.3%）」となっている。

図表 1-12 ★訪問診療の利用の有無（単数回答）



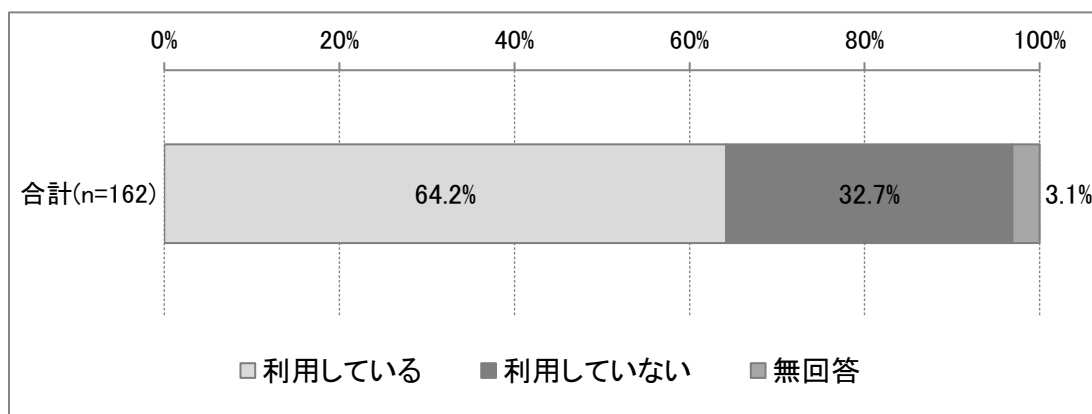
(13) 介護保険サービスの利用の有無

●問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

【全体】

○ 「利用している」の割合が最も高く 64.2%となっている。次いで、「利用していない（32.7%）」となっている。

図表 1-13 ★介護保険サービスの利用の有無（単数回答）



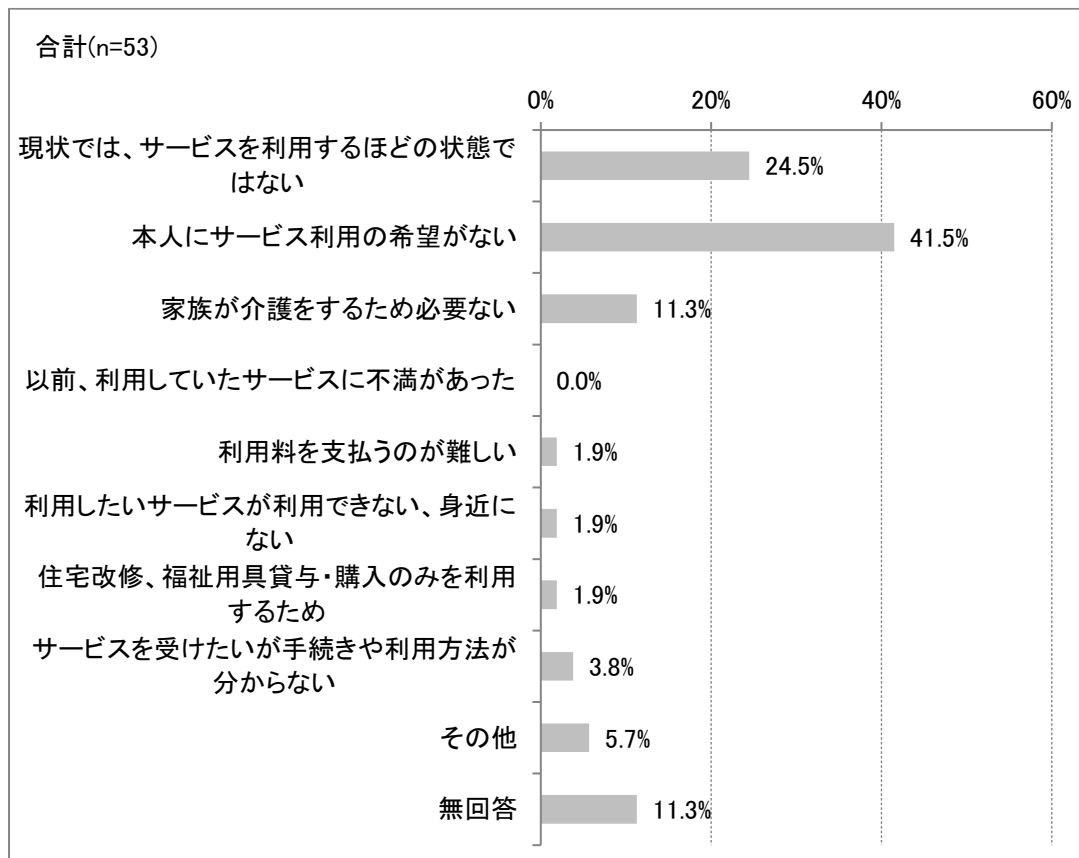
(14) 介護保険サービス未利用の理由

●問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

【全体】

- 「本人にサービス利用の希望がない」の割合が最も高く 41.5%となっている。次いで、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない（24.5%）」、「家族が介護をするため必要ない（11.3%）」となっている。

図表 1-14 ★介護保険サービスの未利用の理由（複数回答）



3. 主な介護者様用の調査項目（B票）

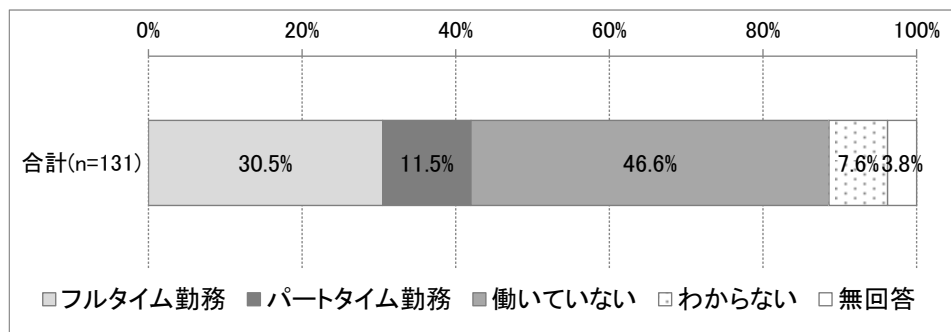
(1) 主な介護者の勤務形態

●問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

【全体】

- 「働いていない」の割合が最も高く 46.6%となっている。次いで、「フルタイム勤務（30.5%）」、「パートタイム勤務（11.5%）」となっている。

図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



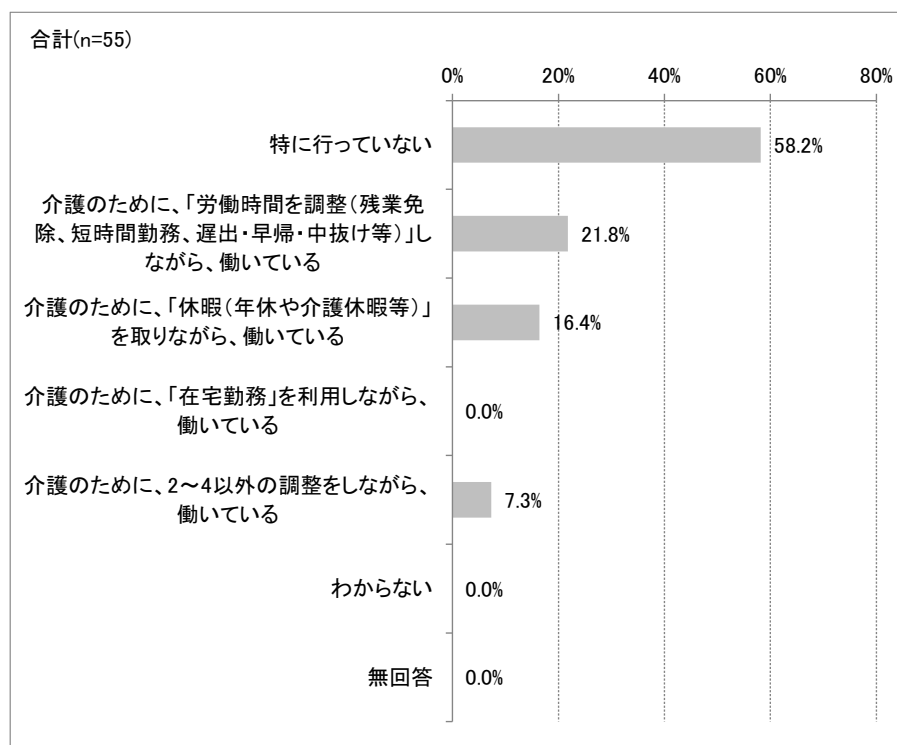
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

●問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

【全体】

- 「特に行っていない」の割合が最も高く 58.2%となっている。次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（21.8%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（16.4%）」となっている。

図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



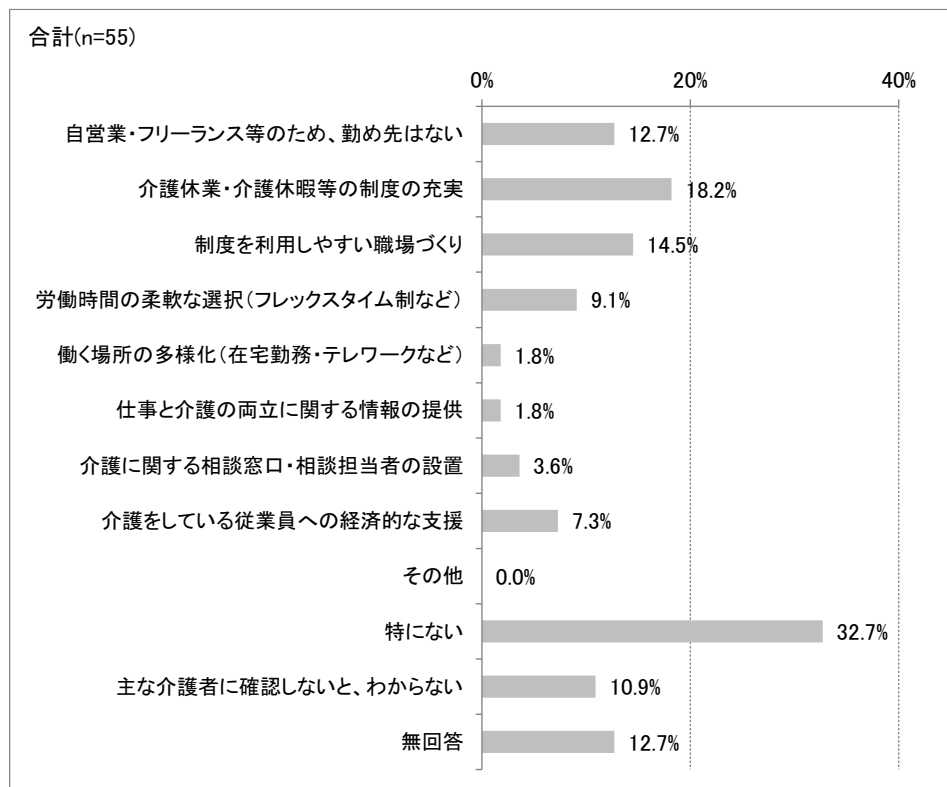
(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

- 問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

【全体】

- 「特にない」の割合が最も高く 32.7%となっている。次いで、「介護休業・介護休暇等の制度の充実（18.2%）」、「制度を利用しやすい職場づくり（14.5%）」となっている。

図表 2-3 ★就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



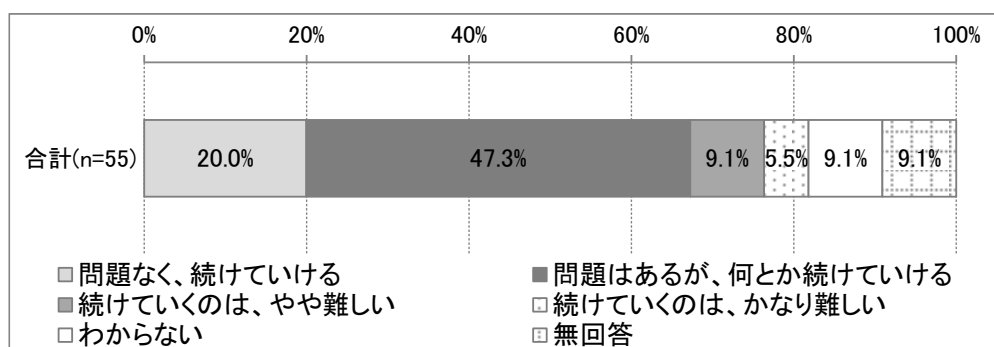
(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

- 問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

【全体】

- 「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 47.3%となっている。次いで、「問題なく、続けていける（20.0%）」、「続けていくのは、やや難しい（9.1%）」、「わからない（9.1%）」となっている。

図表 2-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）



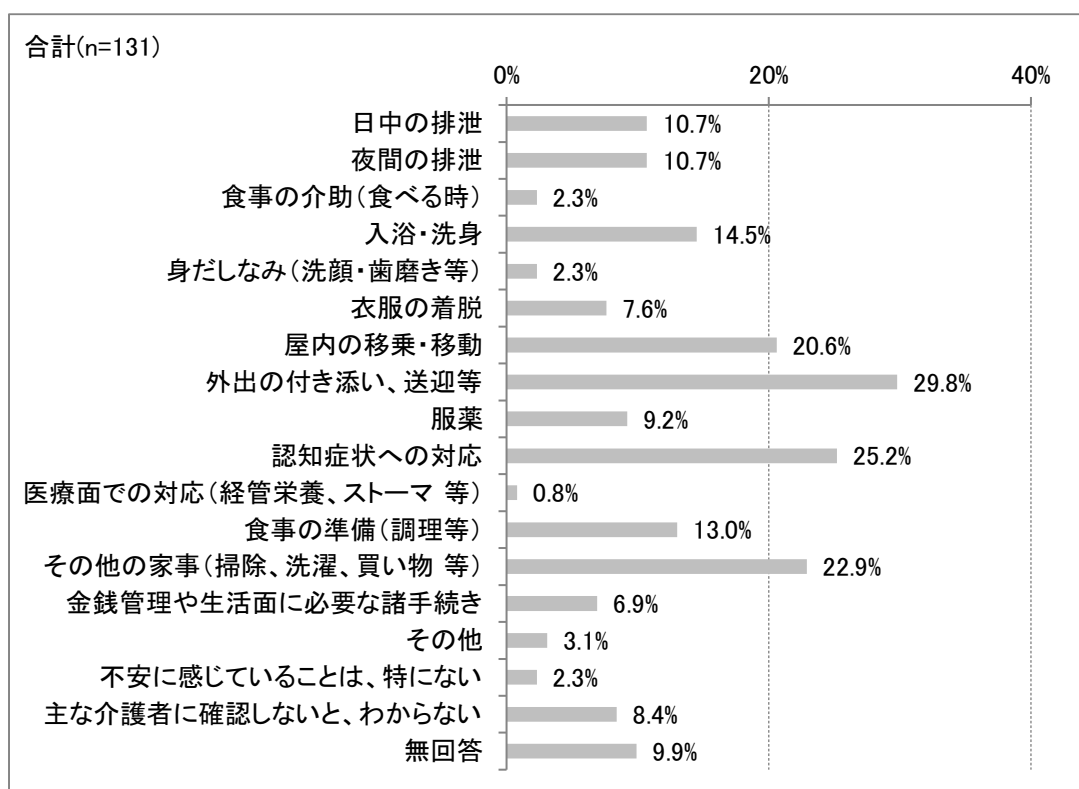
(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

- 問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

【全体】

- 「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く 29.8%となっている。次いで、「認知症状への対応（25.2%）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）（22.9%）」となっている。

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）



参考資料

10001

香美市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

はじめに

市民の皆さまには、日頃から市行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、香美市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行います。

そこで、65歳以上の市民の方に対し、心身の状態や自立した生活をおくる上での課題、今後の意向等をより的確に把握するため、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施します。

この調査は、今後の高齢者を取り巻く様々な環境に柔軟に対応し、また、介護予防の情報を正確に整理するために、多くの質問項目を設けております。身近な内容となっていますので、ぜひご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年11月

香美市長 依光 晃一郎

ご回答いただきました内容は、個人が特定されない形で統計的に処理した結果のみを利用し、調査目的以外に使用することはありません。

調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、

12月10日(水)までに^{とうかん}投函してください。

【お問い合わせ先】

香美市役所 高齢介護課

地域包括支援班 電話 0887-53-3127

社会長寿班 電話 0887-52-9280

記入に際してのお願い

1. この調査は、厚生労働省が示した全国統一の調査項目に、香美市独自設問を追加した調査内容となっています。
2. この調査の対象者は、令和7年10月15日現在、65歳以上（要介護1～5の方を除く）の方の中から無作為に抽出しています。
3. ご回答にあたっては封筒のあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方などがご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されても結構です。
4. この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。

介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態

介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

【個人情報の取り扱いについて】

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

■個人情報の保護及び調査目的について

この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市の高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定の目的以外には使用いたしません。

また、当該情報については、個人情報の保護に関する法律に基づき、市で適切に管理いたします。

ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。（お名前などの個人情報は特定されません。）

記入例

ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。

①. はい 2. いいえ

数字を記入する欄は右詰めでご記入ください。

	6	2	kg
--	---	---	----

ここからは全員におうかがいします。

調査票を記入されたのはどなたですか。（1つだけ○）

- | | |
|-------------------------|---|
| 1.あて名のご本人が記入 | |
| 2.ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄： | ） |
| 3.その他（ | ） |

問1 あなたのご家族や生活状況について

1 家族構成を教えてください。(1つだけ○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 | |

2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○)

1. 介護・介助は必要ない ⇒ **3**へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ **2-1**へ
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) ⇒ **2-1**、**2-2**へ

2で「2」または「3」と答えた方(介護・介助が必要な方)のみ、お答えください。

2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

- | | | |
|---|---------------------------------------|--|
| 1. 脳卒中
<small>のうそっちゅう</small>
(脳出血・脳梗塞等)
<small>のうしゅつけつ のうこうそくなど</small> | 2. 心臓病 | 3. がん(悪性新生物) |
| 4. 呼吸器の病気
<small>はいきしりょう</small>
(肺気腫・肺炎等) | 5. 関節の病気
(リウマチ等) | 6. 認知症
<small>にんししょう</small>
(アルツハイマー病等) |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病
<small>とうりょうびょう</small> | 9. 腎疾患(透析)
<small>じんしつかん</small> |
| 10. 視覚・聴覚障害
<small>しかく ちょうかくしょうがい</small> | 11. 骨折・転倒
<small>こっせつ てんどう</small> | 12. 脊椎損傷
<small>せきついそんしょう</small> |
| 13. 高齢による衰弱
<small>すいじやく</small> | 14. その他() | 15. 不明 |

2で「3」と答えた方(介護・介助を受けている方)のみ、お答えください。

2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他() | |

ここからは全員におうかがいします。

3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ○)

- 1.持家(一戸建て) 2.持家(集合住宅) 3.公営賃貸住宅^{こうえいちんたいじやうたく}
 4.民間賃貸住宅(一戸建て)^{みんかんちんたいじやうたく} 5.民間賃貸住宅(集合住宅)^{みんかんちんたいじやうたく} 6.借家
 7.その他

問2 からだを動かすことについて

1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)

- 1.できるし、している 2.できるけどしていない 3.できない

2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)

- 1.できるし、している 2.できるけどしていない 3.できない

3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)

- 1.できるし、している 2.できるけどしていない 3.できない

4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)

- 1.何度もある 2.1度ある 3.ない

5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)

- 1.とても不安である 2.やや不安である 3.あまり不安でない 4.不安でない

6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ○)

- 1.ほとんど外出しない 2.週1回
 3.週2～4回 4.週5回以上

7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)

- 1.とても減っている 2.減っている
 3.あまり減っていない 4.減っていない

8 外出を控えていますか。(1つだけ○)

- 1.はい(控えている) ⇒8-1へ 2.いいえ(控えていない) ⇒9へ

5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ○）

1.はい

2.いいえ

6 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。

（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）（1つだけ○）

1.自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 ⇒ 6-1、6-2へ

2.自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし ⇒ 6-1へ

3.自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 ⇒ 6-1、6-2へ

4.自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし ⇒ 6-1へ

6-1 ^か噛み合わせはよいですか。（1つだけ○）

1.はい

2.いいえ

6で「1」または「3」と答えた方（入れ歯ありの方）のみ、お答えください。

6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。（1つだけ○）

1.はい

2.いいえ

ここからは全員におうかがいします。

7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。（1つだけ○）

1.はい

2.いいえ

8 どなたかと食事をともにする機会がありますか。（1つだけ○）

1.毎日ある

2.週に何度かある

3.月に何度かある

4.年に何度かある

5.ほとんどない

問4 毎日の生活について

1 物忘れが多いと感じますか。（1つだけ○）

1.はい

2.いいえ

2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（1つだけ○）

1.はい

2.いいえ

3 今日が何月何日か、わからない時がありますか。(1つだけ○)		
1.はい	2.いいえ	
4 バスや鉄道を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つだけ○)		
1.できるし、している	2.できるけどしていない	3.できない
5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つだけ○)		
1.できるし、している	2.できるけどしていない	3.できない
6 自分で食事の用意をしていますか。(1つだけ○)		
1.できるし、している	2.できるけどしていない	3.できない
7 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つだけ○)		
1.できるし、している	2.できるけどしていない	3.できない
8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つだけ○)		
1.できるし、している	2.できるけどしていない	3.できない
9 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(1つだけ○)		
1.はい	2.いいえ	
10 新聞を読んでいますか。(1つだけ○)		
1.はい	2.いいえ	
11 本や雑誌を読んでいますか。(1つだけ○)		
1.はい	2.いいえ	
12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つだけ○)		
1.はい	2.いいえ	
13 友人の家を訪ねていますか。(1つだけ○)		
1.はい	2.いいえ	
14 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ○)		
1.はい	2.いいえ	

15 病人を見舞うことができますか。(1つだけ○)	
1.はい	2.いいえ
16 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけ○)	
1.はい	2.いいえ
17 趣味はありますか。(1つだけ○)	
1.趣味あり ⇒趣味の内容 ()	
2.思いつかない	
18 生きがいがありますか。(1つだけ○)	
1.生きがいあり ⇒生きがいの内容 ()	
2.思いつかない	

問5 地域での活動について

1 以下のような会・グループ等にどれぐらいの頻度で参加していますか。 (①～⑧にそれぞれ1つだけ○)						
	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
【記入例】⑥老人クラブ	1	2	3	④	5	6
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤(体操・茶話会などの) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

1.是非参加したい 2.参加してもよい 3.参加したくない 4.既に参加している

3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

1.是非参加したい 2.参加してもよい 3.参加したくない 4.既に参加している

問6 たすけあいについて

※あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

1 あなたの心配事や愚痴^{ぐち}を聞いてくれる人。(いくつでも○)

1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども
4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人
7.その他() 8.そのような人はいない

2 反対に、あなたが心配事や愚痴^{ぐち}を聞いてあげる人。(いくつでも○)

1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども
4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人
7.その他() 8.そのような人はいない

3 あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも○)

1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども
4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人
7.その他() 8.そのような人はいない

4 反対に、看病や世話をしてあげる人。(いくつでも○)

1.配偶者 2.同居の子ども 3.別居の子ども
4.兄弟姉妹・親戚・親・孫 5.近隣 6.友人
7.その他() 8.そのような人はいない

5 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください。
(いくつでも○)

- 1.自治会・町内会・老人クラブ 2.社会福祉協議会・民生委員 3.ケアマネジャー
4.医師・歯科医師・看護師 5.地域包括支援センター・役所 6.その他
7.そのような人はいない

6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ○)

- 1.毎日ある 2.週に何度かある 3.月に何度かある
4.年に何度かある 5.ほとんどない

7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
(同じ人には何度会っても1人と数えることとします)(1つだけ○)

- 1.0人(いない) 2.1～2人 3.3～5人
4.6～9人 5.10人以上

8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)

- 1.近所・同じ地域の人 2.幼なじみ 3.学生時代の友人
4.仕事での同僚・元同僚 5.趣味や関心が同じ友人 6.ボランティア等の活動での友人
7.その他 8.いない

問7 健康について

1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ○)

- 1.とてもよい 2.まあよい 3.あまりよくない 4.よくない

2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ○)
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸 ←————→ とても幸せ

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
点	点	点	点	点	点	点	点	点	点	点

3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ○)

- 1.はい 2.いいえ

4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ○)

1.はい

2.いいえ

5 お酒は飲みますか。(1つだけ○)

1.ほぼ毎日飲む

2.時々飲む

3.ほとんど飲まない

4.もともと飲まない

6 タバコは吸っていますか。(1つだけ○)

1.ほぼ毎日吸っている

2.時々吸っている

3.吸っていたがやめた

4.もともと吸っていない

7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

1.ない

2.高血圧

3.脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
のうそっちゅう のうしゅつげつ のうこうそくなど

4.心臓病

5.糖尿病
とうようびょう

6.高脂血症(脂質異常)
こうしせつしやう ししついじやう

7.呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)

8.胃腸・肝臓・胆のうの病気

9.腎臓・前立腺の病気
じんぞう ぜんりつせん

10.筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)
きんこつかく こつそ せうしやう せう

11.外傷(転倒・骨折等)
がいしやう てんとう こっせつなど

12.がん(悪性新生物)

13.血液・免疫の病気
けつえき

14.うつ病

15.認知症(アルツハイマー病等)
にんちしやう

16.パーキンソン病

17.目の病気

18.耳の病気

19.その他 ()

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

1 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。
(1つだけ○)

1.はい

2.いいえ

2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

1.はい

2.いいえ

問9 認知症について

1 認知症について関心がありますか。(1つだけ○)

1.ある

2.ない

2 認知症について、どのように理解していますか。(いくつでも○)

1.脳の病気である

2.認知症と物忘れは異なる

3.お薬や対応の仕方で行方を遅らせることができる

4.脱水や低栄養(栄養が不足している状態)でも認知症状を引き起こすことがある

5.早期発見・早期受診が大切である

6.その他()

7.わからない

3 「新しい認知症観」を知っていますか。(1つだけ○)

1.知っている

2.知らない

※新しい認知症観とは、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人ひとりが個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

4 認知症になっても、自分らしく暮らし続けるためには、どのような支援があればよいと思いますか。(いくつでも○)

1.様々な相談窓口や病院・介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み

2.日常的な見守り

3.本人が活躍できる場や機会の提供

4.本人同士が交流できる場や機会の提供

5.家族交流や介護者の負担軽減に向けた場や機会の提供(例:認知症家族の会、介護教室)

6.金銭管理や日常的な手続きのサポート

7.道に迷った時のサポート

8.その他()

5 香美市は、認知症になっても自分らしく暮らし続けられるところだと思いますか。(1つだけ○)

1.そう思う

2.ややそう思う

3.あまりそう思わない

4.そう思わない

5.わからない

問10 これからの暮らしについて

1 仮に加齢等に伴い介護が必要な状態になったとしても、現在のお住まい（所在地、建物等）での生活は、続けることができますか。（1つだけ○）

1. 介護が必要な状態になったとしても、家族・親族等の協力のもと続けることができる ⇒ へ
2. 介護が必要な状態になった時は、
現在のお住まい（所在地、建物等）での生活は難しいと思う ⇒ へ
3. わからない ⇒ へ

1で「2」と答えた方（生活は難しいと思う方）のみ、お答えください。

1-1 仮に今のお住まいでの生活が困難になったとしたら、お住まいについてどのようにしたいと思いますか。（2つまで○）

1. 高齢者住宅や有料老人ホームなどに転居したい
2. 介護保険施設等に入所したい
3. 病院へ入院したい
4. 香美市内で、今の居住地より比較的生活環境が整っている地域へ転居したい
5. 現在のお住まいを改修して生活を続けたい
6. 現在、別で生活している、香美市内の家族（息子・娘世帯等）と同居したい
7. 現在、別で生活している、香美市外の家族（息子・娘世帯等）と同居したい
8. その他（ ）
9. わからない

ここからは全員におうかがいします。

2 あなたは、食材・日用品等の買物を主にどうしていますか。（1つだけ○）

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 1. 市内のお店で主に購入 | 2. 近隣市町のお店で主に購入 |
| 3. 移動スーパー（車での訪問販売）で主に購入 | 4. 宅配サービスで主に購入 |
| 5. インターネットを利用して購入 | 6. 家族、親族、友人に頼んでいる |
| 7. ヘルパーに頼んでいる | 8. その他（ <input type="text"/> ） |

**3 自宅で生活をするためには、どのような支援が必要だと思いますか。
(3つまで○)**

- 1.見守りや簡単な家事援助など、日常生活の支援を受けるサービス
- 2.家の中の段差などをなくし、車いす等でも暮らしやすくする住宅の改修
- 3.昼食や夕食を宅配してくれるサービス
- 4.日中にデイサービスなどに通って、機能訓練や食事の提供などを受けるサービス
- 5.自分や家族の都合や健康状態の悪い時に、介護保険施設に数日間入所できるサービス
- 6.病気や転倒した時など、すぐに助けを呼べるサービス
- 7.子どもや孫の世代と一緒に過ごせる世代間交流の場の提供
- 8.金銭管理や財産管理を代行してくれるサービス
- 9.一人暮らしの高齢者や高齢者世帯に声をかけて安否確認を行うサービス
- 10.福祉車両で自宅から病院などに送迎してくれるサービス
- 11.夜間訪問介護など24時間いつでも介護を受けられるサービス
- 12.その他 ()

4 あなたは終末期に備えて何か行っていることがありますか。(いくつでも○)

- | | | |
|-------------|----------|---------------|
| 1.延命治療の意思表示 | 2.任意後見制度 | 3.遺言作成 |
| 4.葬儀のこと | 5.財産の整理 | 6.身辺整理(断捨離など) |
| 7.エンディングノート | 8.その他() | 9.特に何もしていない |

※エンディングノートとは、自分自身に何かあった時に備えて、ご家族が様々な判断や手続きを進める際に必要な情報を残すためのノートです。

5 成年後見制度を知っていますか。(1つだけ○)

- | | |
|---------|--------|
| 1.知っている | 2.知らない |
|---------|--------|

※成年後見制度とは、認知症・知的障害・精神障害などにより判断能力が不十分な状態にある本人のために、成年後見人等が財産管理や身上監護を行い、本人が安心して生活できるよう、保護・支援する制度で、次の2種類があります。

①法定後見制度

法定後見制度とは、既に判断能力が不十分な状態にある本人を支援するために、配偶者または4親等内の親族などの申立により、家庭裁判所が後見人等を選任する制度です。

②任意後見制度

任意後見制度とは、まだ判断能力が十分にある時に、加齢等で判断能力が低下する場合に備えて、任意後見人受任者との間で自分の生活、療養看護、財産管理についてどのような支援をしてもらうかをあらかじめ契約しておく制度です。

問11 かかりつけ医や耳の聞こえについて

1 現在、病院・医院（診療所・クリニック）に通院していますか。（1つだけ○）

1.はい

2.いいえ

2 あなたは、かかりつけ医を持っていますか。（1つだけ○）

1.はい

2.いいえ

3 あなたは、かかりつけ薬局を持っていますか。（1つだけ○）

1.はい

2.いいえ

4 現在のあなたの耳の聞こえの状態はいかがですか。（1つだけ○）

1.ふつう ⇒問12へ

2.ふつうの声がやっと聞き取れる ⇒4-1、4-2へ

3.かなり大きな声なら何とか聞き取れる ⇒4-1、4-2へ

4.ほとんど聞こえない ⇒4-1、4-2へ

4で「2」～「4」と答えた方（ふつうより聞こえづらい方）のみ、お答えください。

4-1 聞こえの状態について専門医（耳鼻科）を受診したことがありますか。
（1つだけ○）

1.受診した

2.受診していない

4-2 補聴器を使用していますか。（1つだけ○）

1.使用している ⇒問12へ

2.使用していない ⇒4-3へ

4-2で「2」と答えた方（補聴器を使用していない方）のみ、お答えください。

4-3 使用していない理由は何ですか。（いくつでも○）

1.補聴器は高額だから

2.補聴器でどのくらい改善されるかわからないから

3.補聴器を使用することがわずらわしいから

4.耳が聞こえにくくなっていることをまわりに知られたくないから

5.耳の聞こえについてどこで相談していいのかわからないから

6.使用しなくても何とか生活できているから

7.その他（

）

問12 その他

ここからは全員におうかがいします。

1 以下のような取組を知っていますか。(①～⑤にそれぞれ1つだけ○)

	知っている	知らない
【記入例】③「香美はつらつ体操」	①	2
①香美市認知症支援ガイドブック	1	2
②口腔体操（香美かみゴクン体操など）	1	2
③「香美はつらつ体操」	1	2
④認知症サポーター養成講座	1	2
⑤認知症高齢者等事前登録制度	1	2

※認知症高齢者等事前登録制度とは、本人またはその家族の希望により、行方不明となるおそれがある高齢者の情報（緊急連絡先、よく行く場所、写真など捜索時に必要となる情報）を事前に市へ登録する制度です。登録した情報は、南国警察署と香美市地域包括支援センターで共有します。

2 介護サービスを利用する人が増えたり、1人あたりのサービス利用額が増えたりすると、介護保険料の額は高くなる仕組みになっています。このことを踏まえた上で、介護保険のあり方について、あなたの考え方に最も近いものをお答えください。(1つだけ○)

- 1.介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである
- 2.介護保険料が高くなりすぎないように、介護サービスの内容や自己負担のあり方を見直す
- 3.よくわからない
- 4.その他（ ）

3 あなたは、香美市が高齢者にとって住みよいまちだと思いますか。(1つだけ○)

- 1.思う
- 2.思わない
- 3.わからない

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、再度お確かめください。

記入した調査票はすべて（表紙も含む）、同封した返信用封筒に入れ、

12月10日（水）までにポストへ^{とうかん}投函してください（切手不要）。

2. 在宅介護実態調査票

＜手法Ⅰ：認定調査員による聞き取り調査用＞

★：オプション項目

基本調査項目＋オプション項目

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[]

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 | |

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

- | | | | |
|---------------------------|---|---------|---------|
| 1. ない | } | 問8(裏面)へ | |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない | | | |
| 3. 週に1～2日ある | | } | 問3～問13へ |
| 4. 週に3～4日ある | | | |
| 5. ほぼ毎日ある | | | |

★ 問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

★ 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

★ 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

★ 問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 利用していない | |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

★ 問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

★ 問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患（脳卒中） | 2. 心疾患（心臓病） |
| 3. 悪性新生物（がん） | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患（透析） | 6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等） |
| 7. 膠原病（関節リウマチ含む） | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病（パーキンソン病を除く） | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの） | 14. その他 |
| 15. なし | 16. わからない |

★ 問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

★ 問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

● 問 13 で「2. 」を回答した場合は、問 14 も調査してください。

★ 問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない | 2. 本人にサービス利用の希望がない |
| 3. 家族が介護をするため必要ない | 4. 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5. 利用料を支払うのが難しい | 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため | |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない | 9. その他 |

● 問2で「2. 」～「5. 」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人（調査対象者の方）にご回答・ご記入をお願いしてください（ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です）。

B票

主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

★ **問3** 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

